

この操作マニュアルはPDFで作成されており、インターネットで無料配布されているAdobe Readerで閲覧・印刷することができます。

画面左の「しおり」を開き、その目次から指定のページに移動することができます。

- 本書の製作に当たっては、以下を使用しました。

国土交通省

国土交通省 国土地理院

総務省

国土数値情報(国土骨格－東京都のデータ)

国土数値情報(指定地域－兵庫県のデータ)

電子国土(国土地理院背景地図等データ)

基盤地図情報(縮尺レベル2500建築物)

地球地図日本(行政界)

政府統計の総合窓口(e-Stat) (人口等基本集計データ)
- 本書を無断で複写・転載することは禁止します。
- 説明用に使用している画面上のデータの内容、表示位置等は、あくまでもサンプルとして表示しているものです。
- 本書に記載している各サイトのURLは変更される可能性があります。
- エクセル(Excel)は米国Microsoft Corporationの登録商標です。  
ワード(Word)は米国Microsoft Corporationの登録商標です。  
エクスプローラ(Explorer)は米国Microsoft Corporationの登録商標です。  
インターネットエクスプローラ(Internet Explorer)は米国Microsoft Corporationの登録商標です。

新規	2017/9/1	全面改訂(Ver 3.00)の第1版としてリリース。

## はじめに

フリーソフトウェアFalconEyeGISのご利用ありがとうございます。

フリーソフトウェアFalconEyeGISは、直観的な操作で扱え、わずらわしい手順を踏まずにできるだけ簡単に操作できるように工夫しています。あまりパソコンが得意でない方、パソコンに慣れていない方でも操作し易く自然と操作方法が習得できるよう改善を図ってきました。

### 【背景図について】

背景図として国土地理院の地理院タイルを利用しています。

災害関係を含め、100種類以上のすべての地理院タイルを表示することができます。

### 【便利機能を一部紹介】

- ・ 地図上に表示するアイコンを外部から簡単に取り込んだり、作成したりすることができます。
- ・ シェープファイルの内容を解析するツールがあります。  
(わざわざ表示させなくてもファイルの内容がわかります)
- ・ 地図上の任意の位置に付箋紙、吹き出しを貼り付けられます。
- ・ 地図上の任意の位置に様々なファイルを貼り付けることができ、それを開いたり、再生したりすることができます。Excel、Word、音声・音楽ファイル、動画ファイル等の様々なファイルを貼り付けられ、いろいろなアイデアに活かします。



## 目次

1. フリーソフトウェアFalconEyeGISの概要	6
1. 1 動作環境について	6
1. 2 インストールについて	6
(1) Java環境について	6
(2) フリーソフトウェアFalconEyeGISのインストール	6
(3) アンインストールについて	7
1. 3 著作権及び利用規約	7
1. 4 制限事項	8
1. 5 承認・許諾、出典元について	8
1. 6 ヘルプ	9
GISソフトラボホームページ、バージョン、Java・モニター	
2. 基本的な操作	10
2. 1 画面の構成	10
2. 2 プログラムの起動方法	12
2. 3 基本的な操作と用語の説明	14
2. 4 メニュー項目の説明	18
3. 背景地図と地図データ	29
3. 1 背景地図	29
3. 2 編集用地図データ	32
3. 3 地図データ(ベクトルデータ)の入手方法(サイトの紹介)	32
4. レイヤ(データの階層)について	33
4. 1 レイヤの種類	33
4. 2 レイヤに対する操作	34
(1) レイヤの新規作成	34
(2) DB項目の編集	37
(3) DB項目の型編集	38
(4) レイヤ情報の編集と確認	40
・編集	41
レイヤ名の変更	
表示順位の変更	
表示・非表示の設定	
レイヤデータ破棄	
最小スケール値の変更	
最大スケール値の変更	
描画属性の変更	
・表示(確認)	42
読み込みファイルの確認	
図形種別の確認	
データ個数(図形個数)の確認	
座標点数の確認	
表示色(アイコン)の確認	
5. ベクトルデータの読み込み	43
5. 1 シェープファイル	45
5. 2 基盤地図情報のファイル	48
5. 3 その他のファイル	49
(1) CSV形式	49
(2) GPX形式	49
5. 4 描画属性情報の設定	51
(1) ポイント(点)レイヤ	51
(2) ポリライン(線)レイヤ	55
(3) ポリゴン(面)レイヤ	57
(4) テキスト(文字)レイヤ	60
(5) 画像レイヤ	64
(6) Exif画像レイヤ	64
(7) 添付ファイルレイヤ	66
(8) 付箋紙レイヤ	
(9) 吹出しレイヤ	

6. 個別データの編集		67
6. 1 ポイント(点)データの編集	追加、変更、削除、移動、複写	67
6. 2 ポリライン(線)データの編集	追加、変更、削除、移動、複写、拡大縮小、回転、個別描画設定	74
6. 3 ポリゴン(面)データの編集	追加、変更、削除、移動、複写、拡大縮小、回転、個別描画設定	85
6. 4 テキスト(文字)データの編集	追加、変更、削除、移動、複写、拡大縮小、回転	98
6. 5 画像データの編集	追加、削除、移動、複写、拡大縮小、回転	106
6. 6 Exif画像データの編集	追加、変更、削除、移動、複写、拡大縮小	114
6. 7 添付ファイルデータの編集	追加、削除、移動、複写、添付ファイルを開く	121
6. 8 付箋紙レイヤの編集	追加、変更、削除、移動、複写、拡大縮小	
6. 9 吹き出しレイヤの編集	追加、変更、削除、移動、複写、拡大縮小	
7. 図形領域編集		126
7. 1 領域削除	点、線、面、文字、画像、Exif画、添付	126
7. 2 領域移動	点、線、面、文字、画像、Exif画、添付	130
7. 3 領域複写	点、線、面、文字、画像、Exif画、添付	134
7. 4 領域拡大・縮小	点、線、面、文字、添付	134
7. 5 領域回転	点、線、面、文字、添付	137
8. DB表示・編集		139
8. 1 DB一覧表示・編集	シェープ・CSVファイル出力 CSVでDB項目一括更新	139
8. 2 DB個別表示・編集	シェープ・CSVファイル出力	142
8. 3 DB個別ダイアログ表示		144
9. 地図の移動、拡大・縮小		145
9. 1 地図の移動		145
9. 2 地図の拡大・縮小		147
10. 検索		150
10. 1 領域検索 (矩形内、多角形内、円内)	一覧表表示、シェープ・CSVファイル出力	152
10. 2 DB項目値検索	一覧表表示、シェープ・CSVファイル出力	153
10. 3 住所検索	指定の住所に地図を移動	154
10. 4 緯度経度検索	指定の緯度・経度に地図を移動	154
11. 地図表示の付加機能		155
11. 1 画面背景色の設定	背景画像が存在しない領域の背景色を設定	155
11. 2 緯度経度の表示		156
11. 3 画面中心点の緯度経度と背景図種別の表示		157
11. 4 背景図メニューの表示・非表示		158
12. 主題図の作成		158
12. 1 DB項目値表示	地図上にDB項目値を表示	159
12. 2 段階色区分	DB項目の値の大小により段階的な色階調表示	161
12. 3 項目値色区分	値ごとに個別色表示	164
12. 4 条件式色区分	条件を満たした図形を指定色で表示	165
12. 5 グラフ表示	値の大小を円、角柱、円柱グラフとして表示	167
12. 6 円スケール表示	ポイント(点)を中心とした多重同心円の表示	170
12. 7 主題図状況一覧	各レイヤの主題図設定状況の一覧表示	172
13. 距離・面積計算		173
13. 1 距離計算	地図上の位置をマウスで指定して距離を計算	173
13. 2 距離表示(線指定)	ポリライン(線)の図形を指定してその距離を表示	174
13. 3 距離自動計算	全ポリラインの距離の自動計算(DB保存)	175
13. 4 面積計算	地図上の位置をマウスで指定して面積を計算	176
13. 5 面積表示(面指定)	ポリゴン(面)の図形を指定してその面積を表示	177
13. 6 面積自動計算	全ポリゴンの面積の自動計算(DB保存)	177

14. ツール		179
14. 1 ユーザプロパティの設定	マウスホイールの設定	179
14. 2 プロキシサーバの設定	プロキシサーバを経由してインターネットに接続する場合の設定	180
14. 3 プログラム起動パス設定	標準で開くことができない添付ファイルを開くための設定	181
14. 4 アイコン画像作成	ポイント(点)レイヤで使えるアイコンの作成	184
14. 5 文字画像作成	ポイント(点)レイヤで使える文字画像アイコンの作成	186
14. 6 アイコン参照	システムで登録済みのアイコン、ユーザが作成したアイコンの参照	190
14. 7 描画情報自動設定(編集用)	自動で採用される描画情報の事前設定(編集用)	192
14. 8 描画情報自動設定(背景図用)	自動で採用される描画情報の事前設定(背景図用)	193
14. 9 シェープファイル解析ツール	測地系、座標系、図形種別、データ・座標点数等の報告	194
14. 10 テキストファイル結合ツール	既存レイヤにDB項目データを結合	195
15. プロジェクトの管理		200
15. 1 上書き保存、名前を付けて保存		200
15. 2 プロジェクトを指定して開く、最後に保存したプロジェクトを開く		202
15. 3 プロジェクトを削除する、備考を編集する		203
15. 4 プロジェクトからレイヤを抽出する		205
16. 保存・印刷・クリップボード		207
16. 1 シェープ出力	レイヤ情報をシェープファイルとして出力	207
16. 2 CSV出力	レイヤ情報をCSVファイルとして出力	208
16. 3 画像出力	地図の画面を画像ファイル(JPG,PNG,GIF,BMP)として出力	209
16. 4 印刷	地図の画面を印刷	211
16. 5 クリップボード	地図の画面をクリップボードに出力	212

## 1. フリーソフトウェアFalconEyeGISの概要ーソフトウェアFalconEyeGIS

### 1. 1 動作環境について

OS	: Windows
Java	: java 1.6.0以上
メモリ	: ソフトウェアの起動直後のメモリ使用量は60MB程度ですが、読み込むファイルの大きさに応じて、メモリの消費量が増大します。 適切なメモリを確保して起動して下さい。 ※メモリの割り当て方法については、「2. 3 基本的な操作と用語の説明」を参照。 ※1GB前後のメモリを割り当てて起動することを推奨します。
モニター	: 1024X768以上(1920X1080以上を推奨)
ネットワークカード	: 必須(インターネット回線に接続可能であること)
マウス	: マウスホイール付きであること。

### 1. 2 インストールについて

#### 【動作環境の設定】

本ソフトウェアは、Java言語で開発されており、Javaの環境を必要とします。

本ソフトウェアをインストールするパソコンにJava環境がすでに整っているか調べ、環境が無ければJava環境をインストールして下さい。

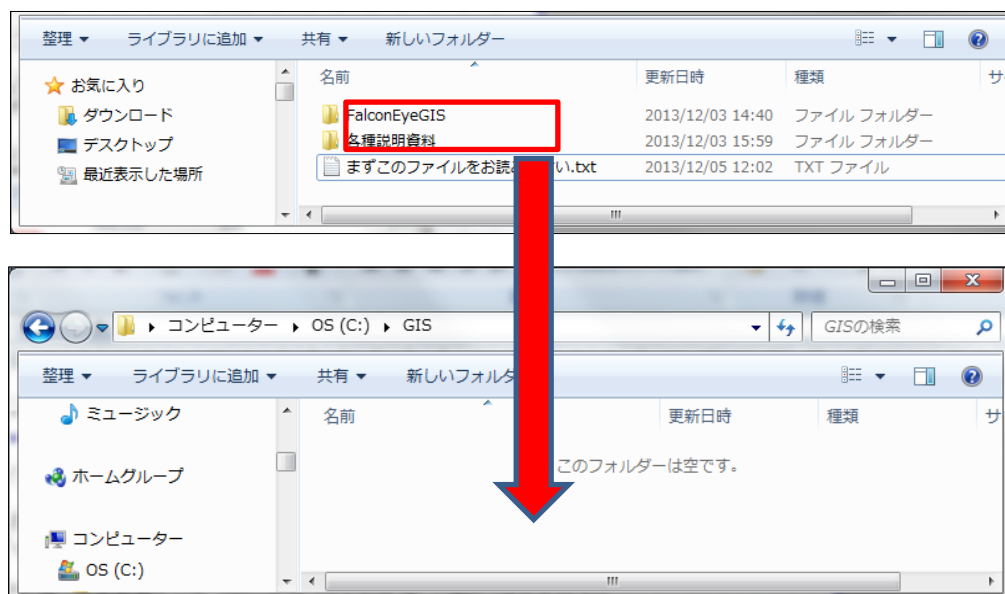
#### (1) Java環境について

「Java環境のインストール.pdf」を参照して下さい。

#### (2) フリーソフトウェアFalconEyeGISのインストール

- ① ダウンロードしたフリーソフトウェアFalconEyeGIS.zipをダブルクリックして下さい。  
エクスプローラが起動し、zipファイルの内容が表示されますので、  
「まずこのファイルをお読み下さい.txt」をダブルクリックし、一読して下さい。
- ② 「フリーソフトウェアFalconEyeGIS」をフォルダごとCDドライブ等のディスクにコピーして下さい。

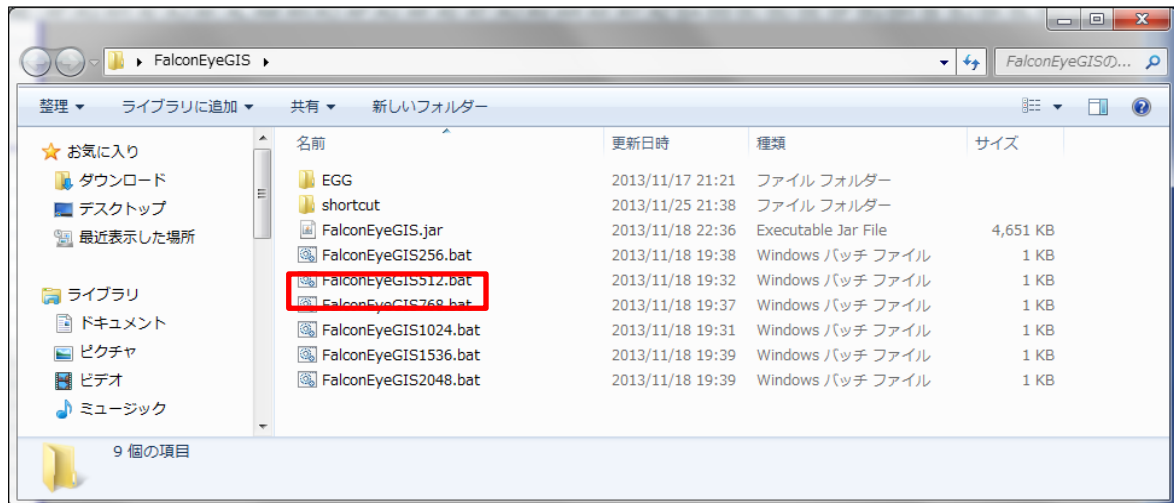
コピー元: フリーソフトウェアFalconEyeGIS.zipの「FalconEyeGIS」



コピー先: パソコンのディスク(上の例では、CDドライブの「GIS」というフォルダにコピーしています)

## フリーソフトウェアFalconEyeGIS

- ② 「各種説明書」をデスクトップ等の利用し易い場所にコピーして下さい。  
操作マニュアル等が格納されています。
- ③ コピー先の「FalconEyeGIS」フォルダ下の「FalconEyeGIS256.bat」をダブルクリックして下さい。  
※「FalconEyeGIS256.bat」は本ソフトウェアを最小のメモリサイズで起動するコマンドです。  
詳細は、「2. 2 基本的な操作と用語の説明」に記載しています。



起動コマンド(FalconEyeGIS256.bat～FalconEyeGIS2048.bat)については、  
「2. 2 プログラムの起動方法」を参照して下さい。

### (3) アンインストールについて

フォルダ「FalconEyeGIS」を削除して下さい。  
FalconEyeGISソフトウェア一式、及びプロジェクトファイル、キャッシュされた背景画像データが  
削除されます。

ショートカットを作成している場合は、それも削除して下さい。

### 1. 3 著作権及び利用規約

1. 本ソフトウェアはGISソフトラボが開発したものです。  
本ソフトウェアの著作権等の知的財産権は、すべてGISソフトラボに帰属します。
2. 本ソフトウェアあるいは関連するドキュメントを補修、翻案することは禁止します。
3. 本ソフトウェアの圧縮ファイル(jarファイル)を解凍、クラスファイルを逆コンパイルすることを禁止します。  
また本ソフトウェアの全体、又は一部を利用して他のソフトウェアを製作することは禁止します。
4. 本ソフトウェア及び関連資料、画像、データ等の複製、改変、転売、譲渡、インターネット公表、  
貸与等、第三者への再使用权は認めません。
5. 本ソフトウェアの仕様は予告なしに変更する場合があります。
6. 本ソフトウェアを使用して直接または間接的障害、損傷、不都合についてGISソフトラボは一切責任を  
負わないものとします。

## 1. 4 制限事項

### ・データの測地系

本ソフトウェアは、世界測地系(日本測地系2000)を基本として扱っています。  
日本測地系のシェープファイル形式のデータについては、読み込み時に世界測地系に変換しています。

### ・データの座標系

本ソフトウェアは、緯度・経度の座標系を基本として扱っています。  
平面直角座標系のシェープファイル形式のデータについては、読み込み時に平面直角座標から緯度経度に変換しています。

### ・パソコンのメモリ容量について

本ソフトウェアはJava言語で開発されています。Java言語のプログラムを起動するときに、そのプログラムで使用可能なメモリサイズの上限を指定することができますので、ご利用のパソコンの性能に合わせてサイズを調整して下さい。

多くのメモリを割り当てることにより、多くのデータを扱えるようになります。

プログラムの起動方法、メモリサイズの割り当て方法については、  
「2. 3 基本的な操作と用語の説明」を参照して下さい。

### ・距離計算、面積計算、面積表示(ポリゴン指定)について

ヒュベニの距離計算式を用いています。

### ・平面直角座標系データ読み込み時の緯度経度座標系への変換精度について

UTM座標系を用いて計算しています。計測可能は経度方向の範囲は6度以内です。  
緯度方向は北緯80度～南緯80度の範囲です。

## 1. 5 承認・許諾、出典元について

### 【承認・許諾】

本ソフトウェアは、以下の承認・許諾を得ています。

#### 国土地理院 背景地図

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の  
地理院タイル(数値地図25000(土地条件))、地理院タイル(数値地図5000(土地利用))、  
地理院タイル(土地条件図)、地理院タイル(沿岸海域土地条件図)、地理院タイル(火山基本図)、  
地理院タイル(火山土地条件図)、地理院タイル(土地利用図)、地理院タイル(湖沼図)  
及び電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 平29情複、第342号)」

### 【出典元】

背景地図 国土地理院の地理院タイル画像を使用。

基本測量成果全て(上記の承認・許諾参照)、及び基本測量成果以外全て。

位置参照情報 住所検索にて使用。

位置参照情報 国土交通省(国土政策局国土情報課)。

2017年7月時点の情報を利用(各都道府県のCSVファイル名を「adr.csv」に変更)。

世界地図 ナビゲータの世界地図(ベクトルデータを画像化して使用)。

Made with Natural Earth. Free vector and raster map data @ naturalearthdata.com.

日本地図 日本地図(海岸線、都道府県境界、市町村境界)、ナビゲータの日本地図。

国土地理院発行の地球地図日本第2.2版ベクタ(2016年公開)全レイヤを使用。

都道府県境界は市町村境界のデータから都道府県境界のみのデータを抽出して作成。

測地系変換 日本測地系から世界測地系への変換。

国土地理院の技術資料H1-No.2「測地成果2000のための座標変換ソフトウェアTKY2JGD」の  
「座標変換パラメータファイル(V2.1.2)」を使用。

### 【参考】

平面直角座標系から緯度・経度への変換は、変換式を基にプログラムにて計算。

## 1. 6 ヘルプ

以下の項目があります。

メニュー	説明
GISソフトラボ ホームページ	GISソフトラボのホームページを開きます。
バージョン	本ソフトウェアのバージョン、リビジョンを表示します。
Java, モニター	本ソフトウェアが動作しているパソコンのJavaバージョン、モニターの仕様について表示します。

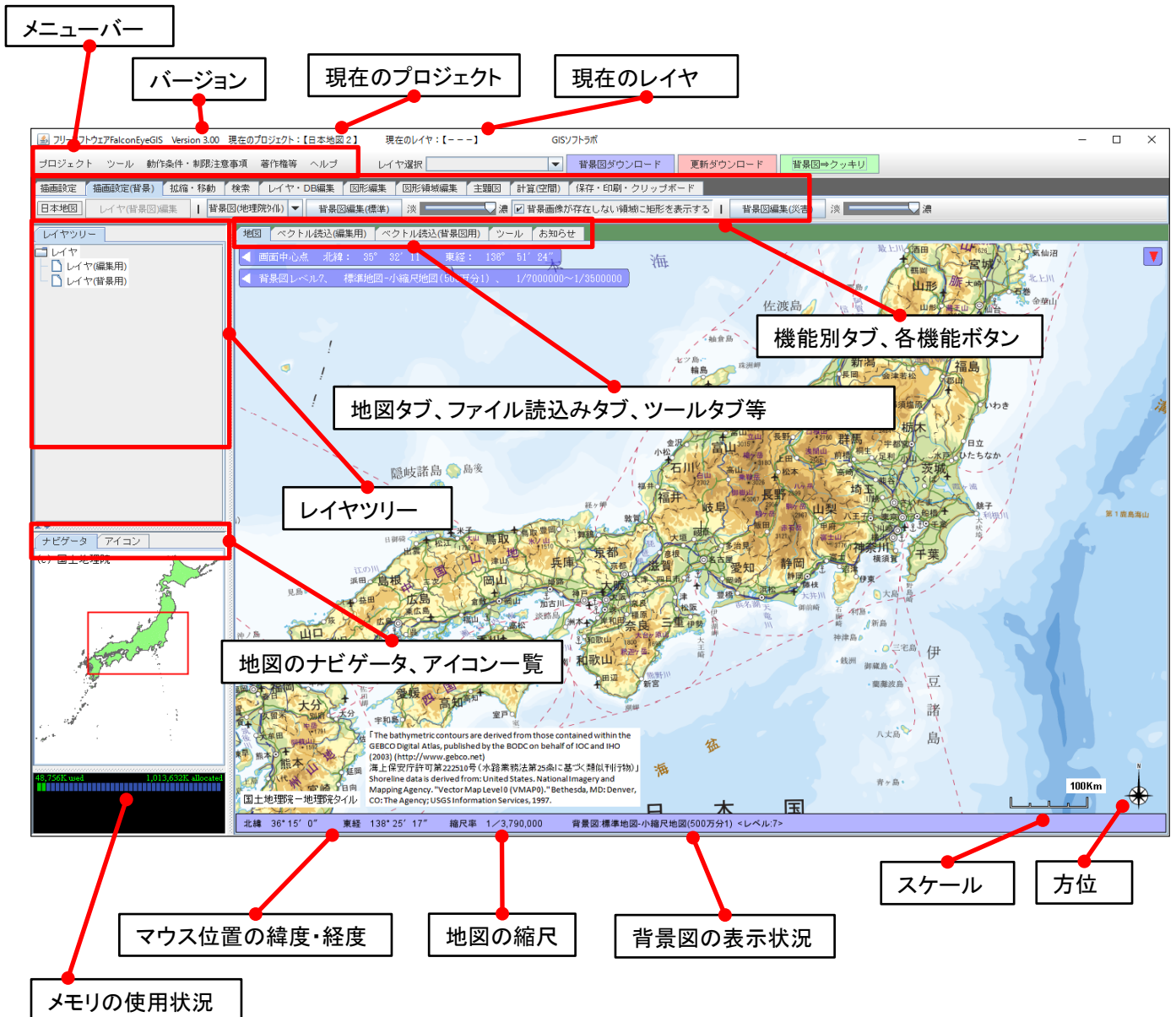
## 2. 基本的な操作

## フリーソフトウェアFalconEyeGIS

画面の構成、プログラムの起動方法、基本的な操作方法等について説明しています。

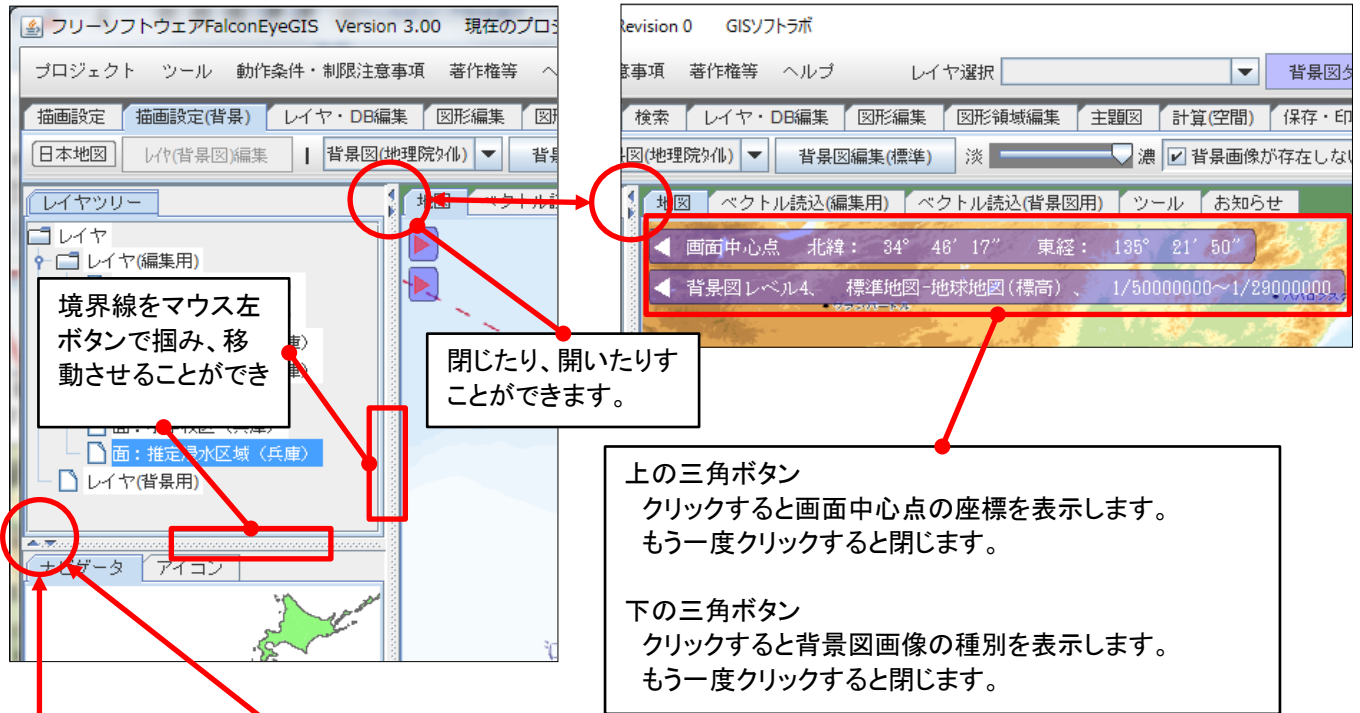
- ・画面の構成
- ・プログラムの起動方法
- ・基本的な操作と用語の説明
- ・メニュー項目の説明

### 2.1 画面の構成

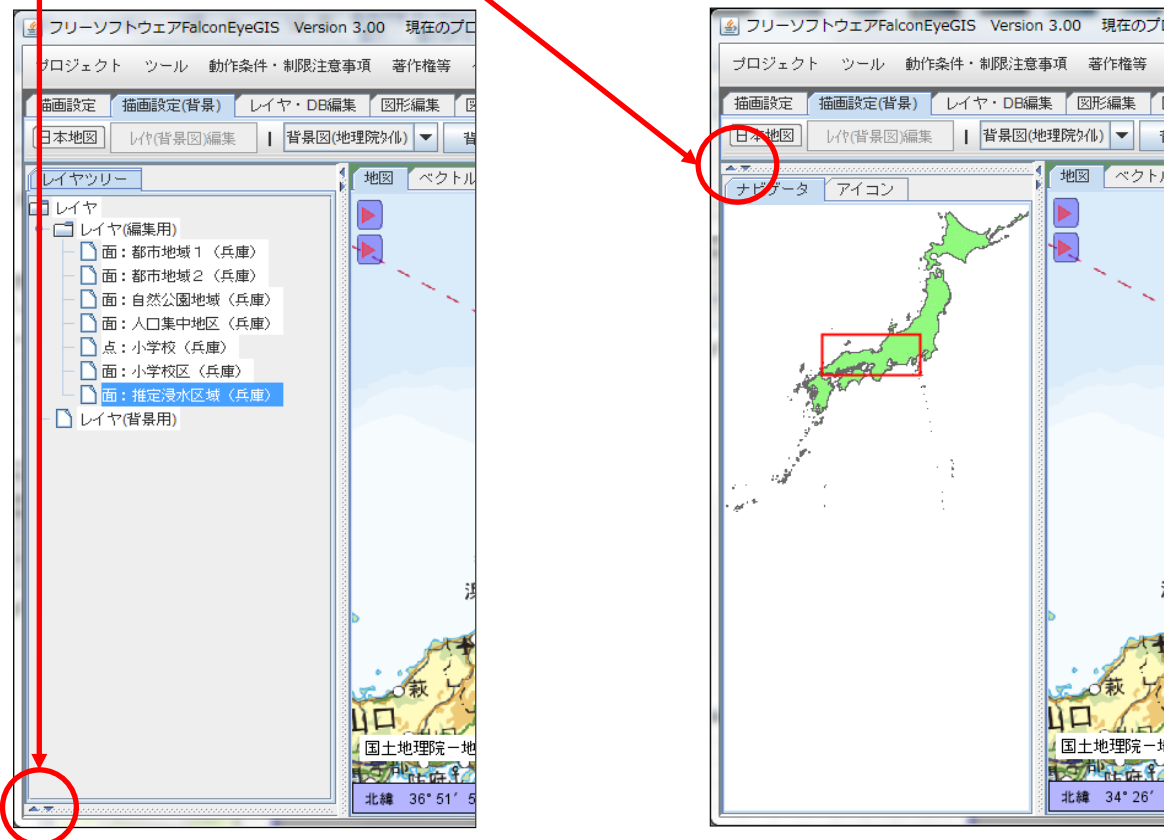




## フリーソフトウェアFalconEyeGIS



閉じたり、開いたりすることができます



## 2. 2 プログラムの起動方法

### ・本ソフトウェア(フリーソフトウェアFalconEyeGIS)の起動方法

使用可能なメモリサイズを指定して、本ソフトウェアを起動することができます。

※多くのメモリを割り当てて起動すると、多くのデータを扱うことができますが、パフォーマンスの劣化を招くことがあります。

#### ① 起動コマンドの種類(メモリサイズの種類)

ファイルをマウスでダブルクリックするとフリーソフトウェアFalconEyeGISが起動します。

起動コマンド	説明
FalconEyeGIS256.bat	256MBを割り当てて、FalconEyeGISを起動します。
FalconEyeGIS512.bat	512MBを割り当てて、FalconEyeGISを起動します。
FalconEyeGIS768.bat	768MBを割り当てて、FalconEyeGISを起動します。
FalconEyeGIS1024.bat	1024MBを割り当てて、FalconEyeGISを起動します。
FalconEyeGIS1536.bat	1536MBを割り当てて、FalconEyeGISを起動します。
FalconEyeGIS2048.bat	2048MBを割り当てて、FalconEyeGISを起動します。

#### (注意)

起動コマンドを実行すると、フリーソフトウェアFalconEyeGISの画面と共に、コマンドプロンプトの画面が表示されますが、この画面は閉じないで下さい。

閉じるとFalconEyeGISは強制終了します。

FalconEyeGISを終了すると、この画面も同時に閉じられます。

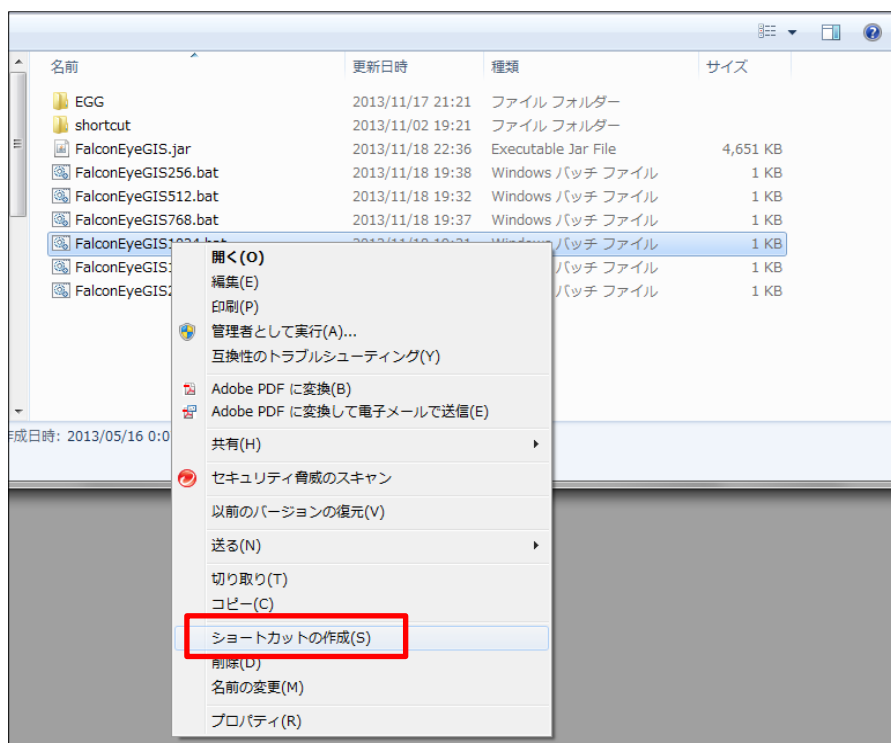
一度、FalconEyeGIS1024.batでお試し下さい。もし、起動できない場合はメモリサイズの小さい起動コマンドをご利用下さい。

メモリサイズが大きい起動コマンドを使用し、大量のデータを扱うとソフトの反応が遅くなる場合があります。

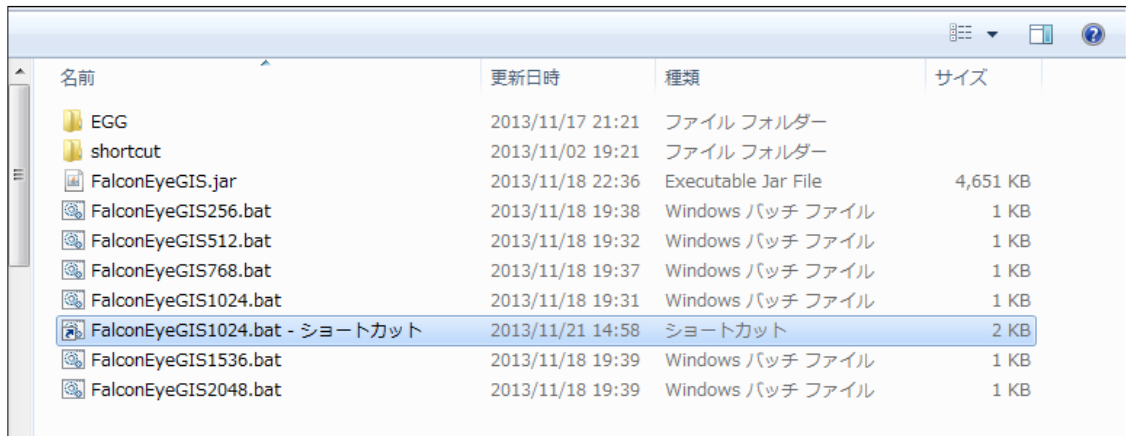
#### ③ 普段使用する起動コマンドを作成する

普段使用される起動コマンドのショートカットを以下のように作成しておくくと便利です。

・普段使用される起動コマンドファイルを右クリックし、「ショートカットの作成」を選択する。

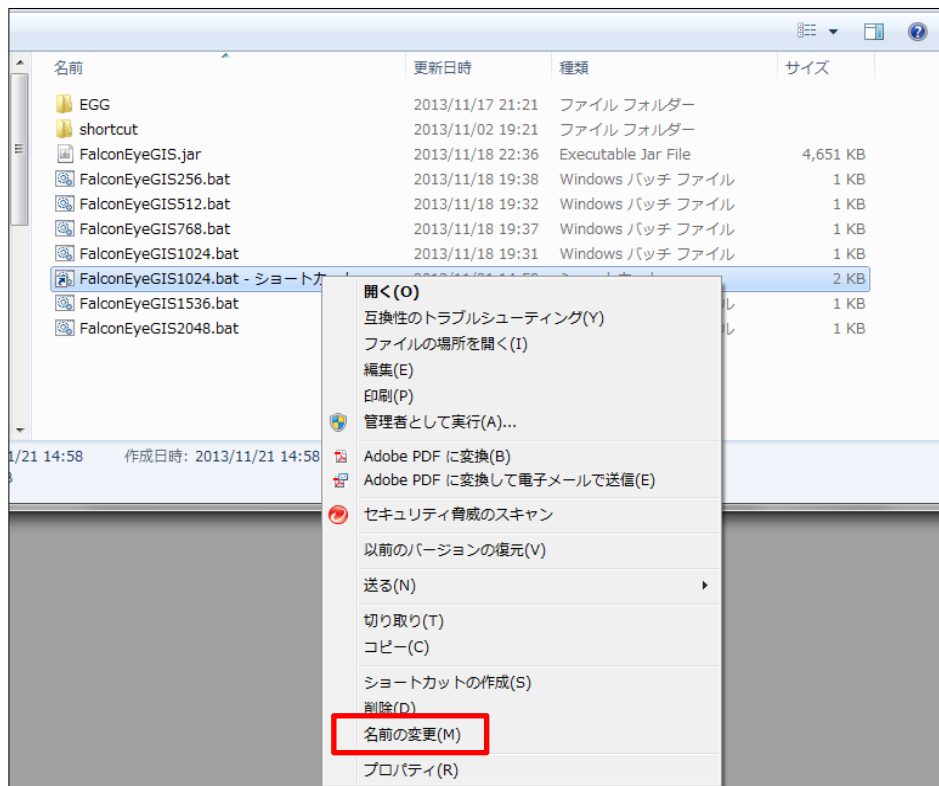


## フリーソフトウェアFalconEyeGIS

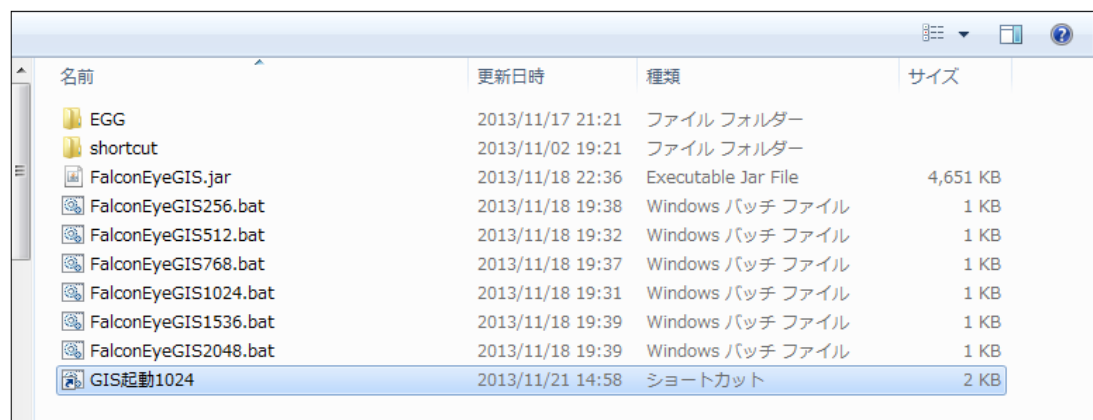


名前	更新日時	種類	サイズ
EGG	2013/11/17 21:21	ファイル フォルダー	
shortcut	2013/11/02 19:21	ファイル フォルダー	
FalconEyeGIS.jar	2013/11/18 22:36	Executable Jar File	4,651 KB
FalconEyeGIS256.bat	2013/11/18 19:38	Windows バッチ ファイル	1 KB
FalconEyeGIS512.bat	2013/11/18 19:32	Windows バッチ ファイル	1 KB
FalconEyeGIS768.bat	2013/11/18 19:37	Windows バッチ ファイル	1 KB
FalconEyeGIS1024.bat	2013/11/18 19:31	Windows バッチ ファイル	1 KB
FalconEyeGIS1024.bat - ショートカット	2013/11/21 14:58	ショートカット	2 KB
FalconEyeGIS1536.bat	2013/11/18 19:39	Windows バッチ ファイル	1 KB
FalconEyeGIS2048.bat	2013/11/18 19:39	Windows バッチ ファイル	1 KB

- ・作成されたショートカットのファイル名称を分かり易い名称に変更する。  
ファイルを右クリックし、「名前の変更」を選択する。



- ・分かり易い名前に変更する。



名前	更新日時	種類	サイズ
EGG	2013/11/17 21:21	ファイル フォルダー	
shortcut	2013/11/02 19:21	ファイル フォルダー	
FalconEyeGIS.jar	2013/11/18 22:36	Executable Jar File	4,651 KB
FalconEyeGIS256.bat	2013/11/18 19:38	Windows バッチ ファイル	1 KB
FalconEyeGIS512.bat	2013/11/18 19:32	Windows バッチ ファイル	1 KB
FalconEyeGIS768.bat	2013/11/18 19:37	Windows バッチ ファイル	1 KB
FalconEyeGIS1024.bat	2013/11/18 19:31	Windows バッチ ファイル	1 KB
FalconEyeGIS1536.bat	2013/11/18 19:39	Windows バッチ ファイル	1 KB
FalconEyeGIS2048.bat	2013/11/18 19:39	Windows バッチ ファイル	1 KB
GIS起動1024	2013/11/21 14:58	ショートカット	2 KB

作成したこの起動コマンド(ショートカットファイル)は、任意の場所に置くことができます。  
デスクトップに置くと便利です。

## 2. 3 基本的な操作と用語の説明

### 【用語1】(パソコン用語)

クリック	マウスのボタンを押して素早く離すこと。
ダブルクリック	クリックを素早く2回行うこと。
プレス	ボタンを押すこと(離さない)。
リリース	ボタンを離すこと。
ドラッグ	ボタンを押して、その状態でマウスを移動すること。

### 【用語2】

ポイント	「点」のこと。位置座標を持つデータ。 (例) 空港の位置、土地公示価格(代表点)、井戸の位置など。
ポリライン	「線」のこと。線であらわすことができる情報です。 (例) 道路、海岸線、行政境界線など。
ポリゴン	「面」のこと。面であらわすことができる情報です。 (例) 自然公園地域、鳥獣保護区、農業地域、建物など。
ベクトルデータ	本マニュアルでは、ポイント(点)、ポリライン(線)、ポリゴン(面)、テキスト(文字)、画像、Exif画像、添付ファイル、付箋紙、吹出しの描画情報のことをベクトルデータと呼ぶことがあります。
図形	本マニュアルでは、「図形」は、地図上に登録・表示されるレイヤの点(アイコン)、線、面、テキスト(文字)、画像(又はアイコン)、添付ファイル、付箋紙、吹出し、のことを意味します。
シェープファイル	Esri 社の提唱したベクトル形式の業界標準フォーマットです。 多くの GIS ソフトウェアで利用が可能で、可搬性に優れています。
JPGIS	JPGISは、正式名称を「地理情報標準プロファイル(Japan Profile for Geographic Information Standards)」といい、日本国内における地理情報の標準規格です。 国土地理院「基盤地図情報サイト」にて情報提供されているデータ規格です。
レイヤ	「階層」を意味し、同種のデータの集まり。 (例) 道路のレイヤ、建物のレイヤ、空港のレイヤなど。
DB	レイヤの図形に付随している文字、数値情報のことを本ソフトウェアではDB(データベース)と呼ぶことがあります。 具体的には、DB一覧表示等の画面で表示される内容のことをいいます。
DB項目	DBを構成している項目のこといいます。 DBは文字型、数値型、日付型の3種類があります。 DB項目に格納・設定されているデータをDB項目値と表現しています。
描画属性情報	レイヤに登録されているデータを描画するための情報、または個別のデータに設定された描画情報のことをいいます。
アイコン	点座標のデータを地図に表示する小さな画像。 (例) 病院のアイコン、学校のアイコン、道路標識のアイコンなど。
画像ファイル	写真等の画像。 ※本ソフトウェアでは、PNG、GIF、JPG、BMPの画像を扱うことができます。 ※画像レイヤ、添付ファイルレイヤに使用できます。

Exif画像ファイル	位置情報付きの画像ファイル(GPS機能付きのデジタルカメラでGPS情報を付加して撮影された画像ファイル)。 ※画像レイヤ、Exif画像レイヤ、添付ファイルレイヤに使用できます。
ダイアログ	本体の画面から呼び出される画面を、子画面、ダイアログ(画面)、または単に「画面」と記載している場合もあります。

## 【基本の操作】

### ・画面の移動

左ボタンを押しながらマウスを移動します(マウスと共に地図が移動します)。

### ・拡大・縮小

マウスホイールを前後に動かすことにより、地図を拡大、または縮小することができます。

### ・一覧表のスクロール

マウスホイールを前後に動かすことにより、一覧表を上下に移動させることができます。

### ・レイヤ

レイヤには、編集用のレイヤと背景図用のレイヤがあります。  
DB属性情報を必要とせず、図形の描画のみであれば、背景図レイヤとして表示するとメモリの節約になります。

編集用レイヤと背景図用レイヤのレイヤ種別は以下の通りです。

レイヤ種別	編集用レイヤ	背景図用レイヤ
ポイント(点)	○	○
ポリライン(線)	○	○
ポリゴン(面)	○	○
画像	○	—
Exif画像	○	—
添付ファイル	○	—
付箋紙	○	—
吹出し	○	—

### ・背景地図

背景地図には、以下の種類があります。

- ・背景図画像(標準)
- ・背景図画像(災害)
- ・日本地図
- ・背景図ベクトルデータ

### 【背景図画像(標準)】

背景図画像は、国土地理院のサーバより取得(キャッシュ)・表示します。  
提供される背景図画像の種類が増えた場合は当GISソフトラボのホームページより背景図の定義ファイルをダウンロードし、本ソフトの環境下にあるファイルを更新して下さい。  
(詳細はホームページを参照)

背景図画像は以下の種別から選択することができます(2017年8月1日現在)。  
選択方法については、第3章を参照して下さい。

- ・基本測量成果 ベースマップ
  - 標準地図
  - 淡色地図
  - English Version

- ・基本測量成果 主題図
  - 数値地図25000(土地条件)
  - 土地条件図(初期整備版)
  - 沿岸海域土地条件図(昭和)
  - 沿岸海域土地条件図(平成)
  - 火山基本図
  - 火山基本図データ(基図)
  - 火山基本図データ(陰影段彩図)
  - 火山基本図データ(写真地図)
  - 火山土地条件図
  - 数値地図5000(土地利用)-首都圏2000年
  - 数値地図5000(土地利用)-首都圏2005年
  - 数値地図5000(土地利用)-中部圏2003年
  - 数値地図5000(土地利用)-近畿圏2001年
  - 数値地図5000(土地利用)-近畿圏2008年
  - 土地利用図
  - 湖沼図(平成3年以降)
  - 湖沼図(平成2年以前)
  - 湖沼データ
- ・基本測量成果以外 ベースマップ
  - 白地図
  - 写真(シームレス写真)
- ・基本測量成果以外 空中写真・衛星画像
  - オルソ写真-最新(2007年～)
  - 簡易空中写真(2004年～)
  - 国土画像情報(第一期:1974～1978年撮影)
  - 国土画像情報(第二期:1979～1983年撮影)
  - 国土画像情報(第三期:1984～1986年撮影)
  - 国土画像情報(第四期:1988～1990年撮影)
  - 空中写真(1961～1964年)
  - 空中写真(1945～1950年)
  - 空中写真(1936年頃)
- ・基本測量成果以外 主題図
  - 色別標高図
  - 都市圏活断層図
  - 治水地形分類図 更新版(2007～2014年)
  - 治水地形分類図 初版(1976～1978年)
  - 明治期の低湿地
  - アナグリフ(カラー)立体メガネ要
  - アナグリフ(グレー)立体メガネ要
  - 陰影起伏図
  - 傾斜量図
  - 全国傾斜量区分図(雪崩関連)
  - 土地被覆(GLCNMO)
  - 植生(樹木被覆率)
  - 宅地利用動向調査(首都圏、中部圏、近畿圏)
  - 全国植生指標データ(250m) 2012年1月～12月
- ・基本測量成果以外 基準点・測地観測
  - 磁気図2010/2015年値 磁気図(偏角／一覧図)
  - 磁気図2010/2015年値 磁気図(伏角)
  - 磁気図2010/2015年値 磁気図(全磁力)
  - 磁気図2010/2015年値 磁気図(水平分力)
  - 磁気図2010/2015年値 磁気図(鉛直分力)

## 【背景図画像(災害)】

地震、台風・豪雨、火山の背景図画像を国土地理院のサーバより取得(キャッシュ)・表示します。  
災害発生時等に随時追加されています。

画像の種類については地理院ホームページの地理院タイル一覧のページを参照して下さい。

提供される背景図画像の種類が増えた場合は当GISソフトラボのホームページより背景図の定義ファイルをダウンロードし、本ソフトの環境下にあるファイルを更新して下さい。  
(詳細はホームページを参照)

## 【日本地図】

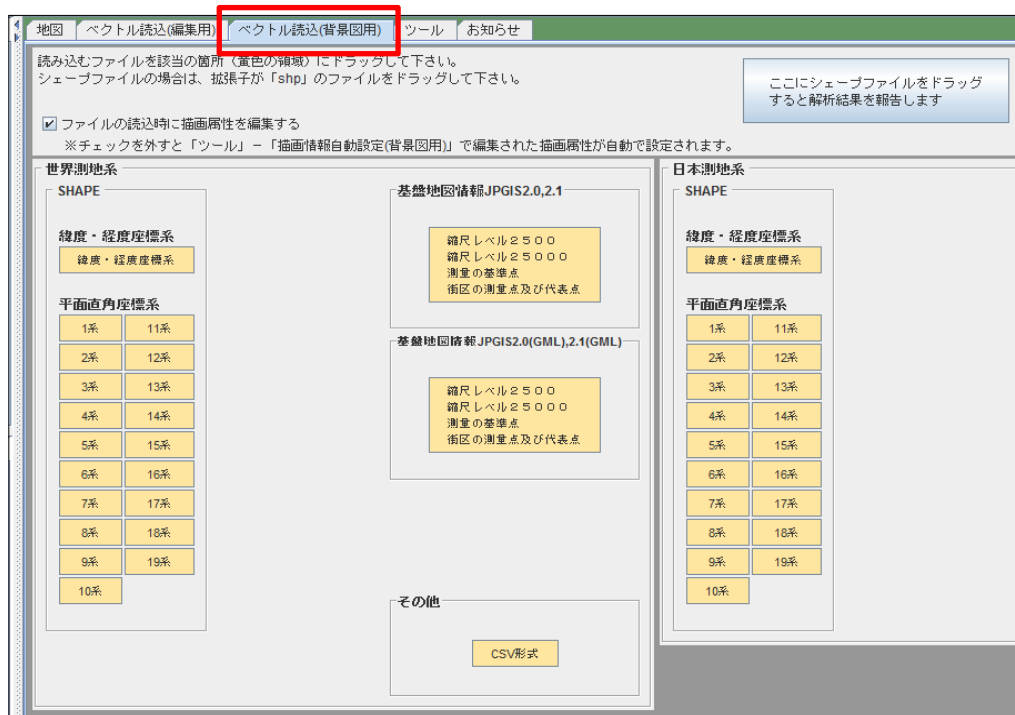
日本地図を表示します。  
表示方法を以下から選択できます。

- ・海岸線のみ
- ・海岸線+県境界
- ・海岸線+県境界+市町村境界
- ・非表示

選択方法については、第3章を参照して下さい。

## 【背景図ベクトルデータ】

ベクトルファイルを背景図レイヤとして読み込めば、そのデータは背景図ベクトルデータとして扱われます。  
DBデータは読み込まれず、図形も編集することができません。



以下の順番で重ねて表示されます。

- ① 背景図画像(標準)
- ② 背景図画像(災害)
- ③ 日本地図
- ④ 背景図用レイヤ
- ⑤ 編集用レイヤ

背景図用レイヤ、及び編集用レイヤに属するレイヤは、それぞれの種類の中で表示順位を変更することができます。背景図画像、日本地図、背景図レイヤ、編集用レイヤは透過度を調整することができますので、重なって表示されている情報も確認し易くなっています。



## 2.4 メニュー項目の説明

画面のメニュー項目について、説明します。

## 【プロジェクト】

プロジェクト	ツール	動作条件・制限・注意事項
開く：最後に保存したプロジェクトを開く ：指定したプロジェクトを開く		
保存：プロジェクトを上書きで保存する ：プロジェクトに名前を付けて保存する		
編集：プロジェクトを編集する		
抽出：プロジェクトからレイヤを抽出する		
終了		

開く：最後に保存したプロジェクトを開く	最後に保存したプロジェクトを開きます。
開く：指定したプロジェクトを開く	保存されているプロジェクトの中からプロジェクトを指定して開きます。
保存：プロジェクトを上書きで保存する	読み出したプロジェクト名と同じプロジェクト名で上書き保存します。
保存：プロジェクトを名前を付けて保存する	名前を付けて全レイヤ(編集用、背景図用)のデータをまとめて保存します。
編集：プロジェクトを編集する	プロジェクトの削除、備考の編集ができます。
抽出：プロジェクトからレイヤを抽出する	指定したプロジェクトの中から指定のレイヤを抽出し読み出すことができます。読み出しが可能なレイヤは、点、線、面、テキスト、付箋紙、吹出しです。

## 【ツール】

ツール	動作条件・制限・注意事項
ユーザプロパティの設定	
プロキシサーバの設定	
プログラム起動パス設定	
アイコン画像作成	
文字画像作成	
アイコン参照	
描画情報自動設定(編集用)	
描画情報自動設定(背景図用)	

ユーザプロパティの設定	地図の拡大・縮小をマウスホイールの前操作、後操作のどちらかで行うかを設定することができます。
プロキシサーバの設定	プロキシサーバを経由してインターネットに接続している場合に設定を行います。
プログラム起動パス設定	添付ファイルレイヤに登録したファイルが開けない場合に、そのファイルに対応するソフトのプログラムパスを設定する必要があります。
アイコン画像作成	ポイント(点)レイヤで使用することができるアイコン画像を作成することができます。
文字画像作成	ポイント(点)レイヤで使用することができる文字画像を作成することができます。



## フリーソフトウェアFalconEyeGIS

アイコン参照	システムで提供しているアイコン、及びアイコン画像作成、文字画像作成ツールで作成したアイコンの一覧を表示します。
描画情報自動設定(編集用)	描画属性を設定しないモードで編集用のベクトルファイルを読み込むと、この機能で設定した描画情報が適用されます。
描画情報自動設定(背景図用)	描画属性を設定しないモードで背景図用のベクトルファイルを読み込むと、この機能で設定した描画情報が適用されます。



### 【動作条件・制限注意事項】

動作条件について	本ソフトが動作するために必要な条件について記載しています。
制限注意事項について	本ソフトにおける制限事項、注意事項について記載しています。

### 【著作権等】

著作権について	本ソフトウェアの著作権について記載しています。
承認・許諾、出典について	本ソフトウェアに関する関係省、関係部門の承認・許諾・データの出典元等について記載しています。
サイト(ダウンロードデータ)紹介	政府関連の主要なデータダウンロードサイトを紹介しています。 ボタンをクリックすると、ブラウザが起動し、該当サイトのホームページが表示されます。

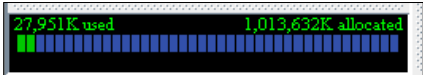
### 【ヘルプ】

GISソフトラボホームページ	ブラウザを起動し、GISソフトラボのホームページを表示します。
バージョン	<p>本ソフトウェアのバージョン、リビジョン情報を表示します。</p> 
Java,モニター	<p>本ソフトウェアが動作しているパソコンのOS名、Javaのバージョン、モニターの仕様等について表示します。</p> 

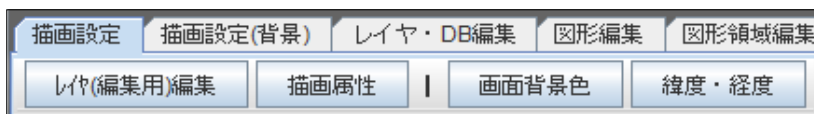
## 【レイヤ選択】

レイヤ選択	編集する対象のレイヤを選択します。 選択されたレイヤに対して、編集、検索、主題図作成等の作業が可能となります。 ※レイヤは、レイヤツリーで選択することもできます。
-------	---

## 【メモリ使用状況バー】

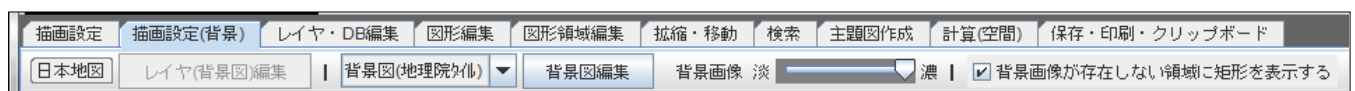
メモリ使用状況バー 	FalconEyeGISが使用可能なメモリサイズ、現在使用中のメモリサイズを1秒周期で表示します。
--	---

## 【描画設定】



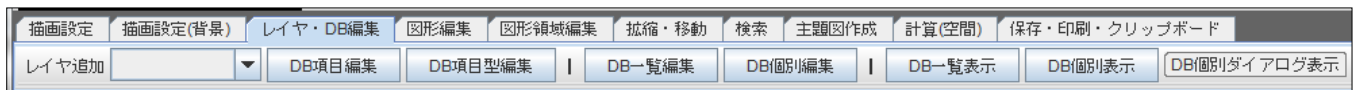
レイヤ(編集用)編集	レイヤ(編集用)一覧を表示します。レイヤの削除、表示・非表示、表示スケールの範囲、描画属性の編集が行え、データ個数、座標点数を表示します。
描画属性	選択されているレイヤの描画属性情報編集ダイアログが表示されます。
画面背景色	地図画面の背景色を設定することができます。
緯度・経度	緯度・経度の表示有無、表示間隔を設定します。

## 【描画設定(背景)】



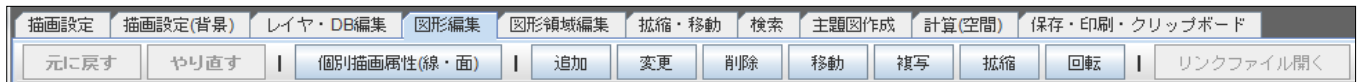
日本地図	海岸線、都道府県境界、市町村境界の表示方法を設定します。
レイヤ(背景図)編集	レイヤ(背景図)一覧を表示します。 レイヤの各種設定が行えます。
背景図(非表示) 背景図(地理院タイル)	背景図を非表示にします。 国土地理院から提供されている地理院タイルの背景図を表示します。
背景図編集	背景図の種別を縮尺の範囲ごとに選択・設定します。
背景画像 濃淡	背景画像の濃淡(透過度)を調整します。
背景画像が存在しない領域に矩形を表示する	その場所に背景画像が存在しないことが認識できます。

## 【レイヤ・DB編集】



レイヤ追加	レイヤを追加します。 メニューからレイヤを選択すると、レイヤの描画属性、DB項目を設定する画面が表示されます。
DB項目編集	DB項目の名称変更、追加、削除、小数点以下桁数等を編集することができます。
DB項目型編集	DB項目の型変更を行うことができます。
DB一覧編集	レイヤの全DB項目値が一覧表画面に表示され、データの編集ができます。この画面からシェープファイル、CSVファイルを出力することができます。
DB個別編集	選択された図形のDB項目値を表示、編集することができます。
DB一覧表示	レイヤの全DB項目値が一覧表画面に表示されます。この画面からシェープファイル、CSVファイルを出力することができます。
DB個別表示	地図画面で選択された図形のDB項目値を表示します。
DB個別ダイアログ表示	図形と線で結ばれた画面(ダイアログ)が表示され、その図形のDB項目値が表示されます。 この画面(ダイアログ)と地図を重ねた状態で、印刷、画像の保存ができます。  ※主題図作成機能の「DB項目値表示」「グラフ表示」でもDB項目値を表示する機能があります。

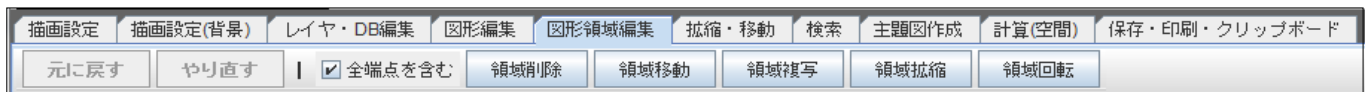
## 【図形編集】



元に戻す	直前の操作を取り消します。 (図形編集、領域編集)
やり直す	取り消した操作をもう一度やり直します。 (図形編集、領域編集)
個別描画属性(線・面)	線レイヤ、面レイヤの図形に関し、レイヤの描画属性と異なる属性を設定します。同一レイヤであることを認識した上でご利用下さい。
追加	レイヤの図形を追加登録します。
変更	レイヤの図形を変更します。
削除	レイヤの図形を削除します。
移動	レイヤの図形を移動します。
複写	レイヤの図形を複写します。
拡大	レイヤの図形を拡大・縮小します。
回転	レイヤの図形を回転します。
添付ファイルを開く	添付ファイルを開きます。

(注意) 画像、Exif画像データの拡大・縮小操作に関しては、「やり直す」「元に戻す」は対応していません。

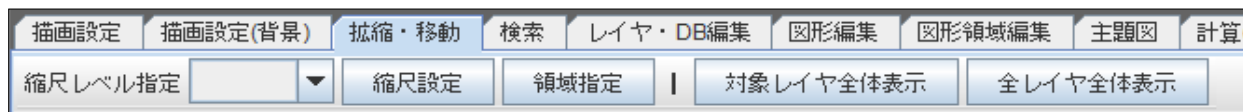
## 【図形領域編集】



元に戻す	直前の操作を取り消します。 (図形編集、領域編集) (注意)参照。
やり直す	直前に取り消した操作をもう一度やり直します。 (図形編集、領域編集) (注意)参照。
全端点を含む	チェック有り: 指定した領域内に図形の全端点が含まれている図形が検索対象になります。 チェック無し: 1端点でも指定領域内にあれば、検索の対象になります。
領域削除	指定した矩形内の図形を削除する。
領域移動	指定した矩形内の図形を移動先の位置に移動します。
領域複写	指定した矩形内の図形を移動先の位置に複写します。
領域拡張	指定した矩形内の図形を矩形の中心を基点に拡大、または縮小移動させます。
領域回転	指定した矩形内の図形を矩形の中心を基点に回転させます。

(注意) 画像、Exif画像データの拡大・縮小操作に関しては、「やり直す」「元に戻す」は対応していません。

## 【拡張・移動】



縮尺レベル指定	
縮尺設定	選択された縮尺で地図を表示します。
領域指定	指定された領域を拡大表示します。
対象レイヤ全体表示	選択されているレイヤの全図形が表示されるように地図を移動、拡大・縮小します。 (注意)参照。
全レイヤ全体表示	全レイヤの全図形が表示されるように地図を移動、拡大・縮小します。 (注意)参照。
ナビゲータ	ナビゲータの地図上をクリックすると、その位置に地図を移動します。

(注意) 画像、Exif画像の場合は、ポイント(点)が画面内に収まるように移動、縮尺を調整します。  
画像が画面からはみ出す場合があります。

【検索】

描画設定	描画設定(背景)	レイヤ・DB編集	図形編集	図形領域編集	拡張・移動	検索	主題図作成	計算(空間)	保存・印刷・クリップボード
DB項目値検索	<input checked="" type="checkbox"/> 全端点を含む	矩形内検索	多角形内検索	円内検索	住所検索	緯度・経度検索(10進数)	緯度・経度検索(度数)		

DB項目値検索	設定された条件式、条件の値で検索し、該当のデータを一覧表に表示します。 検索結果のデータをシェープファイル、CSVファイルに出力することができます。
全端点を含む	チェック有り: 指定した領域内に図形の全端点が含まれている図形が検索対象になります。 チェック無し: 1端点でも指定領域内にあれば、検索の対象になります。
矩形内検索	指定した矩形領域内の図形を検索します。
多角形内検索	指定した多角形内の図形を検索します。
円内検索	指定した円内の図形を検索します。
住所検索	画面より入力された住所を用いて、該当地域に地図を移動します。
緯度・経度検索(10進数)	入力された緯度・経度の位置に地図を移動します。 (1度未満の値を10進表記で入力。例:37.12)
緯度・経度検索(度数)	入力された緯度・経度の位置に地図を移動します。 (度、分、秒の表現で入力。例:37度25分30秒)

【主題図作成】

描画設定	描画設定(背景)	レイヤ・DB編集	図形編集	図形領域編集	拡張・移動	検索	主題図作成
主題図状況一覧	<input checked="" type="checkbox"/> DB項目値表示	段階色区分	項目値色区分	条件式色区分	グラフ表示	円スケール表示	

主題図状況一覧	各レイヤの主題図の設定状況を一覧表で表示します。
DB項目値表示	指定されたDB項目の値を地図の図形上に表示します。
段階色区分	DB項目値の値の大小により図形を色階調表示します。
項目値色区分	項目値の値ごとに設定した色で図形を表示します。
条件式色区分	条件に合致した図形を指定の色で表示します。
グラフ表示	DB項目の値を用いて図形上にグラフを表示します。
円スケール	ポイントレイヤの各ポイント点を中心とした円(最大4つ)のスケールを表示します。

## 【計算(空間)】

描画設定	描画設定(背景)	レイヤ・DB編集	図形編集	図形領域編集	拡張・移動	検索	主題図作成	計算(空間)
距離計算	距離表示(線指定)	距離自動計算		面積計算	面積表示(面指定)	面積自動計算		

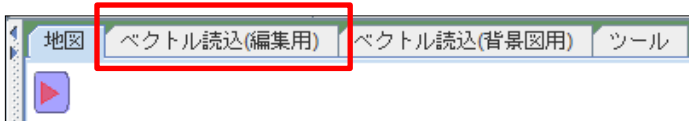
距離計算	地図上の位置をマウスで入力することにより距離を計測し、全距離、各点の位置、各点間の距離を一覧表に表示します。
距離表示(線指定)	指定した図形(線)の距離を計測し、全距離、各点の位置、各点間の距離を一覧表に表示します。
距離自動計算	ポリライン(線)レイヤの全データについて距離の計算を行い、その結果をDB項目「距離」に保存します。
面積計算	地図上の位置をマウスで入力することにより面積を計測し、面積、周囲長、各点の位置、各点間の距離を一覧表に表示します。
面積表示(面指定)	指定した図形(面)の面積を計測し、面積、周囲長、各点の位置、各点間の距離を一覧表に表示します。
面積自動計算	ポリゴン(面)レイヤの全データについて面積、周囲長の計算を行い、その結果をDB項目「面積」「周囲長」に保存します。

## 【保存・印刷・クリップボード】

描画設定	描画設定(背景)	レイヤ・DB編集	図形編集	図形領域編集	拡張・移動	検索	主題図作成	計算(空間)	保存・印刷・クリップボード
SHAPE出力	CSV出力	画像保存	印刷	地図画面⇒クリップボード					

SHAPE出力	選択されているレイヤの情報をシェープファイルとして出力します。 ※世界測地系、緯度経度座標系。
CSV出力	選択されているレイヤの情報をCSVファイルとして出力します。 ※世界測地系、緯度経度座標系。
画像保存	現在表示中の地図画面を画像ファイルとして出力します。 ※ファイル形式: PNG, GIF, JPG, BMP
印刷	現在表示中の地図画面を印刷します。印刷プレビュー画面が表示され、印刷のサイズを調整することができます。
地図画面⇒クリップボード	地図の画像をパソコンのクリップボードにコピー・記憶します。 他のソフトにその画像を貼り付けることができます。

## 【ベクトル読み込み(編集用)(タブ)】



## 世界測地系

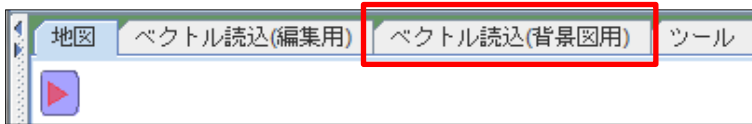
SHAPE 緯度・経度座標系	世界測地系、緯度経度座標系のシェープファイルを読み込みます。
SHAPE 平面直角座標系 1系～19系	世界測地系、平面直角座標系のシェープファイルを読み込みます。
基盤地図情報JPGIS2.0,2.1 ・縮尺レベル2500 ・縮尺レベル25000 ・測量の基準点 ・街区の測量点及び代表点	「基盤地図情報サイト」よりダウンロードしたJPGIS2.0,2.1規格、XML形式のファイルを直接読み込むことができます。
基盤地図情報JPGIS2.0(GML),2.1(GML) ・縮尺レベル2500 ・縮尺レベル25000 ・測量の基準点 ・街区の測量点及び代表点	「基盤地図情報サイト」よりダウンロードしたJPGIS2.0(GML),2.1(GML)規格、XML形式のファイルを直接読み込むことができます。
CSV形式	DB項目値＋座標データ形式のデータ。
GPX形式	GPX形式のデータ。

## 日本測地系

SHAPE 緯度・経度座標系	日本測地系、緯度経度座標系のシェープファイルを読み込みます。
SHAPE 平面直角座標系 1系～19系	日本測地系、平面直角座標系のシェープファイルを読み込みます。



【ベクトル読込(背景図用)(タブ)】



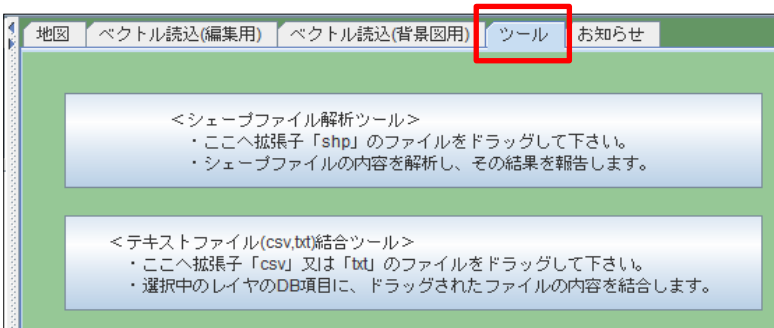
世界測地系

SHAPE 緯度・経度座標系	世界測地系、緯度経度座標系のシェープファイルを読み込みます。
SHAPE 平面直角座標系 1系～19系	世界測地系、平面直角座標系のシェープファイルを読み込みます。
基盤地図情報JPGIS2.0,2.1 ・縮尺レベル2500 ・縮尺レベル25000 ・測量の基準点 ・街区の測量点及び代表点	「基盤地図情報サイト」よりダウンロードしたJPGIS2.0,2.1規格、XML形式のファイルを直接読み込むことができます。
基盤地図情報JPGIS2.0(GML),2.1(GML) ・縮尺レベル2500 ・縮尺レベル25000 ・測量の基準点 ・街区の測量点及び代表点	「基盤地図情報サイト」よりダウンロードしたJPGIS2.0(GML),2.1(GML)規格、XML形式のファイルを直接読み込むことができます。
CSV形式	DB項目値＋座標データ形式のデータ。

日本測地系

緯度・経度座標系	日本測地系、緯度経度座標系のシェープファイルを読み込みます。
平面直角座標系 1系～19系	日本測地系、平面直角座標系のシェープファイルを読み込みます。

【ツール】

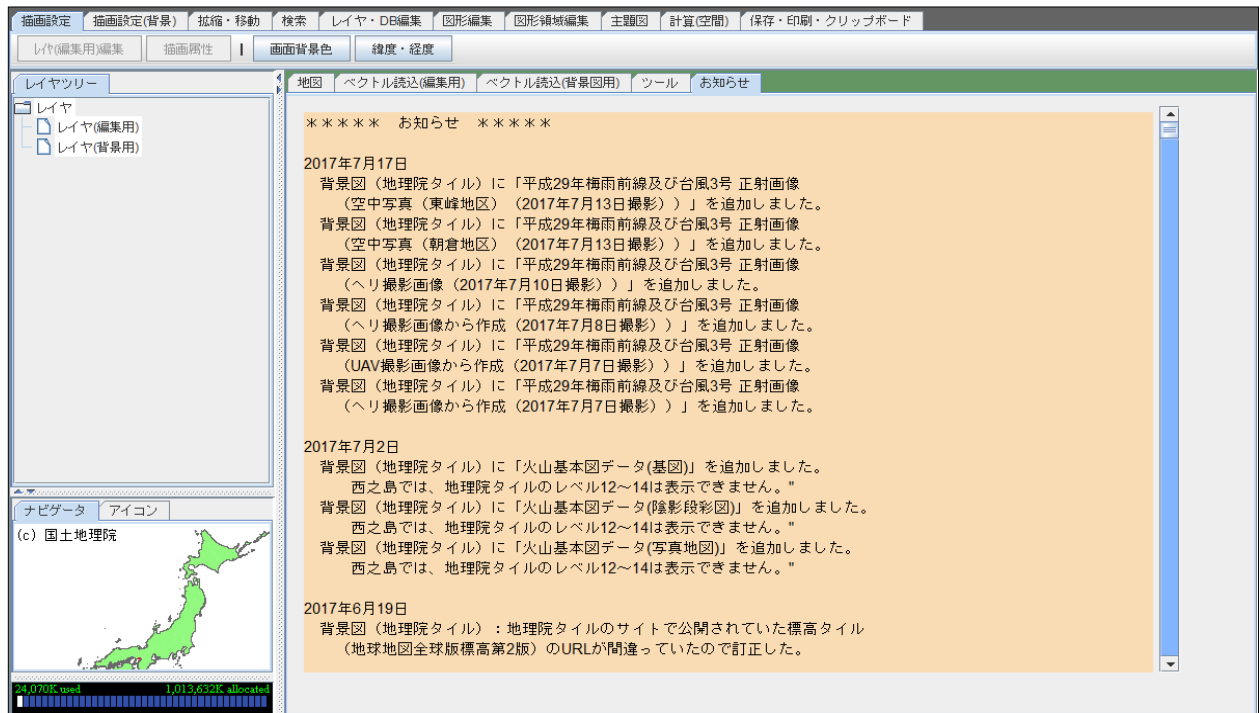


シェープファイル解析ツール	シェープファイルの内容を参照し、測地系、座標系の種類、図形の種別、レコード数、項目名、データ型等を解析し、報告します。
テキストファイル(csv,txt) 結合ツール	テキストファイルに設定されているDB項目情報、DB項目値を現在選択中のレイヤに追加します。 ※キー項目値が一致するレコードにDB項目値が設定されます。

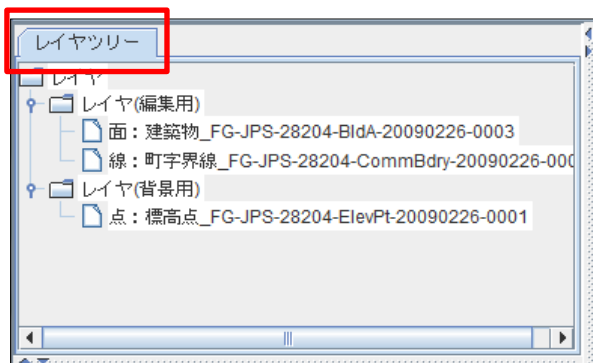


【お知らせ】

GISソフトラボより、いろいろな情報をお伝えします。



【レイヤツリー(タブ)】



レイヤツリー(タブ)	<p>ツリーの分岐箇所をクリックすると、ツリーを閉じたり、開いたりすることができます。</p> <p>「レイヤ(編集用)」「レイヤ(背景用)」を左クリックすると「レイヤ(編集用)編集」「レイヤ(背景用)編集」画面を表示します。</p> <p>レイヤ名を右クリックすると描画属性の編集画面が表示されます。</p>
------------	---

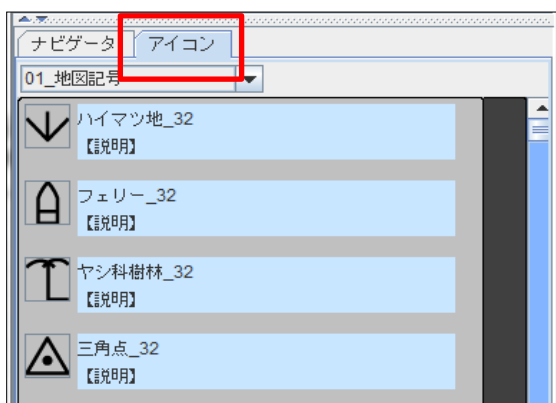
## 【ナビゲータ(タブ)】



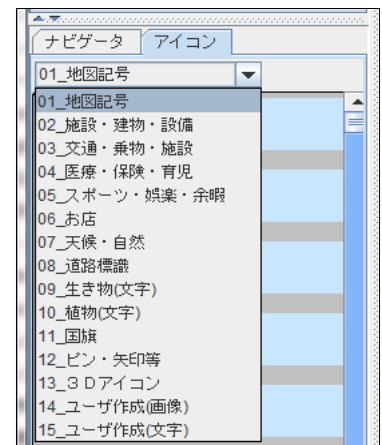
### ナビゲータ(タブ)

地図の縮尺に応じて、自動で世界地図、日本地図に切り替わります。  
ナビゲータの地図上をクリックすると、その位置に地図が移動します。

## 【アイコン(タブ)】



アイコンは15種類の  
グループから  
構成されています。

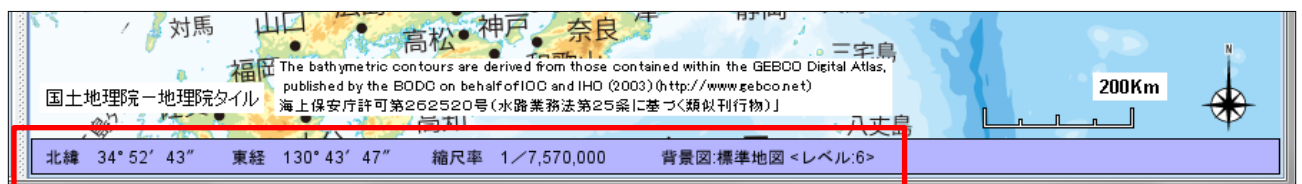


### アイコン(タブ)

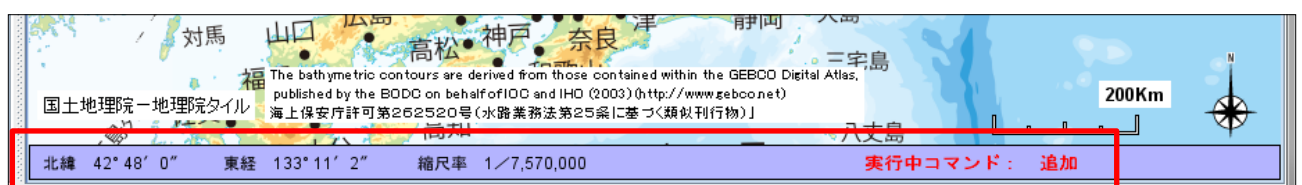
ポイント(点)レイヤで、データを追加するときに、この一覧からマウスでドラッグし、地図に配置することができます(レイヤで設定されているアイコン以外のアイコンを設定する場合)。  
アイコンをマウス左ボタンで押し、その状態で地図まで移動して、希望の位置でマウスボタンを離すと位置が確定し、登録されます。

## 【インフォメーションパネル】

マウス位置の緯度・経度、縮尺率、背景図の種別、縮尺レベルを表示します。



図形編集コマンドの実行中はマウス位置の緯度・経度、縮尺率、現在実行中のコマンド名を表示します。



本章では、背景地図画像とベクトルデータ(レイヤの図形データ)について説明します。

- ・背景地図
- ・編集用地図データ
- ・地図データ(ベクトルデータ)の入手方法

### 3.1 背景地図

背景図は、以下の3種類から構成されています。

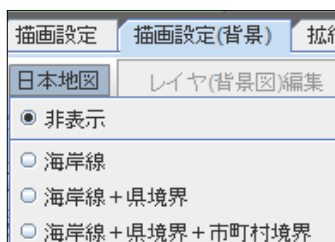
- ・日本地図(海岸線、都道府県境界、区域境界)  
システムで事前に用意している日本地図の図形(ベクトル)データです。
- ・背景地図画像  
表示・非表示、背景図画像種別の選択等ができます。  
国土地理院のサーバより背景図画像を取得し、表示しています。
- ・背景図用ベクトルデータ  
ご利用者様で用意して頂くデータ(シェープファイル、JPGIS等のベクトルファイル)です。  
DB項目のデータを扱う必要がなく、図形のみを表示(背景図)を目的とした場合に適しています。

#### (1) 背景地図(海岸線、都道府県境界、区域境界)

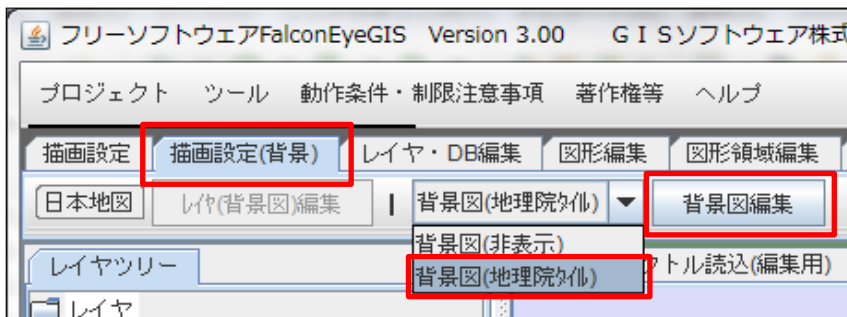
以下から選択できます。

- ・表示しない。
- ・海岸線のみを表示する。
- ・海岸線と都道府県境界を表示する(都道府県境界はあるスケール値を境に表示されなくなります)。
- ・海岸線と都道府県境界と市町村境界を表示する(都道府県境界、市町村境界はそれぞれあるスケール値を境に表示されなくなります)。

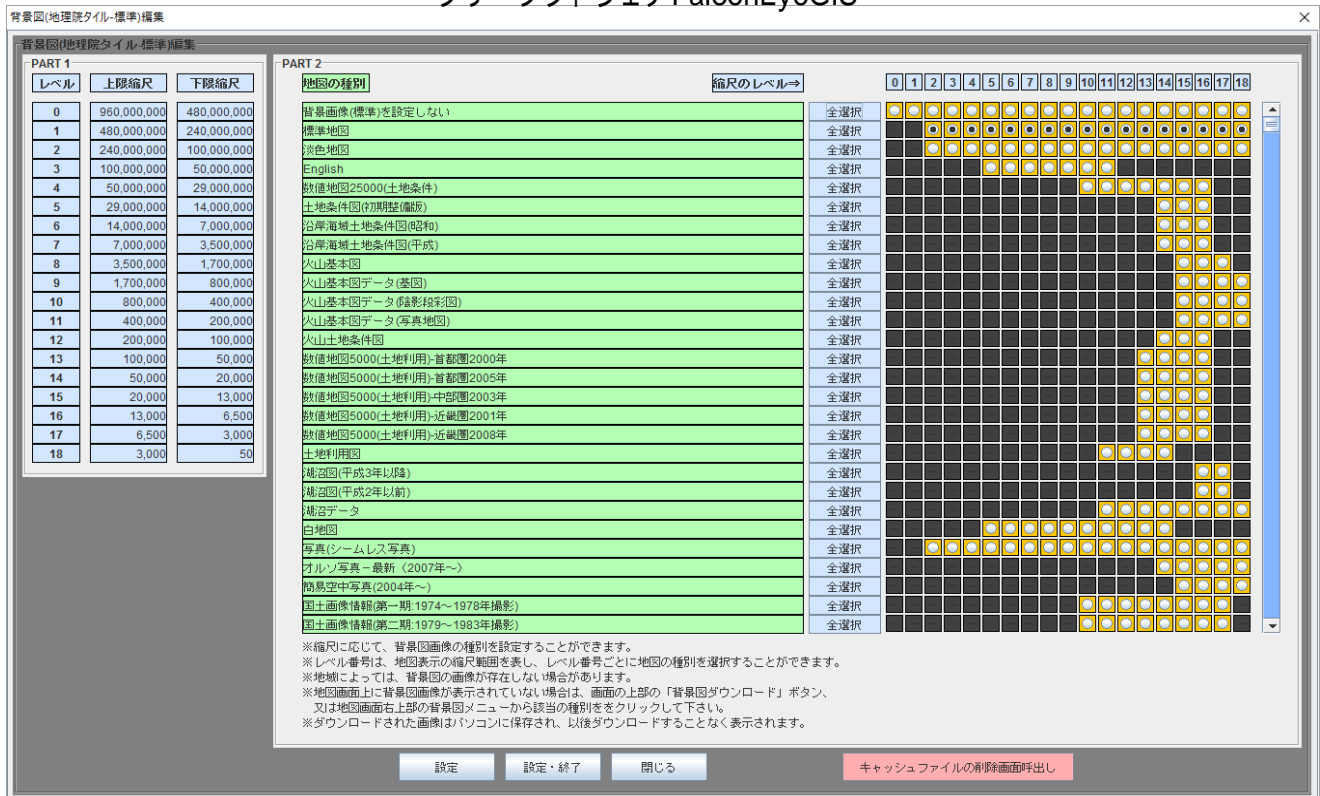
地図画面の基本地図として表示しておくくと便利です。  
現在の地図の位置、縮尺の程度を確認できます。



#### (2) 背景地図画像



「描画設定(背景)」タブを選択し、リストから「背景図(地理院タイル)」をクリックすると「背景図(編集用)」ボタンが活性化しますので、このボタンをクリックします。



縮尺の範囲を表すレベル番号ごとに、背景図の種別を選択します。

## 【背景図ダウンロード】

「背景図ダウンロード」ボタンをクリックすると現在表示中の領域内の背景図画像がダウンロードされ、画面に表示されます。一度ダウンロードされた背景図画像のファイルはパソコン内に保存(キャッシュ)され、以後はそのファイルを用いて背景図が表示されます(ダウンロードの操作が不要になります)。



以下の操作でも背景図画像が自動的にダウンロード、表示されます。

- ・「背景図編集」
- ・「縮尺設定」
- ・「領域指定」
- ・「住所検索」
- ・「緯度・経度」
- ・地図画面の右上に表示されている背景図メニューでメニュー項目をクリックした場合

マウスで、地図をドラッグして移動した場合、及びマウスホイールで地図を拡大・縮小した場合は背景図画像はダウンロードされません。

## 【更新ダウンロード】

画面に表示されている領域内の背景地図の画像をキャッシュから削除し、最新の画像ファイルを取得し直します(キャッシュします)。

## 【背景図⇒シャープ】

背景図画像は、設定されている縮尺に合わせて、画像を拡大・縮小表示しているために、画像に若干の歪みが発生しますが、このボタンをクリックすることにより、画像の歪みが少ない縮尺に変更して背景図を表示します。

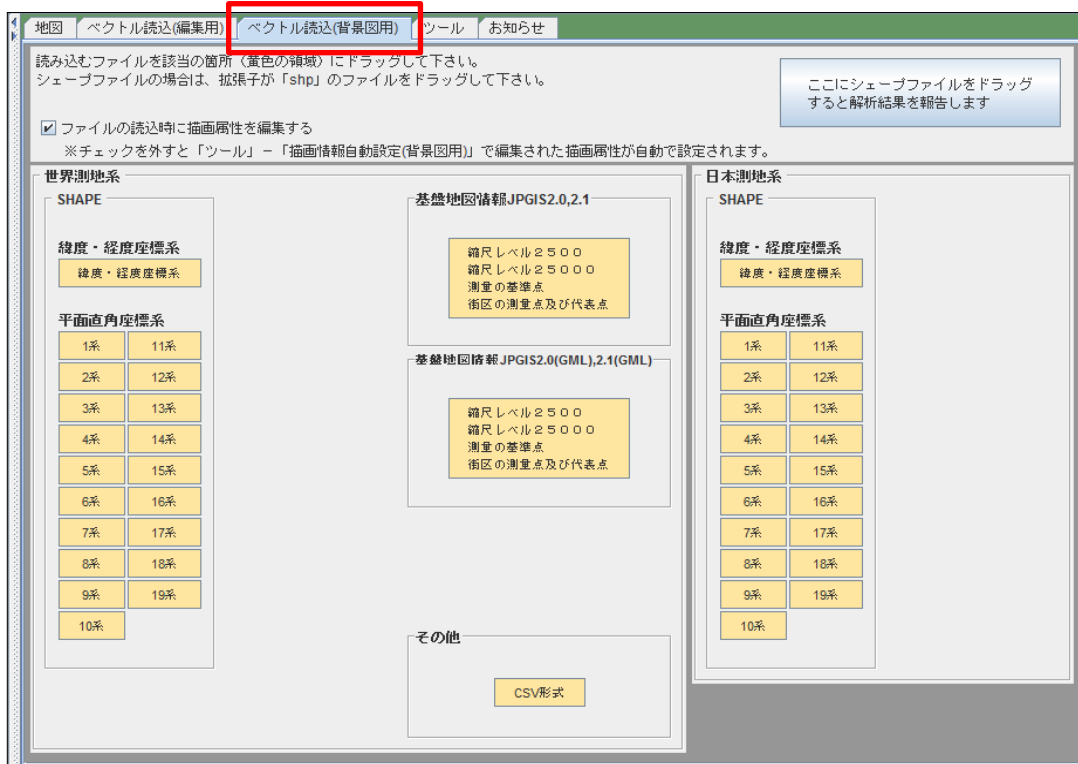
## 【背景図の濃淡スライダー】

背景図画像の濃淡を調整することができます。  
(画像の透過度を調整しています)

## (3) 背景用ベクトルデータ

シェープファイル、基盤地図情報でダウンロードしたファイル、CSVファイル等を背景図として表示することができます(図形、DB項目の編集、検索、主題図の作成等はできません)。編集用のレイヤよりも先に表示されます(編集レイヤの下に表示されます)。

ファイルの読み込みは、「ベクトル読み込(背景図)」タブの画面から行います。



ファイルの読み込みが完了すると、そのデータのレイヤ種別に応じた描画属性情報の編集画面が表示されます。

描画属性情報の設定方法については、「5. 4 描画属性情報の設定」を参照して下さい。

### 3. 2 編集用地図データ

編集用レイヤとしてベクトルデータのファイルを読み込むと、図形の編集、DB項目の編集、主題図の作成等が行えます。

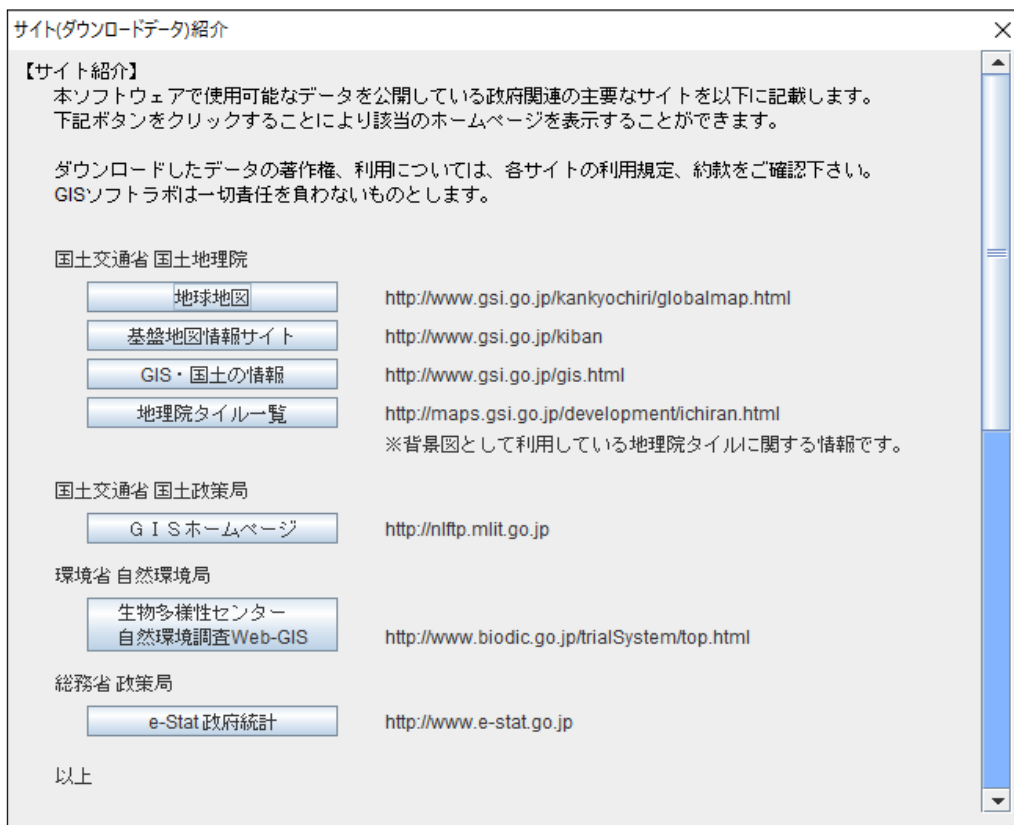
画像レイヤ、Exif画像レイヤ、添付ファイルレイヤ、付箋紙レイヤ、吹出しレイヤは編集用レイヤのみで扱うことができます。

### 3. 3 地図データ(ベクトルデータ)の入手方法(サイトの紹介)

地図のベクトルデータを入手することができる主要な政府関連のサイトを紹介しています。ボタンをクリックすると、該当のサイトのホームページが表示されます。

※ブラウザを起動させるためには、事前にブラウザのプログラムパスを設定しておく必要があります。設定方法については、「14. 1 プログラム起動パス設定」を参照して下さい。

- ・地球地図
- ・GISホームページ
- ・生物多様性センター
- ・基盤地図情報サイト
- ・e-Stat政府統計





#### 4. レイヤ(データの階層)について

本章では、以下について説明しています。

- レイヤの種類
- レイヤに対する操作
  - ・レイヤの新規作成
  - ・DB項目の編集
  - ・DB項目の型編集
  - ・レイヤ情報の編集と確認

##### 4.1 レイヤの種類

フリーソフトウェアFalconEyeGISでは、9つのレイヤを扱うことができます。  
以下に、各レイヤの特徴について説明します。

ポイント(点)
位置座標の情報を持つ点データ。 ポイントのアイコンを選択し、地図上に表示することができます。 レイヤを代表するアイコンを一つ設定しますが、各データごとにアイコンを設定することもできます。 ※各データごとにアイコンの設定:個別描画属性(線・面) ※「アイコン画像作成ツール」「文字画像作成ツール」で独自のアイコンを作成し、それを使用することも可能です。

ポリライン(線)
2点以上の座標情報を持ち、図形が閉じていない線のデータ。 線の色、透過度合い、線種、線幅を設定することができます。

ポリゴン(面)
図形が閉じている面のデータ。 矩形の色、透過度合い、枠線の線種、線幅、及び矩形内の塗潰しの色、透過度合いを設定することができます。

テキスト(文字)
文字情報のデータ。 文字種別、フォント種別の指定ができます。 文字の枠線の線種、線幅、及び線の色(透過度合いの設定も可能)を設定することができ、文字枠内の塗潰しの色(透過度合いの設定も可能)を設定することができます。 文字の拡大、縮小表示、回転表示が可能です。

画像
設置点の座標情報と画像の表示位置、サイズ等の情報を持つ画像データ。 設置点と画像の表示位置を設定でき、それぞれの表示位置を調整できます。 画像の拡大、縮小表示、回転表示が可能です。 画像を小さなアイコンに切替えて表示することもできます。

Exif画像(位置情報付き画像)
ファイルを地図上にドラッグすると、その画像の撮影時の位置情報を用いて、地図上に画像を登録・表示します。 画像の拡大、縮小表示が可能です。 画像を小さなアイコンに切替えて表示することもできます。

#### 添付ファイル

ファイルを地図上にドラッグすると、その位置にアイコンが表示され、レイヤに登録されます。  
 添付ファイルを開く場合は、「図形編集」の「添付ファイルを開く」を選択し、地図上の添付ファイルのアイコンをダブルクリックします。  
 ファイルが開けない場合は「14. 1 ツール」の「プログラム起動パス設定」でプログラムのパスを登録することにより、添付ファイルを開くことができるようになります。

#### 付箋紙

地図上に付箋紙を貼り付けることができます。

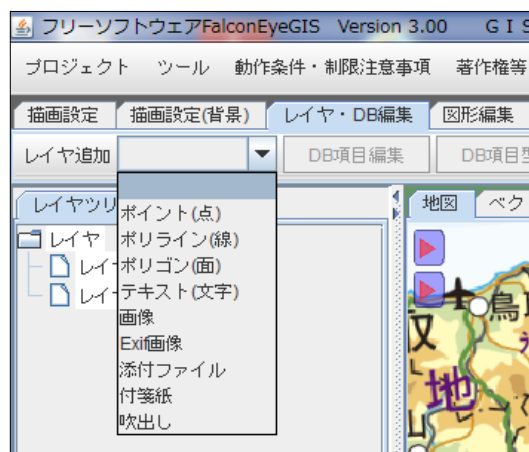
#### 吹出し

地図上に吹出しを貼り付けることができます。

## 4. 2 レイヤに対する操作

### (1) レイヤの新規作成

- ・「レイヤ・DB編集」タブを選択します。
- ・レイヤ追加のコンボボックスよりレイヤの種類を選択します。



- ・DBの項目情報を編集する。

編集の方法として、以下の3種類があります。

- ① 個別にDB項目名、データ型を設定する。
- ② 「システムで予約済みの項目を設定する(1)」を選択する。
- ③ 「システムで予約済みの項目を設定する(2)」を選択する。

DB項目名を入力し、データ型を選択して下さい。  
 データ型が実数の場合は、小数点以下桁数を選択して下さい。

DB項目名は、全角文字の場合は、5文字まで、半角文字の場合は、10文字までです。  
 新規に追加できる項目数は10個までです。10個を超える場合は、レイヤの新規作成後、再度「DB項目編集」の画面を呼び出し、追加して下さい。  
 項目数は最大255個までです。



DB項目編集 (ファイル名: 東京都人口SHAPE.shp)

☒ 個別に項目を追加する  
☐ システムで予約済みの項目を追加する(1)  
☐ システムで予約済みの項目を追加する(2)

【項目名】	【データ型】	【小数点以下桁数】
面積	文字	
datano	整数	
hiritu	実数	2
	文字	
	文字	
	文字	
	文字	
	文字	
	文字	
	文字	

※以下は読み込みファイルのDB項目定義

【項目名】	【データ型】	【小数点以下桁数】	
世帯数	整数型		<input type="checkbox"/> 読み込み対象外にする
人口	整数型		<input type="checkbox"/> 読み込み対象外にする
人口 (男)	整数型		<input type="checkbox"/> 読み込み対象外にする
人口 (女)	整数型		<input type="checkbox"/> 読み込み対象外にする
人口密度	整数型		<input type="checkbox"/> 読み込み対象外にする
前年比増減	整数型		<input type="checkbox"/> 読み込み対象外にする
増減率	実数型	2	<input type="checkbox"/> 読み込み対象外にする
都道府県名	文字型		<input type="checkbox"/> 読み込み対象外にする
郡区名	文字型		<input type="checkbox"/> 読み込み対象外にする
市町村名	文字型		<input type="checkbox"/> 読み込み対象外にする

設定・終了      キャンセル

## ・DB項目名「説明」について

名称が「説明」のDB項目は、複数行の文章が入力でき、入力領域も大きくなります。

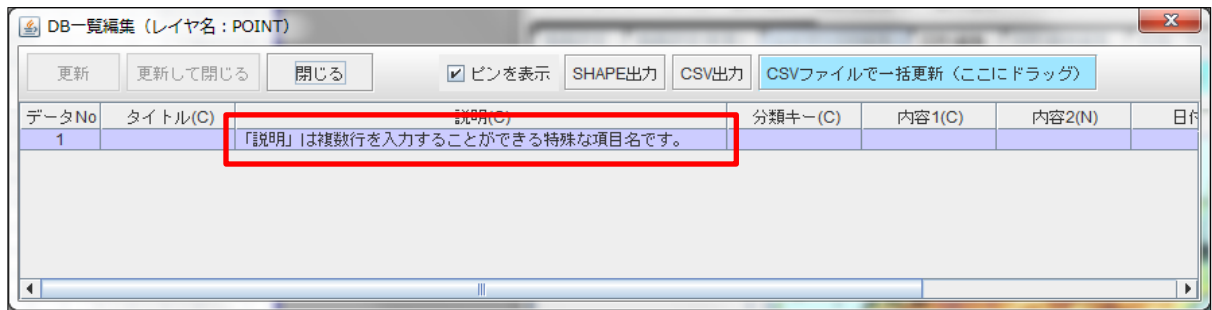
追加 (レイヤ名: POINT)

データNo: 1

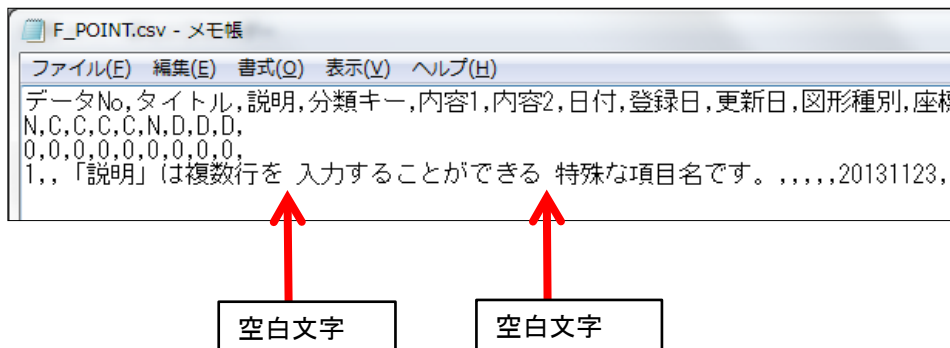
【項目名】	【データ型】	【小数点以下桁数】	【項目値】
タイトル	文字型		
説明	文字型		「説明」は複数行を 入力することができる 特殊な項目名です。
分類キー	文字型		
内容1	文字型		
内容2	数値型	0	
日付	日付型		
登録日	日付型		20131123

クリア      登録

「DB一覧編集」「DB一覧表示」画面では、改行せずに、1行で表示されます。



CSV出力時は改行コード(情報)を空白文字に変換して、ファイルに出力します。



「DB個別ダイアログ表示」画面では、入力画面と同様に改行して表示します。

※「DB個別ダイアログ表示」画面は、「印刷」、及び「画像の保存」で地図と重ねて印刷、画像の保存ができます。



・DB項目が0個の状態、登録した場合について

DB項目の定義情報が0個の状態に登録された場合、内部的に「内容1」(文字型)というDB項目を作成します(本システムでは、1個以上のDB項目が存在しなければなりません)。

DB項目が「内容1」の1個のみである場合は、新規に図形を登録するとき、及び個別の複写時にDB項目の入力画面が表示されません。連続して図形の追加、複写ができます。  
※後でDB項目一覧編集画面からまとめて項目値を入力することもできます。

(2) DB項目の編集

DB項目の追加、不要なDB項目の削除等の編集ができます。

編集機能	説明
DB項目の追加	最大255個まで登録が可能です。
DB項目の削除	一度削除すると復元することはできません。
DB項目の名称変更	半角英数字10文字まで、全角文字であれば5文字までです。
小数点以下桁数の変更	0桁～19桁の範囲で設定できます。0桁を設定すると整数表示になります(小数点が表示されません)。

DB項目編集 (レイヤ名: 東京都-人口分布)

【制限】項目名は、半角10文字以内、全角5文字以内で設定して下さい。

【項目名】	【データ型】	【小数点以下桁数】	
* a18	文字		<input type="checkbox"/> 削除
* 世帯数	数値	0	<input type="checkbox"/> 削除
* 人口	数値	0	<input type="checkbox"/> 削除
* 人口(男)	数値	0	<input type="checkbox"/> 削除
* 人口(女)	数値	0	<input type="checkbox"/> 削除
* 人口密度	数値	0	<input type="checkbox"/> 削除
* 前年比増減	数値	0	<input type="checkbox"/> 削除
* 増減率	数値	2	<input type="checkbox"/> 削除
* 都道府県名	文字		<input type="checkbox"/> 削除
* 郡区名	文字		<input type="checkbox"/> 削除
* 市町村名	文字		<input type="checkbox"/> 削除
* 市町村番号	文字		<input type="checkbox"/> 削除
	文字		<input type="checkbox"/> 削除
	文字		<input type="checkbox"/> 削除
	文字		<input type="checkbox"/> 削除
	文字		<input type="checkbox"/> 削除
	文字		<input type="checkbox"/> 削除

設定・終了      閉じる

データの型について  
データの型は以下の3種類です。

データ型	説明
文字型	半角英数字、全角文字が使用できます。 最大文字数は255文字です。 ※255文字を超えているDB項目値があり、そのレイヤをシェープファイルに出力した場合は、Memo型(M)として出力されます。
数値型	整数、実数が扱えます。 ・整数値の範囲 -9223372036854775808～9223372036854775807 ・実数値の範囲 マイナス:-1.79769313486231570E+308 ～ -4.94065645841246544E-324 プラス:4.94065645841246544E-324 ～ 1.79769313486231570E+308 小数点以下桁数は1～19を指定できます。
日付型	8桁固定の書式です。 (例) 2013年1月2日の場合 … 「20130102」

### (3) DB項目の型編集

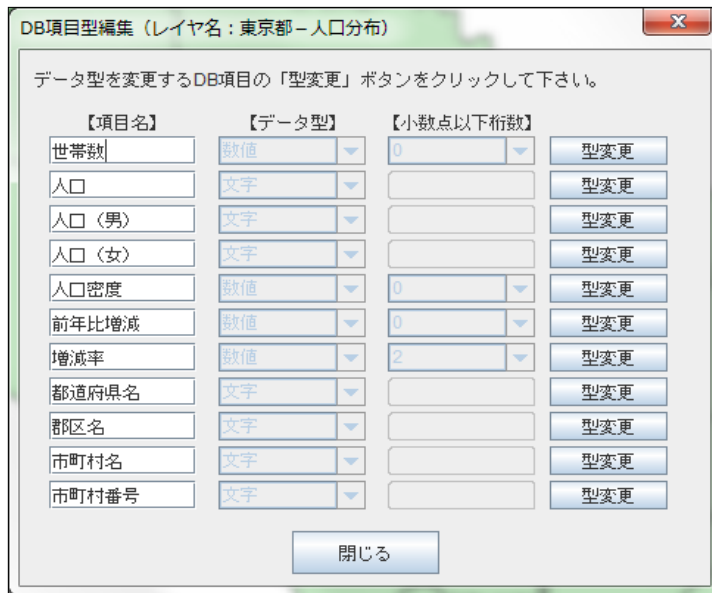
DB項目のデータ型を変更することができます。

読み込んだファイルの数値データの型が文字型で定義されている場合に、そのDB項目を数値型に変更し、数値型としての検索、主題図の作成等ができるようになります。

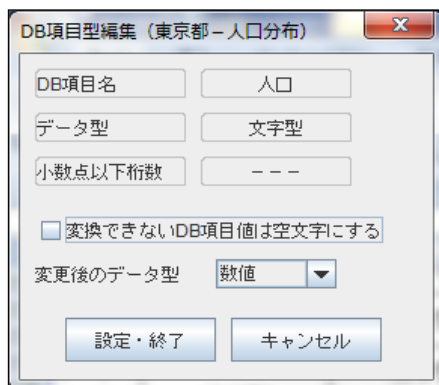
変更元の型	変更先の型	説明
文字型	数値型	数字の文字列を数値型に変更します。 ※一覧表でのソートは、数値として並び換えられるようになります。 ※主題図の各機能で、数値として扱うことが可能になります。
	日付型	日付を数値型に変更します。
数値型	文字型	数値を文字型に変更します。
	日付型	数値を日付型に変更します。
日付型	文字型	日付を文字型に変更します。 8桁の年月日の情報が8桁の文字列に変更されます。
	数値型	日付を数値型に変更します。 8桁の年月日の情報が8桁の数値に変更されます。 ※一覧表でのソートは、数値として並び換えられるようになります。 ※主題図の各機能で、数値として扱うことが可能になります。

※変換できないデータがあれば、エラーになります。

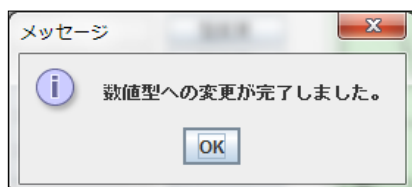
※変換時のオプションで、エラーが発生する箇所を空文字にすることも可能です。



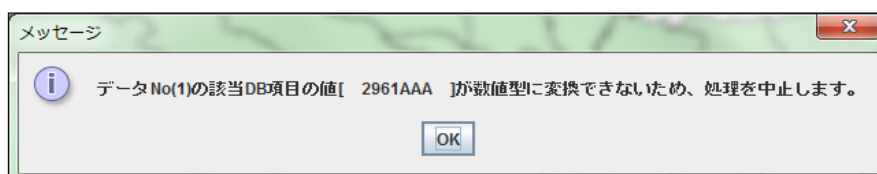
「型変更」ボタンをクリックすると、型変更の画面が表示されます。



変更後のデータ型を選択し、「設定・終了」ボタンをクリックすると、データ型が変更され、以下のメッセージが表示されます。



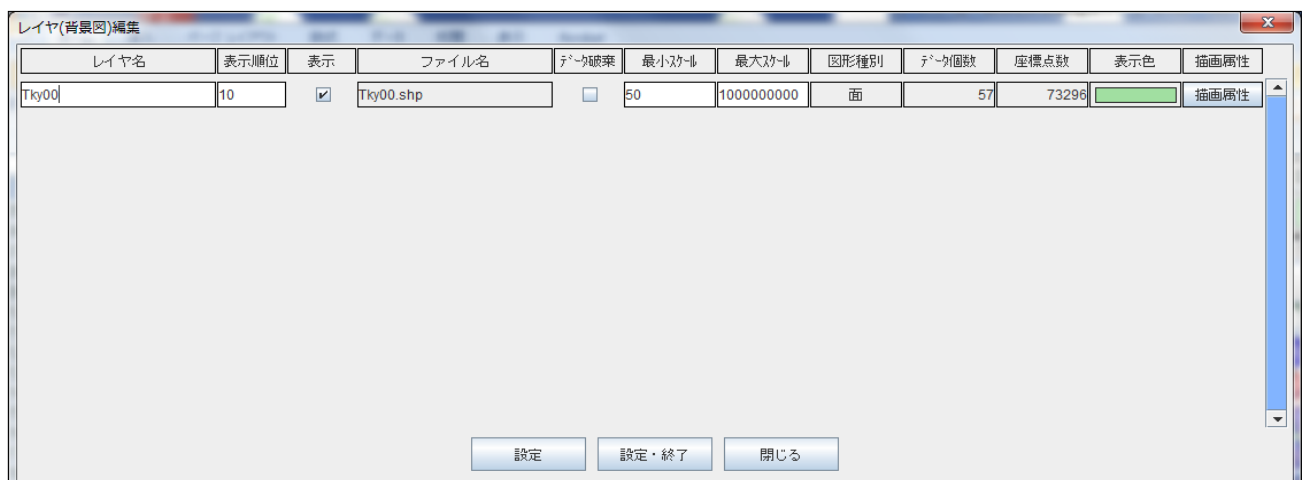
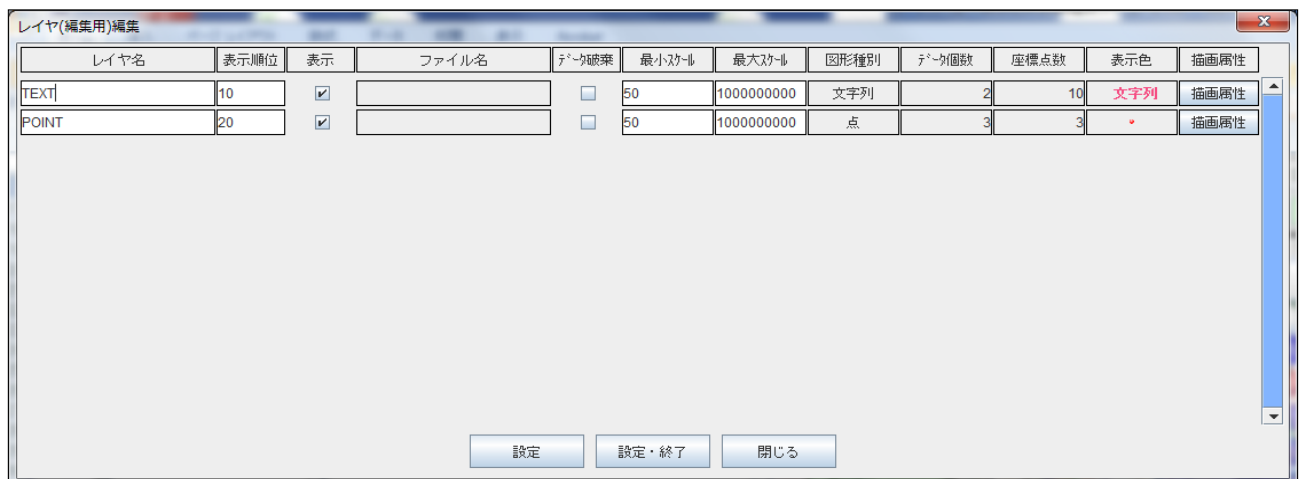
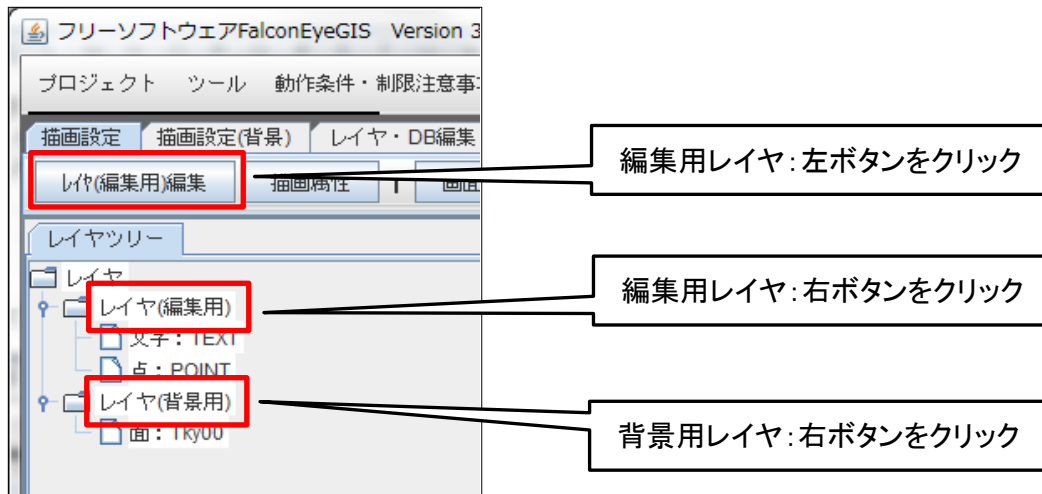
型変更ができないデータ値がある場合、以下のようなエラーメッセージが表示されます。



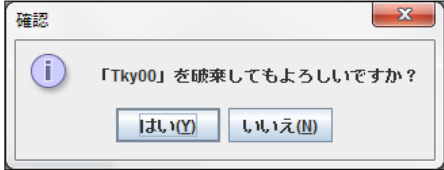
「変換できないDB項目値は空文字にする」にチェックを入れると、型変更ができないデータは、空文字に書き換えます。エラーメッセージは表示されません。  
(注意)一旦、空文字に書き換えられると、元の値に戻すことはできません。

#### (4) レイヤ情報の編集と確認

レイヤ(編集用)の画面、レイヤ(背景用)の画面は、下図の方法で表示することができます。



【編集項目】

項目	説 明
レイヤ名	半角英数字、全角文字が使用できます。 文字数に制限はありませんが、長過ぎる場合は、画面の表示欄に収まらない場合があります。
表示順位	ファイルを読み込むごとに、もしくは新規レイヤを登録するごとに最終順位に10(最終順位が端数の場合は10以上の値)が加算された値が設定されます。  表示順位を変更する場合、例えば、10の後に表示、20より前に表示であれば、11～19を設定して下さい。
表示(有無)	表示、非表示の切替え設定ができます。
データ破棄	チェックを入れて「設定」または「設定・終了」をクリックするとレイヤのデータを破棄するかどうかの確認メッセージが表示されます。 (注意)一旦、破棄されると、復元することはできません。  
最少スケール	該当レイヤが表示される縮尺の範囲の最少縮尺値です。 地図の縮尺が、ここで設定したスケール値より小さい縮尺になった場合、このレイヤは地図上に表示されなくなります。  縮尺に応じて、どのレイヤを表示するかを制御できます。
最大スケール	該当レイヤが表示される縮尺の範囲の最大縮尺値です。 地図の縮尺が、ここで設定したスケール値より大きく縮尺になった場合、このレイヤは地図上に表示されなくなります。  縮尺に応じて、どのレイヤを表示するかを制御できます。
描画属性ボタン	レイヤの種別に応じた描画属性の編集画面を呼び出します。 編集方法については、「5. 4 描画属性情報の設定」を参照。

【確認項目】

項目	説明
ファイル名	読み込んだファイルの名称が表示されます。 (画面から新規レイヤを登録した場合は空白です)  ファイルの表示エリアにマウスのフォーカスをあてると、そのファイルを読み込んだときのフルパスファイル名が表示されます。  ※どのファイルを読み込んで作成されたレイヤかを確認できます。
図形種別	図形(レイヤ)の種別が以下の略称で表示されます。 ・ポイント(点)レイヤ     ... 点 ・ポリライン(線)レイヤ   ... 線 ・ポリゴン(面)レイヤ     ... 面 ・テキストレイヤ           ... 文(または文字列) ・画像レイヤ                ... 画(または画像) ・Exif画像レイヤ           ... E画(またはExif画像) ・添付ファイルレイヤ      ... 添(または添付ファイル) ・付箋紙レイヤ             ... 付(または付箋紙) ・吹出しレイヤ             ... 吹(または吹出し)
データ個数	マルチ図形(複数の図形から成るデータ)は、データ個数としては、1個とカウントします。 ※この情報により、どのレイヤのデータがメモリを多く消費しているかを判断するための目安になります。
座標点数	レイヤに属している全図形の座標の合計数です。 ※この情報により、どのレイヤのデータがメモリを多く消費しているかを判断するための目安になります。
表示色	そのレイヤの描画サンプルです。 画像、Exif画像、添付ファイルレイヤの場合は、空白です。



## 5. ベクトルデータの読み込み      フリーソフトウェアFalconEyeGIS

本章では、シェープファイル、基盤地図情報JPGISファイル、CSVファイル、GPXファイルの読み込み、及び描画属性情報の設定方法について説明します。

ベクトルデータ(ファイル)は、編集用のレイヤ、または背景図用のレイヤとして読み込むことができます。背景図用のレイヤとして読み込んだ場合は、DB項目の情報は読み込まれず、図形の表示のみとなり、図形の編集もできません。

### 【編集用】

世界測地系	
SHAPE	緯度経度
	平面直角座標系1系～19系
基盤地図情報 JPGIS2.0、JPGIS2.1	縮尺レベル2500
	縮尺レベル25000
	測量の基準点
	街区の測量点及び代表点
基盤地図情報 JPGIS2.01(GML)、JPGIS2.1(GML)	縮尺レベル2500
	縮尺レベル25000
	測量の基準点
	街区の測量点及び代表点
その他	CSV形式
	GPX形式

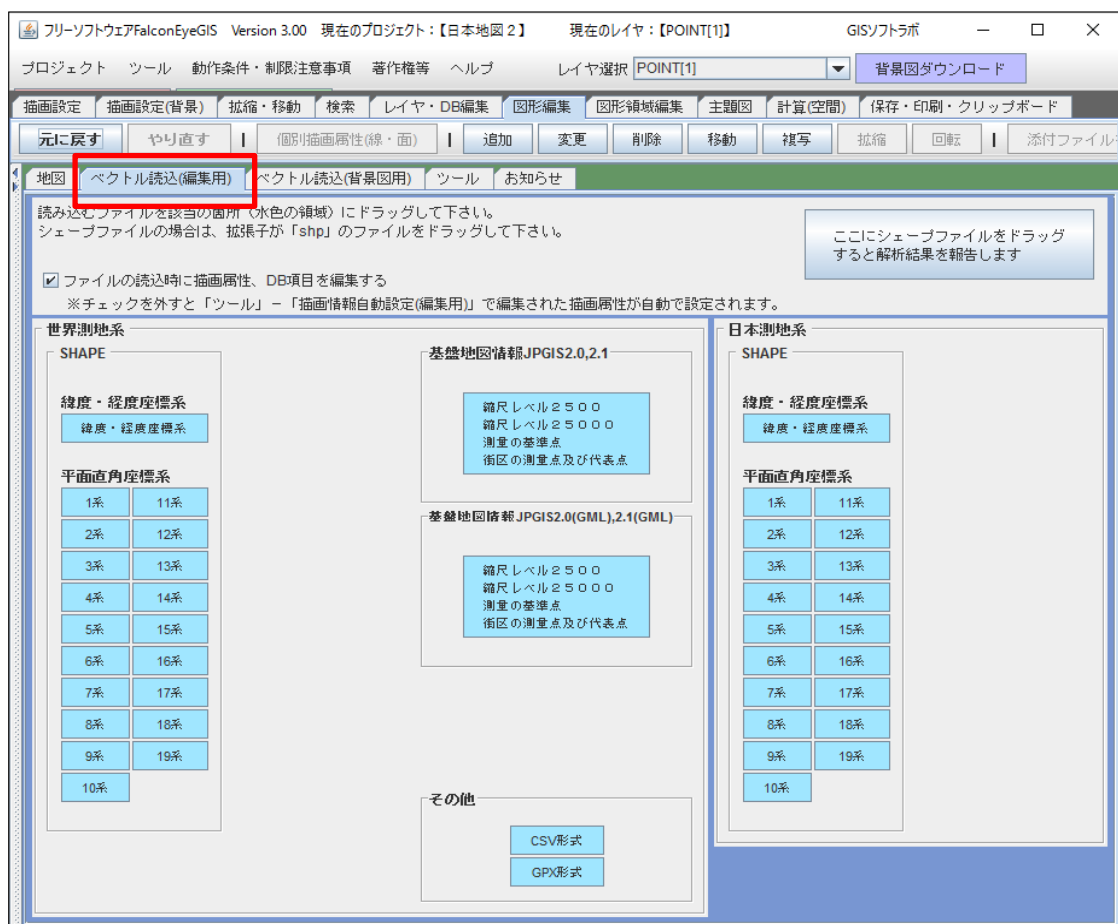
日本測地系	
SHAPE	緯度経度
	平面直角座標系1系～19系

### 【背景図用】

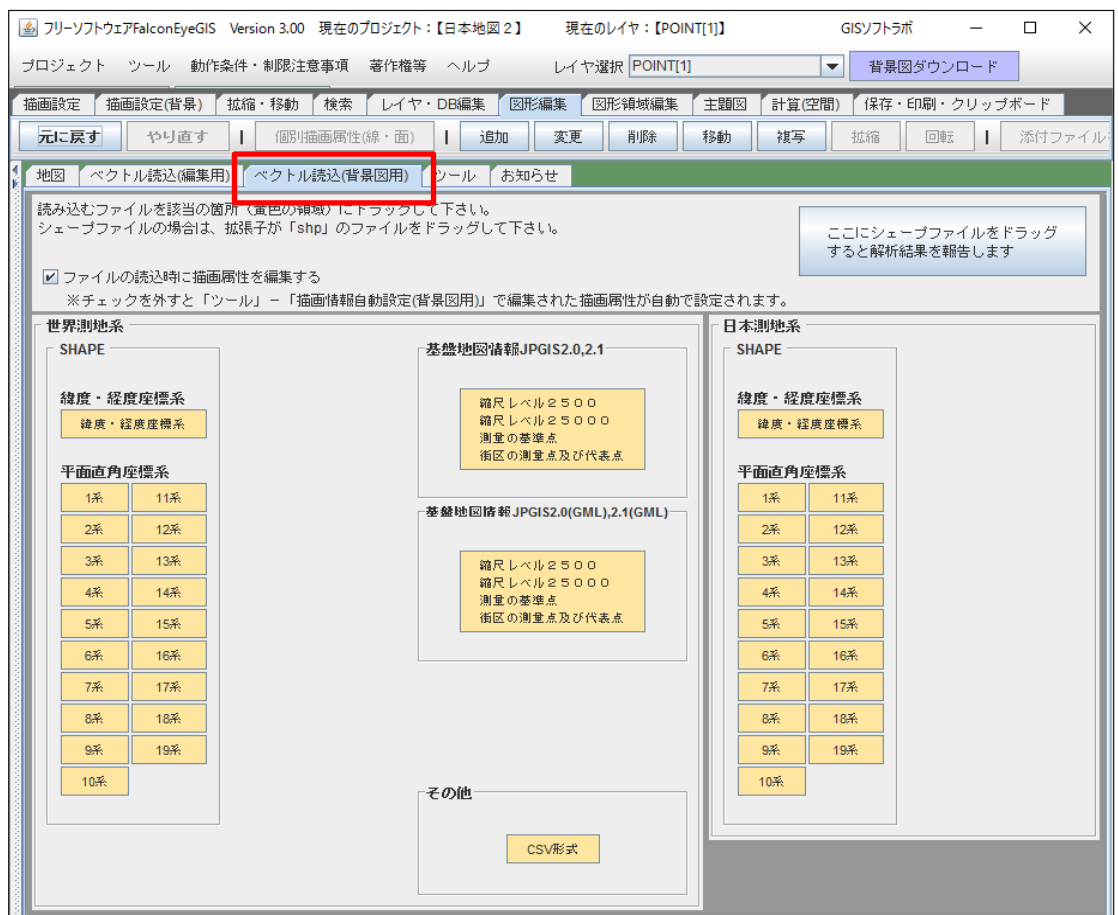
世界測地系	
SHAPE	緯度経度
	平面直角座標系1系～19系
基盤地図情報    JPGIS2.0、JPGIS2.1	縮尺レベル2500
	縮尺レベル25000
	測量の基準点
	街区の測量点及び代表点
基盤地図情報 JPGIS2.01(GML) JPGIS2.1(GML)	縮尺レベル2500
	縮尺レベル25000
	測量の基準点
	街区の測量点及び代表点
その他	CSV形式

日本測地系	
SHAPE	緯度経度
	平面直角座標系1系～19系

## フリーソフトウェアFalconEyeGIS 編集用のファイルは、「ベクトル読み込み(編集用)」タブより読み込みます。



背景図用のファイルは、以下のタブより読み込みます。



## 5.1 シェープファイル

シェープファイルを読み込む手順を以下に説明します。  
背景図レイヤとして読み込む場合は、③④の手順はありません。

- ① 「ベクトル読込」タブを開きます。
- ② 読み込むシェープファイルの種別(世界測地系・日本測地系、緯度経度座標系・平面直角座標系)に該当する箇所に、ファイル(拡張子が「shp」のファイルのみ)をマウスでドラッグして下さい。
- ③ DB項目編集画面が表示されますので、必要に応じてDB項目を設定して下さい。  
※ファイルを読み込んだ後に、DB項目を削除したり、追加したりすることもできます。

## ・不要なDB項目を削除する

シェープファイルに定義されているDB項目を読み込みの対象から除外することができます。  
「読み込み対象外にする」にチェックを入れると除外されます。

DB項目編集 (ファイル名: agri01101.shp)

☒ 個別に項目を追加する  
☐ システムで予約済みの項目を追加する(1)  
☐ システムで予約済みの項目を追加する(2)

【項目名】	【データ型】	【小数点以下桁数】
	文字	
	文字	
	文字	
	文字	
	文字	
	文字	
	文字	
	文字	
	文字	
	文字	

※以下は読込ファイルのDB項目定義

【項目名】	【データ型】	【小数点以下桁数】	
KEY	文字型		<input type="checkbox"/> 読み込み対象外にする
PREF	文字型		<input type="checkbox"/> 読み込み対象外にする
CITY	文字型		<input type="checkbox"/> 読み込み対象外にする
KCITY	文字型		<input type="checkbox"/> 読み込み対象外にする
AGRI	文字型		<input type="checkbox"/> 読み込み対象外にする
PREF_NAME	文字型		<input type="checkbox"/> 読み込み対象外にする
CITY_NAME	文字型		<input type="checkbox"/> 読み込み対象外にする
KCITY_NAME	文字型		<input type="checkbox"/> 読み込み対象外にする
AGRI_NAME	文字型		<input type="checkbox"/> 読み込み対象外にする
FLAG	数値型	0	<input type="checkbox"/> 読み込み対象外にする

設定・終了      キャンセル

・個別に項目を設定する

シェープファイルに定義されていたDB項目に加え、新たにDB項目を追加することができます。

DB項目編集 (ファイル名: agrn01101.shp)

☒ 個別に項目を追加する  
☐ システムで予約済みの項目を追加する(1)  
☐ システムで予約済みの項目を追加する(2)

【項目名】	【データ型】	【小数点以下桁数】
	文字	
	文字	
	文字	
	文字	
	文字	
	文字	
	文字	
	文字	
	文字	
	文字	
	文字	

※以下は読み込みたいDB項目定義

【項目名】	【データ型】	【小数点以下桁数】	
KEY	文字型		<input type="checkbox"/> 読み込みにする
PREF	文字型		<input type="checkbox"/> 読み込みにする
CITY	文字型		<input type="checkbox"/> 読み込みにする
KCITY	文字型		<input type="checkbox"/> 読み込みにする
AGRI	文字型		<input type="checkbox"/> 読み込みにする
PREF_NAME	文字型		<input type="checkbox"/> 読み込みにする
CITY_NAME	文字型		<input type="checkbox"/> 読み込みにする
KCITY_NAME	文字型		<input type="checkbox"/> 読み込みにする
AGRI_NAME	文字型		<input type="checkbox"/> 読み込みにする
FLAG	数値型	0	<input type="checkbox"/> 読み込みにする

設定・終了    キャンセル

※ 読み込んだ後で追加・編集することも可能です。

・システムで予約済みの項目を設定する(1)

項目名	データ型	小数点以下桁数
タイトル	文字型	
説明	文字型	
分類キー	文字型	
内容1	文字型	
内容2	数値型	0
日付	日付型	
登録日	日付型	
更新日	日付型	

上記の項目が設定されますが、さらに個別に項目を追加することも可能です。

DB項目編集 (ファイル名: agrn01101.shp)

☐ 個別に項目を追加する  
☒ システムで予約済みの項目を追加する(1)  
☐ システムで予約済みの項目を追加する(2)

【項目名】	【データ型】	【小数点以下桁数】
タイトル	文字	
説明	文字	
分類キー	文字	
内容1	文字	
内容2	数値	0
日付	日付	
登録日	日付	
更新日	日付	
	文字	
	文字	

※以下は読み込みたいDB項目定義

【項目名】	【データ型】	【小数点以下桁数】	
KEY	文字型		<input type="checkbox"/> 読み込みにする
PREF	文字型		<input type="checkbox"/> 読み込みにする
CITY	文字型		<input type="checkbox"/> 読み込みにする
KCITY	文字型		<input type="checkbox"/> 読み込みにする
AGRI	文字型		<input type="checkbox"/> 読み込みにする
PREF_NAME	文字型		<input type="checkbox"/> 読み込みにする
CITY_NAME	文字型		<input type="checkbox"/> 読み込みにする
KCITY_NAME	文字型		<input type="checkbox"/> 読み込みにする
AGRI_NAME	文字型		<input type="checkbox"/> 読み込みにする
FLAG	数値型	0	<input type="checkbox"/> 読み込みにする

設定・終了    キャンセル

フリーソフトウェアFalconEyeGIS  
・システムで予約済みの項目を設定する(2)

項目名	データ型	小数点以下桁数
タイトル	文字型	
説明	文字型	
分類キー	文字型	
日付	日付型	
登録日	日付型	
更新日	日付型	

上記の項目が設定されますが、さらに個別に項目を追加することも可能です。

- ④ 「設定・終了」ボタンをクリックすると、レイヤの種別に応じた描画属性編集ダイアログが表示されます。  
「キャンセル」をクリックすると、ファイルの読み込みを中止します。

各レイヤ種別ごとの描画属性の編集方法については、「5. 4 描画属性情報の設定」を参照して下さい。

## 5.2 基盤地図情報のファイル

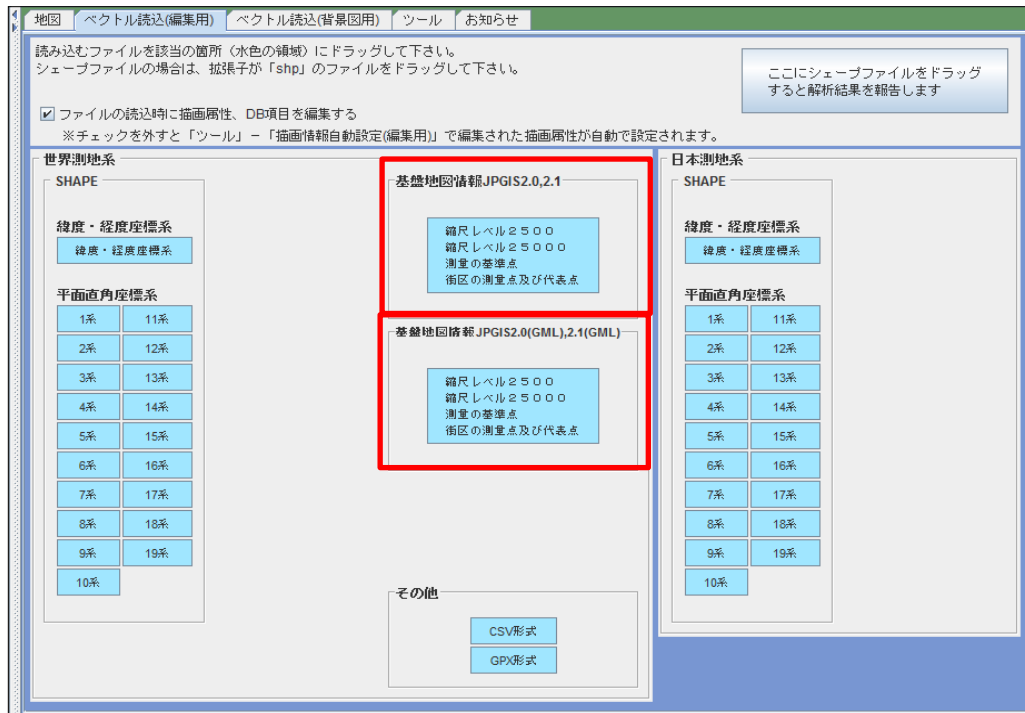
### 基盤地図情報

- ・縮尺レベル2500
- ・縮尺レベル25000
- ・測量の基準点
- ・街区の測量点及び代表点

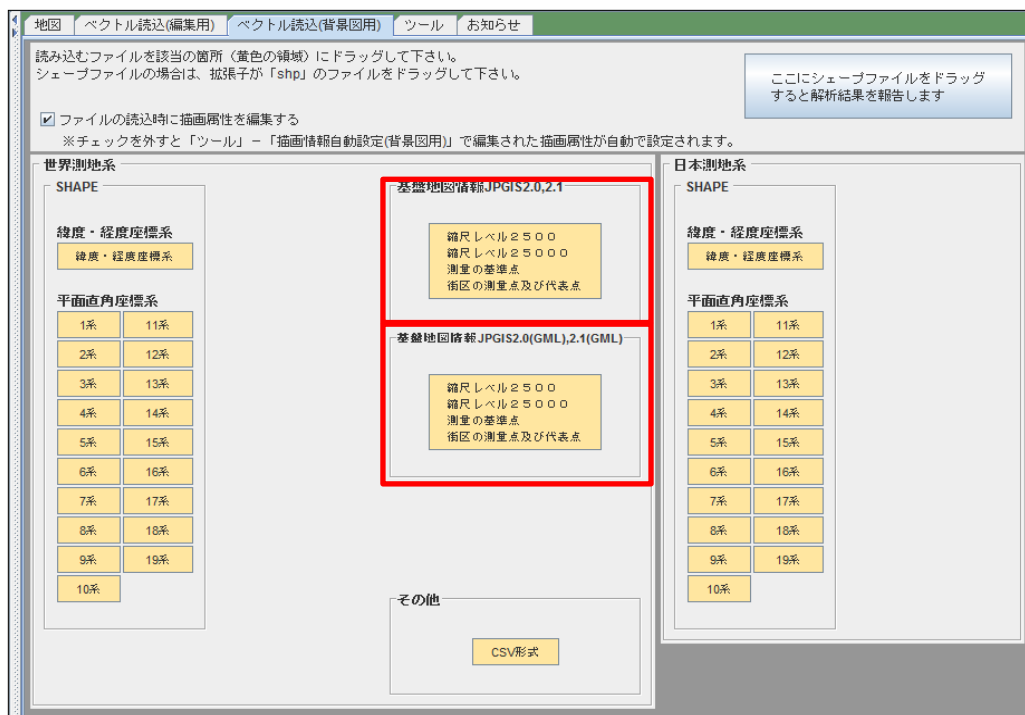
のファイルを読み込むことができます。

- ① JPGIS2.0,2.1とJPGIS2.0(GML),2.1(GML)の2種類があります。  
該当する種別のエリアにファイルをドラッグして下さい。

### ベクトル読込(編集用)タブ



### ベクトル読込(背景図用)タブ



- ② 描画属性編集ダイアログが表示されます。  
各レイヤ種別ごとの描画属性の編集方法については、「5.4 描画属性情報の設定」を参照して下さい。

### 5.3 その他のファイル

#### (1) CSVファイル形式の読み込み

「CSV出力」機能で出力した形式のCSVファイルを読み込みます。  
大量のデータを編集したい場合などに、CSVファイルとして出力したデータをExcel等で編集し、それを読み戻す、という用途で活用できます。

- ① 「その他」の「CSV形式」のエリアにファイルをドラッグして下さい。
- ② 描画属性編集ダイアログが表示されます。  
描画情報の設定方法については、「5.4 描画属性情報の設定」を参照して下さい。

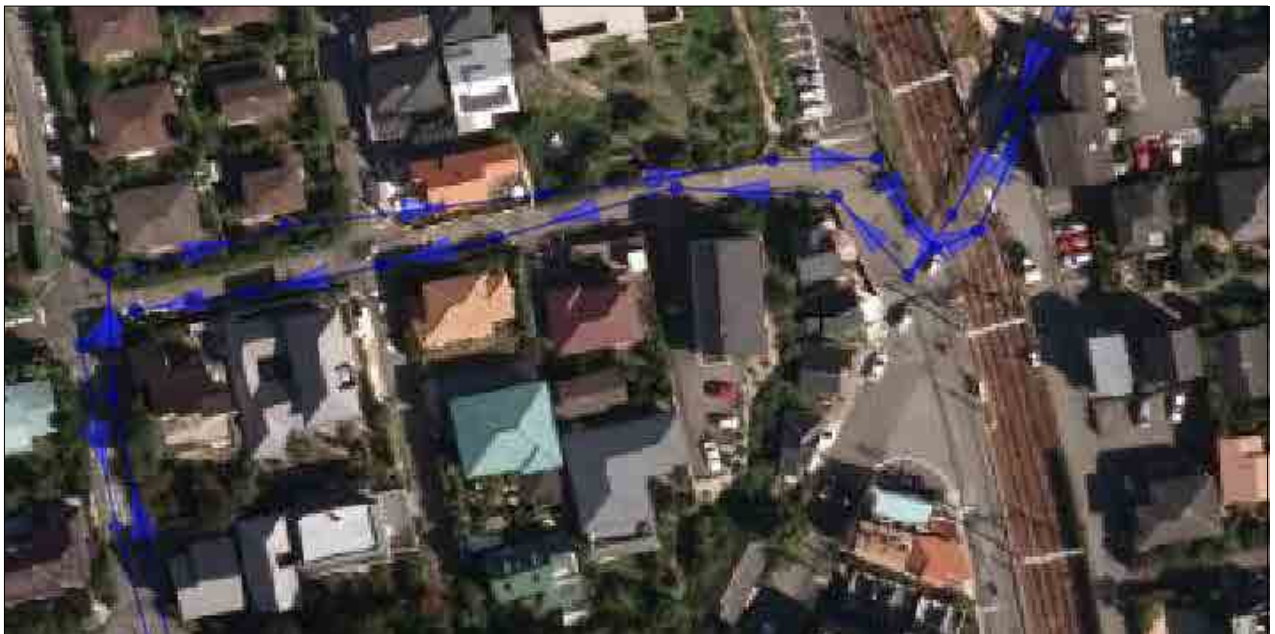
#### (2) GPX形式ファイルの読み込み

GPXファイルのトラックデータを地図上にプロット表示します。  
ポイント(点)レイヤとして読み込まれますが、特殊なポイント(点)データとして扱われます。  
地図上での描画方法、DB一覧表示、DB一覧編集画面での表示方法が異なります。

- ① 「その他」の「GPX形式」のエリアにファイルをドラッグして下さい。

##### 【地図上での表示方法】

計測点は、小さな青い丸で、進行方向は横長の青い三角形で表示しています。  
出発点、終着点はSの赤丸、Eの赤丸で表示しています。





【DB一覧編集画面】

表示項目は、以下の7つです。

項目	説明
GPSTラック情報	GPSのトラック情報です。
緯度	度数表記と10進表記を切替えることができます。
経度	度数表記と10進表記を切替えることができます。
標高	該当位置の標高です。単位は「m」です。
日時	計測の日時です。
移動距離	出発点からの移動距離です。単位は「m」です。
経過時間	出発点を基準とした経過時間です。

DB一覧編集 (レイヤ名: cccccc)

更新 更新して閉じる 閉じる ☒ ピンを表示 ☒ 度数表記 (緯度経度) ☐ 10進表記 (緯度経度) SHAPE出力 CSV出力 (図形座標情報なし)

データNo	トラック(C)	緯度(N)	経度(N)	標高(N)	日時(C)	移動距離(N)	経過時間(C)
1	TRACK2013/03/01_14:46	34° 46' 27.71"	135° 21' 29.28"	45.5	2013/03/01 14:46:58	0.0	
2	TRACK2013/03/01_14:46	34° 46' 27.70"	135° 21' 28.98"	44.3	2013/03/01 14:47:03	7.7	0分5秒
3	TRACK2013/03/01_14:46	34° 46' 27.58"	135° 21' 28.72"	42.5	2013/03/01 14:47:08	15.1	0分10秒
4	TRACK2013/03/01_14:46	34° 46' 27.52"	135° 21' 28.48"	42.0	2013/03/01 14:47:13	21.7	0分15秒
5	TRACK2013/03/01_14:46	34° 46' 27.43"	135° 21' 28.22"	40.8	2013/03/01 14:47:18	28.8	0分20秒
6	TRACK2013/03/01_14:46	34° 46' 27.41"	135° 21' 27.92"	39.6	2013/03/01 14:47:23	36.6	0分25秒
7	TRACK2013/03/01_14:46	34° 46' 27.35"	135° 21' 27.67"	39.0	2013/03/01 14:47:28	43.2	0分30秒
8	TRACK2013/03/01_14:46	34° 46' 27.26"	135° 21' 27.47"	39.6	2013/03/01 14:47:33	48.9	0分35秒
9	TRACK2013/03/01_14:46	34° 46' 27.22"	135° 21' 27.22"	39.6	2013/03/01 14:47:38	55.4	0分40秒
10	TRACK2013/03/01_14:46	34° 46' 27.10"	135° 21' 27.03"	39.6	2013/03/01 14:47:43	61.5	0分45秒
11	TRACK2013/03/01_14:46	34° 46' 26.97"	135° 21' 26.81"	40.2	2013/03/01 14:47:48	68.5	0分50秒
12	TRACK2013/03/01_14:46	34° 46' 26.89"	135° 21' 26.64"	40.2	2013/03/01 14:47:53	73.5	0分55秒
13	TRACK2013/03/01_14:46	34° 46' 26.78"	135° 21' 26.41"	39.6	2013/03/01 14:47:58	80.0	1分0秒
14	TRACK2013/03/01_14:46	34° 46' 26.74"	135° 21' 26.22"	39.6	2013/03/01 14:48:03	85.1	1分5秒
15	TRACK2013/03/01_14:46	34° 46' 26.64"	135° 21' 26.00"	40.7	2013/03/01 14:48:08	91.6	1分10秒
16	TRACK2013/03/01_14:46	34° 46' 26.53"	135° 21' 25.77"	40.1	2013/03/01 14:48:13	98.1	1分15秒
17	TRACK2013/03/01_14:46	34° 46' 26.39"	135° 21' 25.58"	39.6	2013/03/01 14:48:18	104.8	1分20秒
18	TRACK2013/03/01_14:46	34° 46' 26.26"	135° 21' 25.41"	40.2	2013/03/01 14:48:23	110.7	1分25秒
19	TRACK2013/03/01_14:46	34° 46' 26.14"	135° 21' 25.21"	40.2	2013/03/01 14:48:28	116.9	1分30秒

- ・ SHAPE出力  
全データをポイントのデータとしてシェープファイルに出力します。
- ・ CSV出力 (図形座標情報なし)  
全データのDB項目情報をCSVファイルに出力します。  
緯度、経度は、画面で選択されている表記方法と同じ書式でCSVファイルに出力します。

【DB一覧表示画面】

表示項目は、「DB項目編集」画面と同じです。

DB一覧表示 (レイヤ名: cccccc)

☒ ピンを表示 ☒ 度数表記 (緯度経度) ☐ 10進表記 (緯度経度) SHAPE出力 CSV出力 (図形座標情報なし)

データNo	トラック(C)	緯度(N)	経度(N)	標高(N)	日時(C)	移動距離(N)	経過時間(C)
1	TRACK2013/03/01_14:46	34° 46' 27.71"	135° 21' 29.28"	45.5	2013/03/01 14:46:58	0.0	
2	TRACK2013/03/01_14:46	34° 46' 27.70"	135° 21' 28.98"	44.3	2013/03/01 14:47:03	7.7	0分5秒
3	TRACK2013/03/01_14:46	34° 46' 27.58"	135° 21' 28.72"	42.5	2013/03/01 14:47:08	15.1	0分10秒
4	TRACK2013/03/01_14:46	34° 46' 27.52"	135° 21' 28.48"	42.0	2013/03/01 14:47:13	21.7	0分15秒
5	TRACK2013/03/01_14:46	34° 46' 27.43"	135° 21' 28.22"	40.8	2013/03/01 14:47:18	28.8	0分20秒
6	TRACK2013/03/01_14:46	34° 46' 27.41"	135° 21' 27.92"	39.6	2013/03/01 14:47:23	36.6	0分25秒
7	TRACK2013/03/01_14:46	34° 46' 27.35"	135° 21' 27.67"	39.0	2013/03/01 14:47:28	43.2	0分30秒
8	TRACK2013/03/01_14:46	34° 46' 27.26"	135° 21' 27.47"	39.6	2013/03/01 14:47:33	48.9	0分35秒
9	TRACK2013/03/01_14:46	34° 46' 27.22"	135° 21' 27.22"	39.6	2013/03/01 14:47:38	55.4	0分40秒
10	TRACK2013/03/01_14:46	34° 46' 27.10"	135° 21' 27.03"	39.6	2013/03/01 14:47:43	61.5	0分45秒
11	TRACK2013/03/01_14:46	34° 46' 26.97"	135° 21' 26.81"	40.2	2013/03/01 14:47:48	68.5	0分50秒
12	TRACK2013/03/01_14:46	34° 46' 26.89"	135° 21' 26.64"	40.2	2013/03/01 14:47:53	73.5	0分55秒
13	TRACK2013/03/01_14:46	34° 46' 26.78"	135° 21' 26.41"	39.6	2013/03/01 14:47:58	80.0	1分0秒
14	TRACK2013/03/01_14:46	34° 46' 26.74"	135° 21' 26.22"	39.6	2013/03/01 14:48:03	85.1	1分5秒
15	TRACK2013/03/01_14:46	34° 46' 26.64"	135° 21' 26.00"	40.7	2013/03/01 14:48:08	91.6	1分10秒
16	TRACK2013/03/01_14:46	34° 46' 26.53"	135° 21' 25.77"	40.1	2013/03/01 14:48:13	98.1	1分15秒
17	TRACK2013/03/01_14:46	34° 46' 26.39"	135° 21' 25.58"	39.6	2013/03/01 14:48:18	104.8	1分20秒
18	TRACK2013/03/01_14:46	34° 46' 26.26"	135° 21' 25.41"	40.2	2013/03/01 14:48:23	110.7	1分25秒
19	TRACK2013/03/01_14:46	34° 46' 26.14"	135° 21' 25.21"	40.2	2013/03/01 14:48:28	116.9	1分30秒

緯度、経度の表示切り替え、「SHAPE出力」[CSV出力 (図形座標情報なし)]の機能は、「DB一覧編集」画面と同様です。

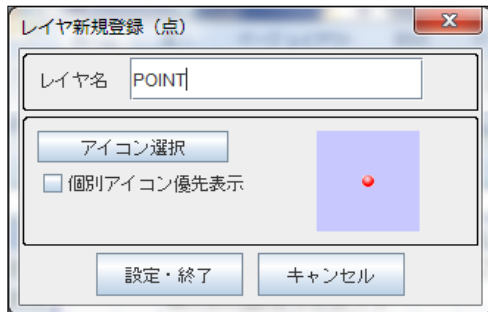


## 5. 4 描画属性情報の設定

## (1) ポイント(点)レイヤ

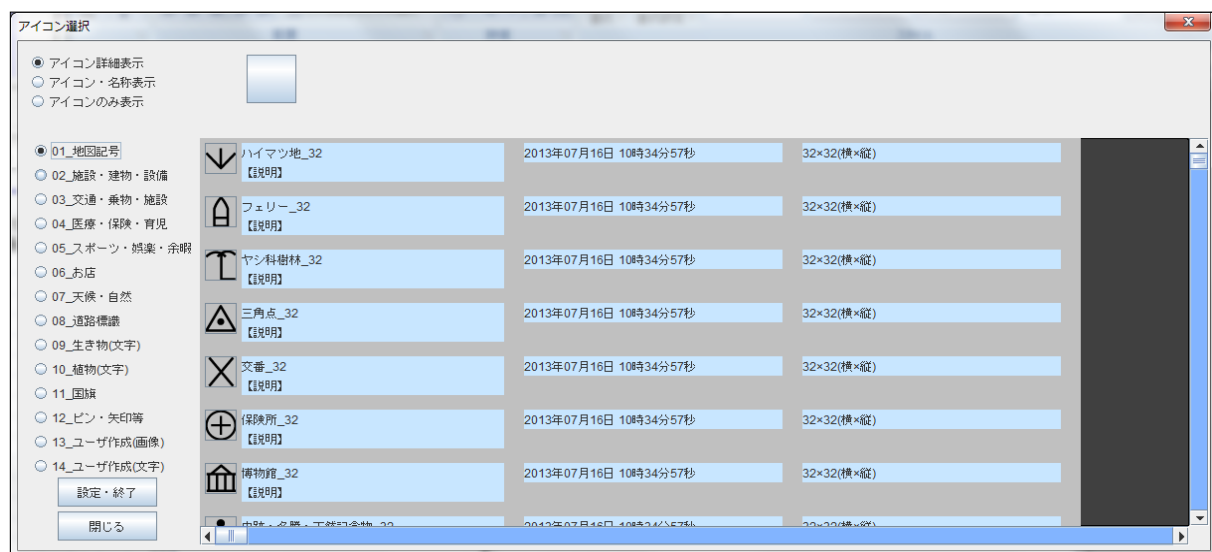
ポイント(点)データがGPXデータの場合は、【GPXデータ描画属性情報の編集】(P77)を参照して下さい。

新規にレイヤを追加する場合、またはファイルの読み込み時には、初期設定の赤丸のアイコンが表示されます。



「設定・終了」ボタンをクリックすると、レイヤのアイコンが確定します。

アイコンを変更する場合は、「アイコン選択」ボタンをクリックして下さい。  
「アイコン選択」画面が表示されます。



アイコンは「01\_地図記号」～「14\_ユーザ作成(文字)」に分類されていますので、ご希望の種類の「○」ボタンをクリックし、一覧表の表示内容を切り替えて下さい。

- ※ 13\_ユーザ作成(画像)      画像アイコン作成ツールで作成したアイコンです。  
 ※ 14\_ユーザ作成(文字)      文字画像作成ツールで作成したアイコンです。

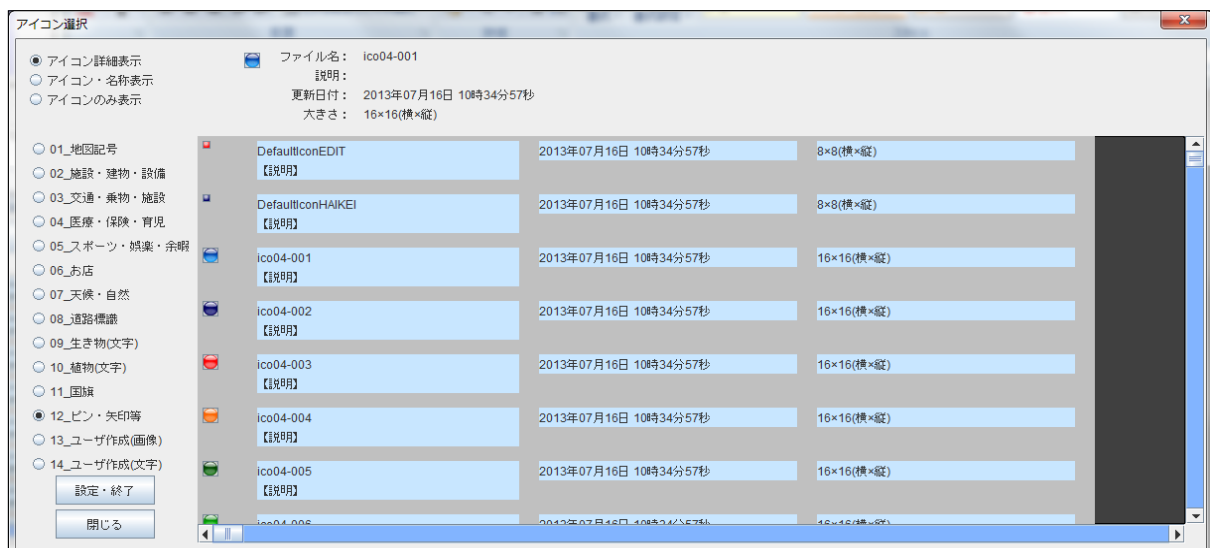
## アイコンの出典元

- |                  |                |
|------------------|----------------|
| ■ フリー素材          | 道路標識           |
| ■ WebIconSet.com | モノクロアイコン       |
| ■ Tyto Style     | ピンマーク          |
| ■ マップラボ          | 3Dアイコン、国旗、地図記号 |

(例)「12\_ピン・矢印」



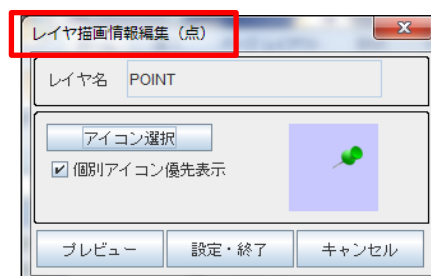
ご希望のアイコンをクリックして下さい。  
画面上部のエリアにそのアイコンが表示されます。



「設定・終了」ボタンをクリックすると、選択されたアイコンが「レイヤ新規登録(点)」画面に反映します。



既存レイヤの場合は、画面のタイトルは  
「レイヤ描画情報編集(点)」です。



地図上でどのように表示されるかを確認したい場合は、「プレビュー」ボタンをクリックして下さい。

「設定・終了」ボタンをクリックするとレイヤのアイコンが登録・更新されます。

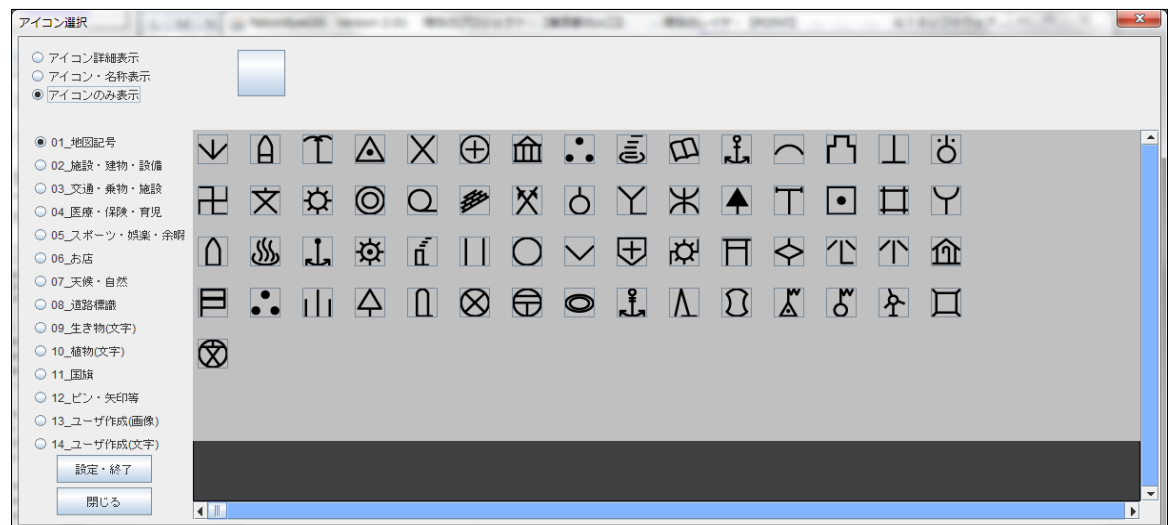
【補足】アイコン選択の画面についての説明

アイコンの表示方法は詳細表示以外に以下の「アイコン・名称表示」「アイコンのみ表示」があります。

・アイコン・名称表示

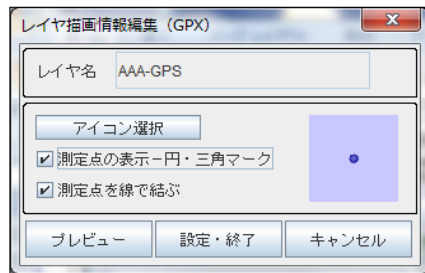


・アイコンのみ表示



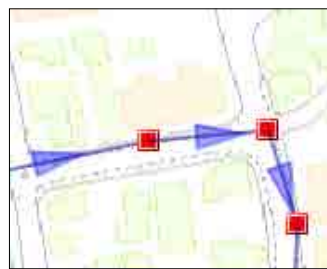
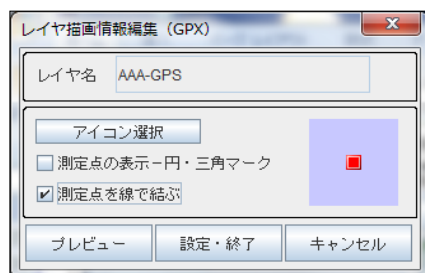
## フリーソフトウェアFalconEyeGIS 【GPXデータ描画属性情報の編集】

GPXデータの場合は、以下の編集画面が表示されます。

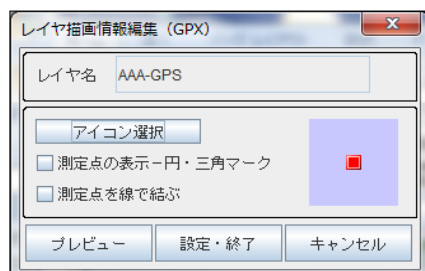


測定点の青色丸印(三角形の向きが進行方向を示します)をアイコンに変更する場合は、「アイコン選択」ボタンをクリックし、表示された「アイコン選択」画面からアイコンを選択して下さい。

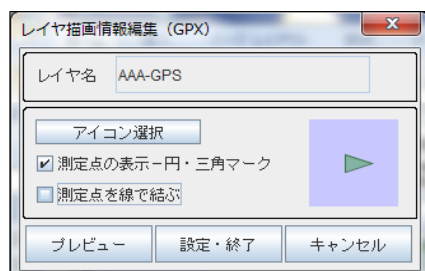
(例) 赤色四角のアイコンを選択



「測定点を線で結ぶ」のチェックを外すと測定点のみの表示になります。

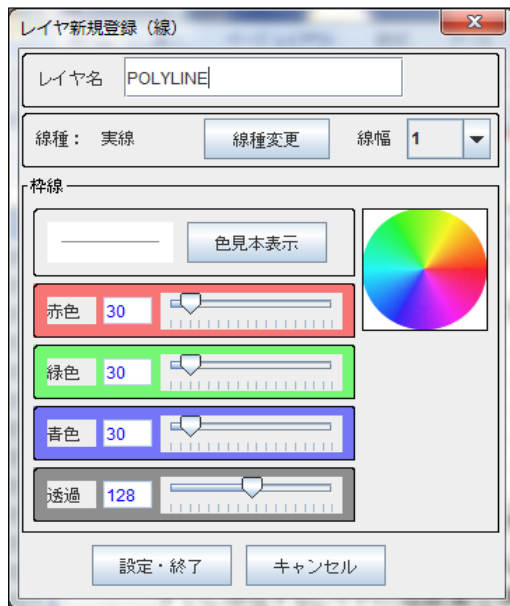


「測定点の表示-円・三角マーク」のみにチェックが入っている場合は、緑色三角マークの表示のみになります(三角形の向きが進行方向を示します)。



## (2) ポリライン(線)レイヤ

ポリライン(線)レイヤの描画属性情報を編集する画面が表示されます。



既存レイヤの場合は、画面のタイトルは「レイヤ描画情報編集(線)」です。

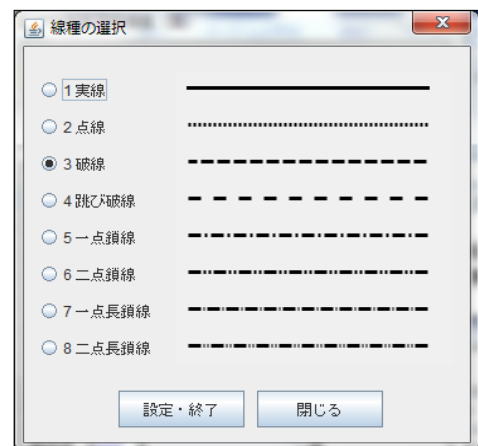


以下の描画属性を編集できます。

- ・線種
- ・線幅
- ・線の色合い(色、透過度合い)

## 線種の選択

「線種変更」ボタンをクリックすると「線種の選択」画面が表示されます。  
線種を選択し、「設定・終了」ボタンをクリックして下さい。  
※サンプルの線描画に反映します。



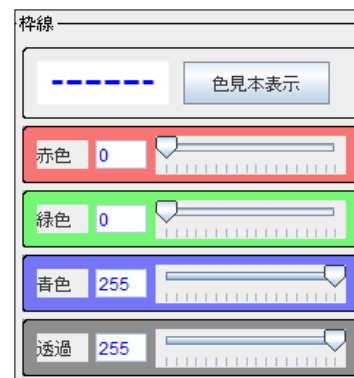
## 線幅の選択



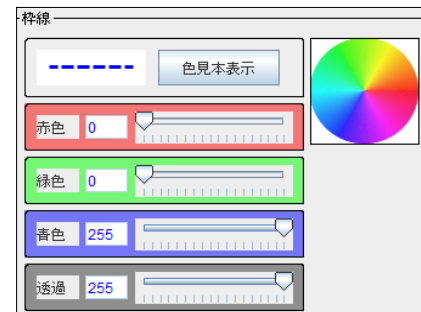
線幅は、「1」～「10」の範囲で選択することができます。  
※サンプルの線描画に反映します。

フリーソフトウェアFalconEyeGIS  
色合いを設定する方法は以下の3つがあります。

- ① 各色、透過のスライダーを左右に動かして調整します。  
※サンプルの線描画に反映します。

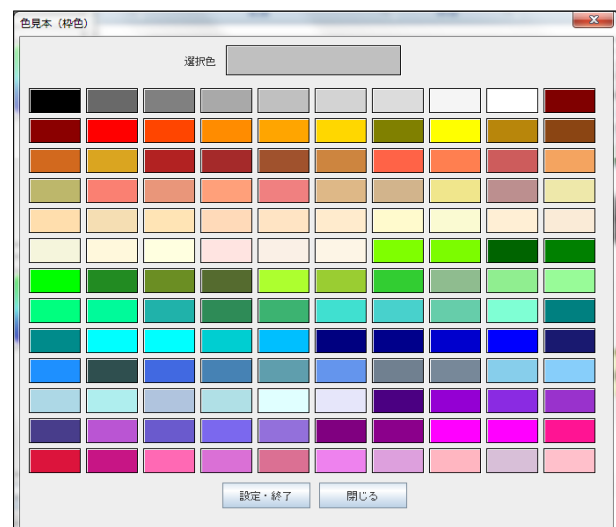


- ② 右中央に表示されている円内でマウスを移動させて色合いを調整します。  
円の外縁側は透過度が低く(色が濃く見える)、円の中心側は透過度が高くなります(色が薄く見える)。色合いの変化に応じて、スライダーが連動して動きます。  
※サンプルの線描画に反映します。



- ③ 「色見本表示」画面を表示し、色を選択します。

一覧から色を選択すると、選択された色が画面上部に表示されます。  
「設定・終了」で選択色が呼び元の画面に反映します。  
※サンプルの線描画に反映します。

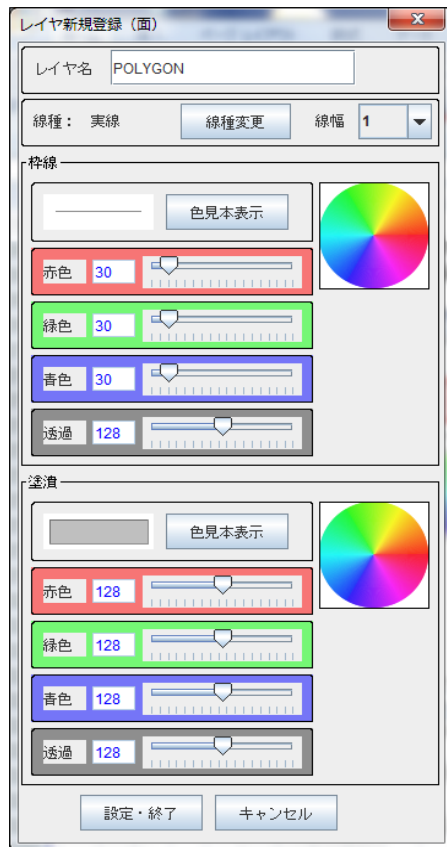


地図上でどのように表示されるかを確認する場合は、「プレビュー」ボタンをクリックして下さい。

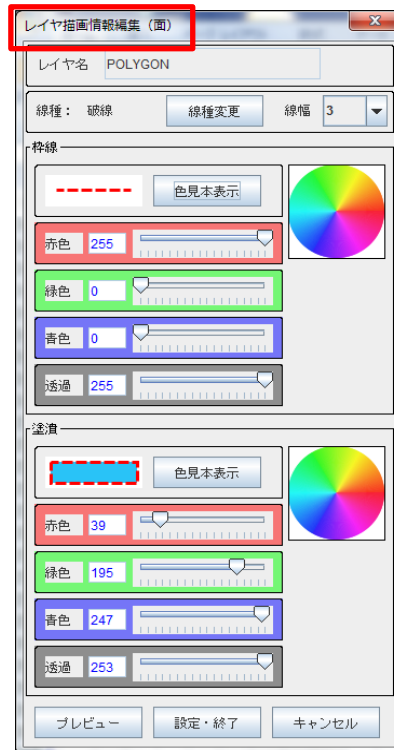
「設定・終了」ボタンをクリックするとレイヤの描画属性情報が登録・更新されます。

### (3) ポリゴン(面)レイヤ

ポリゴン(面)レイヤの描画属性情報を編集する画面が表示されます。



既存レイヤの場合は、画面のタイトルは「レイヤ描画情報編集(面)」です。



以下の描画属性を編集できます。

#### 枠線

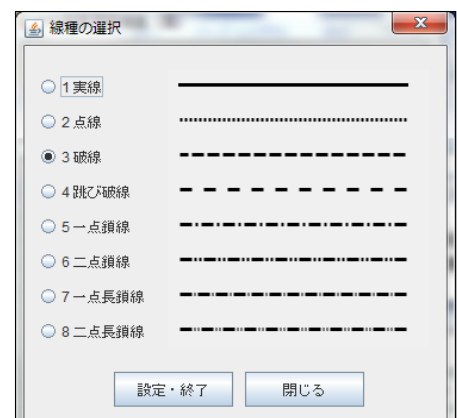
- ・線種
- ・線幅
- ・線の色合い(色、透過度合い)

#### 塗り

- ・塗り部分の色合い(色、透過度合い)

#### 線種の選択

「線種変更」ボタンをクリックすると「線種の選択」画面が表示されます。  
線種を選択し、「設定・終了」ボタンをクリックして下さい。  
※サンプルの線描画に反映します。



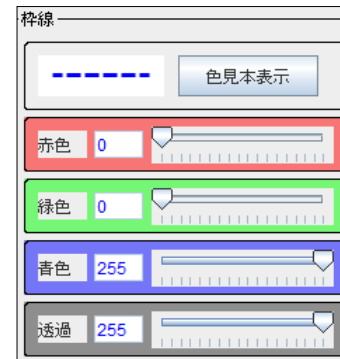
## 線幅の選択

線幅は、「1」～「10」の範囲で選択することができます。  
※サンプルの線描画に反映します。

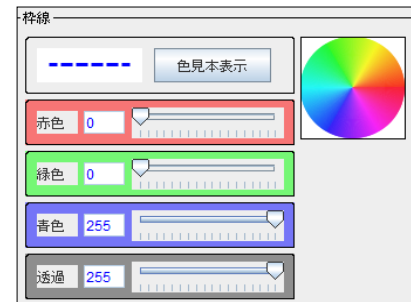


線の色合いを設定する方法は以下の3つがあります。

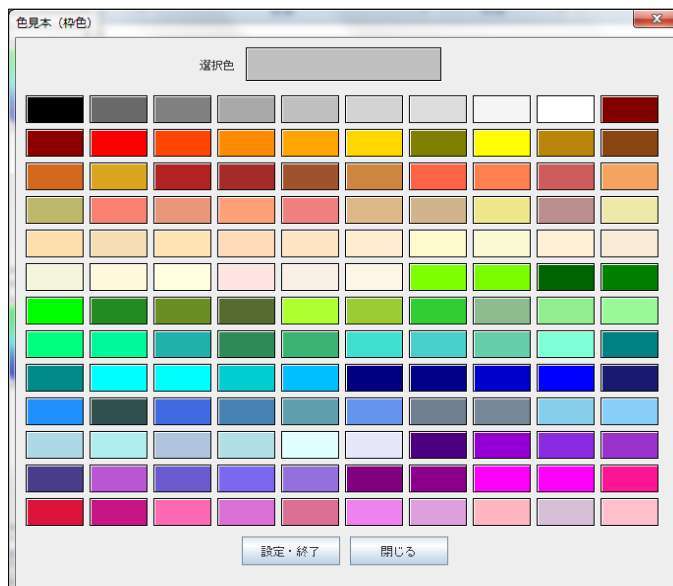
- ① 各色、透過のスライダーを左右に動かして調整する。  
※サンプルの線描画に反映します。



- ② 右中央に表示されている円内でマウスを移動させて色合いを調整する。  
円の外縁側は透過度が低く(色が濃く見える)、円の中心側は透過度が高くなります(色が薄く見える)。  
色合いの変化に応じて、スライダーが連動して動きます。  
※サンプルの線描画に反映します。



- ③ 「色見本表示」画面を表示し、色を選択する。

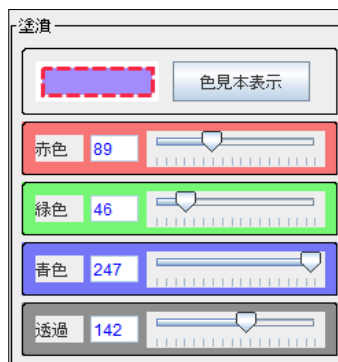


一覧から色を選択すると、選択された色が画面上部に表示されます。  
「設定・終了」で選択色が呼び元の画面に反映します。  
※サンプルの線描画に反映します。

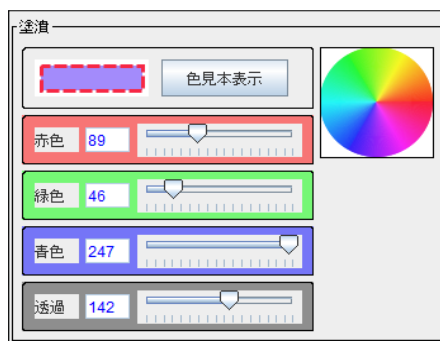


フリーソフトウェアFalconEyeGIS  
塗潰しの色合いを設定する方法も線と同様です。

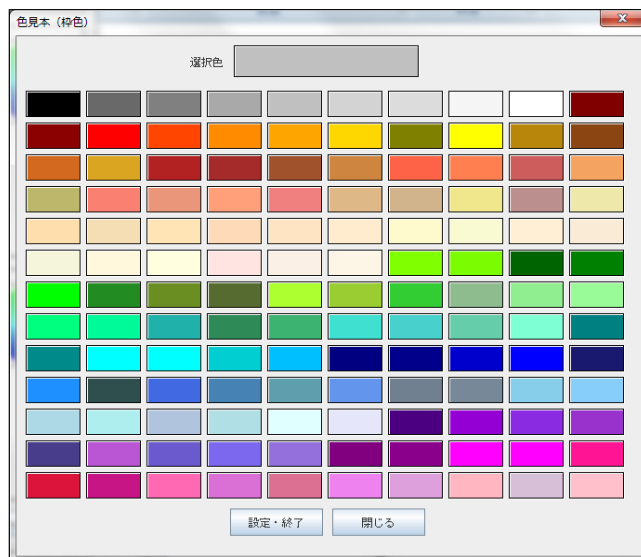
- ① 各色、透過のスライダーを左右に動かして調整する。  
※サンプルの線描画に反映します。



- ② 右中央に表示されている円内でマウスを移動させて色合いを調整する。  
円の外縁側は透過度が低く(色が濃く見える)、円の中心側は透過度が高く(色が薄く見える)になります。  
色合いの変化に応じて、スライダーが連動して動きます。  
※サンプルの線描画に反映します。



- ③ 「色見本表示」画面を表示し、色を選択する。



一覧から色を選択すると、選択された色が画面上部に表示されます。  
「設定・終了」で選択色が呼び元の画面に反映します。

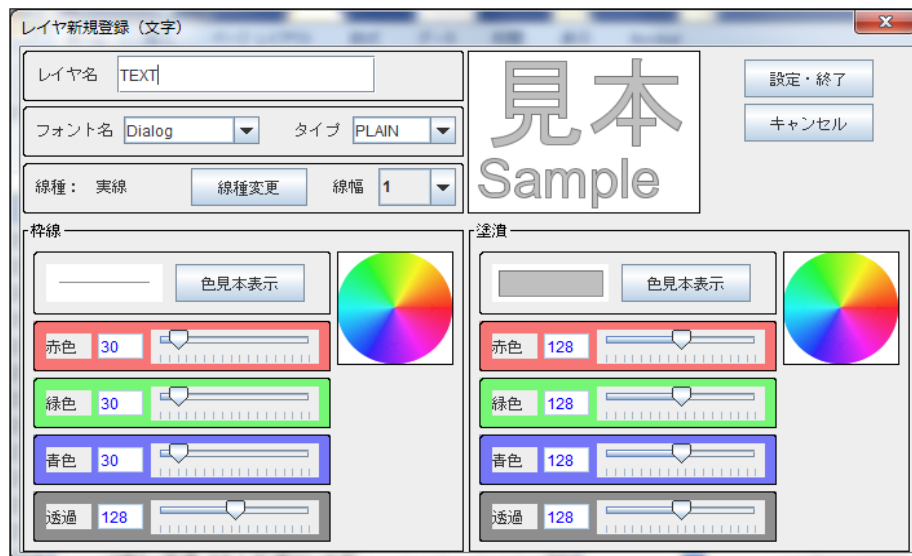
地図上で実際にどのような色で表示されるかを確認する場合は、「プレビュー」ボタンをクリックして下さい。

「設定・終了」ボタンをクリックするとレイヤの描画属性情報が登録・更新されます。

## (4) テキスト(文字)レイヤ

以下の描画属性を編集できます。

- ・レイヤ名
- ・フォント種別
- ・フォントタイプ
- ・線種
  - ・線種
  - ・線幅
  - ・線の色合い(色、透過度合い)
- ・塗潰し
  - ・塗潰し部分の色合い(色、透過度合い)



## レイヤ名

新規にレイヤを作成すると、レイヤ名が自動で設定されます(“TEXT”)。  
 (“TEXT”がすでに存在すれば、“TEXT[1]”～“TEXT[n]”が自動で設定されます)  
 名称を入力する場合は、半角英数字・全角文字が使用できます。

## フォント名

以下の5種類から選択できます。

フォント種別	半角文字	全角文字
Dialog	同じ	同じ
SansSerif		
DialogInput	同じ	同じ
Monospaced		
Serif		同じ

## (文字サンプル)

Dialog

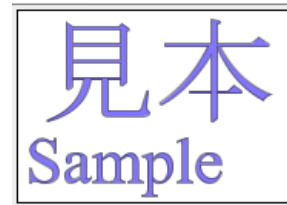


DialogInput

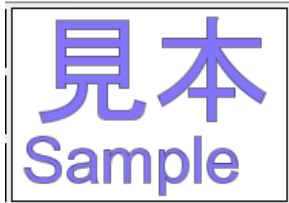


Monospaced

Serif



SansSerif



### フォントタイプ

以下の3種類から選択できます。

PLAIN  
BOLD  
ITALIC

フォント名「Serif」で、PLAIN、BOLD、ITALICを表示したときの例を以下に示します。

PLAIN



BOLD



ITALIC

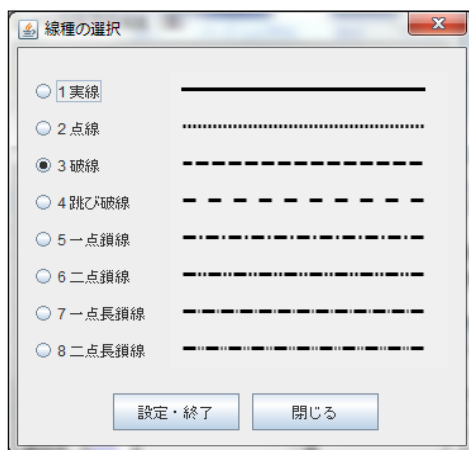


### 線種の選択

「線種変更」ボタンをクリックすると「線種の選択」画面が表示されます。

線種を選択し、「設定・終了」ボタンをクリックして下さい。

※サンプルの線描画に反映します。



### 線幅の選択

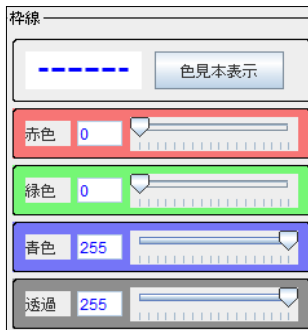
線幅は、「1」～「10」の範囲で選択することができます。

※サンプルの線描画に反映します。

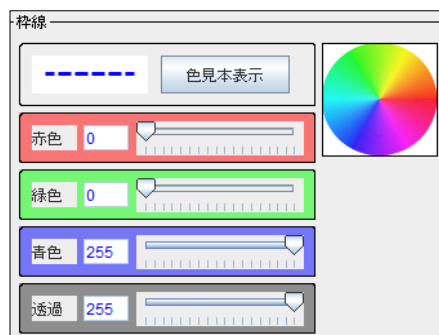
## 枠線

枠線の色合いを設定する方法は以下の3つがあります。

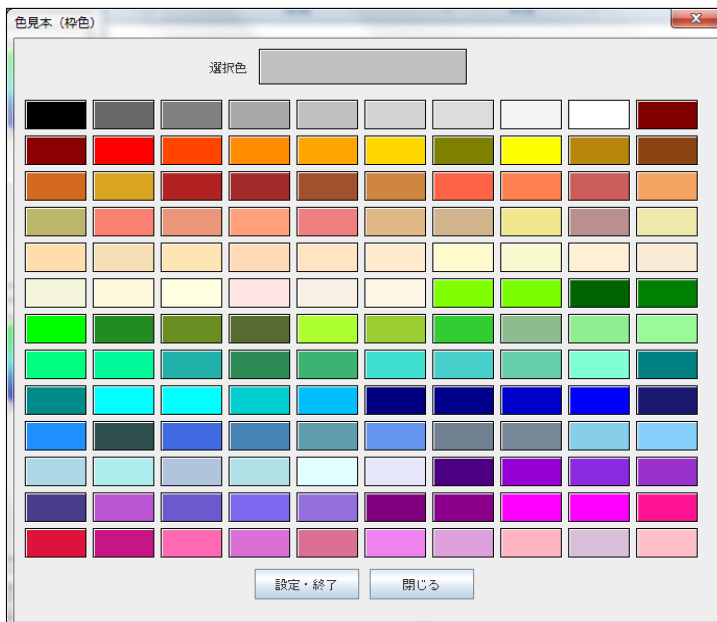
- ① 各色、透過のスライダーを左右に動かして調整する。  
※サンプルの線描画に反映します。



- ② 右中央に表示されている円内でマウスを移動させて色合いを調整する。  
円の外縁側は透過度が低く(色が濃く見える)、円の中心側は透過度が高く(色が薄く見える)なります。  
色合いの変化に応じて、スライダーが連動して動きます。  
※サンプルの線描画に反映します。



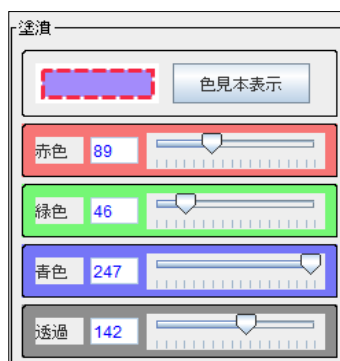
- ③ 「色見本表示」画面を表示し、色を選択する。



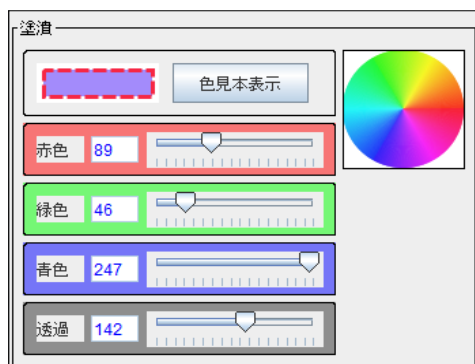
一覧から色を選択すると、選択された色が画面上部に表示されます。  
「設定・終了」で選択色が呼び元の画面に反映します。  
※サンプルの線描画に反映します。

フリーソフトウェアFalconEyeGIS  
塗潰しの色合いを設定する方法も線と同様です。

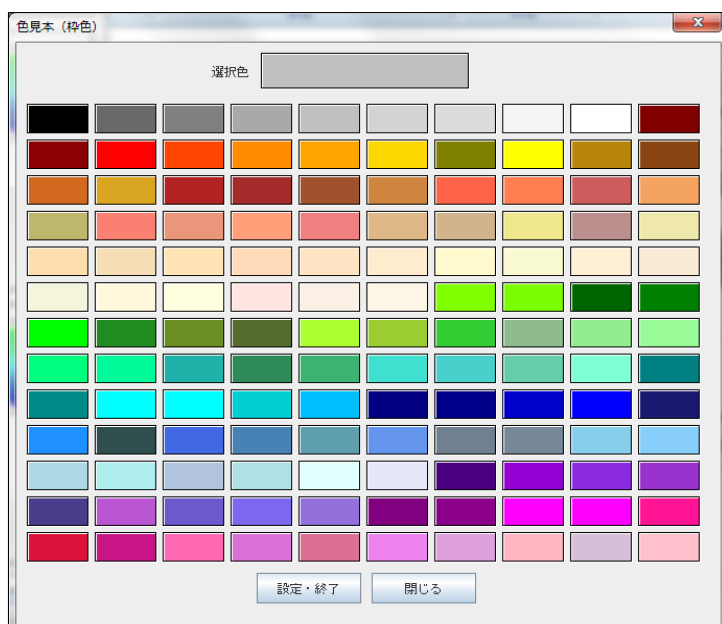
- ① 各色、透過のスライダーを左右に動かして調整する。  
※サンプルの線描画に反映します。



- ② 右中央に表示されている円内でマウスを移動させて色合いを調整する。  
円の外縁側は透過度が低く(色が濃く見える)、円の中心側は透過度が高く(色が薄く見える)になります。  
色合いの変化に応じて、スライダーが連動して動きます。  
※サンプルの線描画に反映します。



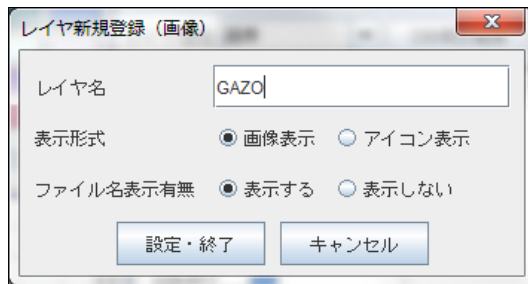
- ③ 「色見本表示」画面を表示し、色を選択する。



## (5) 画像レイヤ

画像レイヤは、以下の項目を入力、選択できます。

- ・レイヤ名
- ・表示形式
- ・ファイル名の表示有無



### レイヤ名

新規にレイヤを作成すると、レイヤ名が自動で設定されます("GAZO")。  
("GAZO"がすでに存在すれば、"GAZO[1]"～"GAZO[n]"が自動で設定されます)  
名称を入力する場合は、半角英数字・全角文字が使用できます。

### 表示形式

地図上に画像を表示するか、アイコンとして表示するかを選択できます。

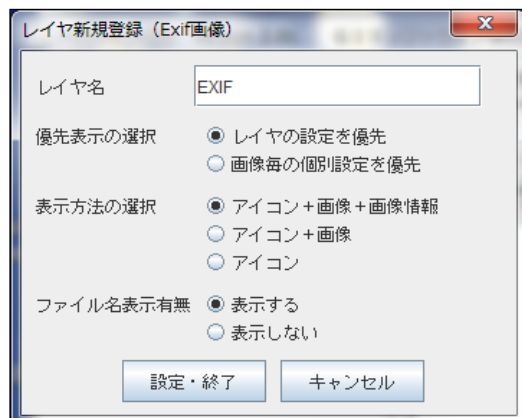
### ファイル名の表示有無

ファイル名を表示するか、しないかを選択できます。  
※ファイル名は、画像またはアイコンの下に表示されます。

## (6) Exif画像レイヤ

画像レイヤは、以下の項目を入力、選択できます。

- ・レイヤ名
- ・優先表示の選択
- ・表示方法の選択
- ・ファイル名の表示有無



### レイヤ名

新規にレイヤを作成すると、レイヤ名が自動で設定されます("EXIF")。  
("EXIF"がすでに存在すれば、"EXIF[1]"～"EXIF[n]"が自動で設定されます)  
名称を入力する場合は、半角英数字・全角文字が使用できます。

### 優先表示の選択

- ・レイヤとして設定した表示方法で表示する。
- ・画像ごとの個別設定の方法で表示する。

## 表示方法の選択

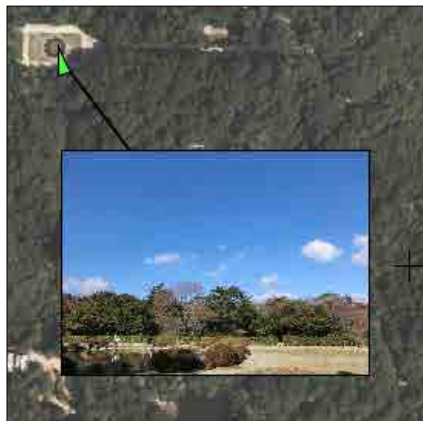
### ・アイコン＋画像＋画像基本情報

撮影位置・方向を示すアイコン、画像、及び画像の基本情報を表示します。  
※三角形のアイコンの向きは、撮影方向を示しています。



### ・アイコン＋画像

撮影位置・方向を示すアイコン、画像を表示します。



### ・アイコン

撮影位置・方向を示すアイコンのみを表示します。



## ファイル名の表示有無

ファイル名を表示するか、しないかを選択できます。

※ファイル名は、画像またはアイコンの下部に表示されます。



## (7) 添付ファイルレイヤ

添付ファイルレイヤは、以下の項目を入力、選択できます。

- ・レイヤ名
- ・表示方法の選択
- ・ファイル名の表示有無



## レイヤ名

新規にレイヤを作成すると、レイヤ名が自動で設定されます(“TENPU”)。

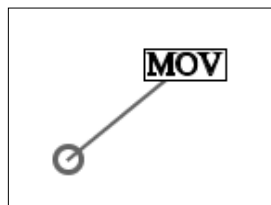
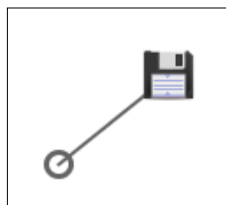
(“TENPU”がすでに存在すれば、“TENPU[1]”～“TENPU[n]”が自動で設定されます)

名称を入力する場合は、半角英数字・全角文字が使用できます。

## 表示方法の選択

地図上にアイコンで表示するか、ファイル拡張子で表示するかを選択できます。

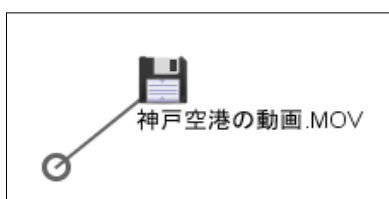
## アイコンの表示



## ファイル名の表示有無

ファイル名を表示するか、しないかを選択できます。

※ファイル名は、アイコンまたは拡張子表示の下に表示されます。





6. 個別データの編集

図形の編集・操作方法について説明します。  
※編集中は、地図の拡大・縮小、移動はできません。

個別の図形に対する描画属性の変更について

レイヤの種類	
ポイント(点)	「変更」の機能でアイコンを変更することができます。
ポリライン(線)	「個別描画属性(線・面)」の機能で変更することができます。
ポリゴン(面)	「個別描画属性(線・面)」の機能で変更することができます。
テキスト(文字)	個別に描画属性を変更できません。
画像	個別に描画属性を変更できません。
Exif画像	個別に描画属性を変更できません。
添付ファイル	個別に描画属性を変更できません。
付箋紙	個別に描画属性を変更できません。
吹出し	個別に描画属性を変更できません。

6. 1 ポイント(点)データの編集

ポイント(点)データに関しては、以下の編集機能があります。

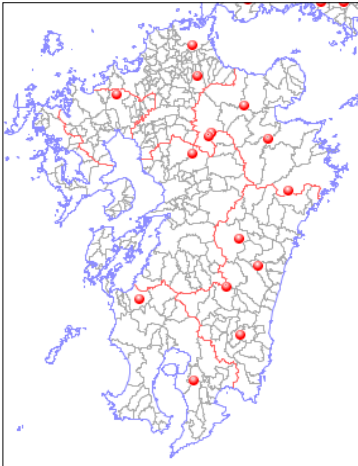
機能	説明
追加	ポイント(点)のデータを追加登録します。
変更	現在と異なるアイコンに変更します。 ※レイヤのアイコンとは異なるアイコンを設定したり、レイヤのアイコンに戻したりすることができます。
削除	ポイント(点)のデータを削除します。
移動	ポイント(点)のデータを現在と異なる位置に移動します。
複写	ポイント(点)のデータを複写し、新たな位置にデータを追加登録します。

(1) 追加「設定・終了」で選択色が呼び元の画面に反映します。

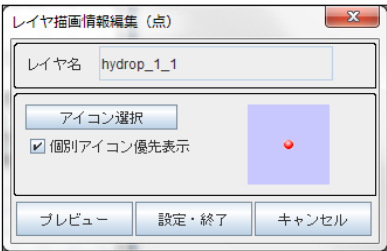
- ① 「追加」ボタンをクリックします。  
※左下のタブが「ナビゲータ」から「アイコン」タブの表示に切り替わります。

②【レイヤで設定しているアイコンを追加する場合】

アイコンを登録する地図上の位置をマウスでクリックして下さい。  
(その位置にレイヤのアイコンが追加されます)

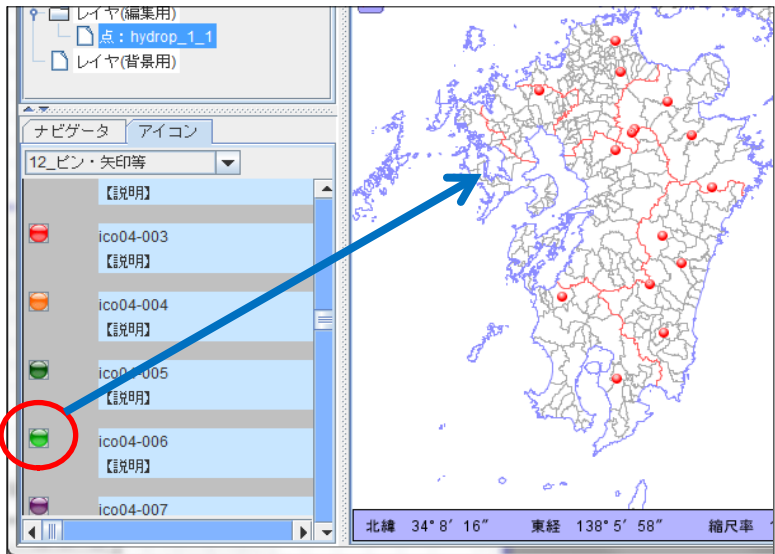


レイヤのアイコンー小赤丸

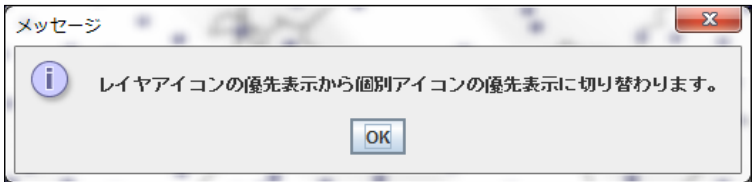


【レイヤで設定しているアイコンと異なるアイコンを追加する場合】

「アイコン」タブに表示されているアイコンをマウスの左ボタンをプレスし、その状態で地図上の登録位置まで移動し、マウスのボタンをリリースして下さい。  
(その位置にドラッグしたアイコンが追加されます)



※レイヤアイコンの優先表示モードのときは、以下の確認画面が表示されます。  
OKボタンをクリックして下さい。

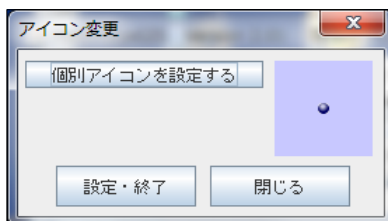


- ③ 指定した位置にアイコンが表示されると同時に、DB項目値の入力画面が表示されますので、値を入力し、「登録」ボタンをクリックして下さい。  
(注意) DB項目が「内容1」のみの場合は、DB項目値の入力画面は表示されません。

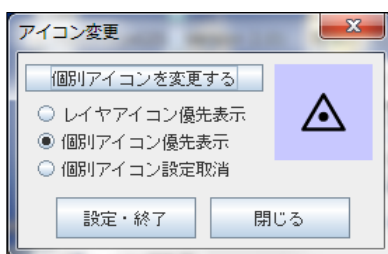


## (2) 変更

- ① 「図形編集」タブをクリックします。
- ② 「変更」ボタンをクリックします。  
「アイコン変更」画面が表示されます。
- ③ 変更する地図上のアイコン(ポイント(点)データ)をクリックします。
- ④ 【レイヤで設定されているアイコン図形がクリックされた場合の画面】



【個別アイコンが設定されているアイコン図形をクリックした場合の画面】

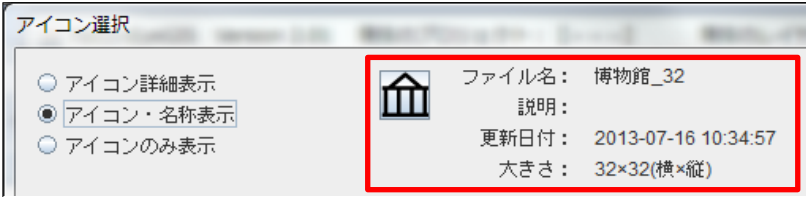


- ・レイヤアイコン優先表示  
個別アイコンの優先表示を取り止めて、レイヤのアイコンを優先表示にします。
- ・個別アイコン優先表示  
レイヤのアイコン優先表示から個別アイコン優先表示に切り替えます。
- ・個別アイコン設定取消  
個別アイコンの情報を削除し、レイヤのアイコンの表示に戻します。

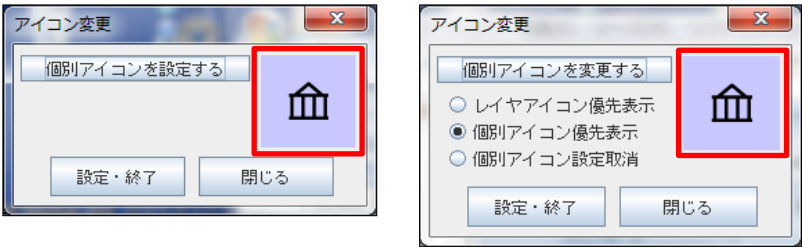
- A 「個別アイコンを設定する」または「個別アイコンを変更する」ボタンをクリックすると、以下のアイコン選択ダイアログが表示されます。



- B 「地図記号」～「ユーザ作成(文字)」の種類がありますので、その種類を選択します。  
選択された種類のアイコンの一覧表が表示されます。
- C 一覧表の中からお希望のアイコンをクリックします。  
画面左上に選択されたアイコンが表示されます。

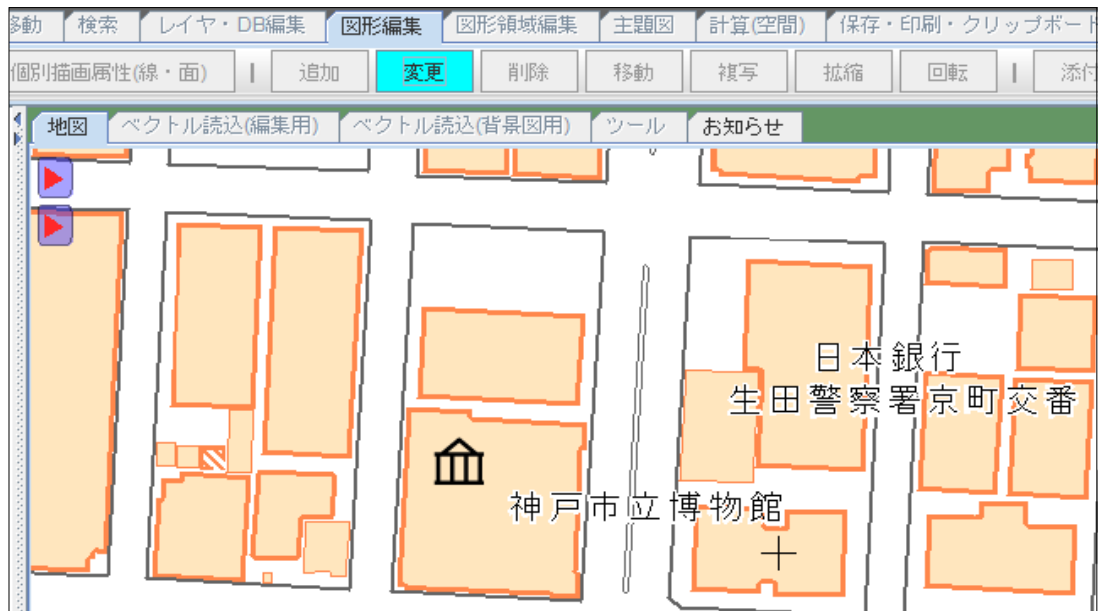


- D 「設定・終了」ボタンをクリックします。  
「アイコン変更」画面に選択されたアイコンが表示されます。



- ⑤ 「アイコン変更」画面の「設定・終了」ボタンをクリックします。

⑥ 設定・変更されたアイコンに変更されます。



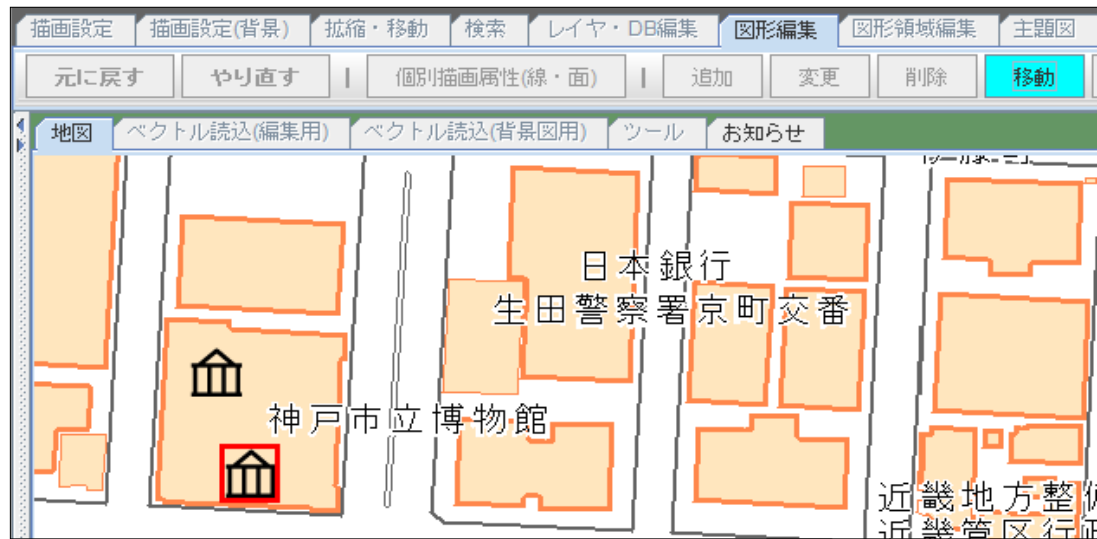
(3) 削除

- ① 「削除」ボタンをクリックします。
- ② 削除するポイント(点)のアイコンをクリックします。
- ③ 削除の確認画面(DB項目値が表示されます)の「削除」をクリックします。

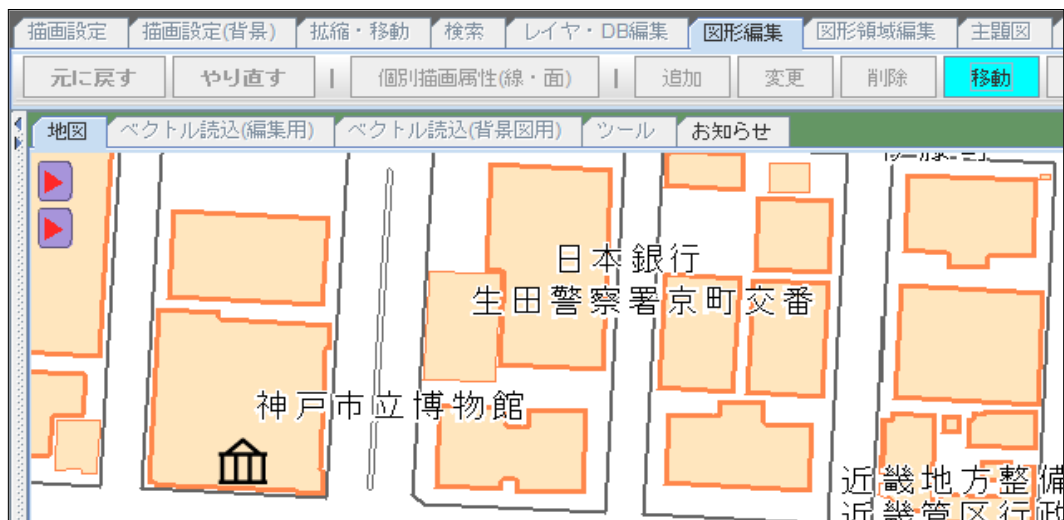


#### (4) 移動

- ① 「移動」ボタンをクリックします。
- ② 移動するポイント(点)のアイコンをマウスの左ボタンでプレスした状態で、アイコンを移動します。

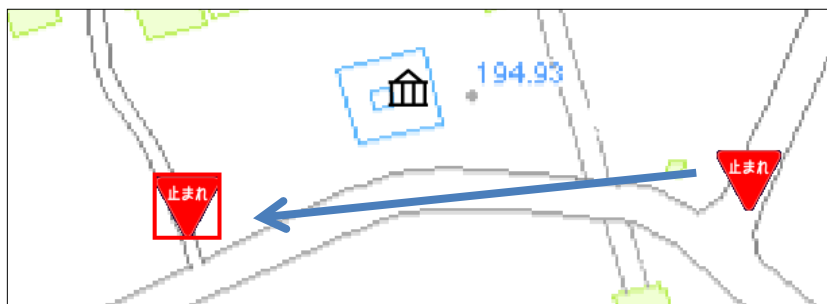


- ③ ボタンをリリースすると移動先の位置が確定します。

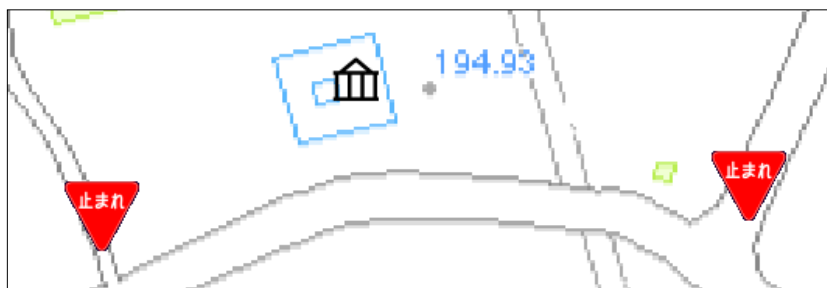


### (5) 複写

- ① 「複写」ボタンをクリックします。
- ② 複写するポイント(点)のアイコンをマウスの左ボタンでプレスした状態で、アイコンを移動します。



- ③ ボタンをリリースすると複写先の位置が確定します。



- ④ 複写先のDB項目値を入力する画面が表示されます。  
複写元の設定値が表示されるので、必要に応じて変更します。  
※「クリア」ボタンをクリックすると複写元のデータがクリアされ、空白になります。

複写 (レイヤ名: POINT)

データNo: 7

【項目名】: 標識名

【データ型】: 文字型

【小数点以下桁数】: 2

【項目値】: 20110401

クリア

登録

- ⑤ 「登録」ボタンをクリックします。



6. 2 ポリライン(線)データの編集

ポリライン(線)データに関しては、以下の編集機能があります。

機能	説明
追加	ポリライン(線)を追加登録します。
変更	ポリライン(線)の端点を移動、追加、削除します。
削除	ポリライン(線)を削除します。
移動	ポリライン(線)の形状を変更せずに全体を移動します。
複写	ポリライン(線)の形状を変更せずに全体を複写し、新たな位置にデータを追加登録します。
拡大縮小	ポリライン(線)の形状を変更せずに、拡大、または縮小します。 全端点を含む矩形領域の中心点を基点にして拡大・縮小します。
回転	ポリライン(線)の形状を変更せずに、回転します。 全端点を含む矩形領域の中心点を基点にして回転します。
個別描画属性(線・面)	図形ごとに個別で、描画属性を編集します。

(1) 追加(登録)

- ① 「図形編集」タブをクリックします。
- ② 「追加」ボタンをクリックします。
- ③ 地図上で各端点をマウスで入力(クリック)します。  
※端点の入力取消は、マウスの右ボタンクリックで行います。



- ④ ダブルクリックで、入力終了し、図形が確定します。
- ⑤ DB項目値を入力する画面が表示されるので、必要に応じて入力します。

追加 (レイヤ名: POLYLINE)

データNo	3		
【項目名】	【データ型】	【小数点以下桁数】	【項目値】
データ名	文字型		
地域	文字型		
内容1	文字型		

クリア 登録

- ⑥ 「登録」ボタンをクリックします。

## (2) 変更

- ① 「図形編集」タブをクリックします。
- ② 「変更」ボタンをクリックします。
- ③ 変更するポリライン(線)をクリックします。  
(選択されたポリライン(線)が赤色で表示される)

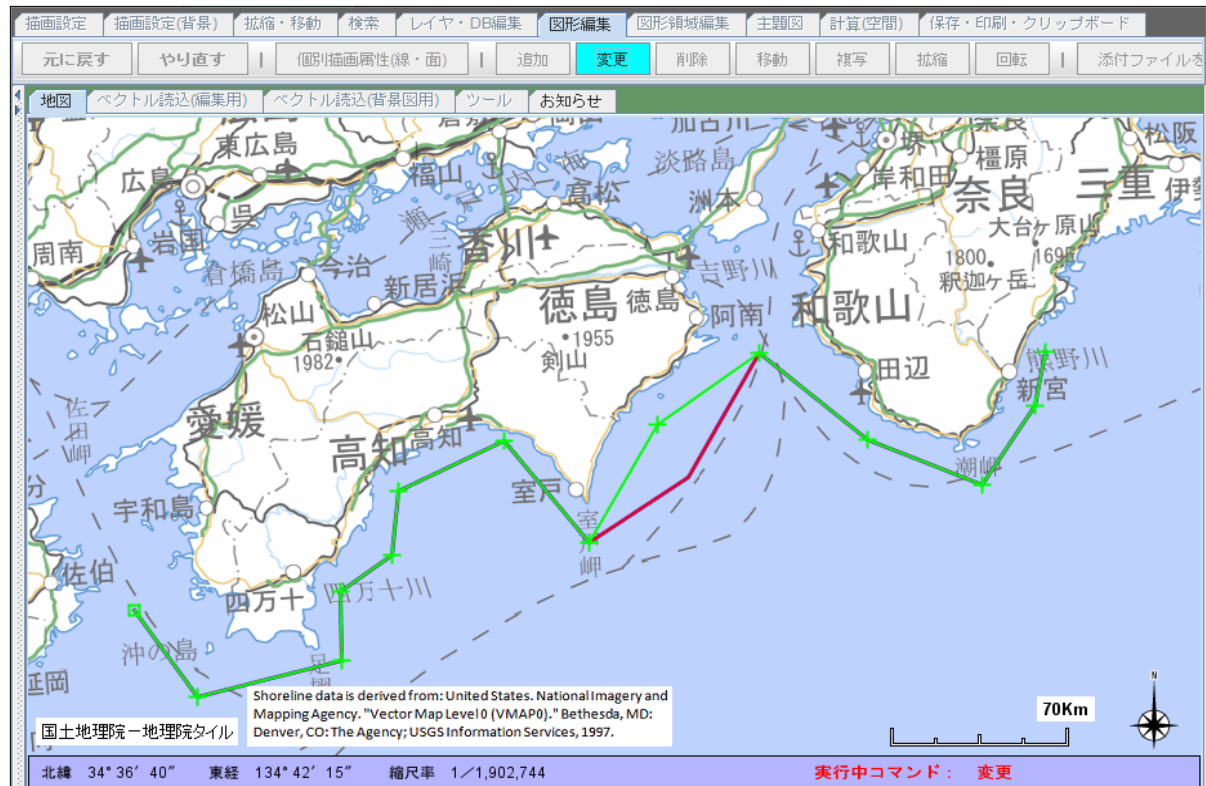


※以下の編集ができます。

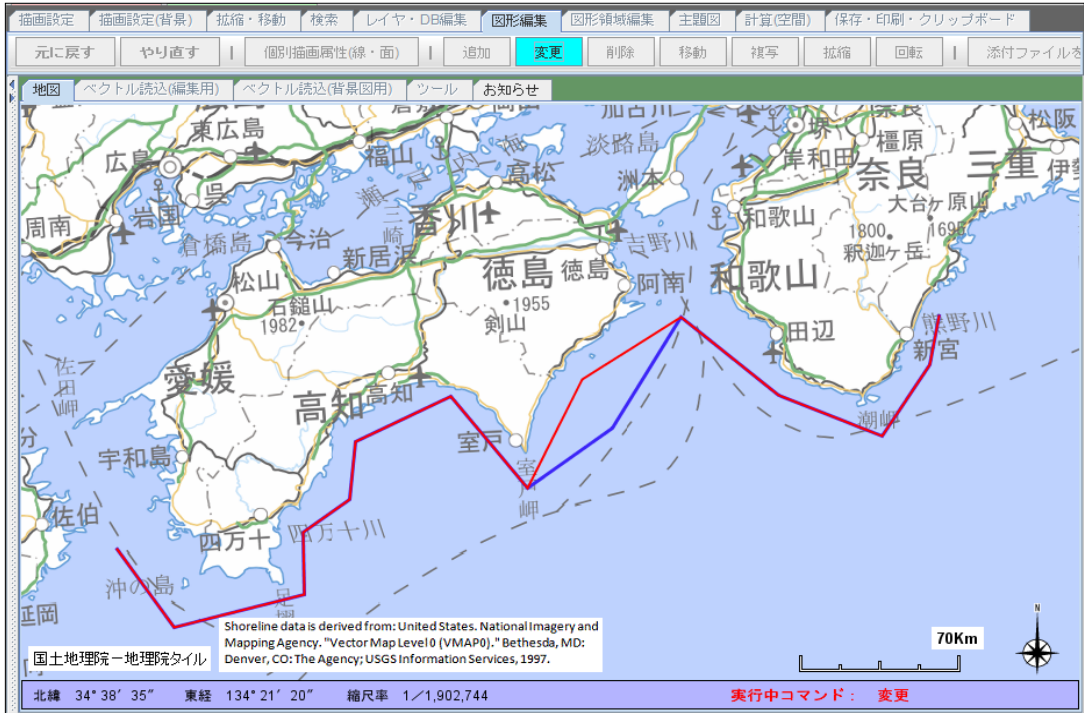
- ・端点の移動
- ・端点の追加
- ・端点の削除

- ③ 端点を移動する場合は、端点の近傍を左ボタンでプレスして下さい。  
 (ポリライン(線)全体が赤色の表示になります)  
 プレスした状態で、端点を移動させます(移動中は線が緑色で表示されます)。  
 ボタンをリリースすると移動位置が確定します(リリースすると、線が赤色で表示されます)。  
 さらに、地図上の任意の場所で、クリックすると変更の操作が確定し、図形データが更新されます。  
 (変更操作が確定すると、レイヤの描画属性情報で、線が表示されます)。

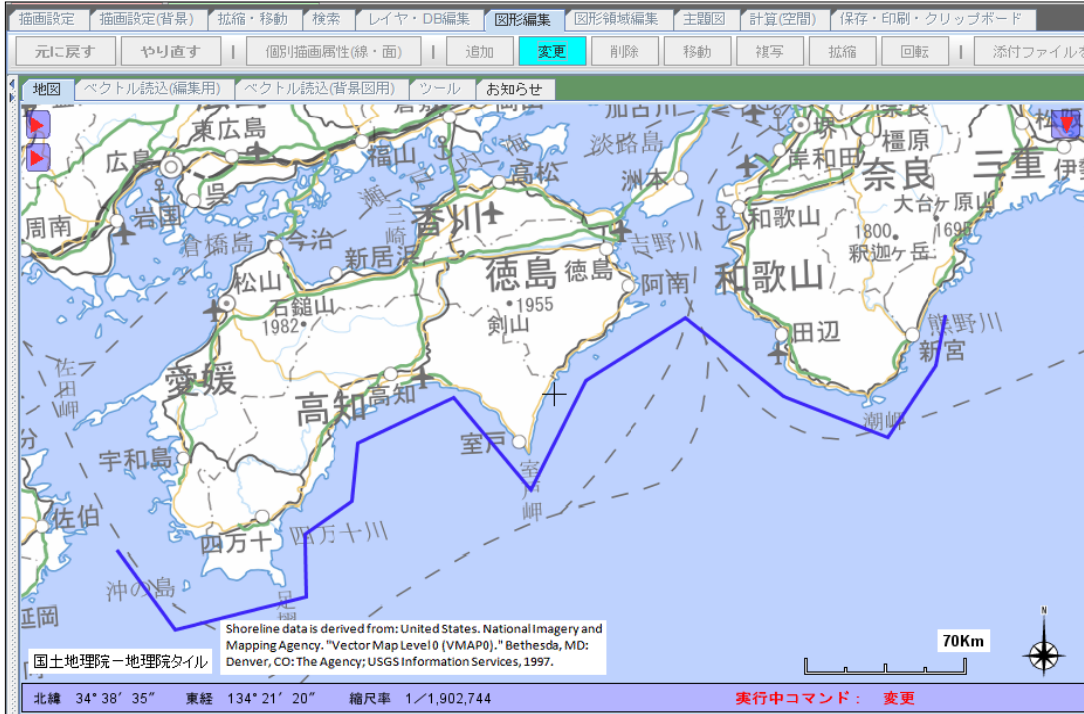
#### 【端点が移動中の線の色】



【端点の移動が完了し、マウスのボタンをリリースしたときの状態】



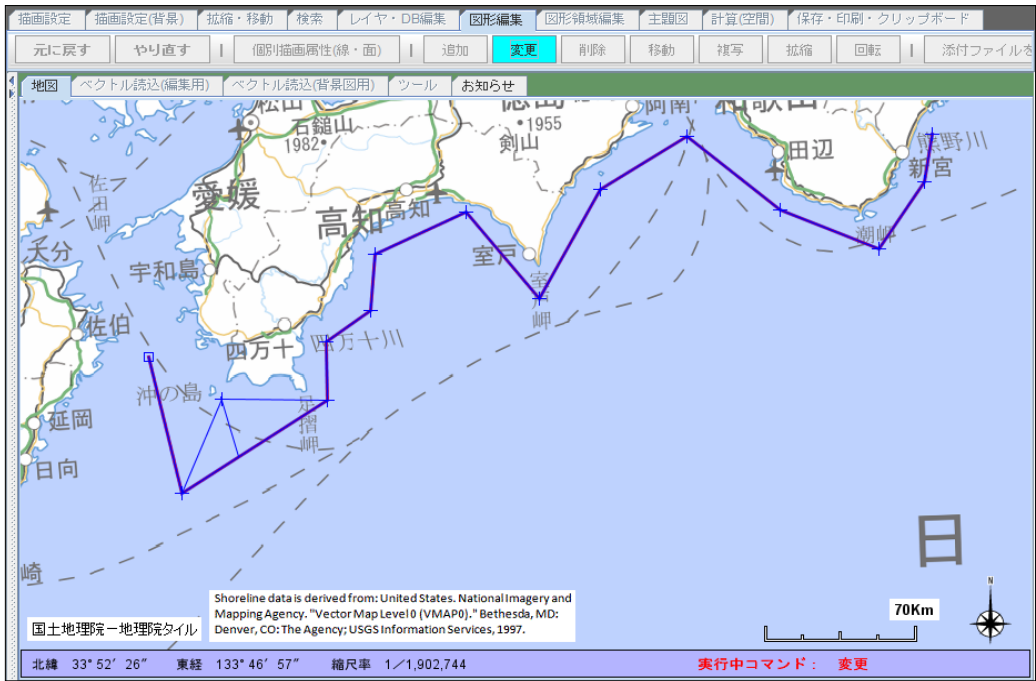
【マウスのリリース後に、地図の任意の場所で、クリックし、変更操作が確定・完了した状態】



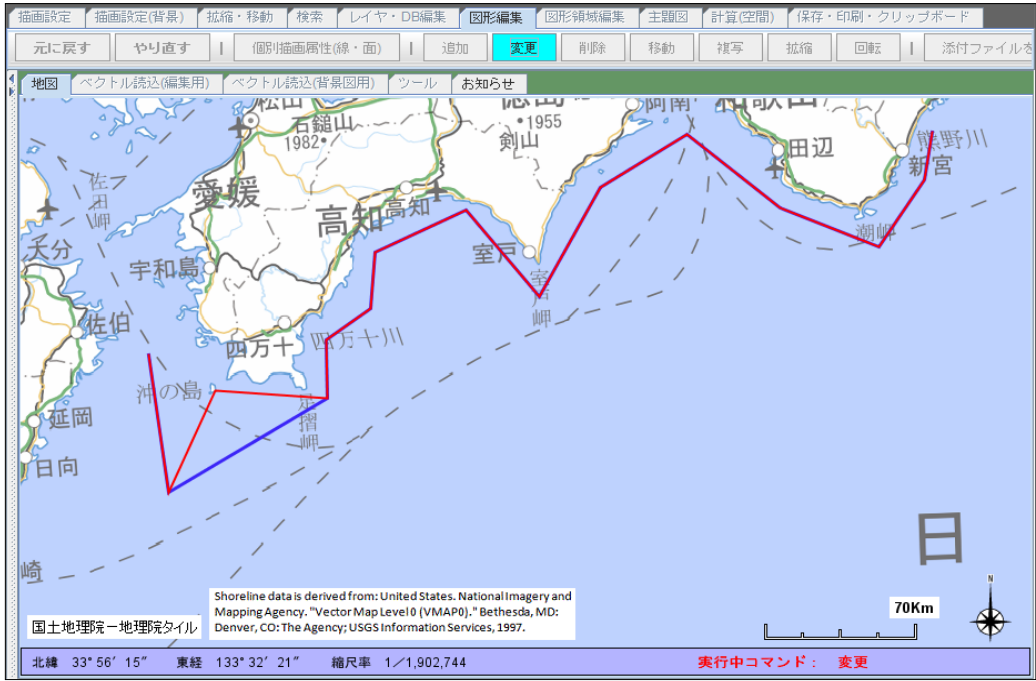


- ④ 端点を追加する場合は、線上の midpoint 位置の近傍で左ボタンでプレスして下さい。  
(ポリライン(線)全体が青色の表示になります)  
プレスした状態で、新しく発生した端点を移動させます。  
ボタンをリリースすると移動位置が確定します。

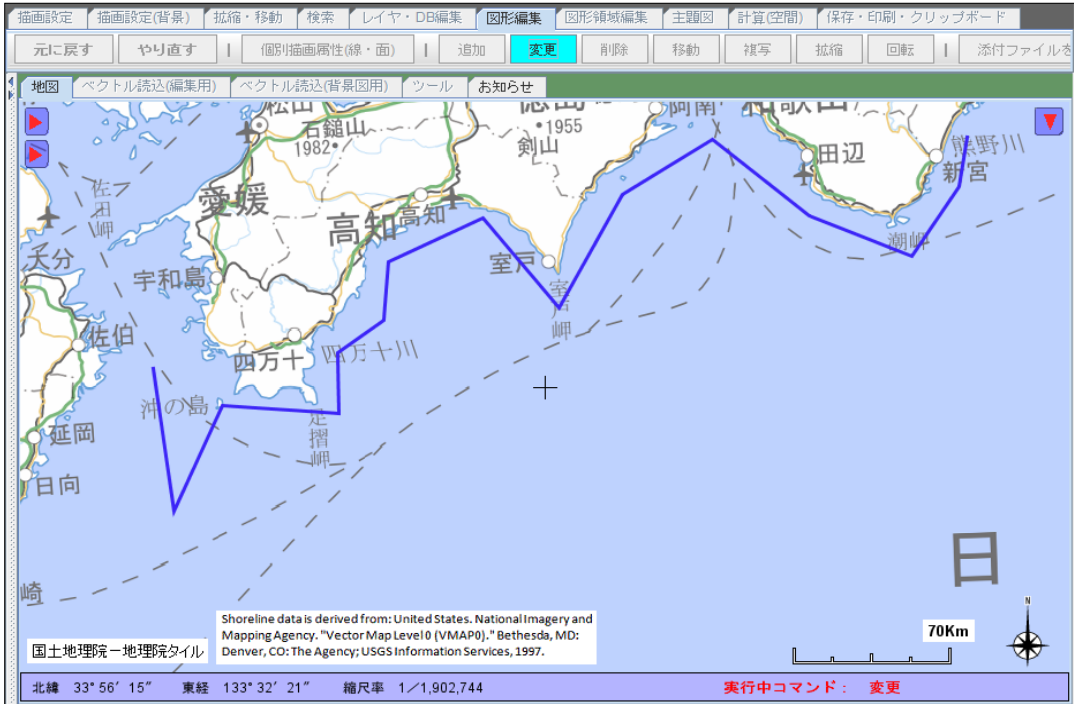
【端点を追加、移動中の線の色】



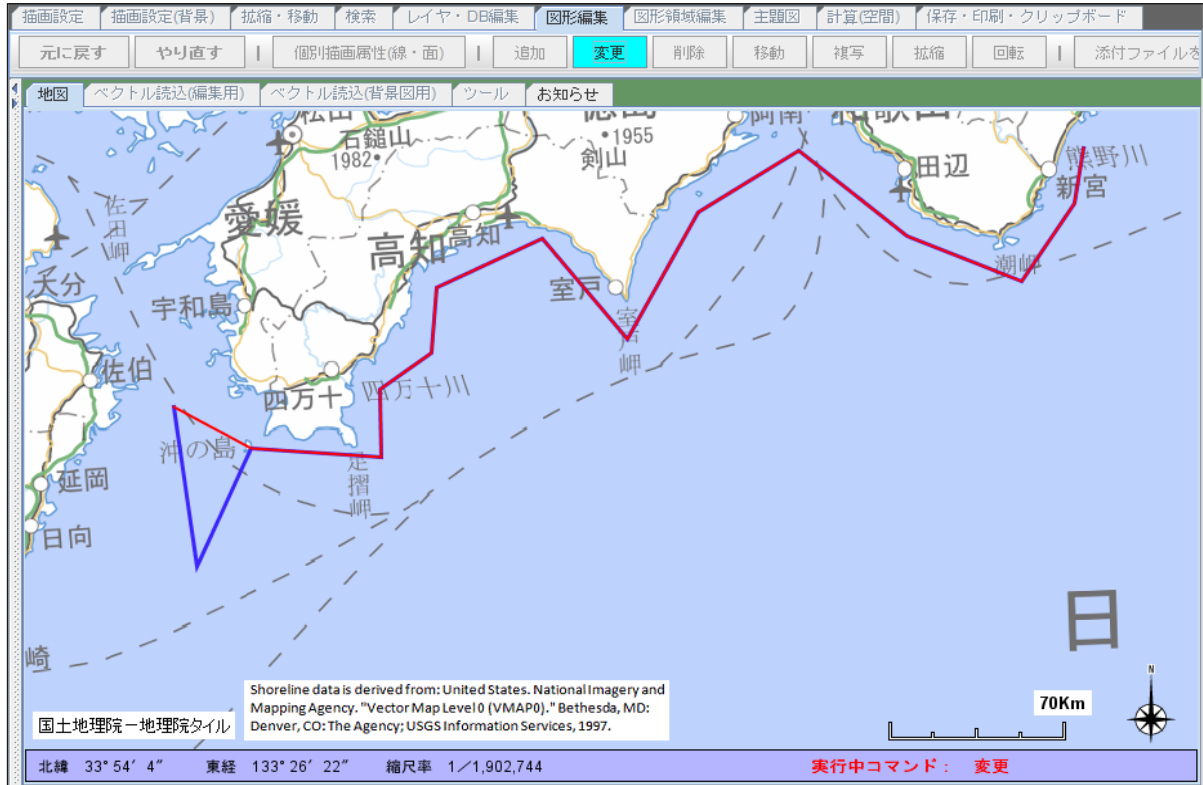
【端点の移動が完了し、マウスのボタンをリリースしたときの状態】



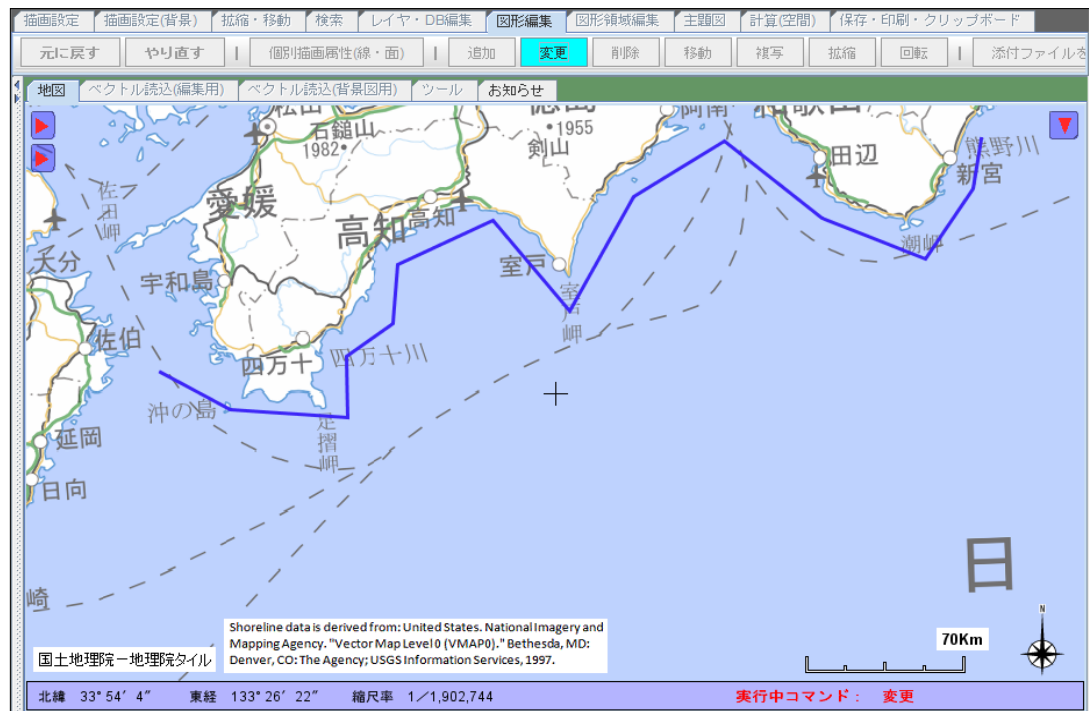
【マウスのリリース後に、地図の任意の場所で、クリックし、変更操作が確定・完了した状態】



- ⑤ 端点を削除する場合は、端点の近傍を右ボタンでクリックして下さい。  
その端点が仮削除されます。

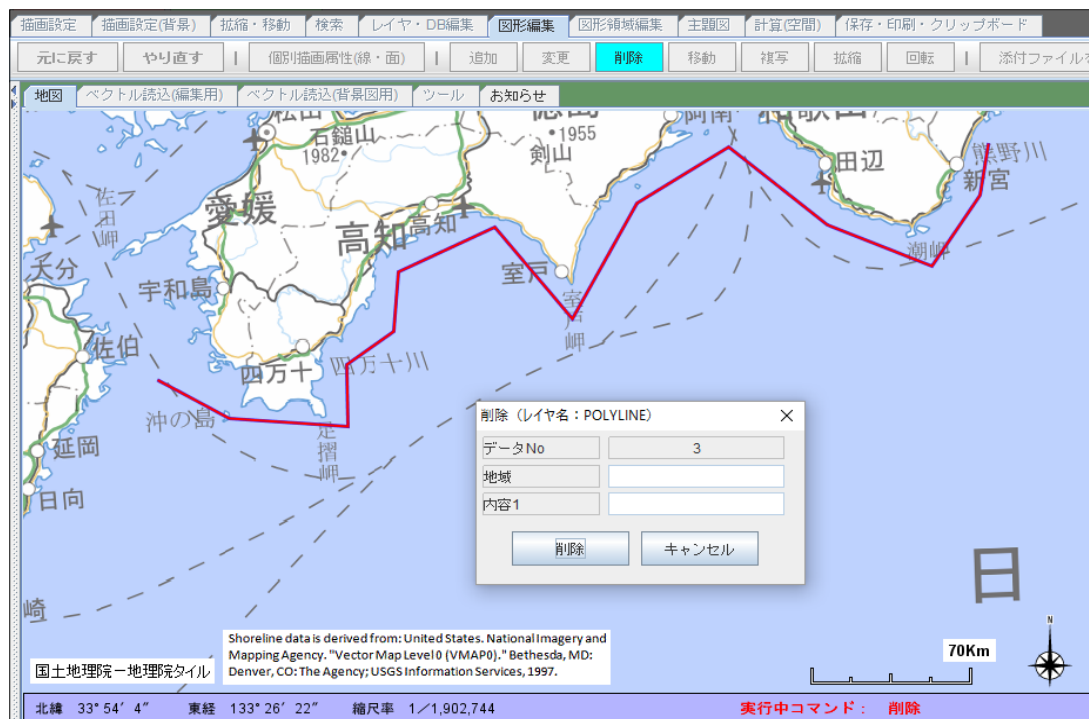


- ⑥ 地図上の任意の場所で、左クリックして下さい。  
変更の操作が確定し、図形データが更新されます。

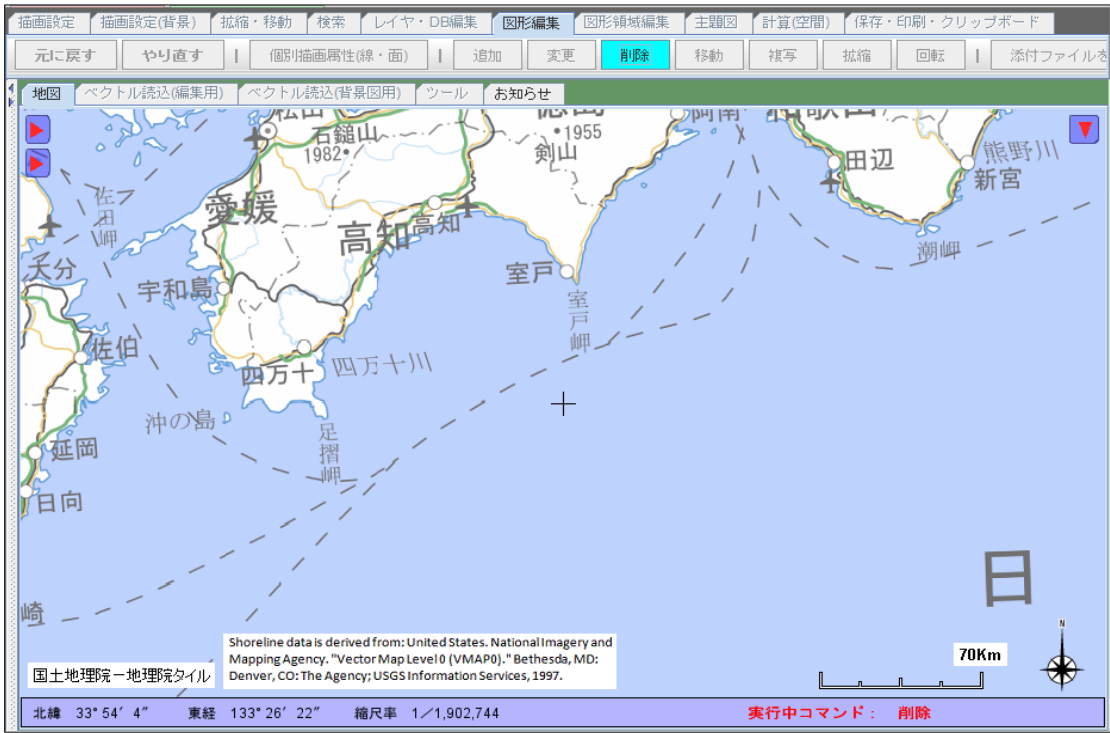


### (3) 削除

- ① 「削除」ボタンをクリックします。
- ② 削除するポリライン(線)の何れかの線上をクリックする。

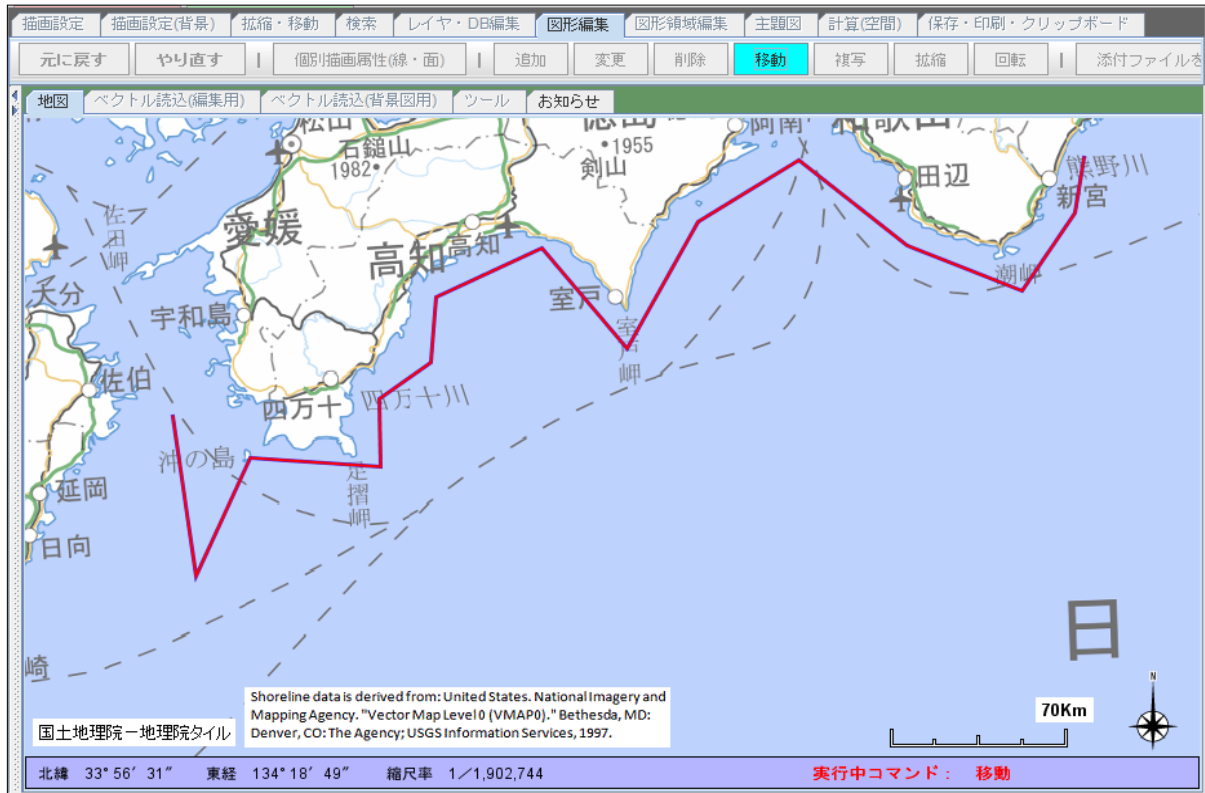


- ③ 削除の確認画面(DB項目値が表示されます)が表示されますので、「削除」ボタンをクリックします。



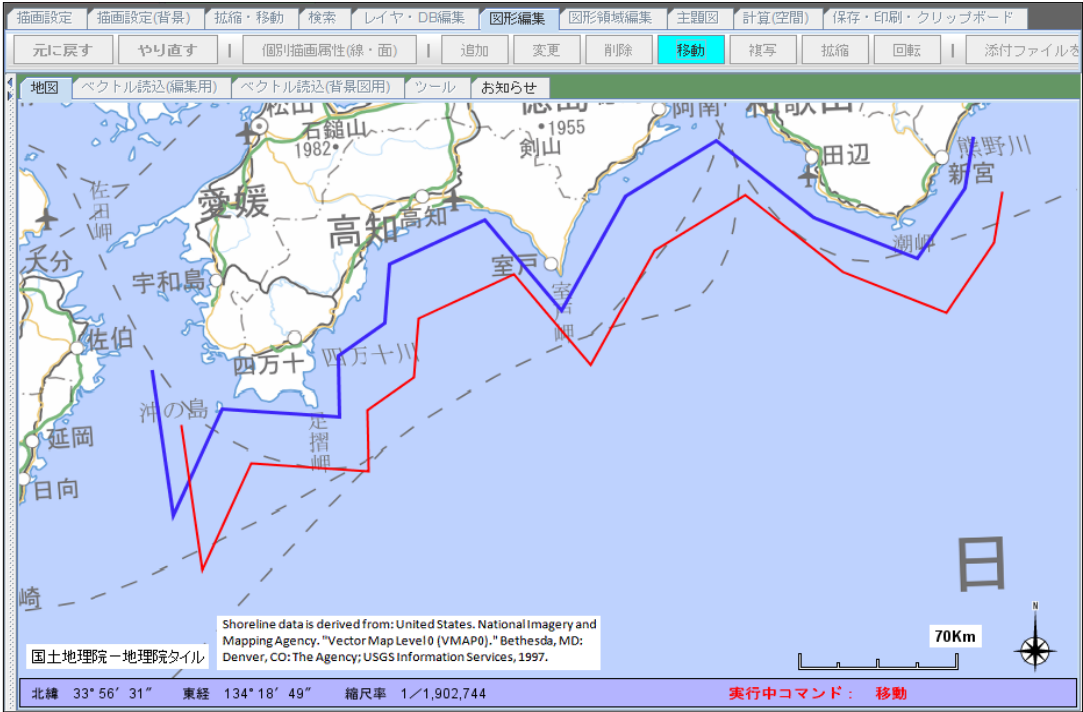
(4) 移動

- ① 「移動」ボタンをクリックします。
- ② 移動するポリライン(線)の線上をクリックします。





- ③ 左ボタンをプレスし、ポリライン(線)を移動させます。  
(移動中のポリライン(線)は赤色で表示されます)



- ④ 左ボタンをリリースすると移動先の位置が決定し、移動の操作が確定します。  
(図形データが更新されます)



(5) 複写

- ① 「複写」ボタンをクリックします。
- ② 複写するポリライン(線)の線上をクリックします。
- ③ 左ボタンをプレスし、ポリライン(線)を移動させます。  
(移動中は赤色で表示されます)
- ④ ボタンをリリースすると複写先の位置が確定し、複写先のDB項目値を入力する画面が表示されます。
- ⑤ 複写先のDB項目値を入力する画面が表示されるので、必要に応じて入力します。  
「登録」ボタンをクリックします。

(6) 拡縮

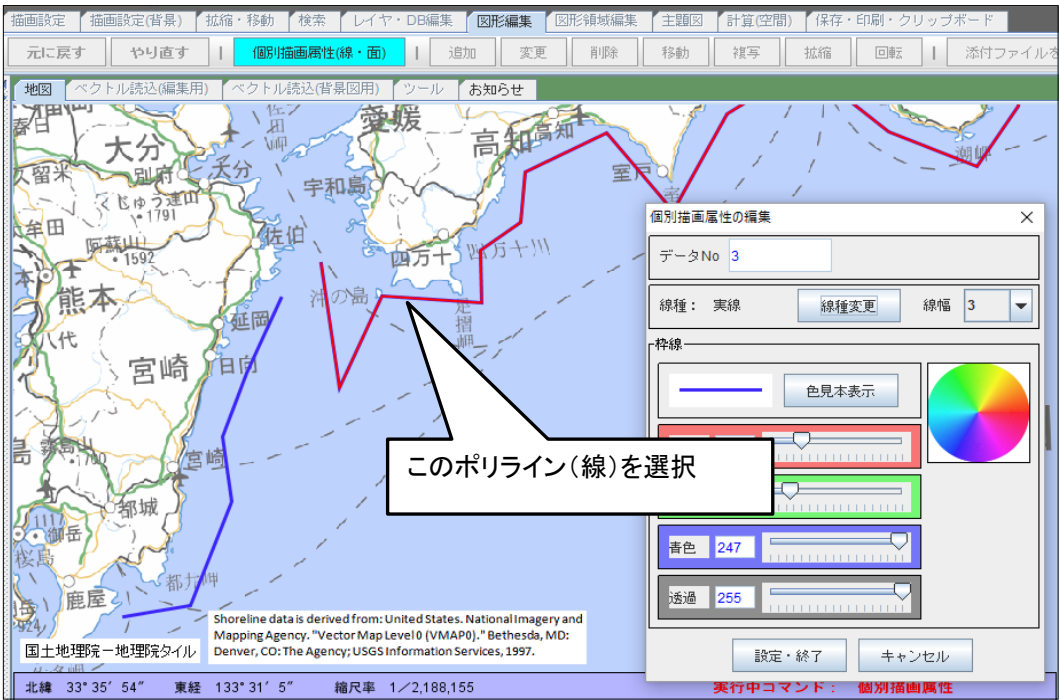
- ① 「拡縮」ボタンをクリックします。
- ② 拡縮するポリライン(線)を選択(クリック)します。
- ③ マウスホイールを前後に動かし、拡大、または縮小させます。
- ④ 地図上の何れかでクリックすると拡大、縮小が確定します。

(7) 回転

- ① 「回転」ボタンをクリックします。
- ② 回転させるポリライン(線)の線上をクリックします。
- ③ マウスの左ボタンをプレスし、マウスを移動、回転させます。
- ④ 地図上の何れかでクリックすると回転が確定します。

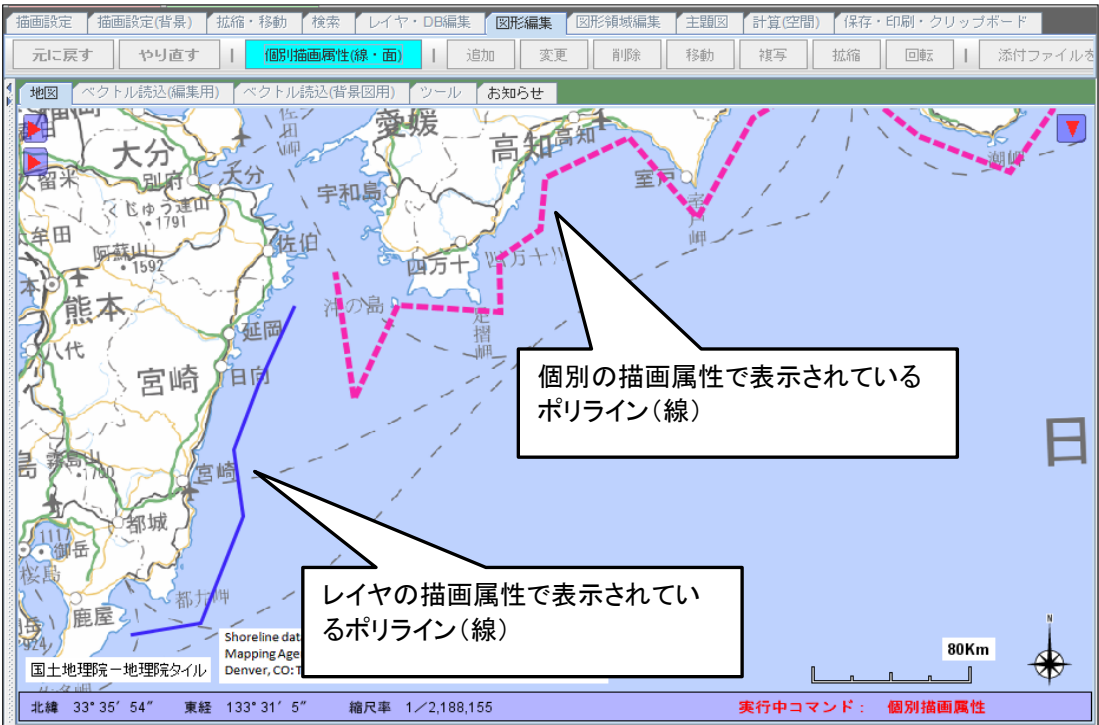
(8) 個別描画属性

- ① 「個別描画属性(線・面)」ボタンをクリックします。
- ② 描画属性を変更するポリライン(線)の線上をクリックします。  
「個別描画属性の編集」画面が表示されます。



- ③ 描画属性を変更し、「設定・終了」ボタンをクリックします。

(例) 線幅を太く、線種を破線に変更。



6. 3 ポリゴン(面)データの編集

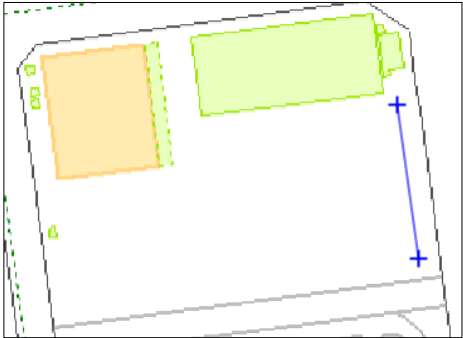
ポリゴン(面)データに関しては、以下の編集機能があります。

機能	説明
追加	ポリゴン(面)を追加登録します。
変更	ポリゴン(面)の端点を移動、追加、削除します。
削除	ポリゴン(面)を削除します。
移動	ポリゴン(面)の形状を変更せずに全体を移動します。
複写	ポリゴン(面)の形状を変更せずに全体を複写し、新たな位置にデータを追加登録します。
拡大縮小	ポリゴン(面)の形状を変更せずに、拡大、または縮小します。 全端点を含む矩形領域の中心点を基点にして拡大・縮小します。
回転	ポリゴン(面)の形状を変更せずに、回転します。 全端点を含む矩形領域の中心点を基点にして回転します。
個別描画属性 (線・面)	図形ごとに個別で、描画属性を編集します。

(1) 追加(登録)

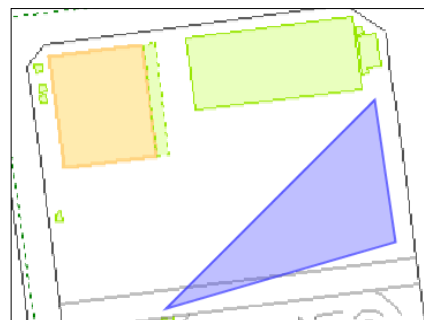
- ① 「図形編集」タブをクリックします。
- ② 「追加」ボタンをクリックします。
- ③ 地図上で各端点を入力(クリック)します。  
※端点の入力取消は、マウスの右ボタンクリックで行います。

- 【1点目、2点目の入力】
- ・1点目を入力すると、「+」が表示されます。
  - ・2点目を入力するために、マウスを移動すると、結線とともにマウス位置が「+」で表示されます。入力点で、マウスを左クリックします。



【3点目以降の入力】

- ・マウスを移動させると、入力済みの座標を用いて面の図形を表示します。
- ・入力位置が決まれば、マウスをクリックして下さい。
- ・以降、位置を入力(クリック)して下さい。



【最終点の入力(図形の形状が完成)】



- ④ ダブルクリックで、入力を終了し、図形が確定します。

【ダブルクリックで作成完了】

- ・図形(面)が完成すれば、その位置でマウスをダブルクリックして下さい。
- ・図形の形状が確定し、DB項目値の入力画面が表示されます。

追加 (レイヤ名: POLYGON)

【項目名】	【データ型】	【項目値】
データNo		18
建物種別	文字型	
強度の種別	文字型	
建物番号	整数型	
建設予定日	日付型	
内容1	文字型	

クリアー

登録

22" 東経 135° 16' 37" 縮尺率 1/1,631

実行中コマンド: 追加

- ⑤ DB項目値を必要に応じて入力する。

追加 (レイヤ名: POLYGON)

【項目名】	【データ型】	【項目値】
データNo		18
建物種別	文字型	鉄筋コンクリート
強度の種別	文字型	非常に強固
建物番号	整数型	1234
建設予定日	日付型	20140401
内容1	文字型	

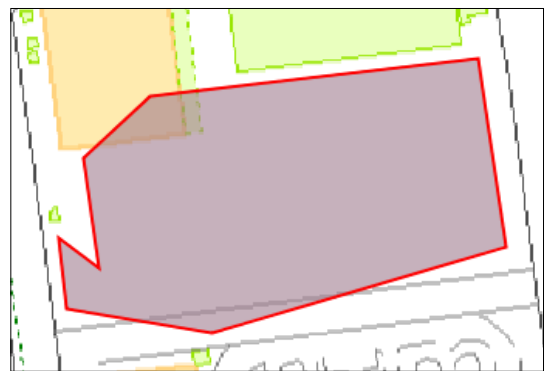
クリアー

登録

- ⑥ 「登録」ボタンをクリックします。  
図形の作成、DB項目値の登録が完了しました。

## (2) 変更

- ① 「図形編集」タブをクリックします。
- ② 「変更」ボタンをクリックします。
- ③ ポリゴン(面)の図形内をクリックします。  
(ポリゴン(面)が赤色で表示されます)



※変更コマンドでは以下の編集ができます。

- ・端点の移動
- ・端点の追加
- ・端点の削除

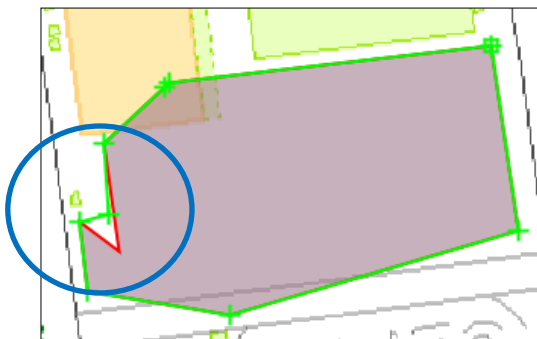
### 【端点の移動】

端点を移動する場合は、端点の近傍を左ボタンでプレスして(押して)下さい。

ポリゴン(面)全体が緑色の表示になります)

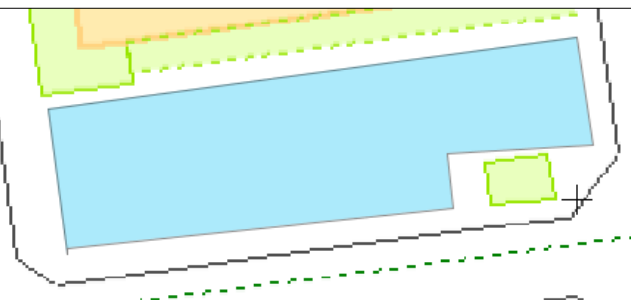
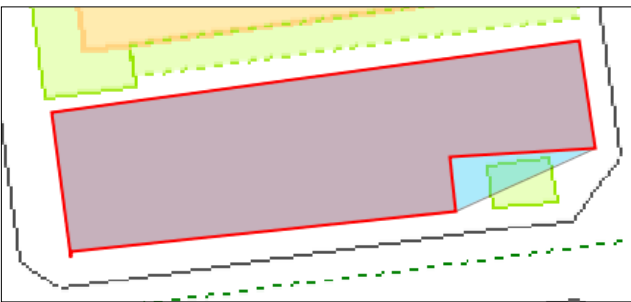
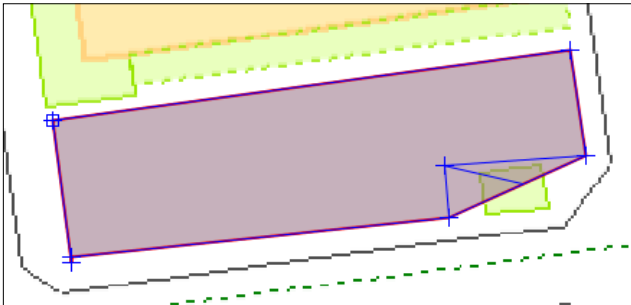
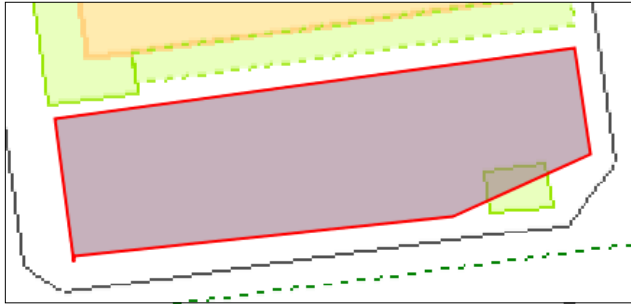
プレスした状態で、端点を移動させます。

ボタンをリリースし(離し)、地図上の任意の位置でクリックすると図形の変更が確定します。



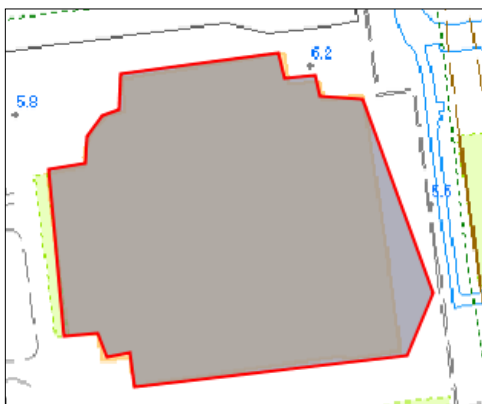
【端点の追加】

端点を追加する場合は、線上の midpoint 位置の近傍で左ボタンでプレスして(押して)下さい。  
 ポリゴン(面)全体が青色の表示になります)  
 プレスした状態で、新しく発生した端点を移動させます。  
 ボタンをリリースすると(離すと)移動位置が確定します。

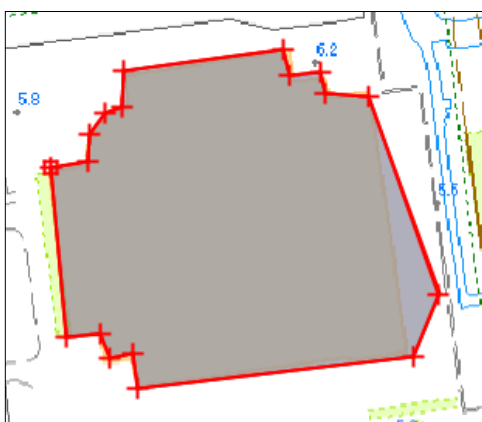


### 【端点の削除】

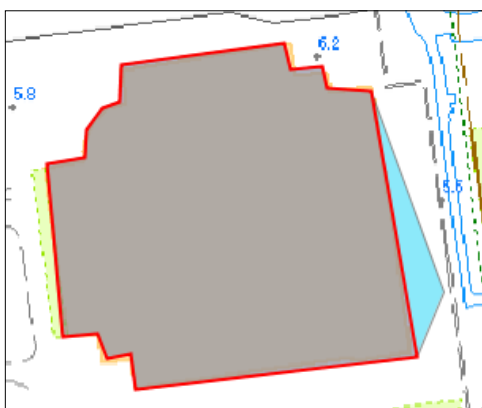
端点を削除する場合は、端点の近傍を右ボタンでクリックして下さい。  
その端点が削除されます。



ポリゴン(面)が選択されている状態。



削除する端点をマウス右ボタンでプレスした(押した)状態。



マウス右ボタンリリース(離れた)状態。

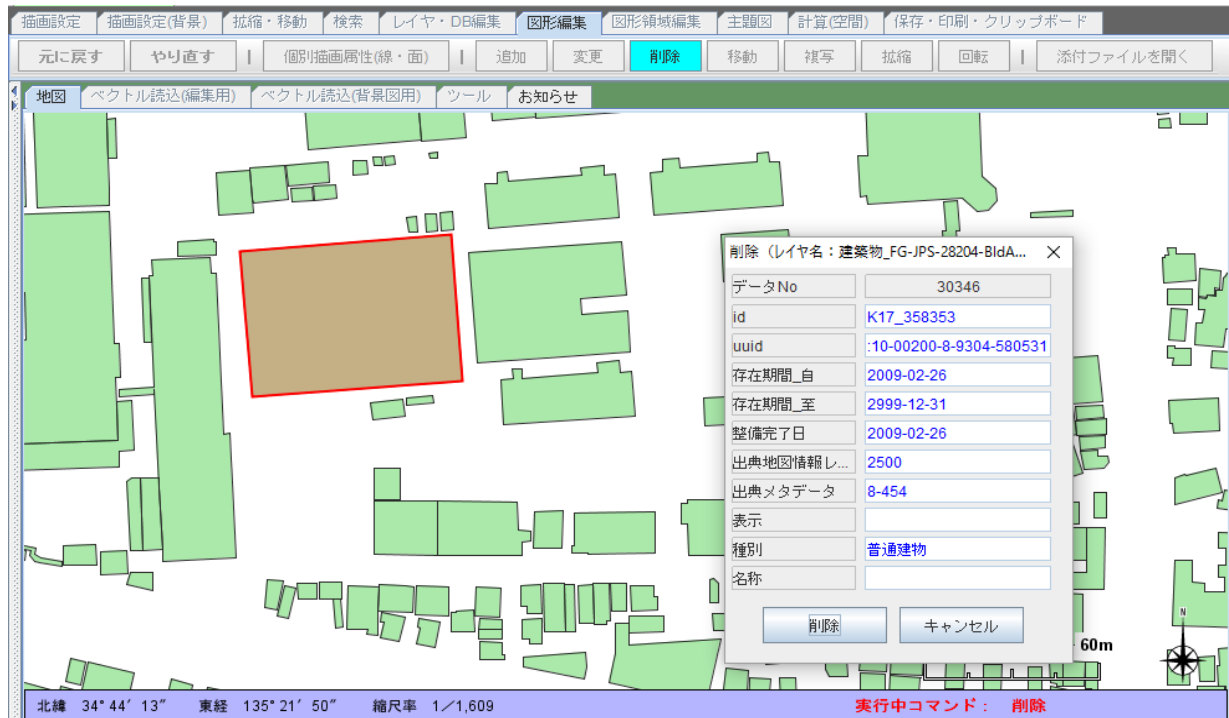
- ⑥ 地図上で、ポリゴン(面)が存在しない場所で、左クリックして下さい。  
変更の操作が確定し、図形データが更新されます。

変更操作の取消しは、一旦、⑥の操作で確定した後に、「元に戻すo」ボタンをクリックして下さい。



### (3) 削除

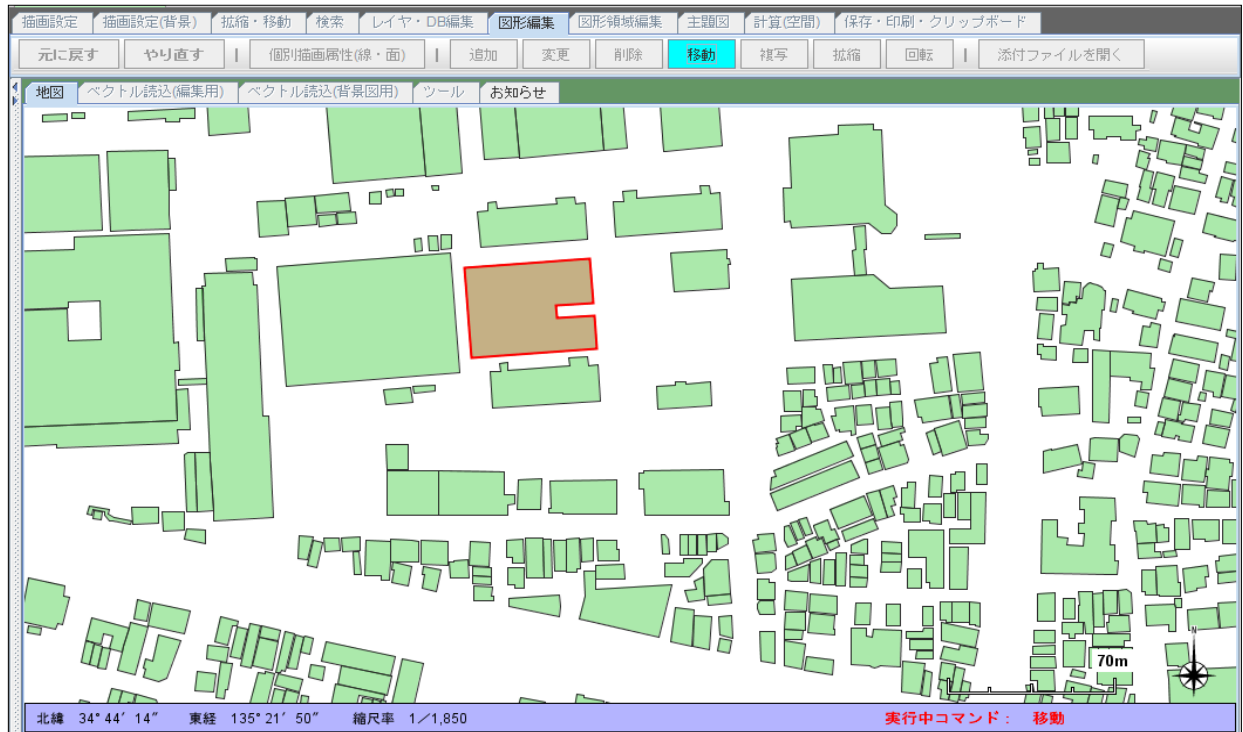
- ① 「削除」ボタンをクリックします。
- ② 削除するポリゴン(面)の図形内をクリックする。  
(ポリゴン(面)が赤色で表示されます)



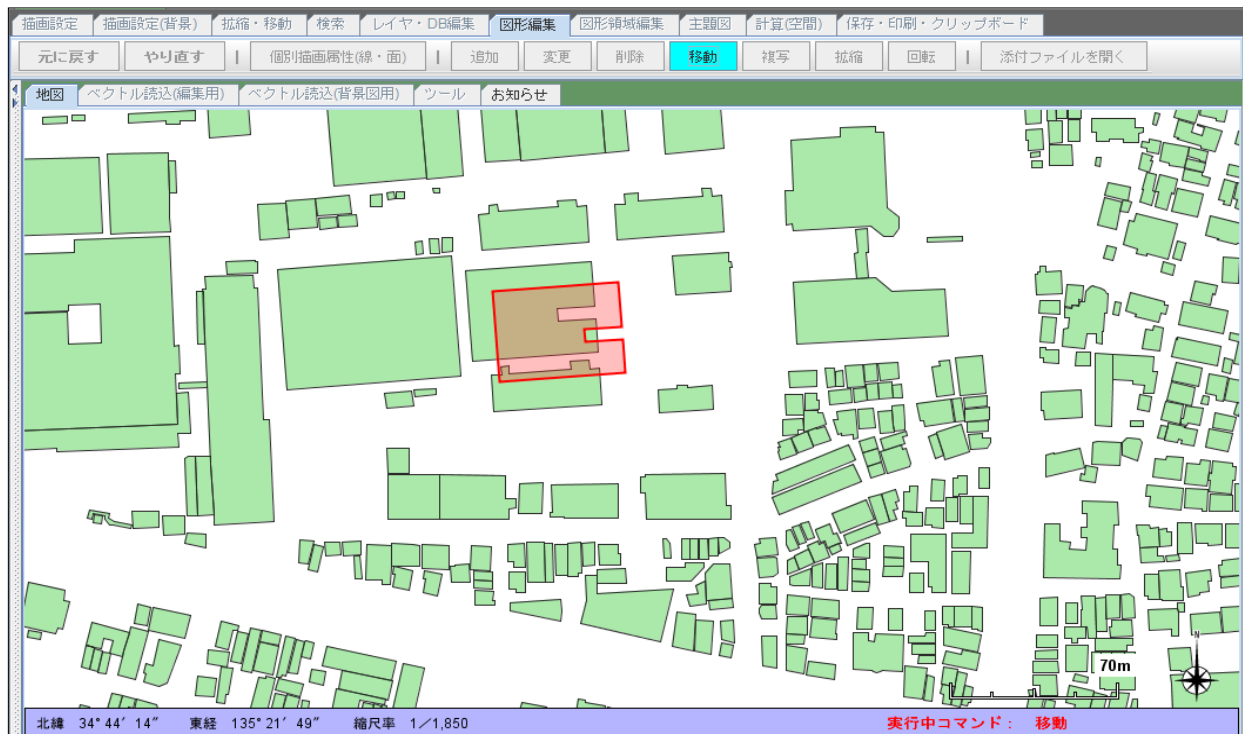
- ③ 削除の確認画面(DB項目値が表示されます)が表示されますので、データの確認をして下さい。  
削除してよければ「削除」ボタンを、取り消す場合は「キャンセル」ボタンをクリックします。

#### (4) 移動

- ① 「移動」ボタンをクリックします。
- ② 移動するポリゴン(面)の図形内をクリックします。  
選択された図形が赤色で表示されます。



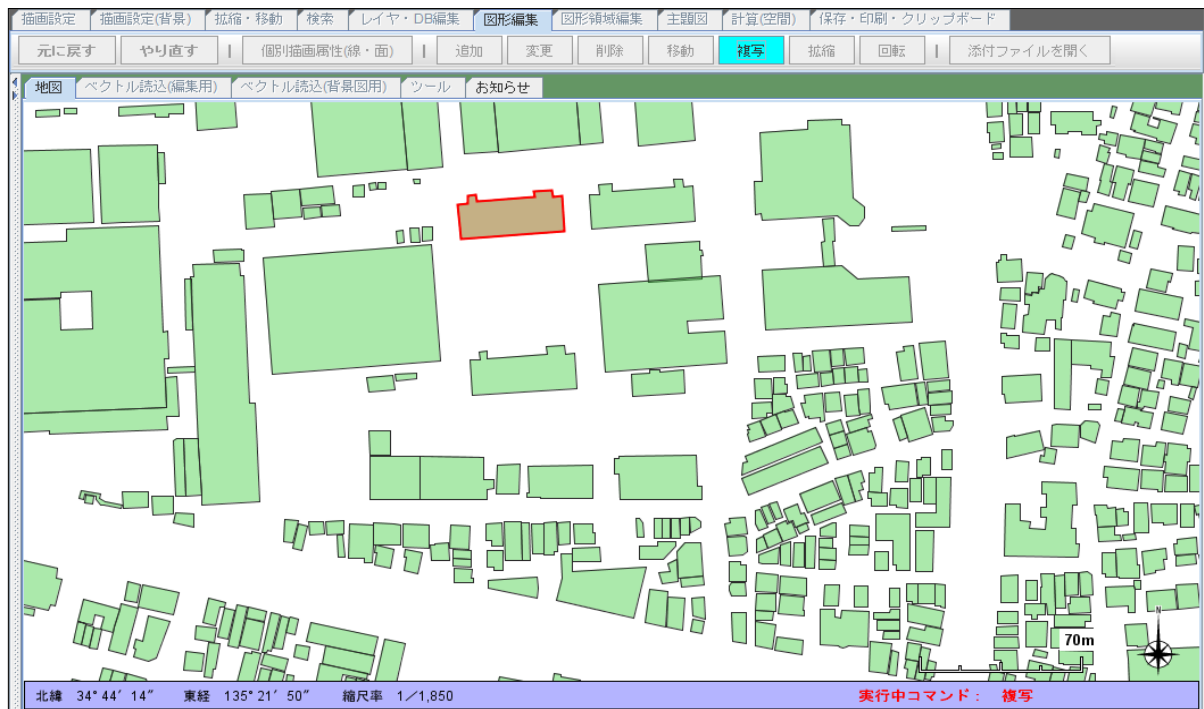
- ③ 左ボタンをプレスし(押し)、ポリゴン(面)を移動させます。



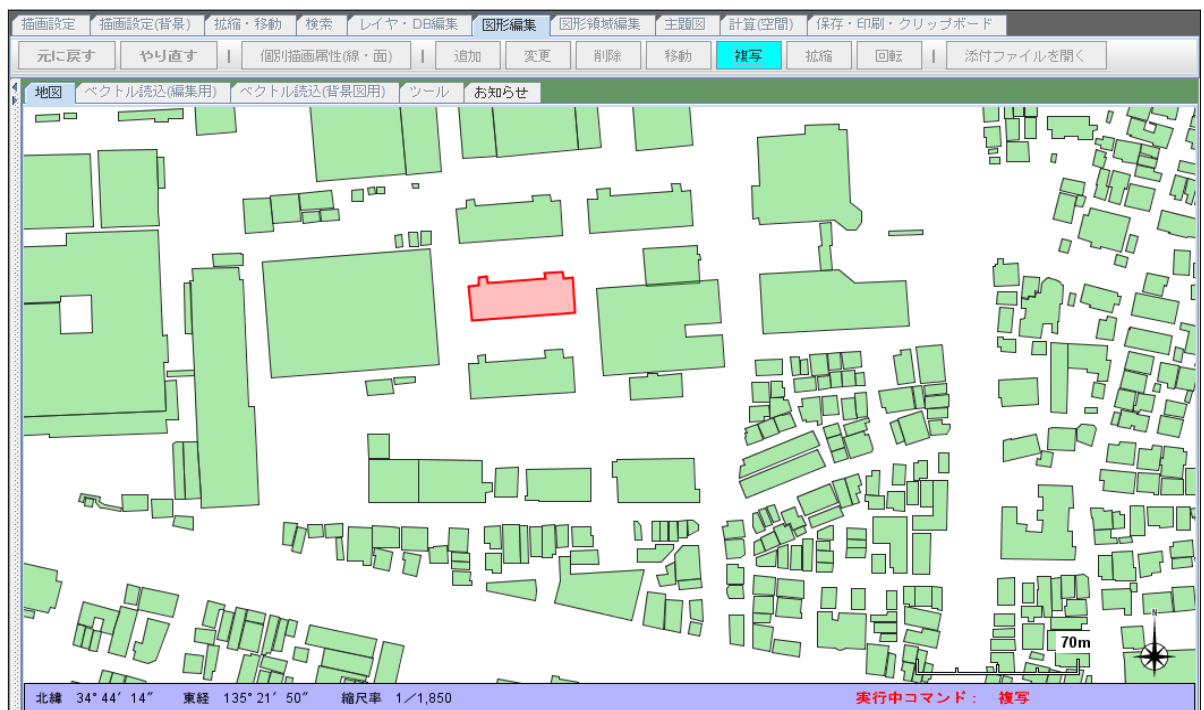
- ④ 左ボタンをリリースすると(離すと)移動先の位置が確定します。

(5) 複写

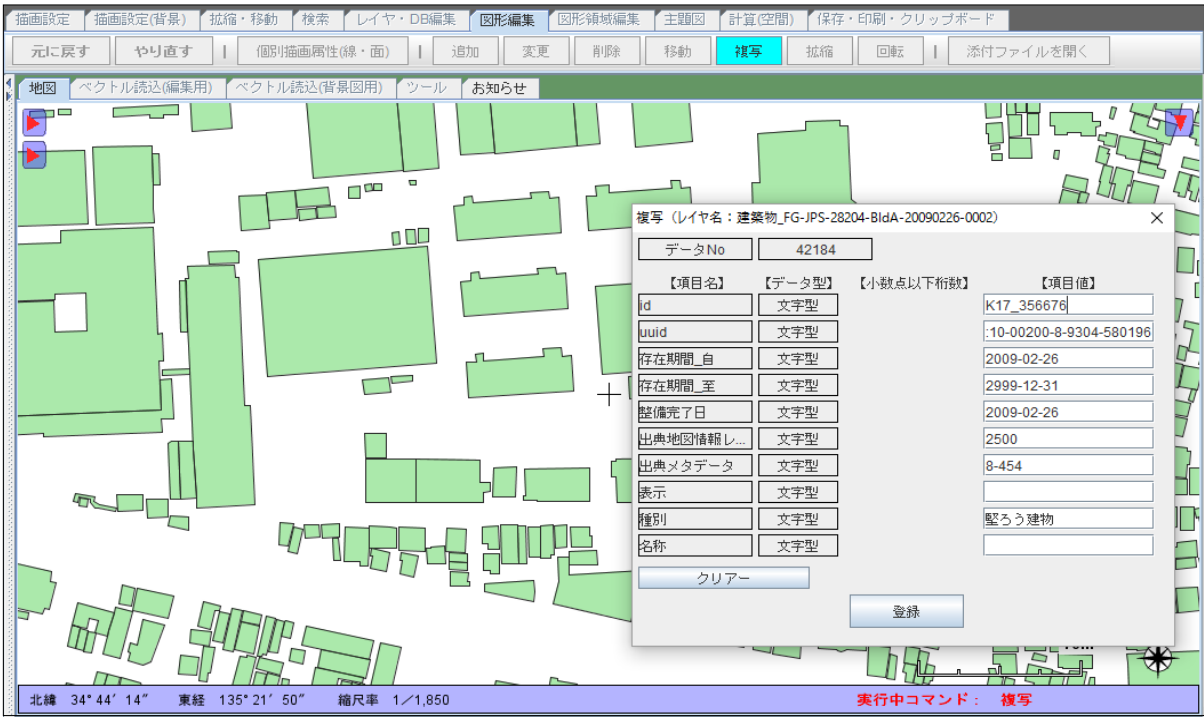
- ① 「複写」ボタンをクリックします。
- ② 複写するポリゴン(面)の図形内をクリックします。  
(ポリゴン(面)が赤色で表示されます)



- ③ 左ボタンをプレスし(押し)、ポリゴン(面)を移動させます。



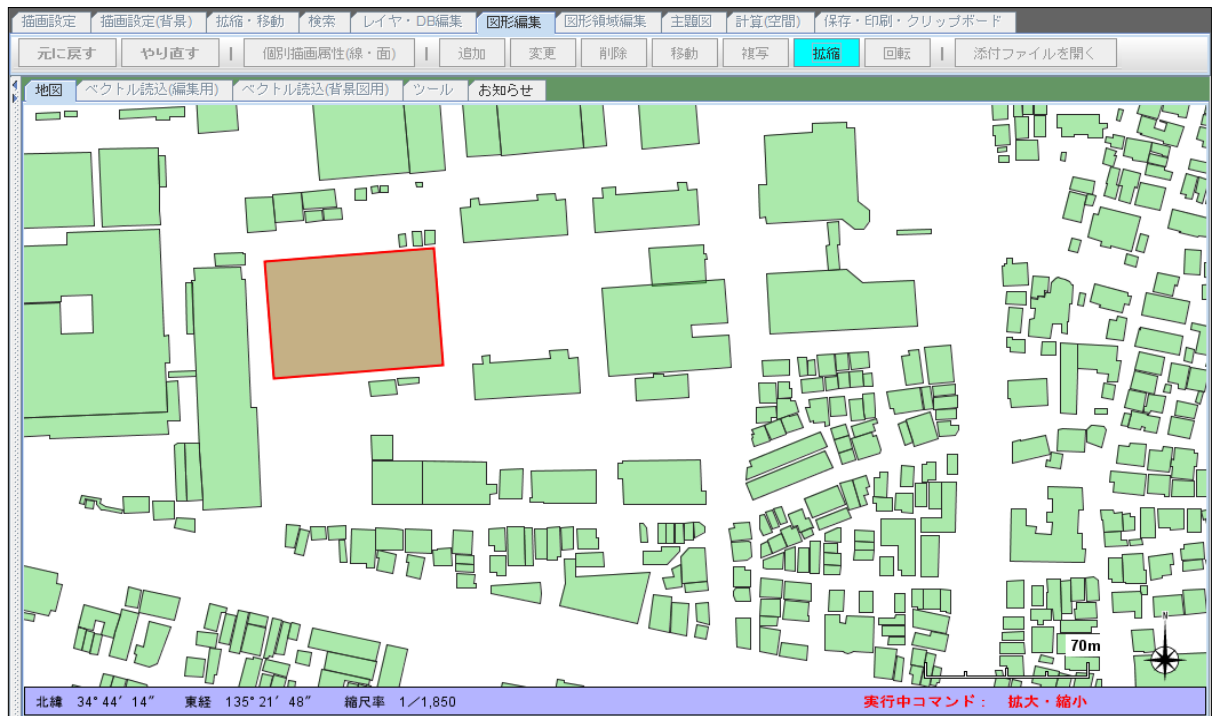
- ④ ボタンをリリースすると(離すと)複写先の位置が確定します。  
複写先のDB項目値を入力する画面が表示されますので、必要に応じて入力します。



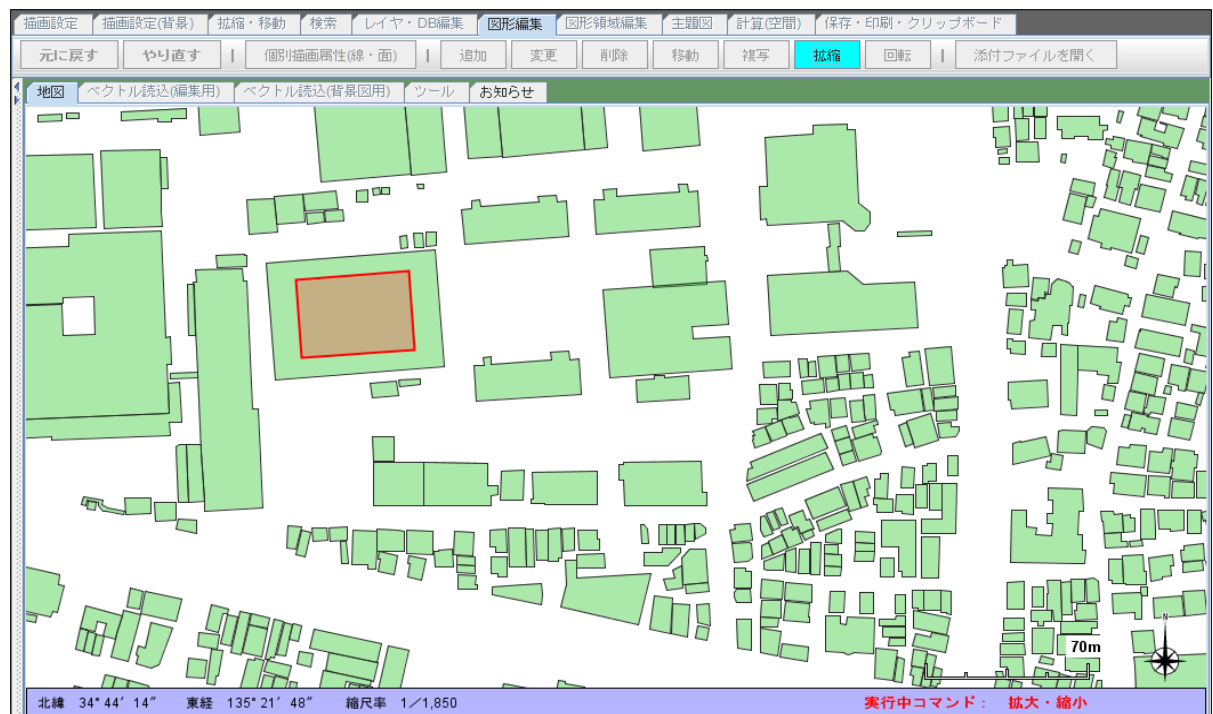
- ⑤ 「登録」ボタンをクリックします。

## (6) 拡縮

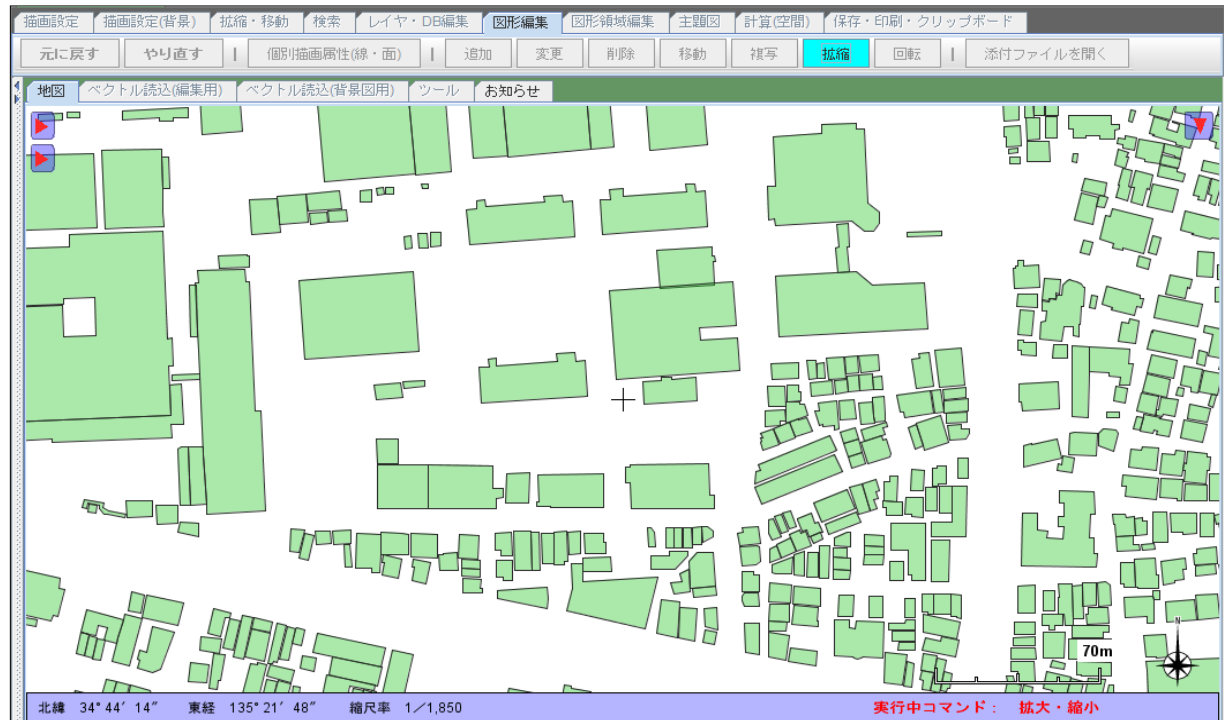
- ① 「拡縮」ボタンをクリックします。
- ② 拡縮するポリゴン(面)の図形内をクリックします。  
(ポリゴン(面)が赤色で表示されます)



- ③ マウスホイールを前後に動かし、拡大、または縮小させます。

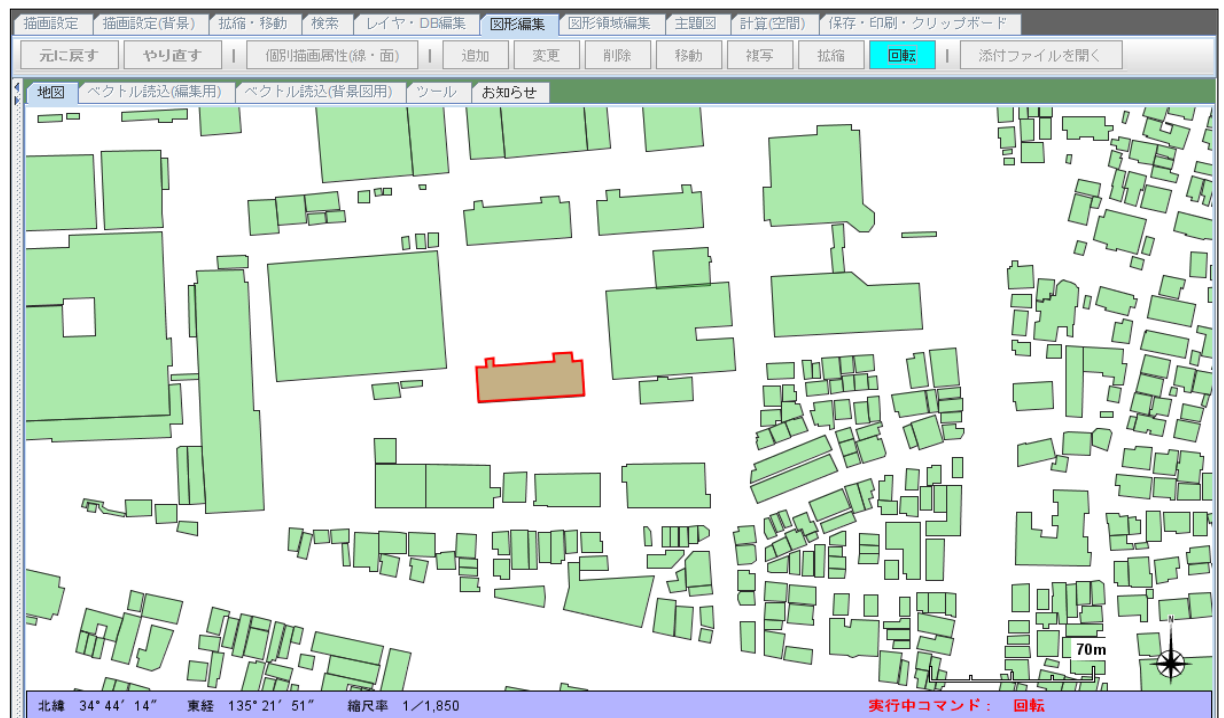


④ 地図上の何れかでクリックすると拡大、縮小が確定します。



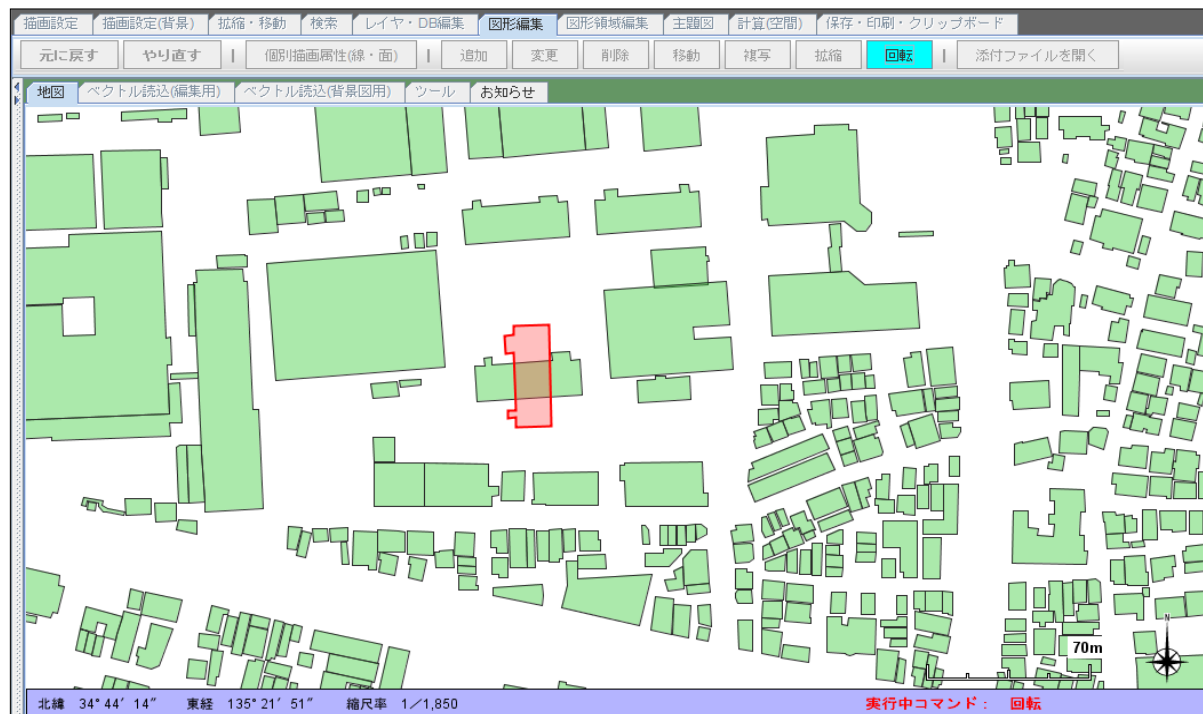
(7) 回転

- ① 「回転」ボタンをクリックします。
- ② 回転させるポリゴン(面)の図形内をクリックします。  
(ポリゴン(面)が赤色で表示されます)

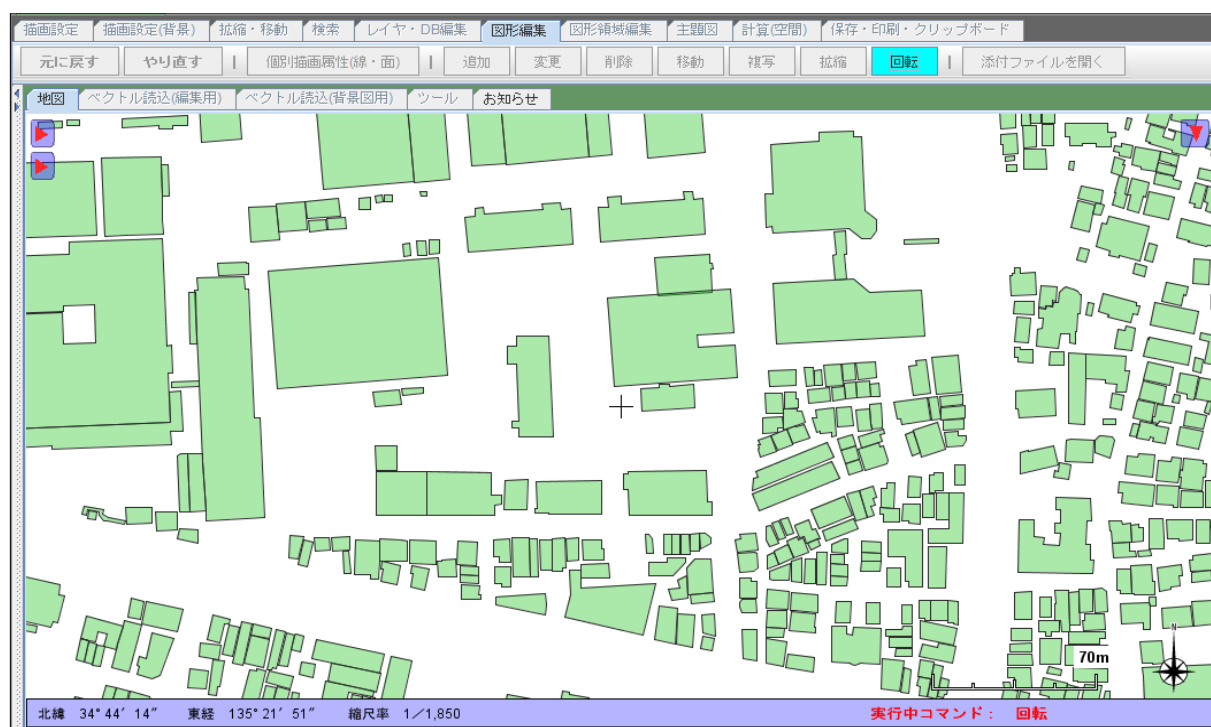




- ③ マウスの左ボタンをプレスした(押した)状態で、マウスを移動、回転させます。



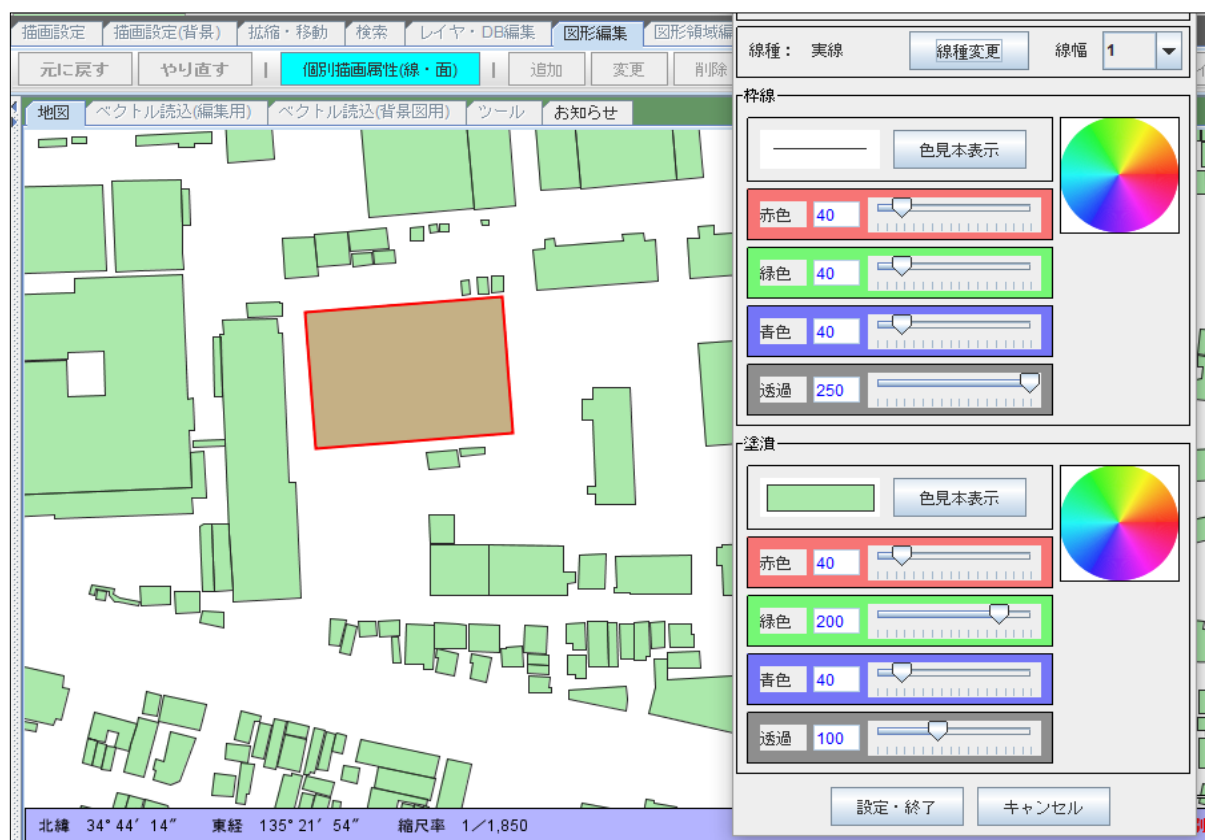
- ④ 地図上の何れかでクリックすると回転が確定します。



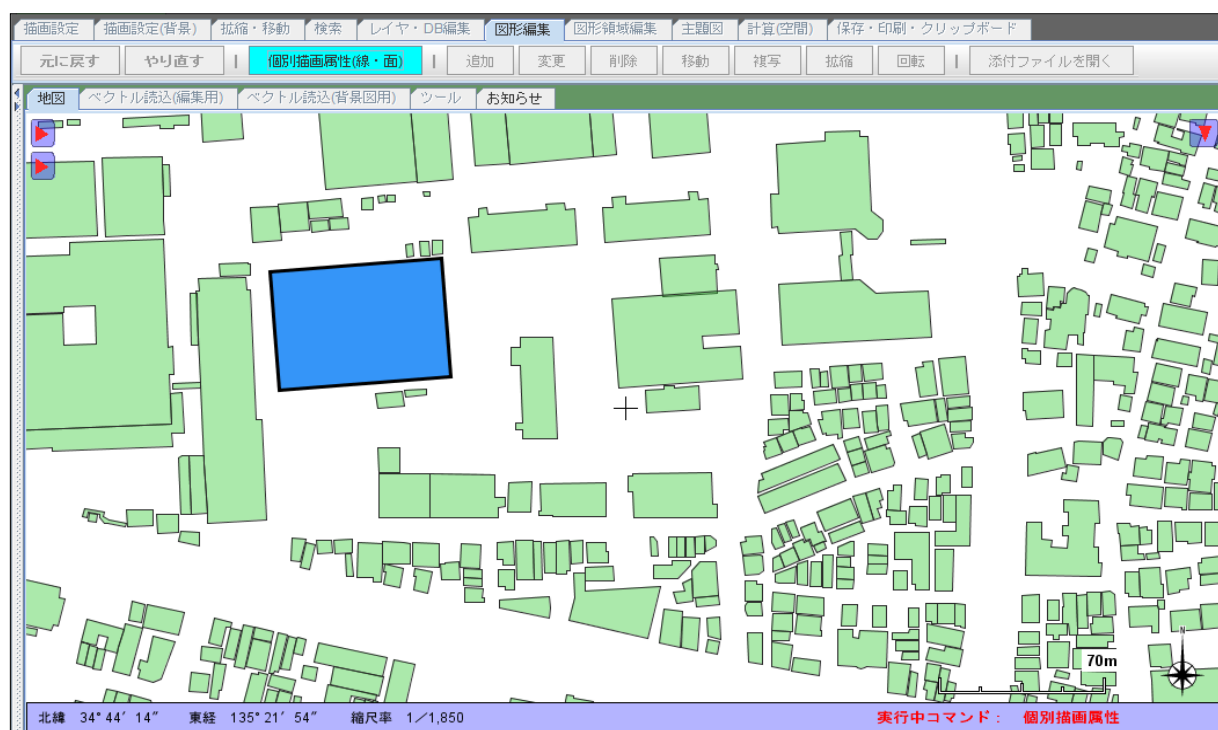
## (8) 個別描画属性

- ① 「個別描画属性(線・面)」ボタンをクリックします。

- ② 描画属性を変更するポリゴン(面)の枠内をクリックします。  
「個別描画属性の編集」画面が表示されます。



- ③ 描画属性を変更し、「設定・終了」ボタンをクリックします。  
(例) 線幅を3ドット、線の塗潰し色を青に変更。





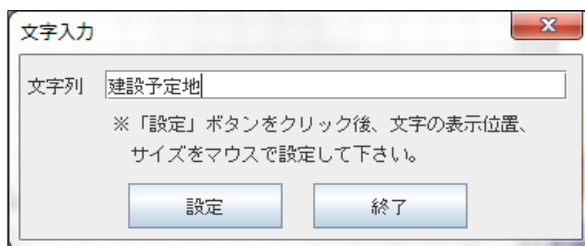
## 6. 4 テキスト(文字)データの編集

テキスト(文字)データに関しては、以下の編集機能があります。

機能	説明
追加	テキスト(文字)を追加登録します。
変更	テキスト(文字)を入力し直し、新たな位置に登録します。
削除	テキスト(文字)を削除します。
移動	文字列を新たな位置に移動します。
複写	同じ文字列を新たな位置に追加登録します。
拡大縮小	文字列を拡大、または縮小します。 矩形の中心点を基点にして拡大・縮小します。
回転	文字列を回転します。 矩形の中心点を基点にして回転します。

## (1) 追加(登録)

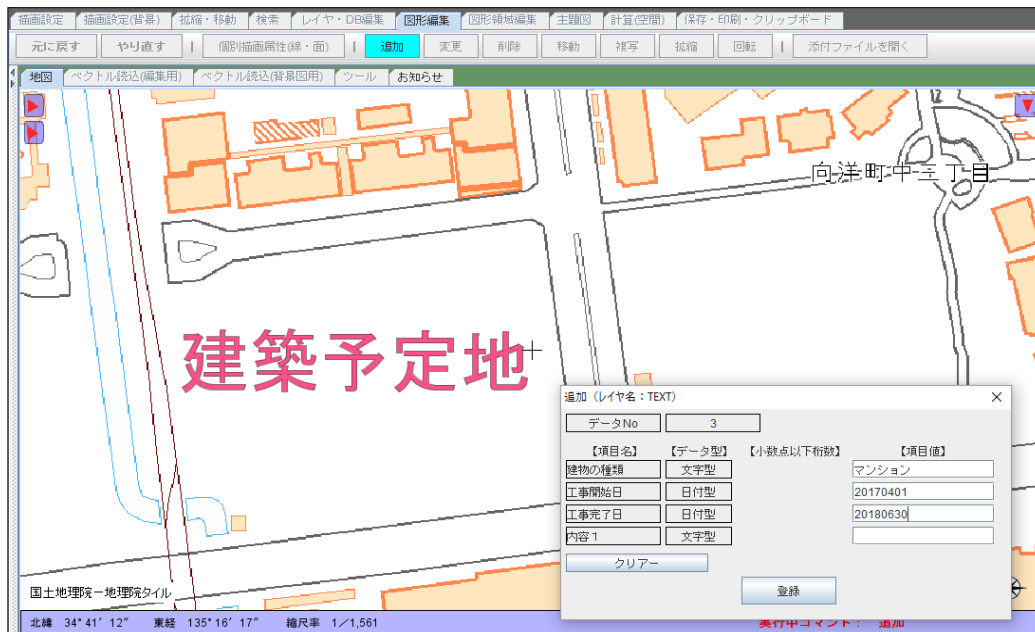
- ① 「図形編集」タブをクリックします。
- ② 「追加」ボタンをクリックします。  
文字を入力する画面が表示されます。
- ③ 文字を入力し、「設定」ボタンをクリックする。



- ④ 地図上の文字列の表示位置を指定します(文字列全体枠の左上点)。
- ⑤ マウスを移動(ボタンは押さない)させ、文字列の大きさを決めます。  
(文字列、及び文字列の枠が薄赤色で表示されます)



- ⑥ マウスの左ボタンをクリックし、入力を確定します。

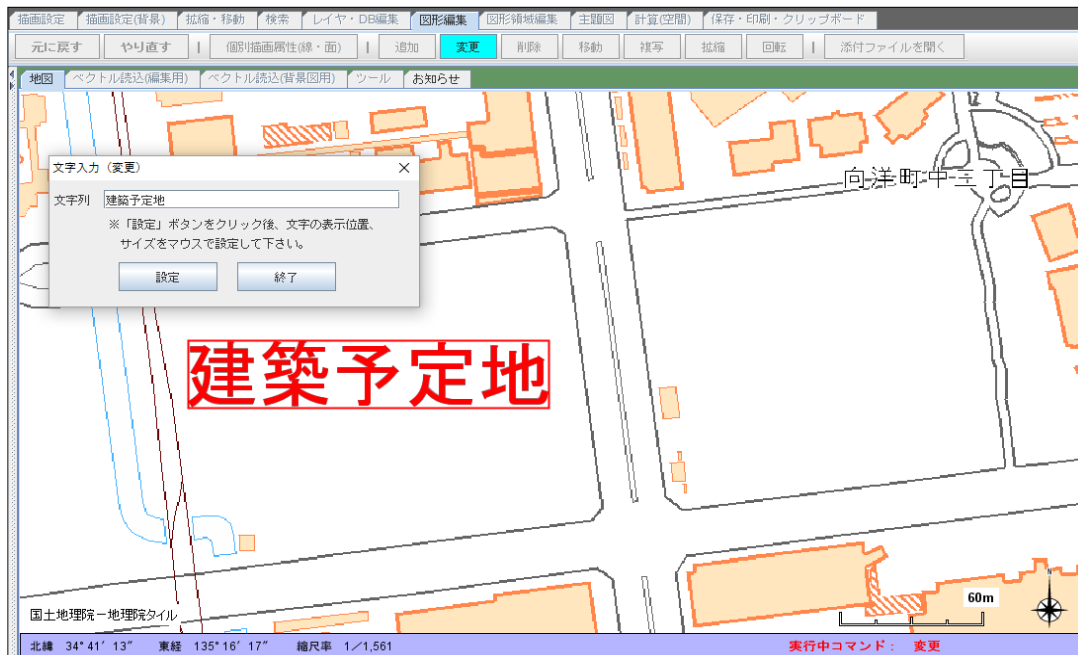


- ⑦ DB項目値の入力画面が表示されますので、必要に応じて入力し、「登録」ボタンをクリックします。  
(注意) DB項目が「内容1」のみの場合は、DB項目値の入力画面は表示されません。

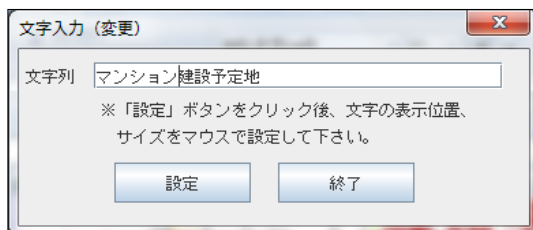
- ⑧ 文字を入力する画面が表示されますので、続けて登録する場合は、③以降の操作を繰り返します。  
登録を完了する場合は、「終了」ボタンをクリックします。

## (2) 変更

- ① 「図形編集」タブをクリックします。
- ② 「変更」ボタンをクリックします。
- ③ 地図上の変更する文字データをクリックします(文字列枠内)。  
文字データ、文字列の枠が赤色で表示され、文字データを入力(変更)する画面が表示されます。



- ④ 文字列を編集・変更します。



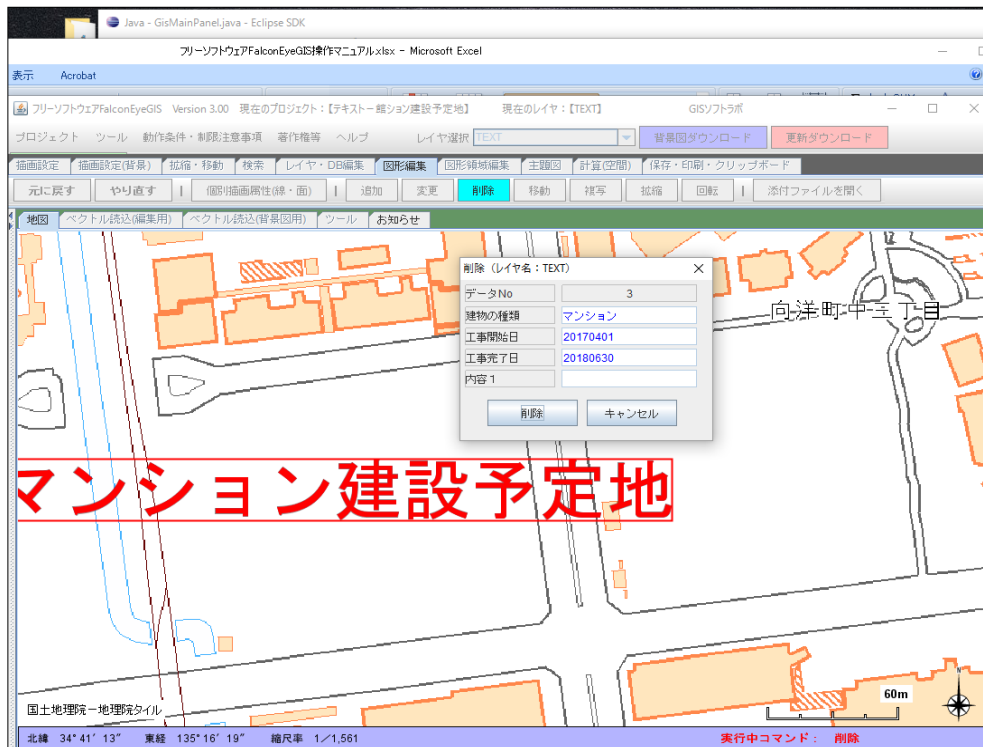
- ⑤ 「設定」ボタンをクリックします。  
編集した文字列が表示されます。



続けて他の文字データを変更する場合は、③以降の操作を続けます。  
変更の操作を終了する場合は、「変更」ボタンをクリックして下さい。

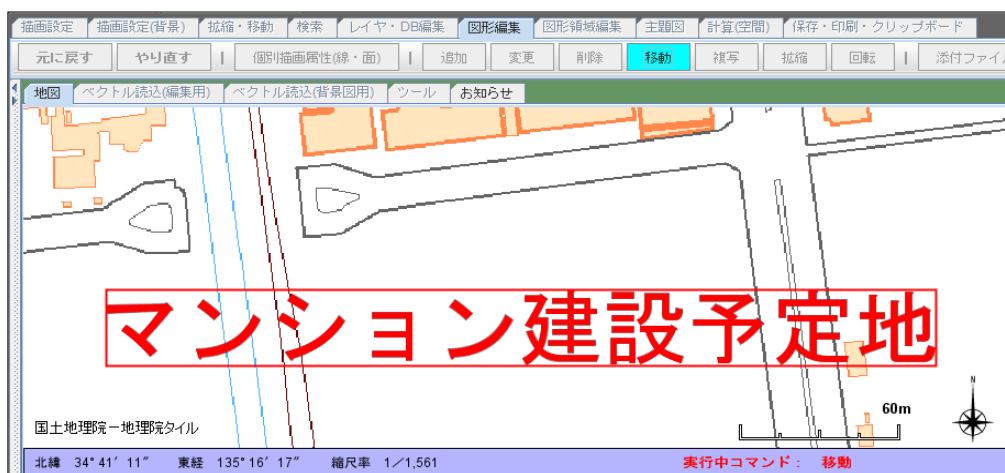
### (3) 削除

- ① 「削除」ボタンをクリックします。
- ② 削除する文字データの枠内をクリックします。
- ③ 削除の確認画面(DB項目値が表示されます)が表示されますので、「削除」ボタンをクリックします。



### (4) 移動

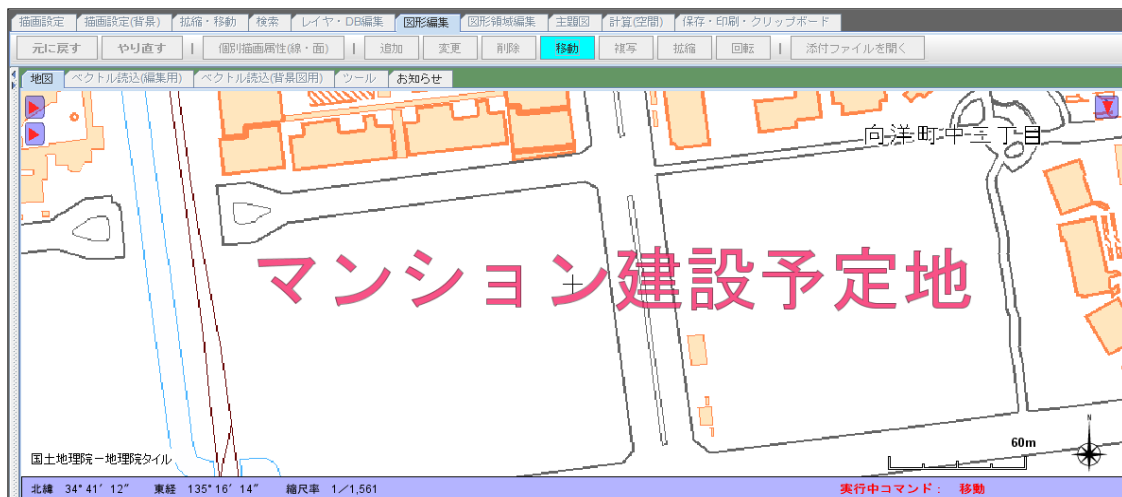
- ① 「移動」ボタンをクリックします。
- ② 移動する文字列データの枠内をクリックします。



- ③ 左ボタンをプレスし、文字列データを移動します。



- ④ 左ボタンをリリースすると移動先の位置が確定します。



## (5) 複写

- ① 「複写」ボタンをクリックします。
- ② 複写する文字列データの枠内をクリックします。



- ③ 左ボタンをプレスし、文字列データを移動させます。



- ④ ボタンをリリースすると複写先の位置が確定し、複写先のDB項目値を入力する画面が表示されます。



- ⑤ 複写先のDB項目値を入力する画面が表示されますので、必要に応じて入力・編集します。
- ⑥ 「登録」ボタンをクリックします。  
複写の操作が完了します。

(6) 拡縮

- ① 「拡縮」ボタンをクリックします。
- ② 拡縮する文字列データの枠内をクリックします。



- ③ マウスホイールを前後に動かし、拡大、または縮小させます。

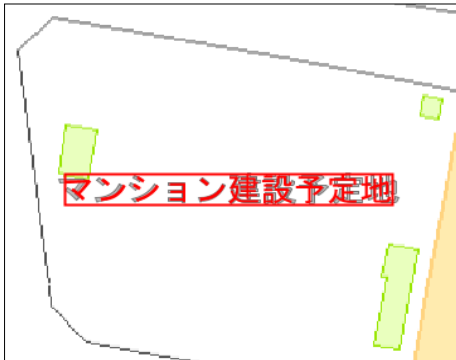


- ④ 地図上の何れかでクリックすると拡大、縮小が確定します。



(7) 回転

- ① 「回転」ボタンをクリックします。
- ② 回転させる文字列データの枠内をクリックします。



- ③ マウスの左ボタンをプレスし、マウスを移動、回転させます。



- ④ 地図上の何れかでクリックすると回転が確定します。





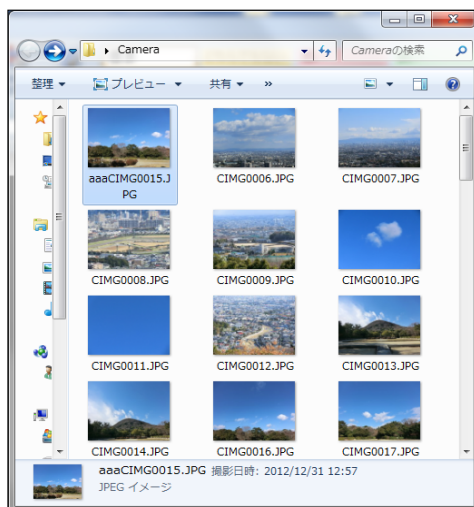
## 6. 5 画像データの編集

画像データに関しては、以下の編集機能があります。

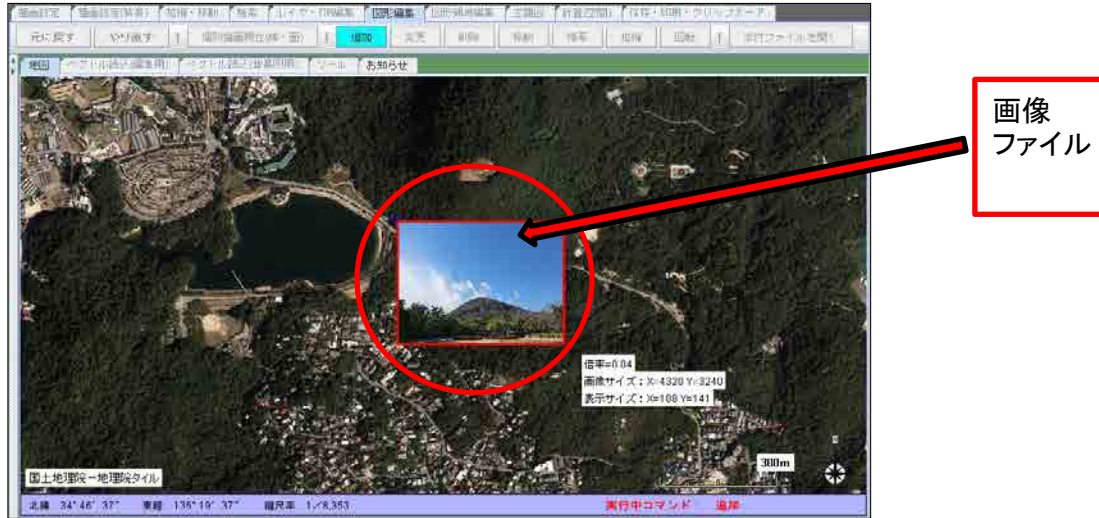
機能	説明
追加	画像を地図に貼り付けます。
削除	画像を削除します。
移動	画像を新たな位置に移動します。
複写	選択された画像をコピーし、新たな位置に追加登録します。
拡大縮小	画像を拡大、または縮小します。 画像の矩形領域の中心点を基点にして拡大・縮小します。
回転	画像を回転します。 全端点を含む矩形領域の中心点を基点にして回転します。

### (1) 追加(登録)

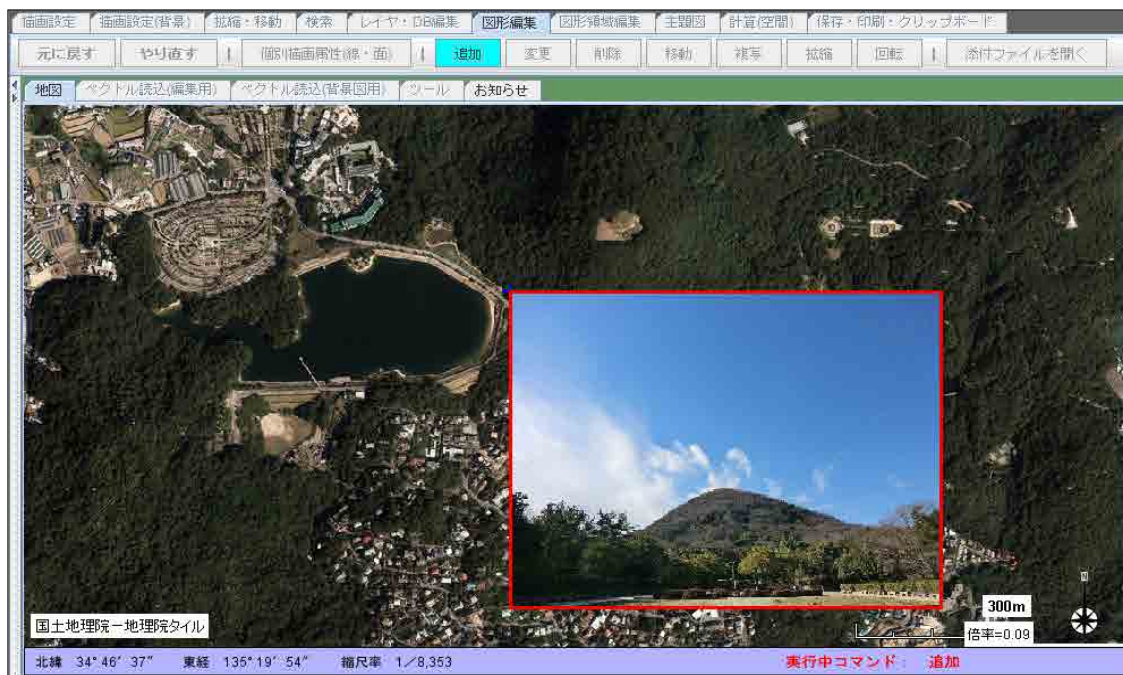
- ① 地図の表示サイズ、位置を調整します。
- ② 「図形編集」タブをクリックします。
- ③ 「追加」ボタンをクリックします。
- ④ ウィンドウズのExplorerで画像ファイルがあるフォルダを開きます。



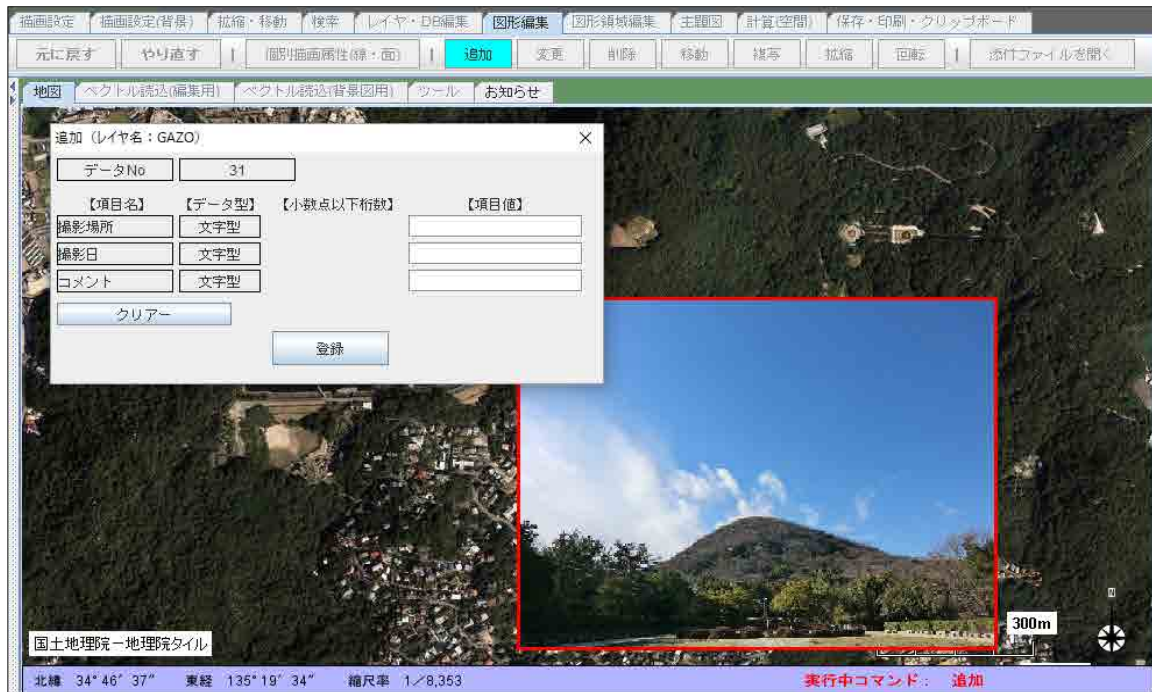
- ⑤ 追加（登録）する画像ファイルをマウスで地図上の表示位置にドラッグします。  
ドラッグした位置（マウスの位置）が画像の左上点になります。  
（ボタンを離してマウスを右下に少し移動した状態）



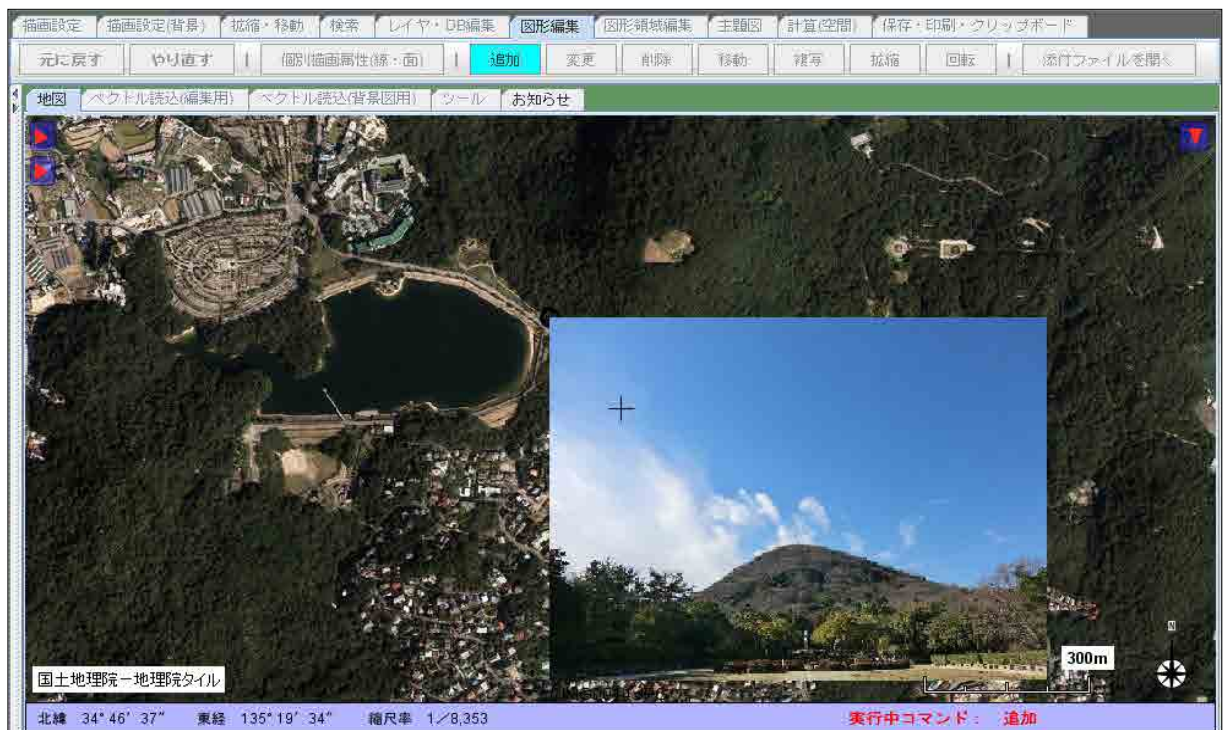
- ⑥ ボタンを押していない状態で、マウスを右下に移動させ、画像の大きさを決めます。  
画像の枠が赤色で表示されます。



- ⑦ 大きさが決まれば、左ボタンをクリックします。  
画像の表示位置、サイズが決定します。



- ⑧ DB項目の値を入力します。
- ⑨ 「登録」ボタンをクリックします。





「表示形式」が「アイコン」に設定されている場合、「登録」ボタンをクリックされた時点で、画像の表示がアイコン(カメラ)の表示に切り替わります。

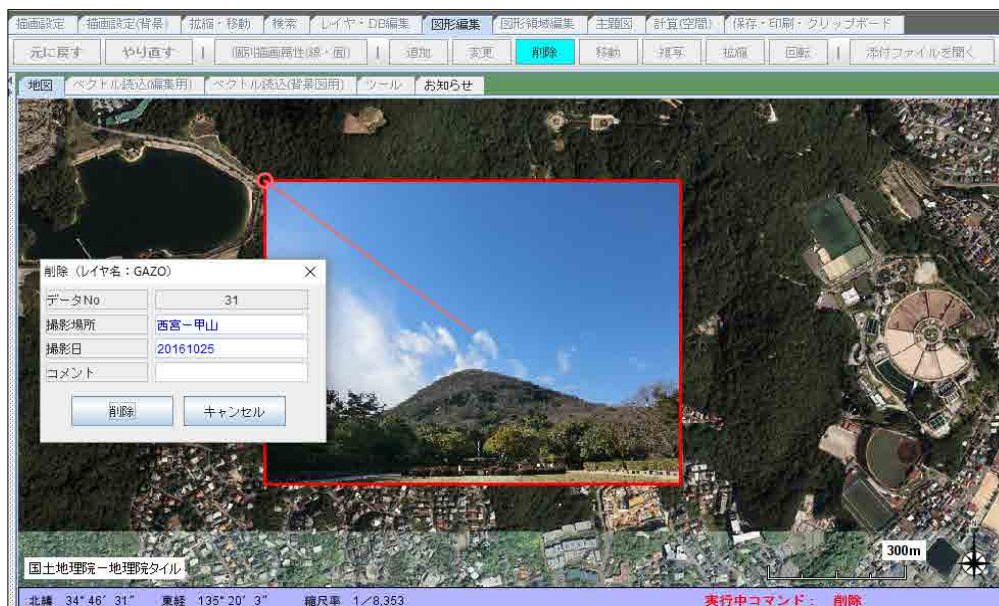


また、「ファイル名表示有無」が「表示しない」の設定になっている場合は、ファイル名は表示されません。

レイヤの描画情報の編集で画像、アイコン(カメラ)の表示を切り替え、ファイル名の表示・非表示を設定することができます。

## (2) 削除

- ① 「削除」ボタンをクリックします。
- ② 削除する画像の画像設置点、または画像の枠内をクリックします。



- ③ 削除の確認画面(DB項目値が表示されます)が表示されますので、「削除」ボタンをクリックします。  
地図から画像が削除されます。

### (3) 移動

- ① 「移動」ボタンをクリックします。
- ② 移動する画像の画像設置点、または画像の枠内をクリックします。  
○、画像枠、及び○と画像の中心点を結ぶ線が赤色で表示されます。



- ③ 【画像設置点を移動する場合】  
位置を示す「○」をクリックして下さい。  
「○」、画像枠、及び○と画像の中心点を結ぶ線が赤色で表示されます。

マウスの左ボタンをプレスし、移動させて下さい。  
画像設置点と画像が移動します。



- 【画像設置点を変更せずに画像のみを移動させる場合】  
画像の枠内をクリックして下さい。  
「○」、画像枠、及び○と画像の中心点を結ぶ線が赤色で表示されます。

画像の枠内でマウスの左ボタンをプレスし、その状態で移動させて下さい。  
画像のみが移動します。



- ④ マウスボタンをリリースすると(離すと)、移動先が確定します。

#### (4) 複写

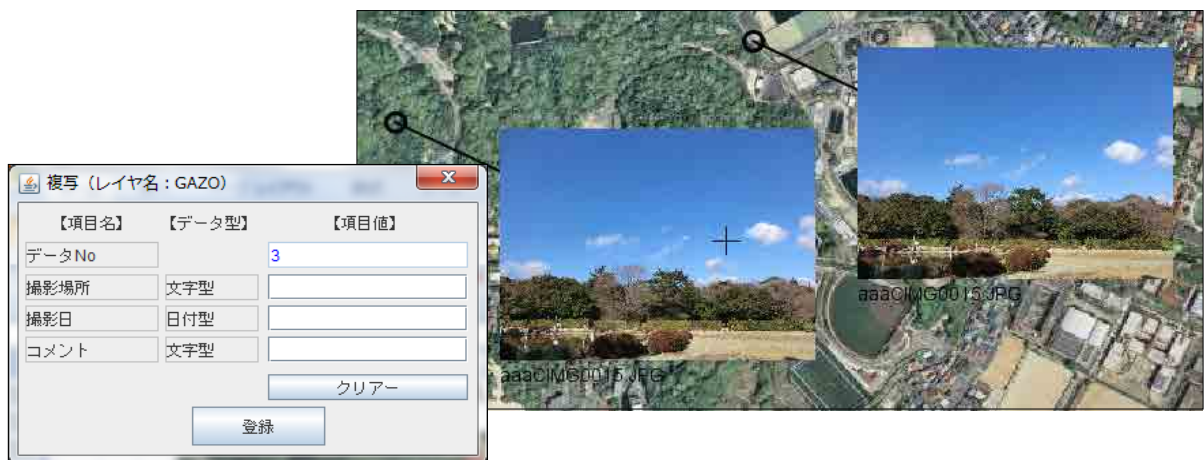
- ① 「複写」ボタンをクリックします。
- ② 複写する画像の画像設置点、または画像の枠内をクリックします。



- ③ 左ボタンをプレスし、画像設置点、画像を移動させます（移動先の画像は赤枠で表示されています）。



- ④ ボタンをリリースすると複写先の位置が確定します。



- ⑤ 複写先のDB項目値を入力します。
- ⑥ 「登録」ボタンをクリックします。



(5) 拡縮

- ① 「拡縮」ボタンをクリックします。
- ② 拡縮する画像の画像設置点、または画像の枠内、または設置点(○)をクリックします。



- ③ マウスホイールを前後に動かし、拡大、または縮小させます。



- ④ 地図上の何れかでクリックすると拡大、縮小が確定します。





(6) 回転

- ① 「回転」ボタンをクリックします。
- ② 回転させる画像の画像設置点、または画像の枠内をクリックします。



- ③ マウスの左ボタンをプレスし、マウスを移動、回転させます。



- ④ 地図上の何れかでクリックすると回転が確定します。



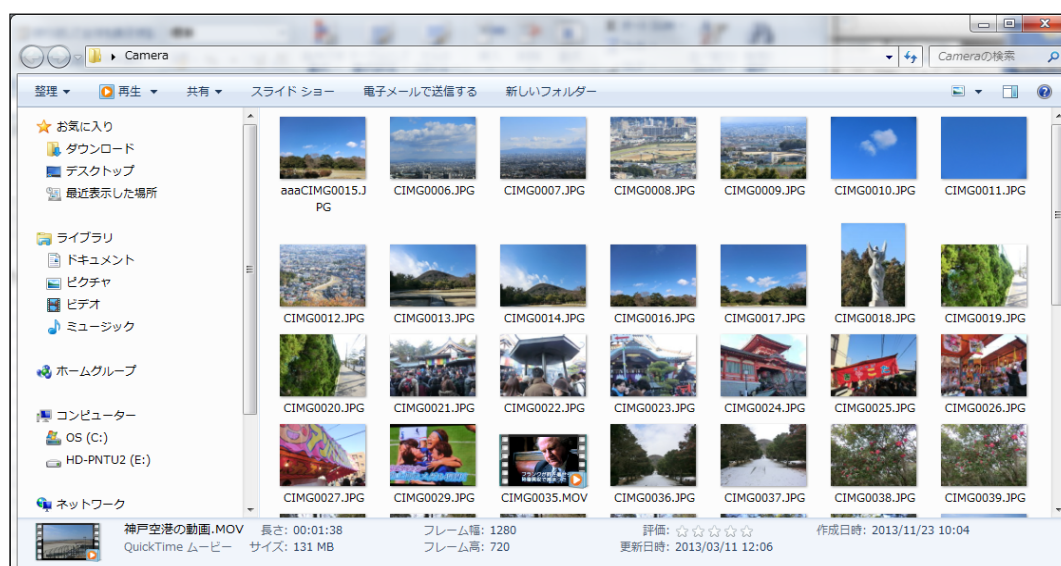
## 6. 6 Exif画像データの編集

Exif画像データに関しては、以下の編集機能があります。

追加	Exif画像を地図に貼り付けます。 地図上に位置情報付き画像ファイルをドラッグすると、位置情報で示される位置に画像が貼り付けられます。
変更	以下の変更が可能です。 <div> <div>・表示方法</div> <div>アイコン＋画像＋画像基本情報 アイコン＋画像 アイコン</div> </div> <div> <div>・ファイル名</div> <div>表示の有無</div> </div> <div> <div>・画像の回転</div> <div>0度 90度 180度 270度</div> </div>
削除	Exif画像を削除します。
移動	Exif画像を新たな位置に移動します。 撮影位置と異なる位置に移動すると画像の表示形式が変わります。
複写	選択されたExif画像をコピーし、新たな位置に追加登録します。 撮影位置と異なる位置に移動すると画像の表示形式が変わります。
拡大縮小	画像を拡大、または縮小します。 画像の矩形領域の中心点を基点にして拡大・縮小します。

### (1) 追加(登録)

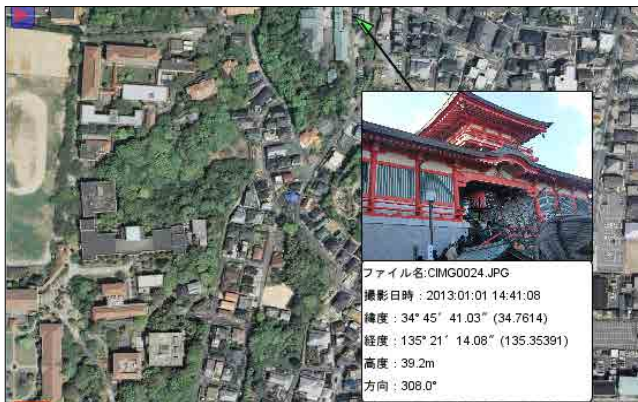
- ① 「図形編集」タブをクリックします。
- ② 「追加」ボタンをクリックします。
- ③ ウィンドウズのExplorerで画像(位置情報付き)ファイルを置いているフォルダを開きます。



④ 画像ファイルを地図上にドラッグします。

画像の撮影位置に地図が移動し、画像が地図上に貼り付きます。  
以下の情報が地図上に表示されます。

- ・画像の撮影位置が三角の図形で表示されます。
- ・画像が表示されます(「拡大」で表示サイズを変更することができます)。
- ・画像情報が表示されます。
  - 画像のファイル名
  - 撮影日時
  - 撮影した場所の緯度経度
  - 撮影時の高度
  - 撮影した場所の緯度経度方向



追加 (レイヤ名: EXIF)

【項目名】	【データ型】	【項目値】
データNo		4
天候	文字型	
気温	実数型	
コメント	文字型	

クリアー

登録

⑤ DB項目値を入力する画面が表示されるので、必要に応じて入力します。

⑥ 「登録」ボタンをクリックします。

(2) 変更

① 「図形編集」タブをクリックします。

② 「変更」ボタンをクリックします。

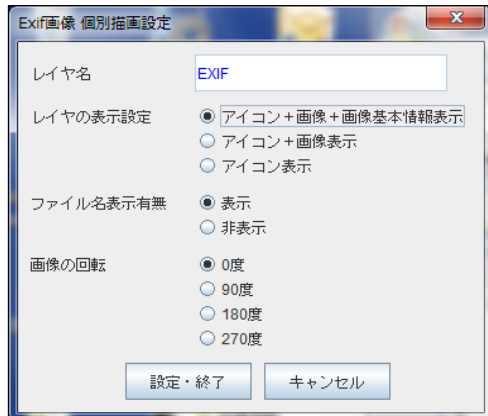
③ 変更する画像の画像設置点、または画像の枠内をクリックして下さい。  
画像の画像設置点、画像の枠、及びそれらを結ぶ線が赤色で表示されます。



左は、「アイコン+画像+画像基本情報表示」

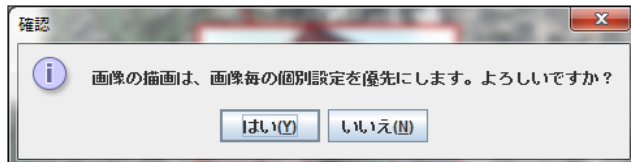
④ 個別に描画方法を設定する画面が表示されますので、希望の表示方法を選択します。

- ・アイコン＋画像＋画像基本情報表示  
画像設置点を示すアイコン(撮影方向を示す三角の図形)と画像と画像の基本情報を表示するモードです。
- ・アイコン＋画像表示  
画像の基本情報は表示されません。
- ・アイコン表示  
画像設置点を示すアイコン(撮影方向を示す三角の図形)のみの表示になります。



⑤ 「設定・終了」ボタンをクリックします。

確認の画面が表示されます。



(例)

アイコン＋画像



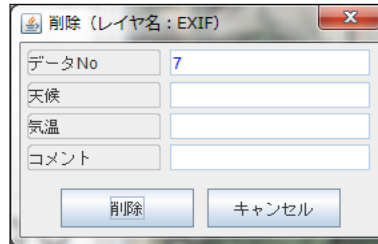
アイコン





## (2) 削除

- ① 「削除」ボタンをクリックします。
- ② 削除する画像の画像設置点、または画像の枠内をクリックします。



- ③ 削除の確認画面(DB項目値が表示されます)が表示されますので、「削除」ボタンをクリックします。

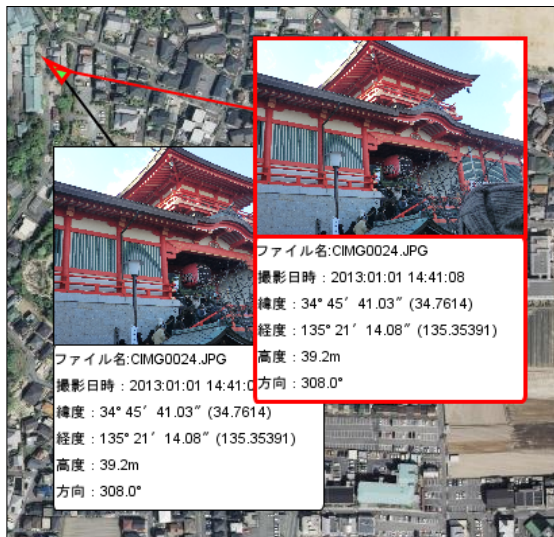
## (3) 移動

- ① 「移動」ボタンをクリックします。
- ② 移動する画像の画像設置点、または画像の枠内をクリックします。



- ③ 画像設置点を移動する場合、位置を示す「○」をクリックして下さい。「○」、画像枠、及び○と画像の中心点を結ぶ線が赤色で表示されます。マウスの左ボタンをプレスし(押し)、移動させて下さい。

【画像のみの移動】・・・画像枠内をクリックし、ドラッグする。



画像設置点を変更せずに画像のみを移動させる場合は、画像の枠内でマウスの左ボタンをプレスし、移動させて下さい。

【画像表示位置の移動】・・・三角マークをクリックし、さらにドラッグする。  
 画像設置点を移動すると、画像が本来持っていた位置情報と異なる位置になるため撮影位置、撮影方向を示す三角の図形からカメラのアイコンの表示に切り替わります。  
 また、画像基本情報の表示背景色が白色から薄い赤色に切り替わります。



#### (4) 複写

- ① 「複写」ボタンをクリックします。
- ② 複写する画像の画像設置点、または画像の枠内をクリックします。



- ③ 左ボタンをプレスし(押し)、画像設置点、画像を移動させます。



- ④ ボタンをリリースすると(離すと)複写先の位置が確定します。  
画像設置点を変化すると、画像が本来持っていた位置情報と異なる位置になるため  
撮影位置、撮影方向を示す三角の図形からカメラのアイコンの表示に切り替わります。  
また、画像基本情報の表示背景色が白色から薄い赤色に切り替わります。
- ⑤ 複写先のDB項目値を入力する画面が表示されるので、必要に応じて入力します。



【項目名】	【データ型】	【項目値】
データNo		8
天候	文字型	
気温	実数型	
コメント	文字型	
		クリアー
		登録

- ⑥ 「登録」ボタンをクリックします。



(5) 拡縮

- ① 「拡縮」ボタンをクリックします。
- ② 拡縮する画像の画像設置点、または画像の枠内をクリックします。



- ③ マウスホイールを前後に動かし、拡大、または縮小させます。



- ④ 地図上の何れかでクリックすると拡大、縮小が確定します。



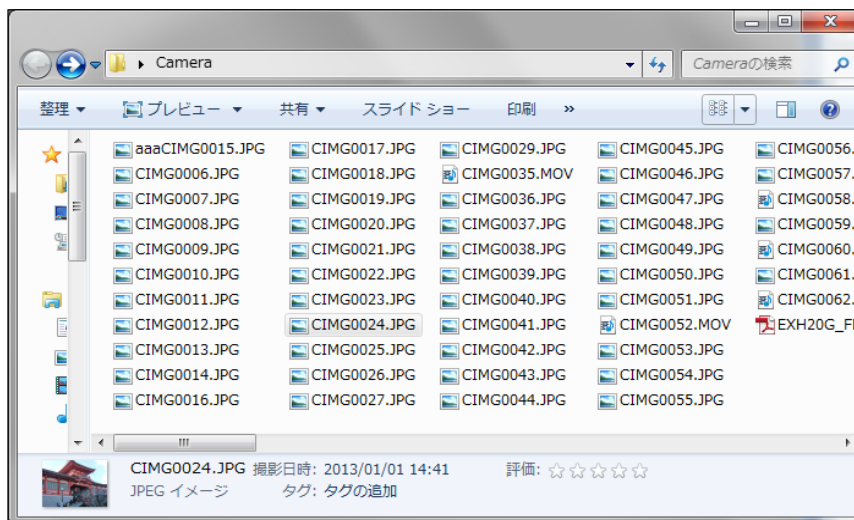
## 6. 7 添付ファイルデータの編集

添付ファイルのデータに関しては、以下の編集機能があります。

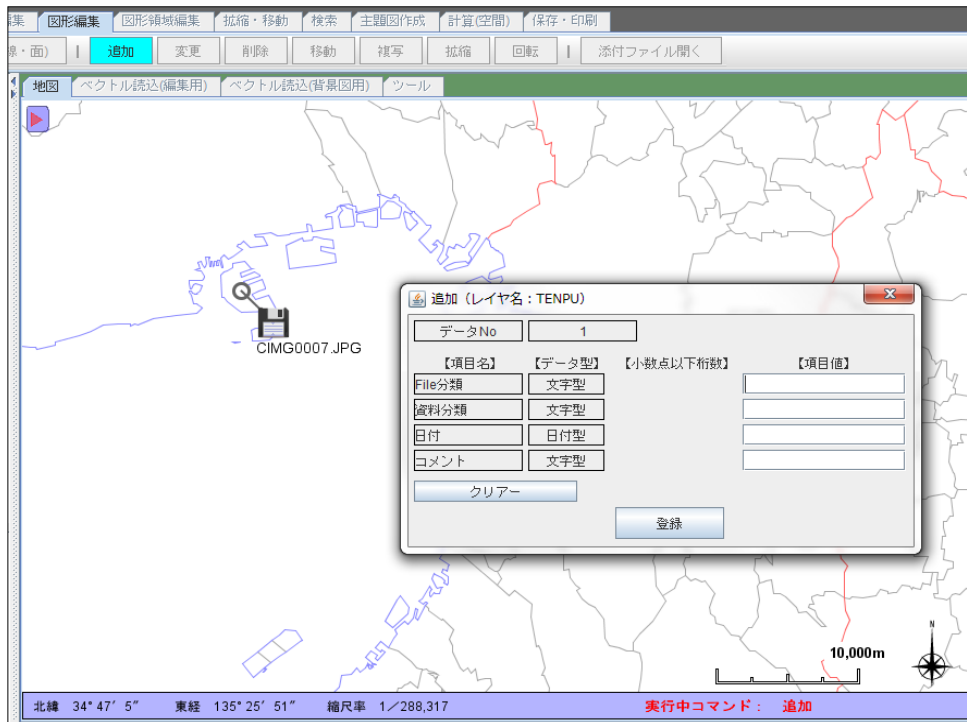
機能	説明
追加	添付ファイルを地図に貼り付けます。
削除	添付ファイルを削除します。
移動	添付ファイルを新たな位置に移動します。
複写	添付ファイルをコピーし、新たな位置に追加登録します。

### (1) 追加(登録)

- ① 地図の表示サイズ、位置を調整します。
- ② 「図形編集」タブをクリックします。
- ③ 「追加」ボタンをクリックします。
- ④ ウィンドウズのExplorerで画像ファイルを置いているフォルダを開きます。



- ⑤ 追加（登録）する添付ファイルをマウスで地図上の表示位置にドラッグします。ドラッグした位置に添付ファイルデータであることを示すフロッピーディスクのアイコンが表示され、DB項目の値を入力する画面が表示されます。



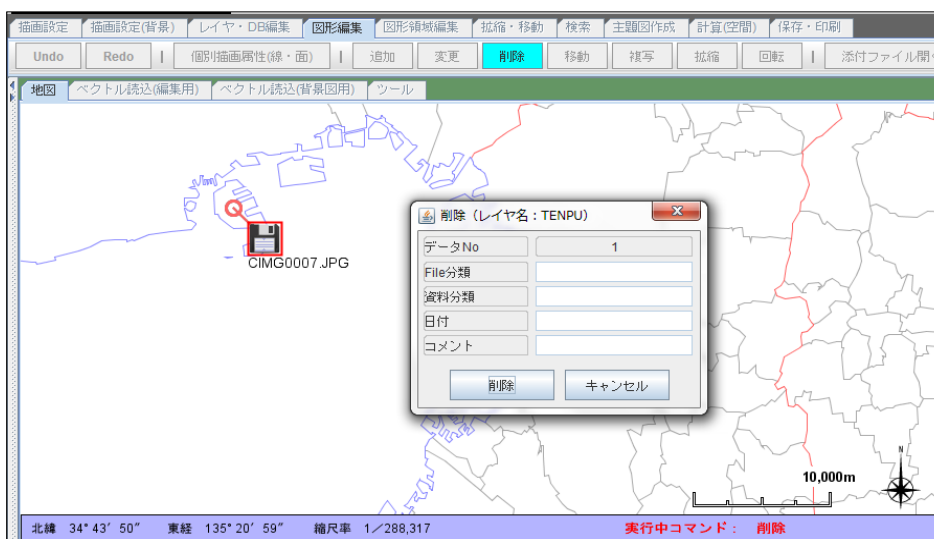
- ⑥ DB項目の値を入力します。

- ⑦ 「登録」ボタンをクリックします。

## (2) 削除

- ① 「削除」ボタンをクリックします。

- ② 削除する添付ファイルの設置点、またはアイコン（フロッピーディスク）をクリックすると削除の確認画面（DB項目値）が表示されます



- ③ 「削除」ボタンをクリックします。

### (3) 移動

- ① 「移動」ボタンをクリックします。
- ② 移動する添付ファイルの設置点、またはアイコン(フロッピーディスク)をクリックします。



- ③ 添付ファイル設置点を移動する場合、位置を示す「○」をクリックして下さい。  
「○」、アイコン、及び○とアイコンの中心点を結ぶ線が赤色で表示されます。  
マウスの左ボタンをプレスし、移動させて下さい。  
添付ファイル設置点とアイコンの位置関係が変化せずに移動し、操作が確定します。



- ④ 添付ファイル設置点を変更せずにアイコンのみを移動させる場合は、アイコンをマウスの左ボタンでプレスし(押し)、その状態で移動させて下さい。  
アイコンのみが移動し、操作が確定します。



#### (4) 複写

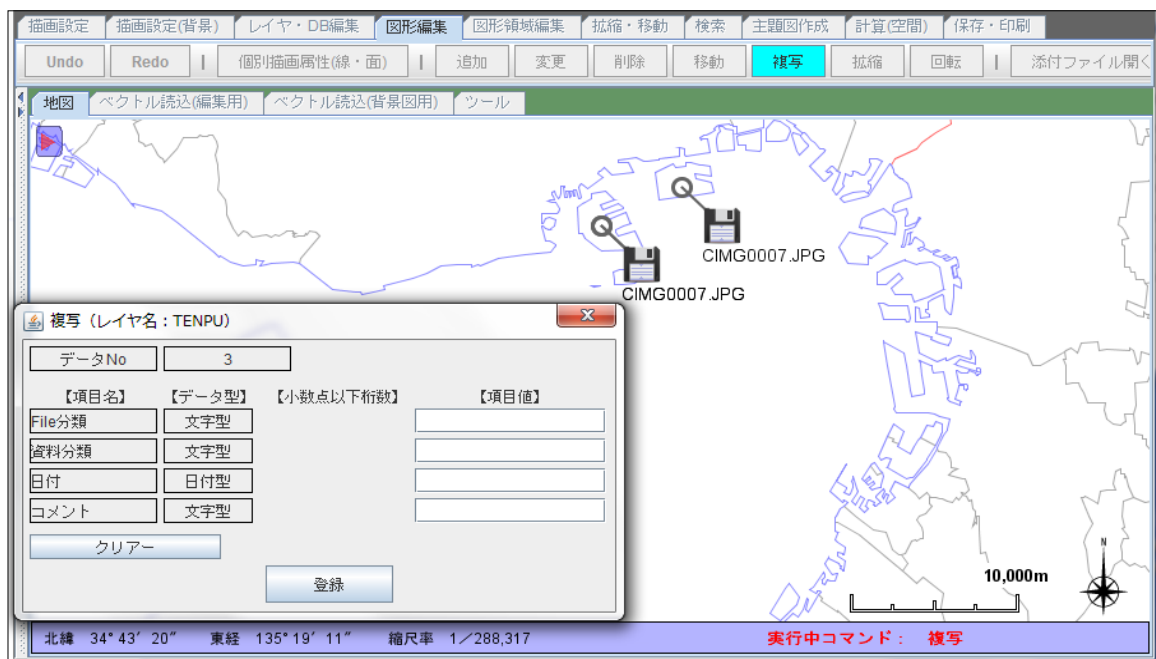
- ① 「複写」ボタンをクリックします。
- ② 複写する添付ファイルの設置点、またはアイコンをクリックします。



- ③ 左ボタンをプレスし、添付ファイル設置点・アイコンを移動します。



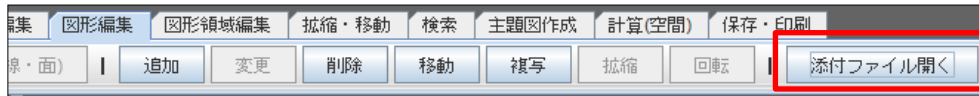
- ④ ボタンをリリースすると複写先の位置が確定し、複写先のDB項目値を入力する画面が表示されます。



- ⑤ 複写先のDB項目値を入力します。
- ⑥ 「登録」ボタンをクリックします。

(5) 添付ファイルを開く

- ① 「添付ファイルを開く」ボタンをクリックします。



- ② 添付ファイルの設置点、またはアイコン(フロッピーディスク)をダブルクリックします。



- ③ 添付ファイルに対応したソフトウェアが起動し、そのファイルを開きます(再生します)。

※ 添付ファイルが開けない場合は、「ツール」「プログラム起動パス設定」で、それらのファイルに対応したプログラムのパスを設定して下さい。

大半の種別のファイルは、上記の設定は不要ですが、ファイルが開けない場合は、この作業が必要になります。

ファイルを開くためのプログラム(アプリケーション)がご利用のパソコンにインストールされていることが前提になります。

## 7. 図形領域編集

マウスで領域を指定することによって領域内の複数のデータに対して、以下の編集を行うことができます。レイヤを選択した後に、領域操作のコマンドを選択して下さい。

※編集中は、地図の拡大・縮小、移動等の他の操作はできません。

レイヤ種別と領域編集コマンド					
		○:使用できます		ー:使用できません。	
レイヤ種別	領域削除	領域移動	領域複写	領域拡張	領域回転
ポイント(点)	○	○	○	○	○
ポリライン(線)	○	○	○	○	○
ポリゴン(面)	○	○	○	○	○
テキスト(文字)	○	○	○	○	○
画像	○	○	○	ー	ー
Exif画像	○	○	○	ー	ー
添付ファイル	○	○	○	○	○
付箋紙	○	○	○	ー	ー
吹出し	○	○	ー	ー	ー

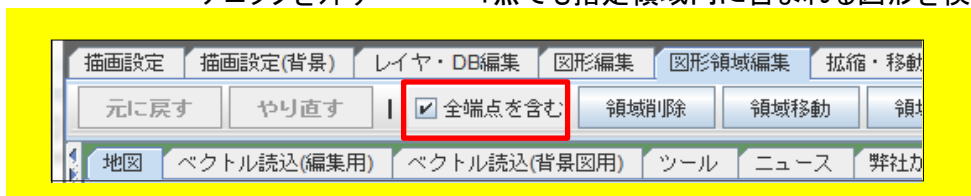
### 7.1 領域削除

指定された領域内の図形データを削除します。

- ① 領域の左上点をクリックします。  
その位置に青色のクロスが表示されます。
- ② マウスを右下に移動させ、削除の領域を指定します。  
青色の線で領域の矩形が表示されます。
- ③ 領域の右下点をクリックし、領域の範囲を確定します。  
該当の図形が赤色で強調表示されます。
- ④ 削除の確認画面が表示されるので、「はい」を選択します。  
地図上から領域内の図形データが削除されます。

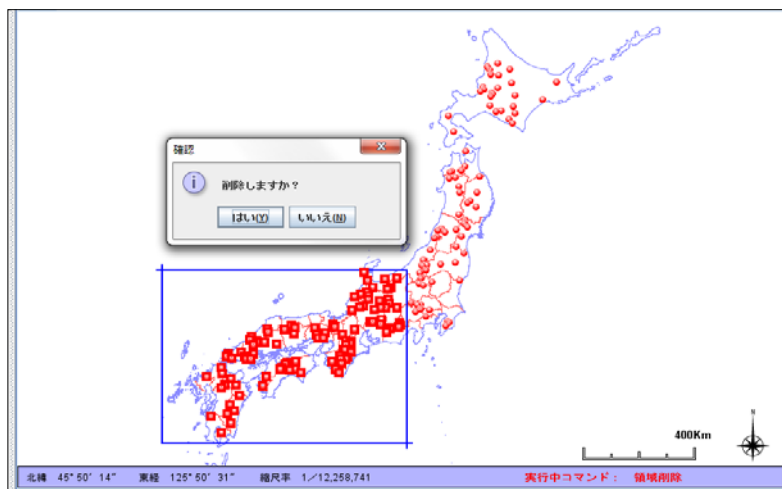
※ 検索条件として、全端点を含む、または1点でも含む、のどちらかを選択することができます。

- ・ チェックを入れる 全端点が指定領域内に含まれる図形を検索対象とする。
- ・ チェックを外す 1点でも指定領域内に含まれる図形を検索対象とする。

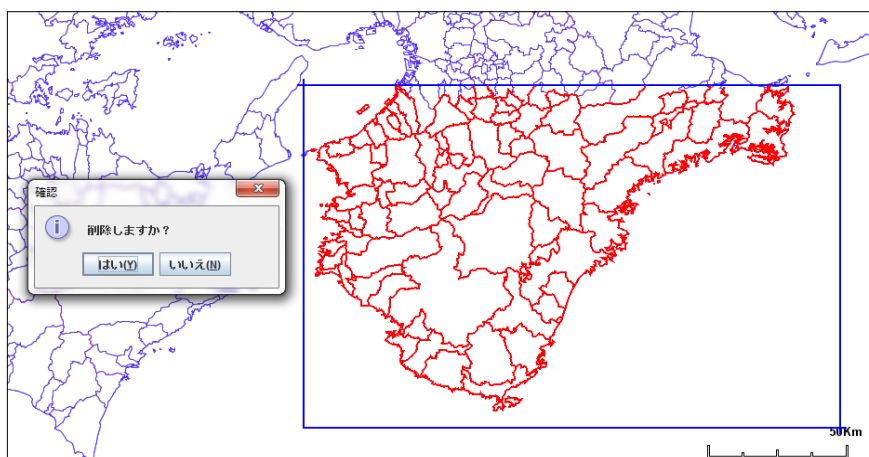




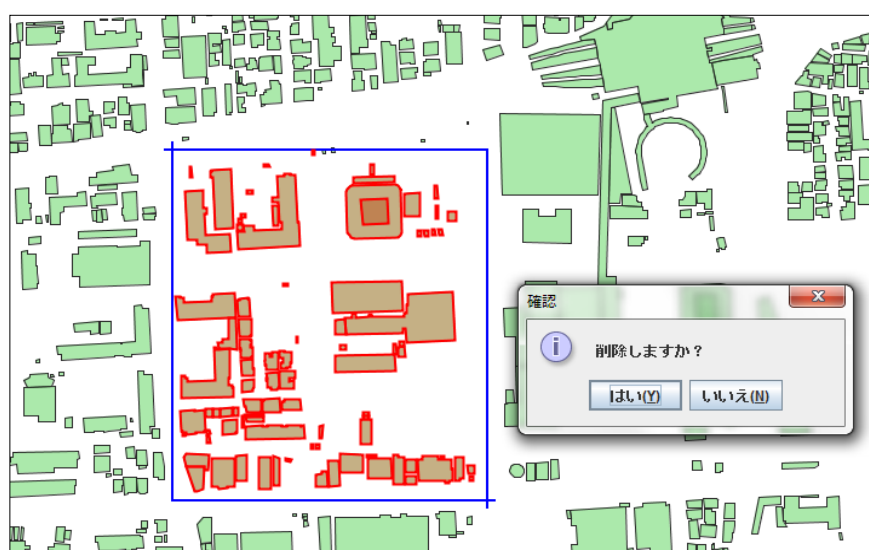
【ポイント(点)の例】



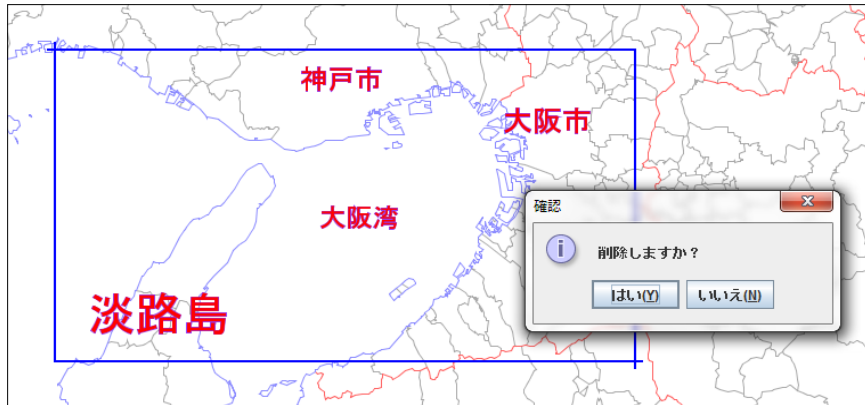
【ポリライン(線)の例】



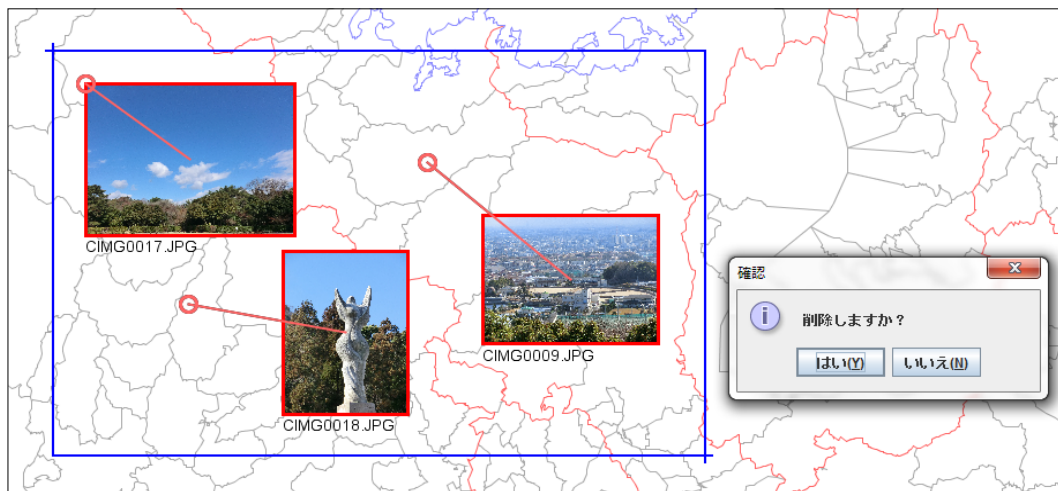
【ポリゴン(面)の例】



【テキスト(文字)の例】



【画像の例】



※アイコン表示モードのときの例

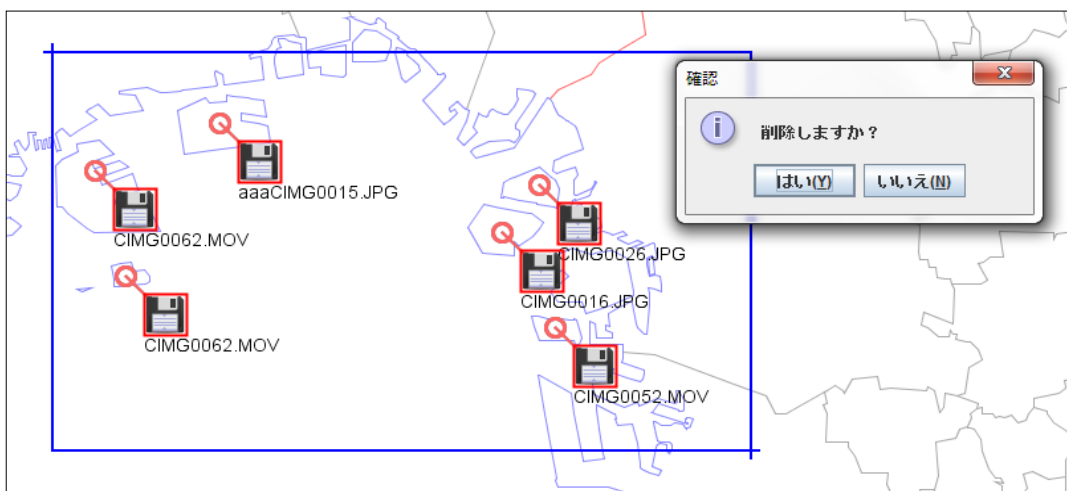


### 【Exif画像の例】

表示モード「アイコン」・「アイコン+画像」・「アイコン+画像+画像情報」に関係なく、データの確認のために、アイコン・画像・画像情報が表示されます。



### 【添付ファイルの例】



## 7.2 領域移動

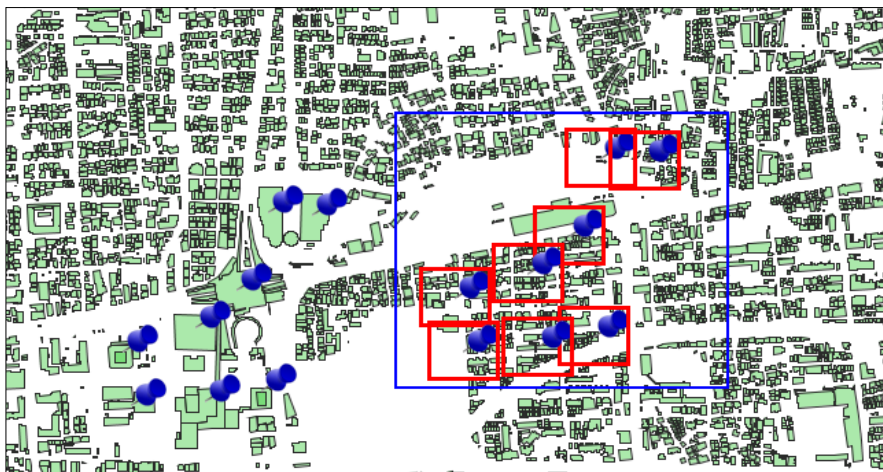
指定された領域内の図形データを指定された位置に移動します。

- ① 領域の左上点をクリックします。  
その位置に青色のクロスが表示されます。
- ② マウスを右下に移動させ、移動の領域を指定します。  
青色の線で領域の矩形が表示されます。
- ③ 領域の右下点をクリックし、領域の範囲を確定します。  
該当するポイント(点)データが赤色で強調表示されます。
- ④ マウスの左ボタンをプレスした状態で、移動させます。
- ⑤ マウスボタンをリリースすると移動先の位置が確定します。

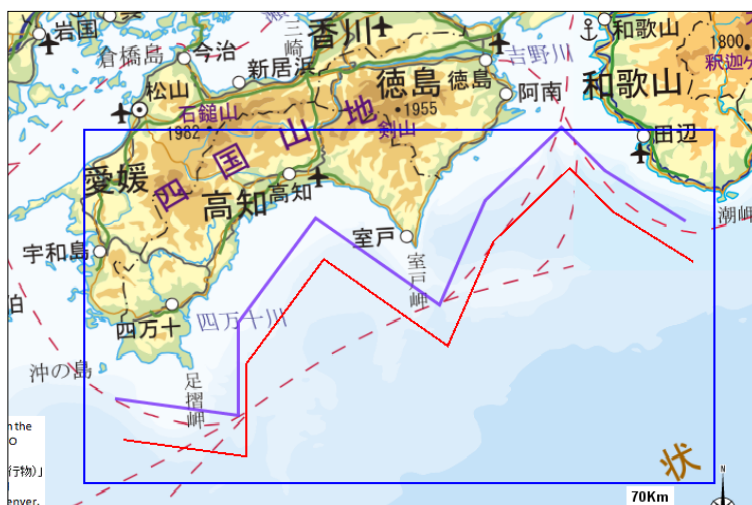
※ Exif画像レイヤの場合

画像設置点変化すると、画像が本来持っていた位置情報と異なる位置になるため  
撮影位置、撮影方向を示す三角の図形からカメラのアイコンの表示に切り替わります。  
また、画像基本情報の表示背景色が白色から薄い赤色に切り替わります。

【ポイント(点)の移動中の例】

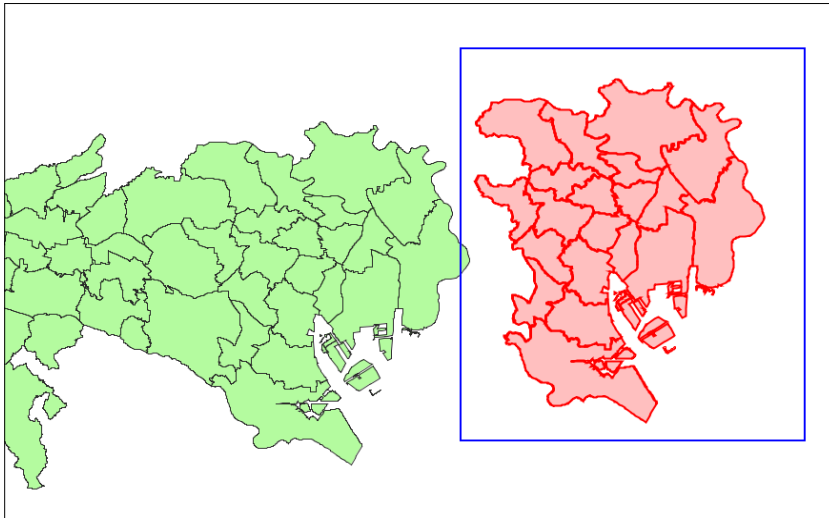


【ポリライン(線)の移動中の例】





【ポリゴン(面)の移動中の例】



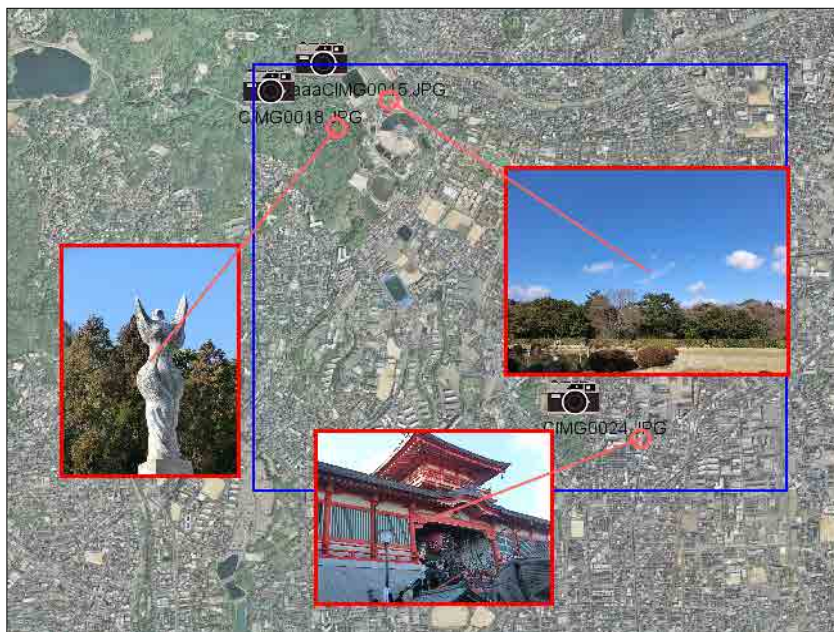
【テキスト(文字)の移動中の例】



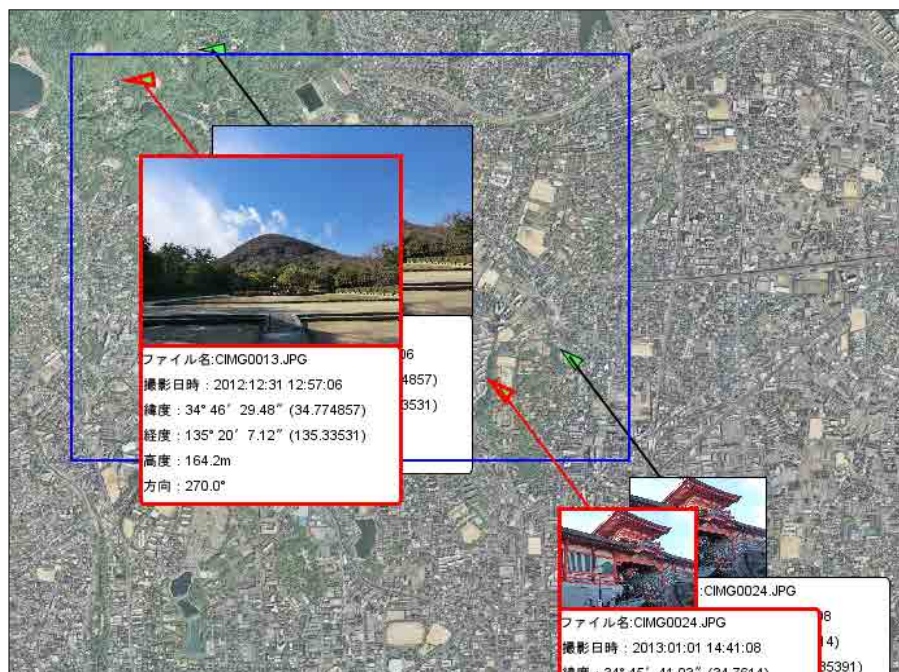
【画像の移動中の例】



※画像がアイコン表示モードのときの領域移動の例  
移動中は、対象の画像が確認できるように画像を表示しています。



【Exif画像の移動中の例】

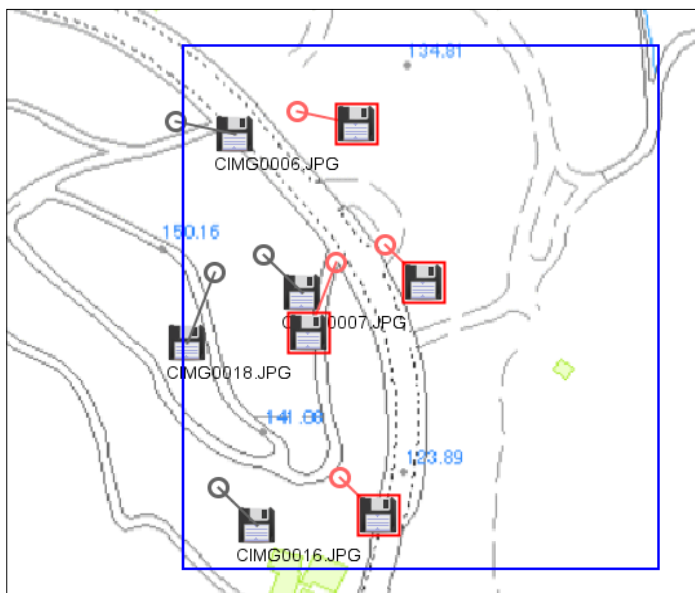




※移動後は、ポイント点が撮影位置と異なるため、表示方法が変化します。  
 撮影方向を示す三角マークはカメラのアイコンに、撮影基本情報の背景色が薄い赤色になります。



【添付ファイルの移動中の例】

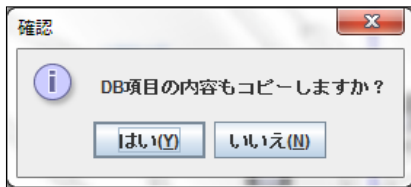




### 7.3 領域複写

指定された領域内の図形データを指定された位置に複写(コピー)します。  
※操作例は省略します(操作中の画面イメージは領域移動と同様です)。

- ① 領域の左上点をクリックします。  
その位置に青色のクロスが表示されます。
- ② マウスを右下に移動させ、複写の領域を指定します。  
青色の線で領域の矩形が表示されます。
- ③ 領域の右下点をクリックし、領域の範囲を確定します。  
該当する図形データが赤色で強調表示されます。
- ④ マウスの左ボタンをプレスした状態で、移動させます。  
※移動時の画面での表示状態は、「領域移動」と同じです。
- ⑤ マウスボタンをリリースすると複写先の位置が確定します。
- ⑥ DB項目値をコピーするかどうかの確認画面が表示されるので、  
「はい」または「いいえ」をクリックする。



「はい」・・・コピー元のDB項目値と同じデータが設定されます。

「いいえ」・・・DB項目値は未入力状態(空白)になります。

### 7.4 領域拡大・縮小

指定された領域内の図形を拡大・縮小します。

レイヤ種別	説明(図形の変化)
ポイント(点)	領域の中心点を基点にして、そこに近づく、または離れます。
ポリライン(線)	領域の中心点を基点にして、図形が拡大・縮小されます。
ポリゴン(面)	領域の中心点を基点にして、図形が拡大・縮小されます。
テキスト(文字)	領域の中心点を基点にして、図形が拡大・縮小されます。
添付ファイル	領域の中心点を基点にして、そこに近づく、または離れます。

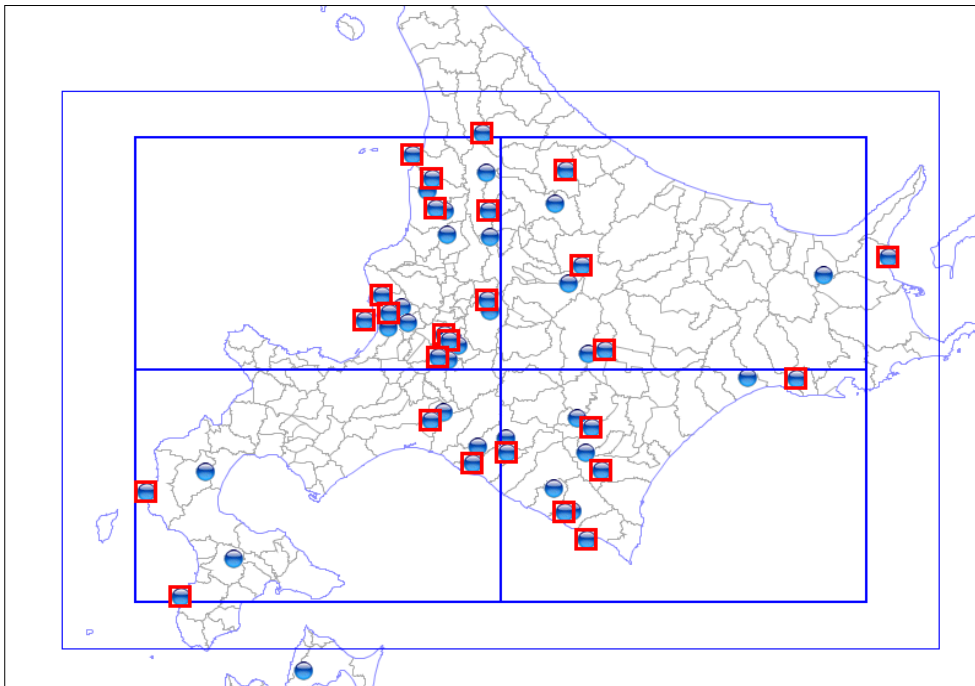
- ① 領域の左上点をクリックします。  
その位置に青色のクロスが表示されます。
- ② マウスを右下に移動させ、拡大・縮小の領域を指定します。  
青色の線で領域の矩形が表示されます。

- ③ 領域の右下点をクリックし、領域の範囲を確定します。  
領域内の対象となる図形が赤色で強調表示されます。
- ④ マウスホイールを前後に動かし、図形の位置を拡大、縮小します。
- ⑤ マウスの左ボタンをクリックすると拡大、縮小された位置が確定します。

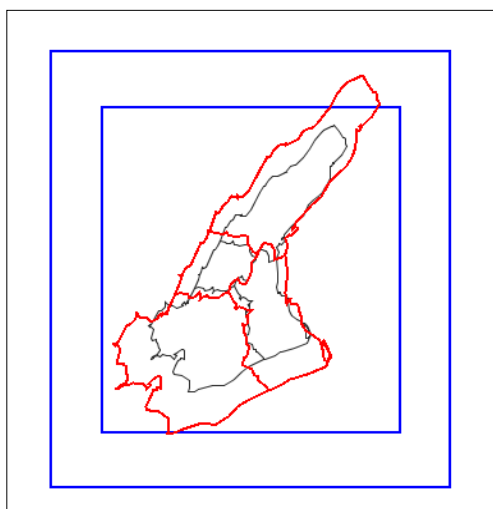
※ 画像レイヤ、Exif画像レイヤは領域拡大・縮小機能の対象外です。

#### 【ポイント(点)の拡大時の例】

領域の中心点を基点にして、そこから離れます。

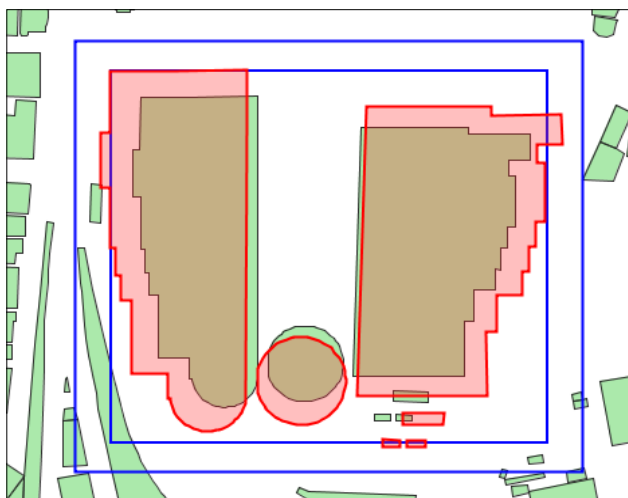


#### 【ポリライン(線)の拡大時の例】



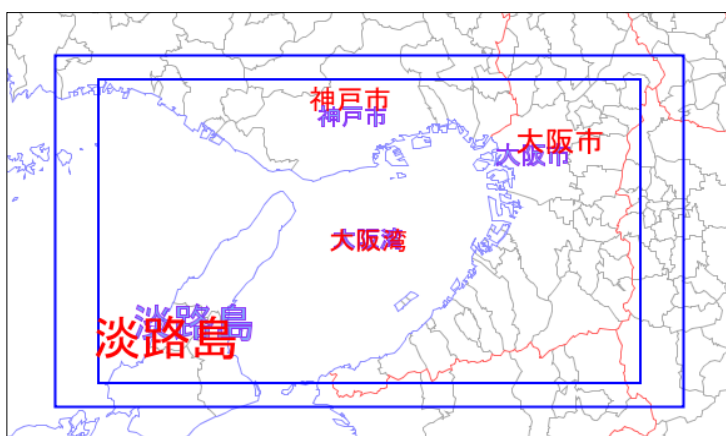
中心点から離れて、図形が大きくなります。

【ポリゴン(面)の拡大時の例】



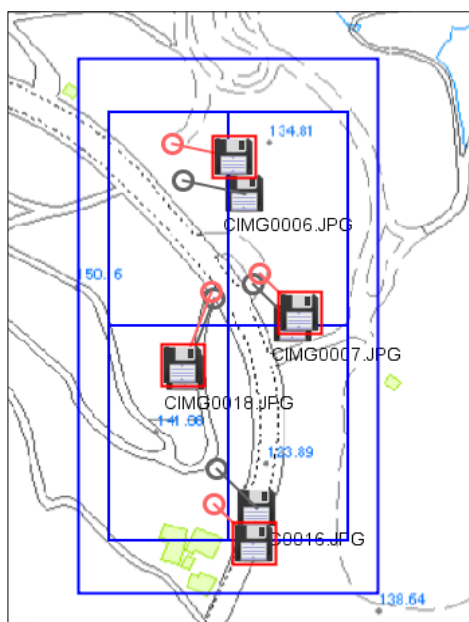
矩形の中心点を基点にして、図形が大きくなります。

【テキスト(文字)の拡大時の例】



矩形の中心点を基点にして、文字が大きくなります。

【添付ファイルの拡大時の例】



領域の中心点を基点にして、そこから離れます。

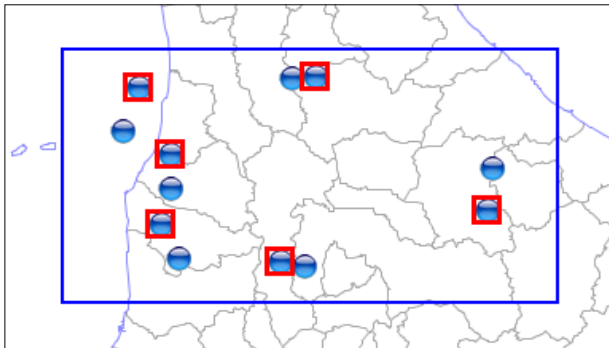
## 7.5 領域回転

### (1) 領域回転

- ① 領域の左上点をクリックします。  
その位置に青色のクロスが表示されます。
- ② マウスを右下に移動させ、回転の領域を指定します。  
青色の線で領域の矩形が表示されます。
- ③ 領域の右下点をクリックし、回転の範囲を確定します。  
該当するデータが赤色で強調表示されます。
- ④ マウスを移動、回転させて領域内のデータの位置を回転させます。
- ⑤ マウスの左ボタンをクリックすると回転されたデータの位置が確定します。

※ 画像レイヤ、Exif画像レイヤは領域拡大・縮小機能の対象外です。

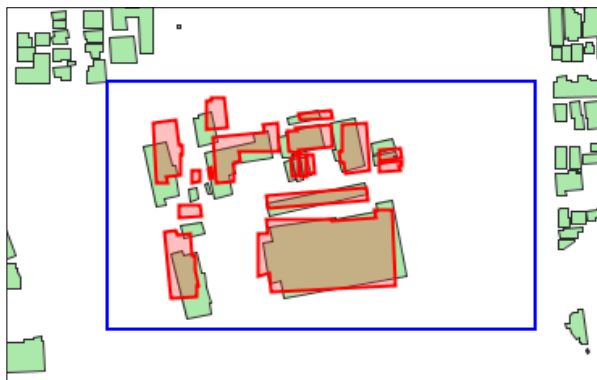
#### 【ポイント(点)の回転の例】



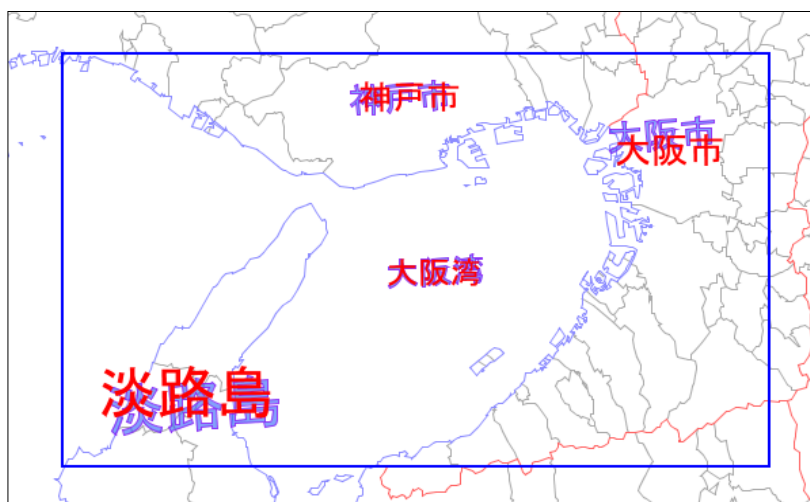
#### 【ポリライン(線)の回転の例】



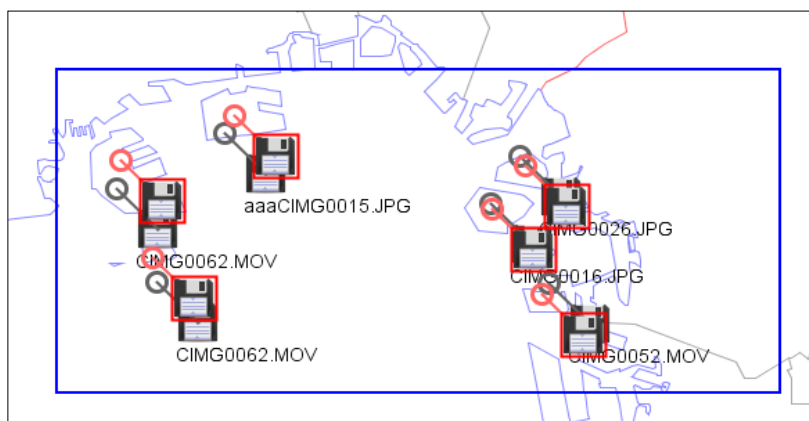
【ポリゴン(面)の回転の例】



【テキスト(文字)の回転の例】



【添付ファイルの回転の例】



## 8. DB表示・編集

本章では、レイヤに登録されている図形のDB項目情報を表示、編集する操作方法について説明します。

画面	説明(機能)
DB一覧データ表示	レイヤのDB項目値を一覧表に表示します。 一覧表の行をクリックすると該当の図形を強調表示します。 レイヤの情報をCSVファイルに出力します。 レイヤの情報をシェープファイルに出力します。
DB一覧データ編集	レイヤのDB項目値を一覧表に表示します。 一覧表の行をクリックすると該当の図形を強調表示します。 レイヤの情報をCSVファイルに出力します。 レイヤの情報をシェープファイルに出力します。  DB項目値の編集ができます。 CSVファイルを用いてデータを一括更新できます。
DB個別表示	クリックして選択された図形のDB項目を表示します。
DB個別編集	クリックして選択された図形のDB項目を表示します。 DB項目値の編集ができます。
DB個別ダイアログ表示	図形とDB項目の情報を関連付けてダイアログ画面に表示します。

### 8.1 DB一覧データ編集・表示

#### (1) DB一覧データ編集

選択されているレイヤのDB項目情報を一覧表に表示します。

データNo	世帯数(N)	人口(N)	人口〈男〉(N)	人口〈女〉(N)	人口密度(N)	前年比増減(N)	増減率(N)	都道府県名(C)
1	2857	6028	2961	3067	27	-162	-2.62	東京都
2	59662	138154	69569	68585	1338	-258	-0.19	東京都
3	306367	645671	326090	319581	12137	1223	0.19	東京都
4	33024	73158	35491	37667	7179	174	0.24	東京都
5	268147	518350	258322	260028	16113	946	0.18	東京都
6	169031	317227	157676	159551	15407	-702	-0.22	東京都
7	206643	434508	218473	216035	12472	-745	-0.17	東京都
8	13773	33531	17058	16473	1992	-130	-0.39	東京都
9	6926	16649	8256	8393	593	189	1.15	東京都
10	68373	150988	74614	76374	8794	187	0.12	東京都
11	24270	56018	28599	27419	5653	-32	-0.06	東京都
12	335465	694886	342261	352625	14429	1518	0.22	東京都
13	1235	2597	1291	1306	25	-86	-3.21	東京都
14	33156	81421	40808	40613	1110	172	0.21	東京都
15	29017	70770	35573	35197	4604	301	0.43	東京都
16	50627	114414	56487	57927	8856	-358	-0.31	東京都
17	35819	83479	41455	42024	6165	196	0.24	東京都
18	89460	194619	95474	99145	12279	493	0.25	東京都

#### ・図形の強調表示

一覧表の行をクリックするとそのデータの地図上の図形が赤色で強調表示されます。  
「ピンを表示する」にチェックが入れると、その図形を指し示す赤色の矢印アイコンが表示されます。



・DB項目データの編集

DB項目値の編集ができます。  
日付型のデータの書式は、「YYYYMMDD」です。  
(例) 20131023

「更新」ボタンをクリックすると編集された一覧表のデータが保存されます。  
「更新して閉じる」ボタンをクリックすると編集された一覧表のデータが保存され、一覧表画面も閉じられます。

・「CSVファイルで一括更新(ここにドラッグ)」

CSVファイルを用いて、DB項目値を一括に大量のデータを更新することができます。

CSVファイルの書式は以下の通りです。

更新するためにキーとなるDB項目名、更新データのDB項目名、……以下必要個数続く  
キーの項目値,更新データ, ……以下必要個数続く  
キーの項目値,更新データ, ……以下必要個数続く  
キーの項目値,更新データ, ……以下必要個数続く  
.  
.  
.

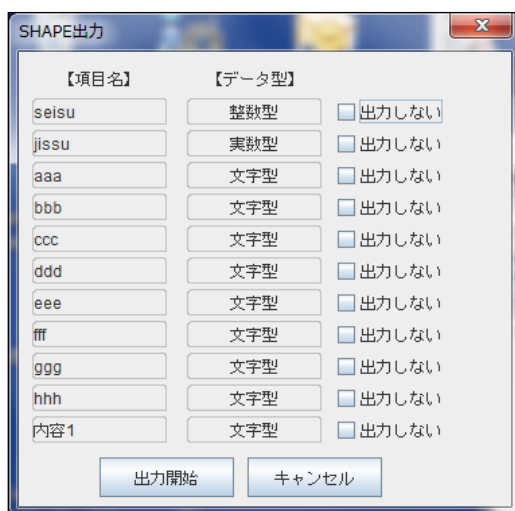
更新するためにキーとなるDB項目がない場合は、「\$\$\$\$」を指定することにより、データNoを検索キーにすることができます。

\$\$\$\$、更新データのDB項目名、……以下必要個数続く  
データNo, ……以下必要個数続く  
データNo,更新データ, ……以下必要個数続く  
データNo,更新データ, ……以下必要個数続く  
.  
.  
.

・SHAPE出力

レイヤの全データがシェープファイルに出力されます。

- ① 「SHAPE出力」ボタンをクリックする。
- ② 出力するDB項目を編集する画面が表示されますので、出力の有無をここで編集します。  
出力しないDB項目は、「出力しない」のチェックボックスにチェックを入れて下さい。



- ③ 「出力開始」ボタンをクリックすると、ファイルの保存ダイアログが表示されますので保存先のフォルダを選択し、ファイル名を入力して（拡張子は不要）、「保存」ボタンをクリックして下さい。  
同一名称のファイルが既に存在すれば、上書き保存をするかどうかの確認画面が表示されます。

※ 以下のレイヤの場合は、ポイント（点）、またはポリゴン（面）のシェープファイルとして出力されます。

・テキスト（文字）レイヤ	ポリゴン（面）
・画像レイヤ	ポイント（点）
・Exif画像レイヤ	ポイント（点）
・添付ファイルレイヤ	ポイント（点）

世界測地系、緯度経度座標系の点、面の図形種別で出力されます。

#### ・CSV出力

レイヤの全DBデータがCSVファイルに出力されます。

- ① 「CSV出力」ボタンをクリックします。
- ② 出力するDB項目を編集する画面が表示されますので、出力の有無をここで編集します。  
出力しないDB項目は、「出力しない」のチェックボックスにチェックを入れて下さい。
- ③ 「出力開始」ボタンをクリックすると、ファイルの保存ダイアログが表示されますので保存先のフォルダを選択し、ファイル名を入力して（拡張子は不要）、「保存」ボタンをクリックして下さい。  
同一名称のファイルが既に存在すれば、上書き保存をするかどうかの確認画面が表示されます。

※ 以下のレイヤの場合は、ポイント（点）、またはポリゴン（面）のシェープファイルとして出力されます。

・テキスト（文字）レイヤ	ポリゴン（面）
・画像レイヤ	ポイント（点）
・Exif画像レイヤ	ポイント（点）
・添付ファイルレイヤ	ポイント（点）

世界測地系、緯度経度座標系の点、面の図形種別で出力されます。

## (1) DB一覧データ表示

選択されているレイヤのDB項目データが一覧表に表示されます。

DB一覧表示 (レイヤ名: N03-13\_13\_130401)

☒ ピンを表示

データNo	世帯数(N)	人口(N)	人口(男)(N)	人口(女)(N)	人口密度(N)	前年比増減(N)	増減率(N)	都道府県名(C)
1	2857	6028	2961	3067	27	-162	-2.62	東京都
2	59662	138154	69569	68585	1338	-258	-0.19	東京都
3	306367	645671	326090	319581	12137	1223	0.19	東京都
4	33024	73158	35491	37667	7179	174	0.24	東京都
5	268147	518350	258322	260028	16113	946	0.18	東京都
6	169031	317227	157676	159551	15407	-702	-0.22	東京都
7	206643	434508	218473	216035	12472	-745	-0.17	東京都
8	13773	33531	17058	16473	1992	-130	-0.39	東京都
9	6926	16649	8256	8393	593	189	1.15	東京都
10	68373	150988	74614	76374	8794	187	0.12	東京都
11	24270	56018	28599	27419	5653	-32	-0.06	東京都
12	335465	694886	342261	352625	14429	1518	0.22	東京都
13	1235	2597	1291	1306	25	-86	-3.21	東京都
14	33156	81421	40808	40613	1110	172	0.21	東京都
15	29017	70770	35573	35197	4604	301	0.43	東京都
16	50627	114414	56487	57927	8856	-358	-0.31	東京都
17	35819	83479	41455	42024	6165	196	0.24	東京都
18	89460	194619	95474	99145	12279	493	0.25	東京都

・一覧表の行をクリックするとそのデータの図形が赤色で強調表示されます。  
(DB一覧データ編集画面と同機能)

・SHAPE出力  
(DB一覧データ編集画面と同機能)

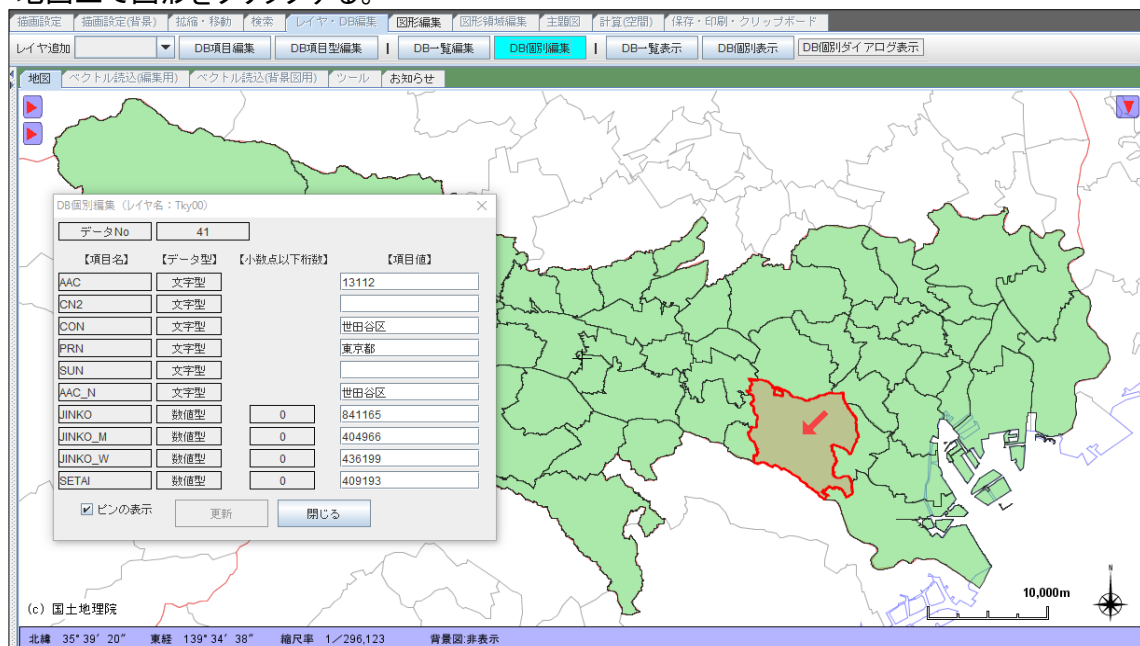
・CSV出力  
(DB一覧データ編集画面と同機能)

## 8.2 DB個別データ編集・表示

### (1) DB個別データ編集

地図上で選択された(クリックされた)図形のDBデータが表示され、DB項目値を変更することができます。

#### ① 地図上で図形をクリックする。



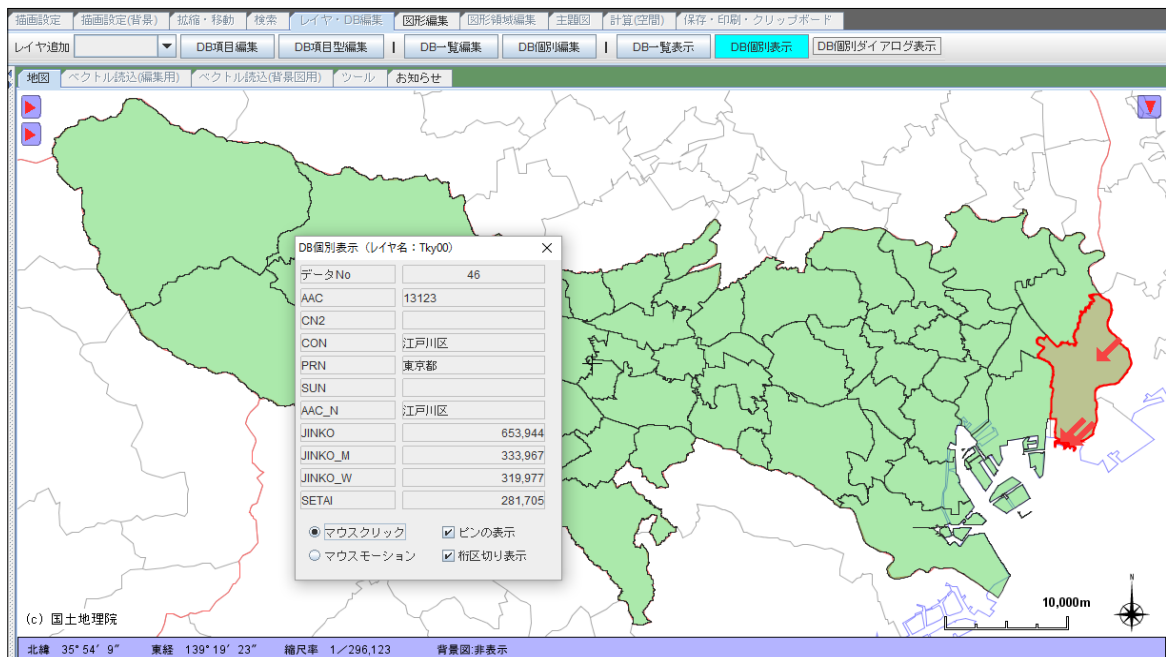
・ピンの表示: 選択された図形を矢印で指し示す。

- ② DB項目値を編集します。  
DB項目値を編集し、(キーボードの)「Enter」を押すと「更新」ボタンが活性化します。
- ③ 「更新」ボタンをクリックします。  
レイヤの該当図形のDB項目値が更新されます。

## (2) DB個別データ表示

地図上で選択された(クリックされた)図形のDBデータが表示されます。

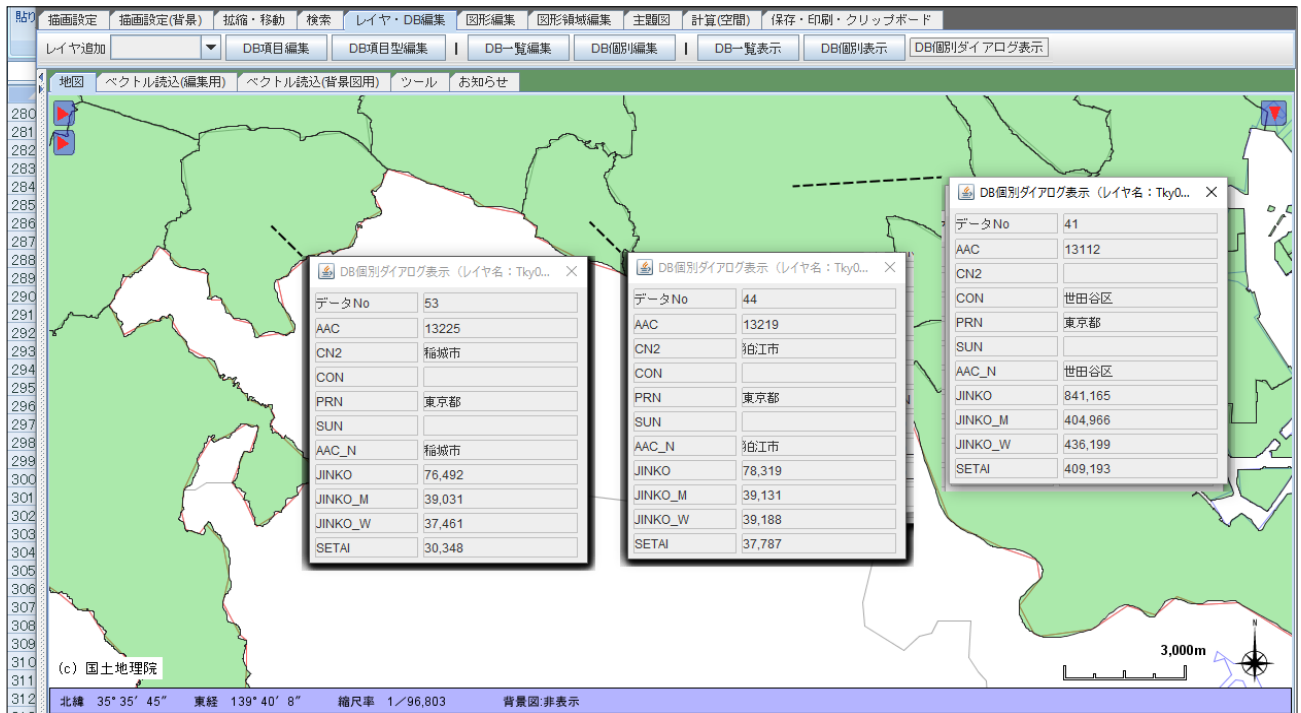
- ① 地図上で図形をクリックします。  
指定された図形のDB項目値がDB項目表示の画面に表示されます。



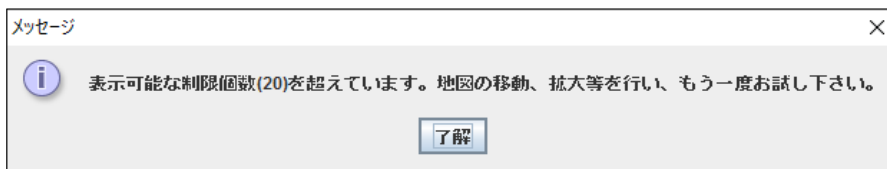
- ・マウスクリック : マウスクリックで、図形を選択する。
- ・マウスモーション : マウスの移動(モーション)で、図形を選択する。
- ・ピンの表示 : 選択された図形を矢印で指し示す。
- ・桁区切り表示 : 数値の値を桁区切り表示する。

### 8.3 DB個別ダイアログ表示

各図形のDB項目情報をダイアログ画面に表示します。



選択レイヤの図形が画面の地図上に20個以下の場合にDB個別ダイアログを表示することができます。地図の画面内に21個以上の図形がある場合は、以下のエラーメッセージが表示されます。



9. 地図の移動、拡大・縮小

本章では、画面に表示されている地図の移動、拡大・縮小の操作方法について説明します。

9.1 地図の移動

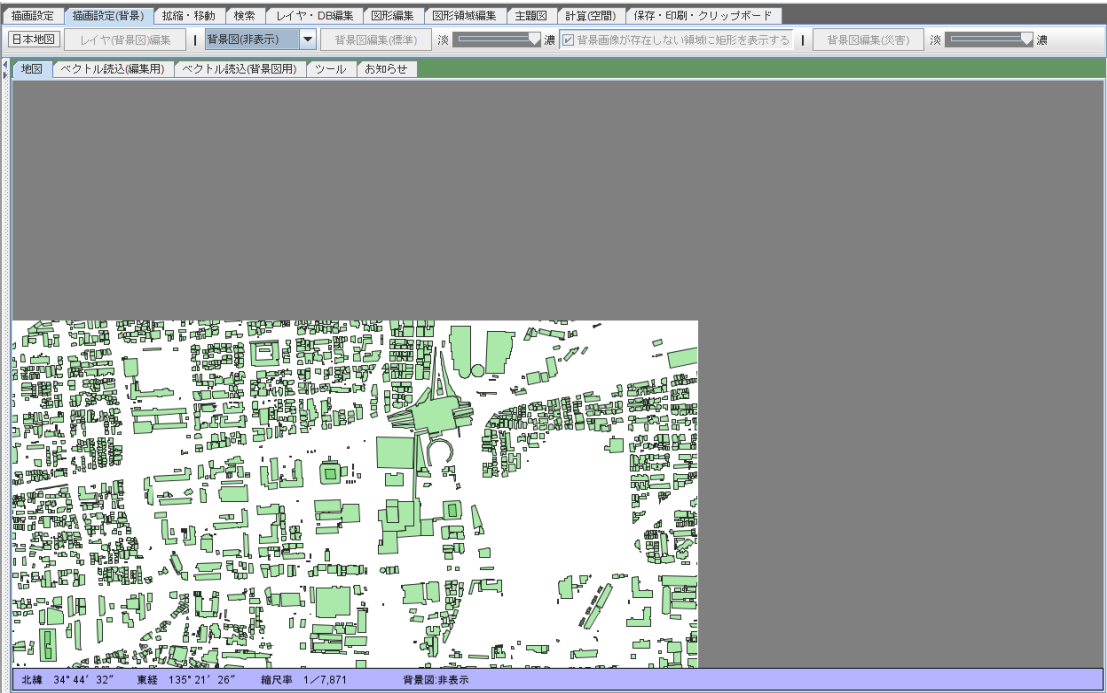
以下の操作で地図を移動することができます。

地図をマウスでドラッグする。	背景図画像はダウンロードされません。
ナビゲータの日本地図・世界地図の移動したい位置をクリックする。	欠けている部分の背景図画像がダウンロードされます。
「緯度・経度検索」画面で、緯度、経度を入力する。	
「住所検索」画面で、住所を入力する。	

(1) マウスでドラッグ

地図上をマウスの左ボタンでプレスし、その状態で移動させて下さい。  
マウスに追従して地図が移動します。

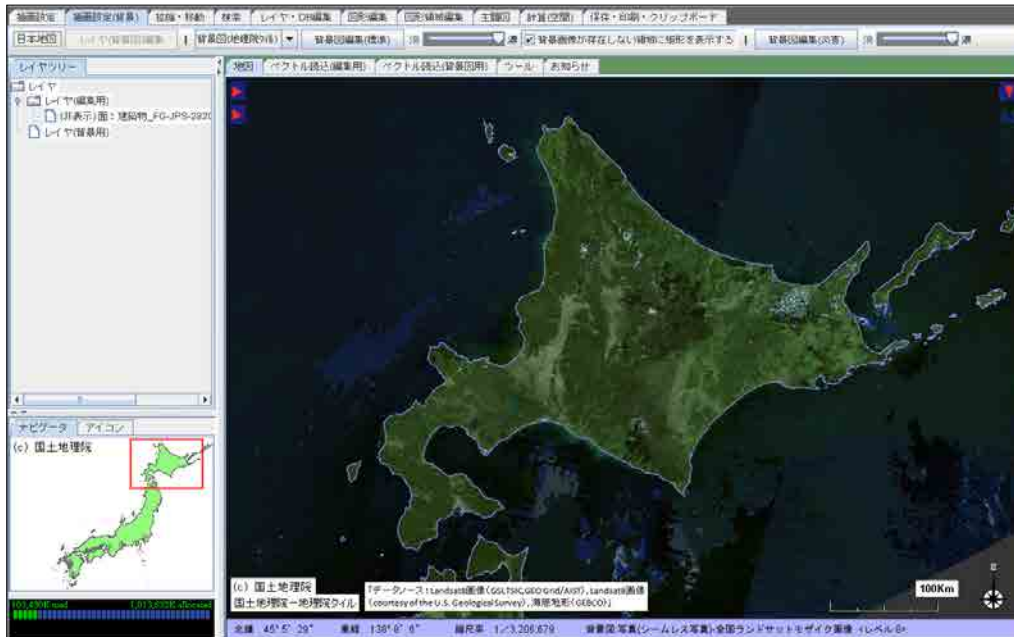
(例) 左下にドラッグしています … ボタンを離すと移動した場所の地図が表示されます。





## (2) ナビゲータ

ナビゲータ上でクリックすると、その位置に地図が移動します。

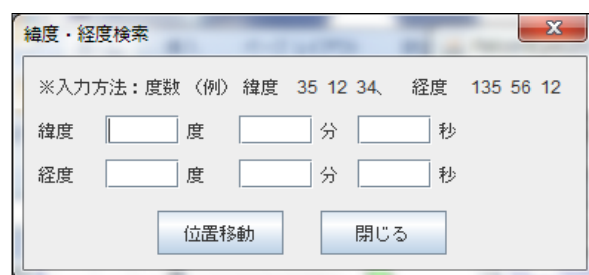
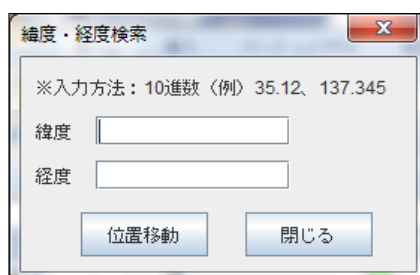
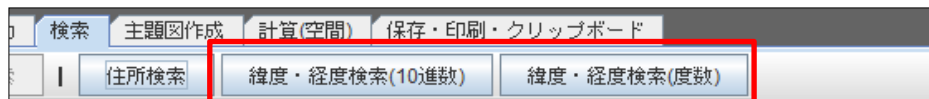


※例: ナビゲータ画面で、北海道部分をクリックした場合の表示例。

## (3) 緯度・経度検索

緯度、経度を入力し、その位置に移動します。

緯度、経度の入力方法には、度数を十進数で入力する方法と、度・分・秒で入力する方法があります。



緯度、経度を十進数、または度・分・秒で入力し、「位置移動」ボタンをクリックして下さい。  
該当の地域に移動します(縮尺は変更されません)。

背景図が非表示ではなく、背景図画像が欠けている場合は、自動的にダウンロードされます。  
(表示が欠けている部分に画像データが存在する場合)

## (4) 住所検索

入力された住所情報に基づいて、該当地域に地図を移動します。

- ・都道府県名 リストの中から都道府県名を選択して下さい。  
前回検索した都道府県名が選択状態で表示されます。  
必須入力項目です。
- ・市町村名 分かる範囲で入力して下さい。  
分からなければ入力は不要です。
- ・大字・町丁目名 分かる範囲で入力して下さい。  
分からなければ入力は不要です。  
番地名の入力は不要です。

丁目の数字は、半角数字、全角数字、漢数字の何れでも結構です。

「検索」ボタンをクリックすると該当の地区に移動し、調整された縮尺で地図を表示します。

背景図が非表示ではなく、背景図画像が欠けている場合は、自動的にダウンロードされます。  
(表示が欠けている部分に画像データが存在する場合)

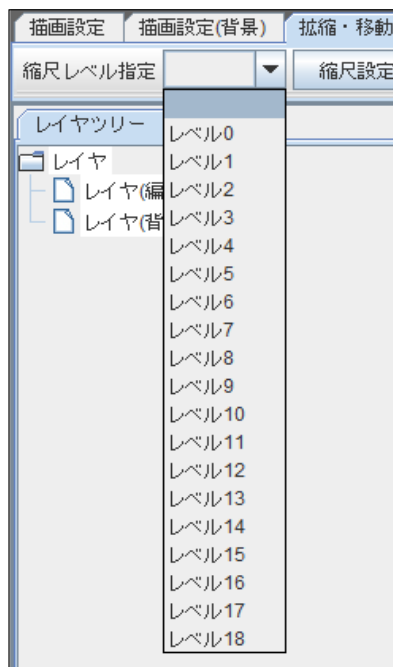
## 9.2 地図の拡大・縮小

以下の操作で地図を拡大・縮小表示することができます。

マウスホイールを前後に動かす	背景図画像はダウンロードされません。
「縮尺レベル指定」	欠けている部分の背景図画像がダウンロードされます。
「縮尺設定」	
「領域指定」	
「対象レイヤ全体表示」	
「全レイヤ全体表示」	

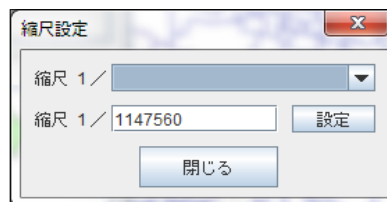
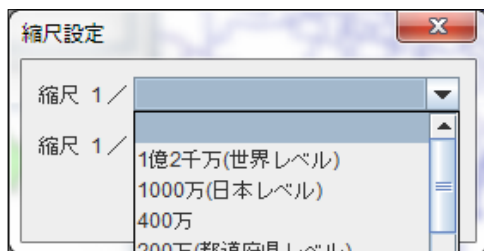
- (1) マウスホイール マウスホイールを前後に動かすと、地図が拡大・縮小します。  
「ツール」の「ユーザプロパティ」で拡大・縮小を逆に設定することもできます。

- (2) 縮尺レベル指定 背景図の縮尺レベルを指定して、そのレベルの縮尺で、地図を表示します。



- (2) 縮尺設定 縮尺レベルの選択すると、地図がそのレベルの縮尺で表示されます。

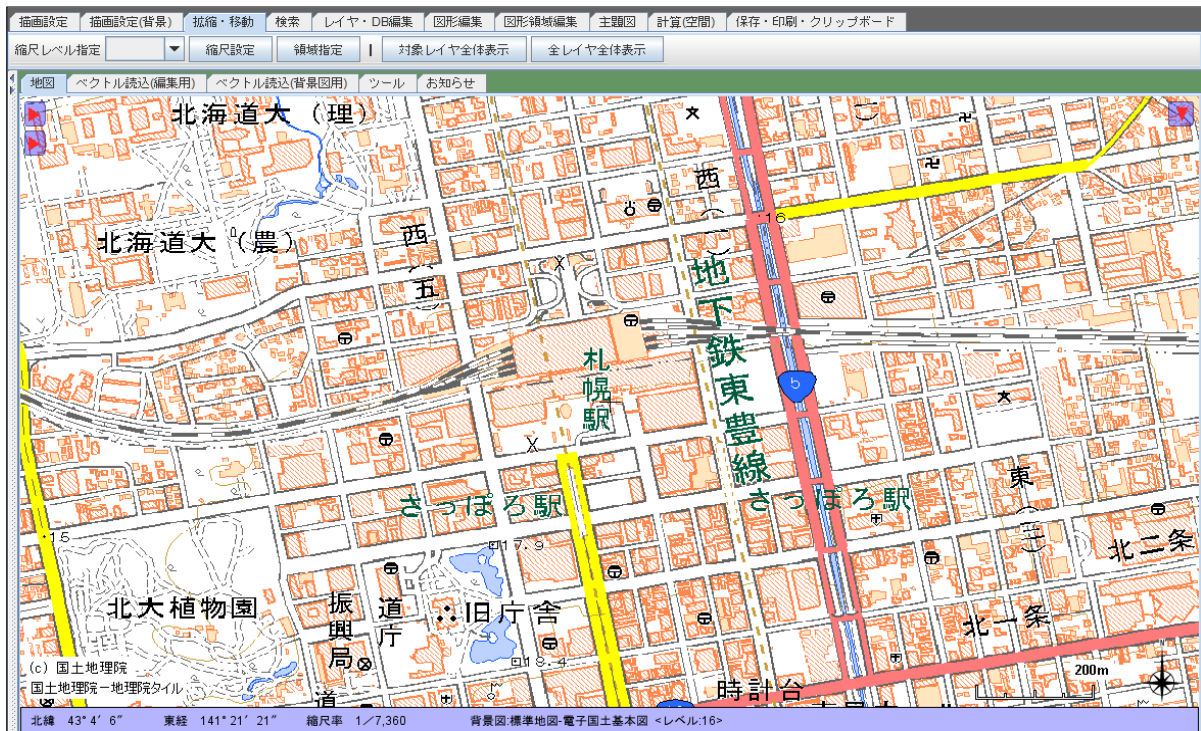
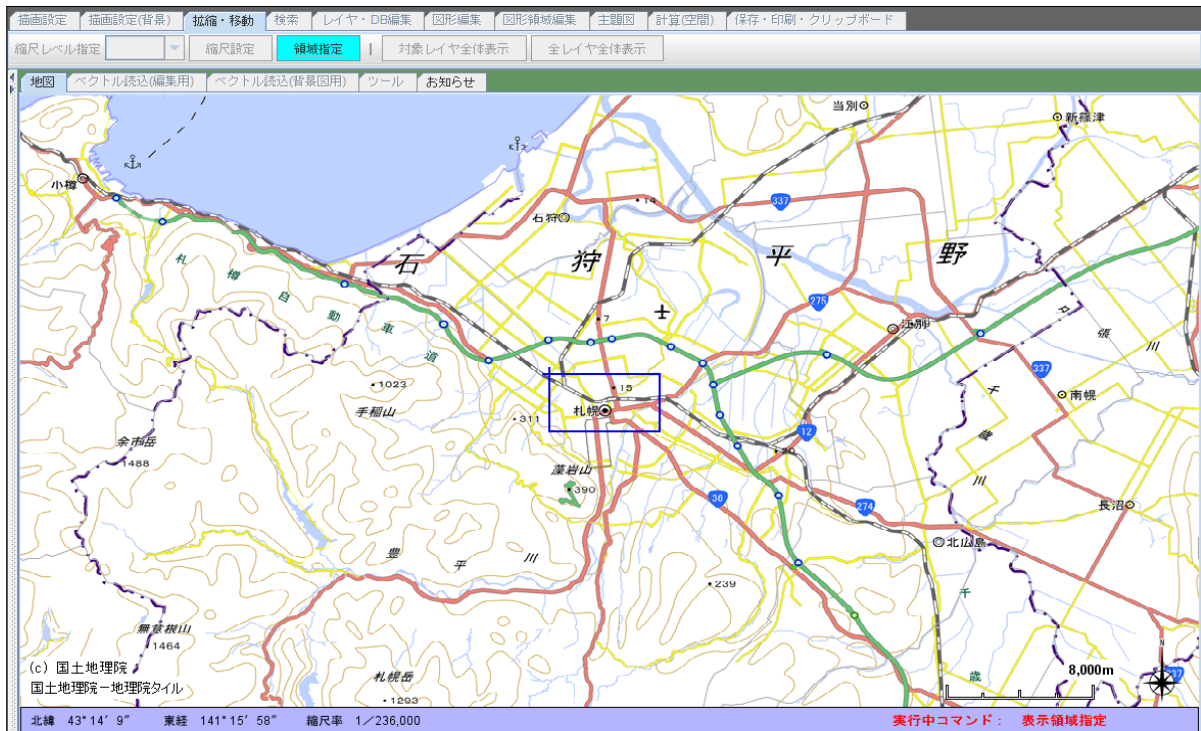
縮尺値を入力し、「設定」ボタンをクリックすると、地図が拡大、または縮小して表示されます。



縮尺レベルの種類
1/1億2千万(世界レベル)
1/1000万(日本レベル)
1/400万
1/200万(都道府県レベル)
1/100万(都道府県レベル)
1/80万
1/40万(市町村レベル)
1/20万(市町村レベル)
1/10万
1/5万
1/2万(大字・町長目レベル)
1/1万(大字・町長目レベル)
1/5000
1/3000
1/1500

(3) 領域指定

領域の左上点を指定(クリック)し、マウスを右下方向に移動してクリックして下さい。  
指定された領域を拡大表示します。



## 10. データの検索

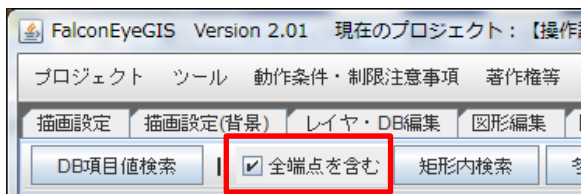
本章では、図形の検索、DB項目値の検索について説明します。

検索されたデータが一覧表に表示され、検索されたデータをシェープファイル、CSVファイルに出力することができます。

検索対象	種類
図形の検索	矩形内検索 多角形内検索 円内検索
DB項目の検索	DB項目値検索

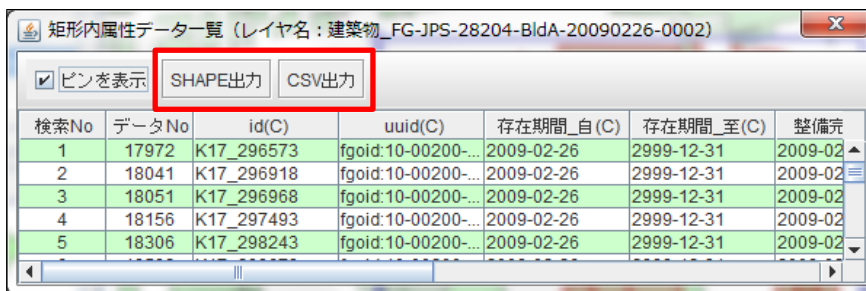
### 【図形検索】

全端点を含む	チェックを入れる	図形の全端点が指定領域内にあるものを検索対象にする。
	チェックを外す	ひとつの端点でも指定領域内にあれば検索対象にする。



検索された図形を赤色で強調表示し、その図形のDB項目情報を一覧表に表示します。

検索されたデータ(DB項目情報と図形情報)をシェープファイル、CSVファイルに出力することができます。





## 【DB項目値検索】

検索された図形を赤色で強調表示し、その図形のDB項目情報を一覧表に表示します。

検索されたデータ(DB項目情報と図形情報)をシェープファイル、CSVファイルに出力することができます。

DB項目値検索 (レイヤ名: 建築物\_FG-JPS-28204-BldA-20090226-0002)

【説明】 条件式を選択し、条件値を入力して下さい。  
条件値として空文字（未入力）も可能です。

項目番号	項目名	データ形式	条件式	条件値
1	id	文字		
2	uuid	文字		
3	存在期間自	文字		
4	存在期間至	文字		
5	整備完了日	文字		
6	出典レベル	文字		
7	表示	文字		
8	種別	文字	一致	堅ろう建物
9	名称	文字		
10				

検索 閉じる

DB項目値検索データ一覧 (レイヤ名: 建築物\_FG-JPS-28204-BldA-20090226-0002)

☒ ピンを表示 ☒ SHAPE出力 ☐ CSV出力

検索No	データNo	Id(C)	uuid(C)	存在期間自(C)	存在期間至(C)	整備完了日(C)
1	10	K17_206913	f901d10-00200...	2009-02-26	2999-12-31	2009-02-26
2	34	K17_207033	f901d10-00200...	2009-02-26	2999-12-31	2009-02-26
3	61	K17_207168	f901d10-00200...	2009-02-26	2999-12-31	2009-02-26
4	64	K17_207183	f901d10-00200...	2009-02-26	2999-12-31	2009-02-26
5	85	K17_207288	f901d10-00200...	2009-02-26	2999-12-31	2009-02-26
6	136	K17_207543	f901d10-00200...	2009-02-26	2999-12-31	2009-02-26
7	139	K17_207558	f901d10-00200...	2009-02-26	2999-12-31	2009-02-26
8	163	K17_207678	f901d10-00200...	2009-02-26	2999-12-31	2009-02-26
9	198	K17_207853	f901d10-00200...	2009-02-26	2999-12-31	2009-02-26
10	210	K17_207913	f901d10-00200...	2009-02-26	2999-12-31	2009-02-26
11	218	K17_207953	f901d10-00200...	2009-02-26	2999-12-31	2009-02-26

北緯 34° 44' 20" 東経 135° 21' 13" 縮尺率 1/5,236



## 10. 1 領域検索

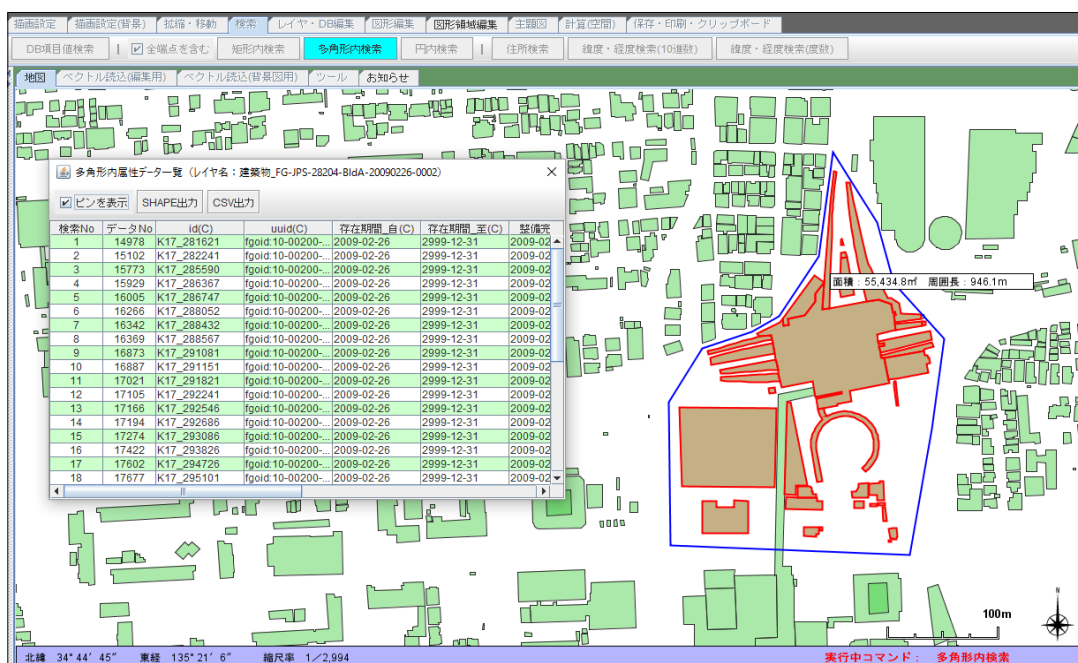
- (1) マウスで設定された矩形領域内の図形を検索し、該当の図形を強調表示し、DB項目情報を一覧表に表示します。



※一覧表の画面は省略しています。

- (2) マウスで設定された多角形領域内の図形を検索し、該当の図形を強調表示し、DB項目情報を一覧表に表示します。

【ポリゴン(面)レイヤの例】・・・一覧表の行をクリックすると、該当の図形が強調表示されます。



- (3) マウスで設定された円領域内の図形を検索し、該当の図形を強調表示し、DB項目情報を一覧表に表示します。



※一覧表の画面は省略しています。

## 10. 2 DB項目値検索

DB項目値に対する条件値を設定し、その条件に合致するデータを検索し、該当の図形を強調表示し、DB項目情報を一覧表に表示します。

文字型のDB項目に対しては、以下の条件指定ができます。

- |            |                              |
|------------|------------------------------|
| ・一致        | 文字列が一致する。                    |
| ・不一致       | 文字列が一致しない。                   |
| ・前方位置      | 文字列の前方部分が一致する。               |
| ・後方一致      | 文字列の後方部分が一致する。               |
| ・前方位置(not) | 文字列の前方部分が一致するデータ以外のデータを抽出する。 |
| ・後方一致(not) | 文字列の後方部分が一致するデータ以外のデータを抽出する。 |
| ・中間一致      | 文字列の中間部分が一致する。               |

数値型、日付型のDB項目に対しては、以下の条件指定ができます。

- |           |              |
|-----------|--------------|
| ・項目値＝条件値  | 数値が一致する。     |
| ・項目値＜＞条件値 | 数値が一致しない。    |
| ・項目値＞条件値  | 数値が条件値より大きい。 |
| ・項目値＜条件値  | 数値が条件値より小さい。 |
| ・項目値＞＝条件値 | 数値が条件値以上。    |
| ・項目値＜＝条件値 | 数値が条件値以下。    |

複数項目に対して検索条件を指定することができます。  
各条件を満たしたデータが検索されます。

検索されたデータ(DB項目情報と図形情報)をシェープファイル、CSVファイルに出力することができます。

DB項目値検索 (レイヤ名: 建築物\_FG-JPS-28204-BldA-20090226-0002)

【説明】 条件式を選択し、条件値を入力して下さい。  
条件値として空文字 (未入力) も可能です。

項目番号	項目名	データ形式	条件式	条件値
1	id	文字		
2	uuid	文字		
3	存在期間_自	文字		
4	存在期間_至	文字		
5	整備完了日	文字		
6	出典地図情報レベル	文字		
7	出典メタデータ	文字		
8	表示	文字		
9	種別	文字	一致	堅ろう建物
10	種別	文字		

DB項目値検索データ一覧 (レイヤ名: 建築物\_FG-JPS-28204-BldA-20090226-0002)

☒ ビンを表示 ☐ SHAPE出力 ☐ CSV出力

検索No	データNo	id(C)	uuid(C)	存在期間_自(C)	存在期間_至(C)	整備完了日(C)	出典地図情報レ...	出典メタデータ...	表示(C)	種別(C)
1	10	K17_206913	fgoid:10-00200-...	2009-02-26	2999-12-31	2009-02-26	2500	8-454		堅ろう建物
2	34	K17_207033	fgoid:10-00200-...	2009-02-26	2999-12-31	2009-02-26	2500	8-454		堅ろう建物
3	61	K17_207168	fgoid:10-00200-...	2009-02-26	2999-12-31	2009-02-26	2500	8-454		堅ろう建物
4	64	K17_207183	fgoid:10-00200-...	2009-02-26	2999-12-31	2009-02-26	2500	8-454		堅ろう建物
5	85	K17_207288	fgoid:10-00200-...	2009-02-26	2999-12-31	2009-02-26	2500	8-454		堅ろう建物
6	136	K17_207543	fgoid:10-00200-...	2009-02-26	2999-12-31	2009-02-26	2500	8-454		堅ろう建物
7	139	K17_207558	fgoid:10-00200-...	2009-02-26	2999-12-31	2009-02-26	2500	8-454		堅ろう建物
8	163	K17_207678	fgoid:10-00200-...	2009-02-26	2999-12-31	2009-02-26	2500	8-454		堅ろう建物
9	198	K17_207853	fgoid:10-00200-...	2009-02-26	2999-12-31	2009-02-26	2500	8-454		堅ろう建物
10	210	K17_207913	fgoid:10-00200-...	2009-02-26	2999-12-31	2009-02-26	2500	8-454		堅ろう建物
11	218	K17_207953	fgoid:10-00200-...	2009-02-26	2999-12-31	2009-02-26	2500	8-454		堅ろう建物
12	221	K17_207968	fgoid:10-00200-...	2009-02-26	2999-12-31	2009-02-26	2500	8-454		堅ろう建物
13	228	K17_208003	fgoid:10-00200-...	2009-02-26	2999-12-31	2009-02-26	2500	8-454		堅ろう建物

北緯 34° 44' 45" 東経 135° 21' 6" 縮尺率 1/2,994 背景図: 非表示

10. 3 住所検索

「9. 1 地図の移動」を参照して下さい。

10. 4 緯度経度検索

「9. 1 地図の移動」を参照して下さい。

## 11. 地図表示の付加機能

本章では、以下の機能について説明します。

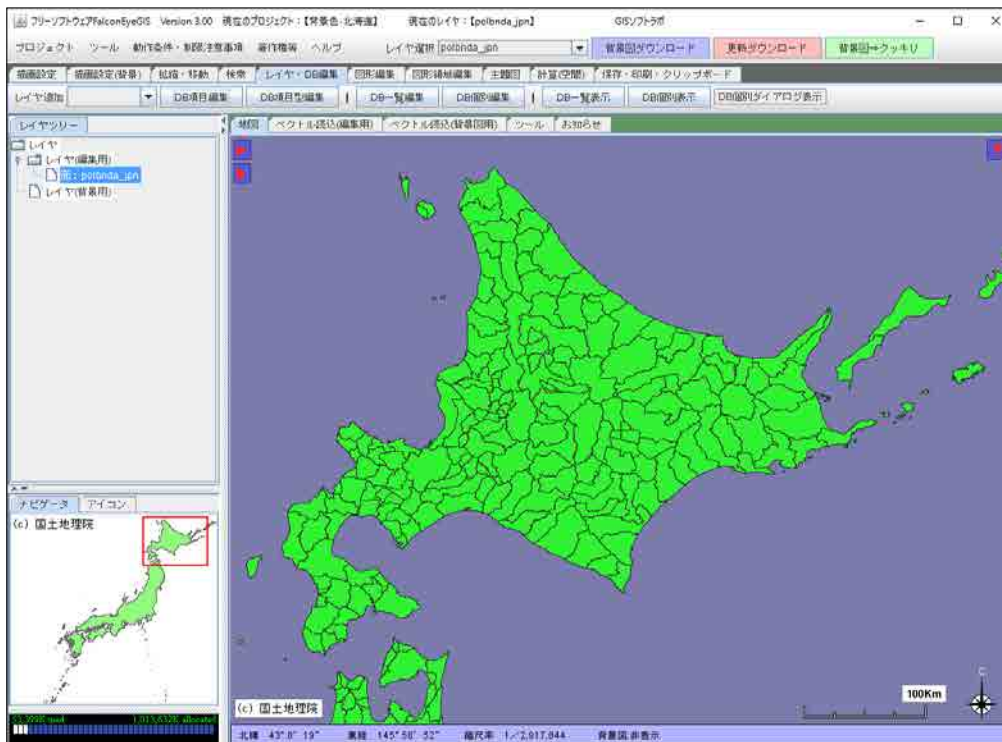
- ・画面背景色の設定
- ・緯度経度線の表示
- ・画面中心点の緯度経度の表示
- ・背景図種別の表示

### 11.1 画面背景色の設定

地図の背景色の初期状態は白色ですが、この機能で変更することができます。



(例) 上記の設定での表示例



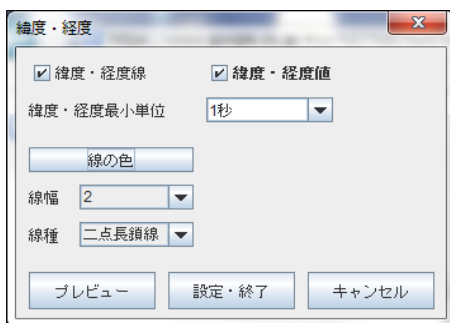
- ① 「基本色」を選択して下さい。
- ② スライダーで色の濃淡を調整して下さい。

「プレビュー」ボタンをクリックすると、地図の画面で確認することができます。

設定した色を確定する場合は、「設定・終了」ボタンをクリックして下さい。

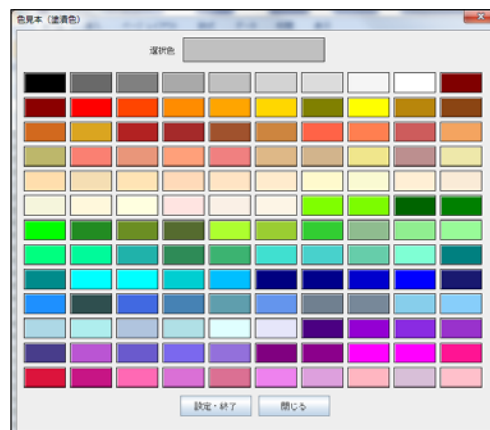
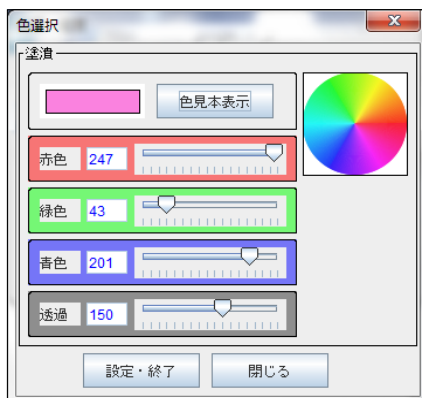
## 11.2 緯度経度線の表示

緯度経度線、緯度経度の値を表示設定できます。



以下の項目を設定することができます。

- ・緯度経度線の表示有無      チェックを入れると緯度経度線が表示されます。
- ・緯度経度の値の表示有無      チェックを入れると緯度経度の値が表示されます。
- ・線の色編集      「線の色」ボタンをクリックすると、「色選択」の画面が表示されますので、希望の色を編集し、「設定・終了」ボタンをクリックする。



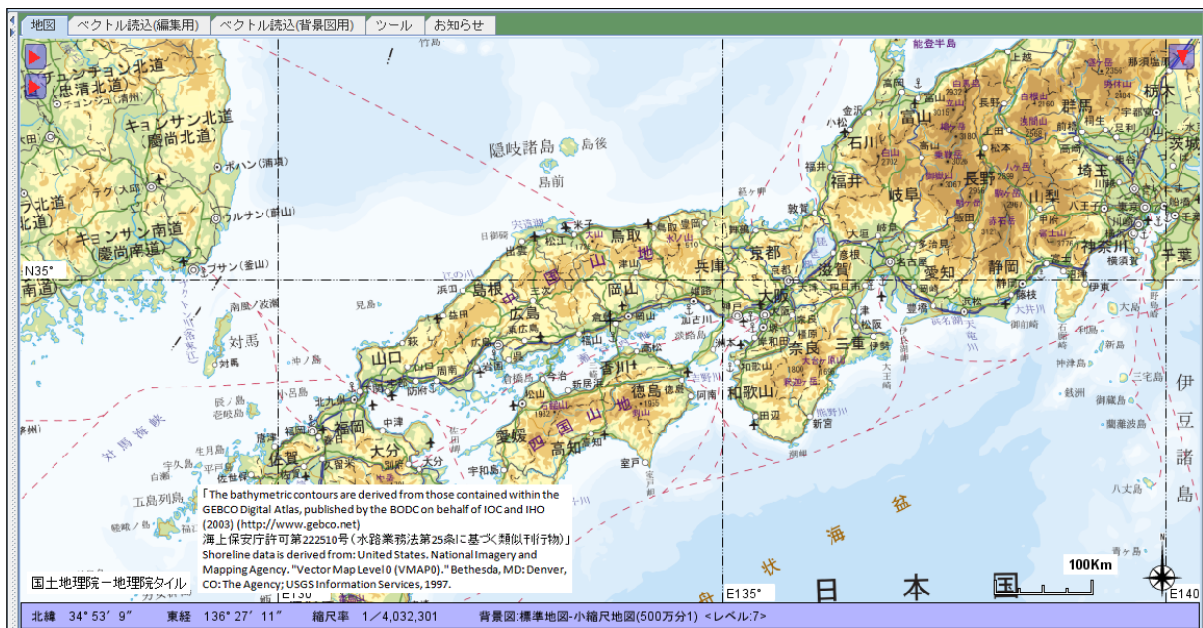
- ・線幅の設定      1ドット～5ドットの範囲で選択できます。

・線種の設定

以下の7種類から選択できます。

- ・実線
- ・点線
- ・破線
- ・跳び破線
- ・一点鎖線
- ・二点鎖線
- ・一点長鎖線
- ・二点長鎖線

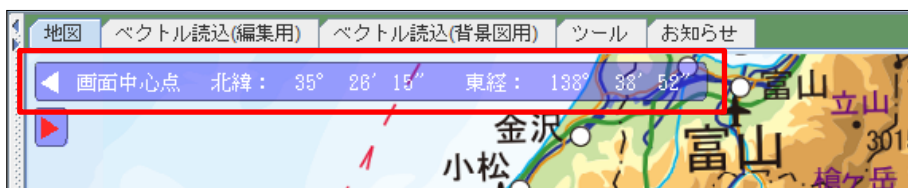
「プレビュー」ボタンをクリックすると、地図上で実際に表示し、確認することができます。  
「設定・終了」ボタンをクリックすると確定し、画面が閉じられます。



### 11.3 画面中心点の緯度経度と背景図種別の表示

#### 【画面中心点の緯度経度表示】

地図画面左上の三角マーク(上側)をクリックすると、地図画面の中心位置の緯度経度を表示します。  
印刷時、画像保存時にも表示された状態になります。

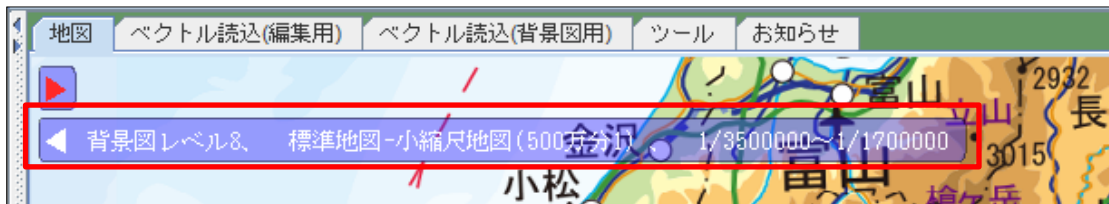


もう一度クリックすると、三角マークに戻ります。  
印刷時、画像保存時には三角マークは表示されません。



## 【背景図種別の表示】

地図画面左上の三角マーク(下側)をクリックすると、現在表示されている背景図画像の種別情報を表示します。  
印刷時、画像保存時にも表示された状態になります。



もう一度クリックすると、三角マークに戻ります。  
印刷時、画像保存時には三角マークは表示されません。

## 11.4 背景図メニューの表示・非表示

地図画面左上の三角マークをクリックすると、現在の縮尺レベルに該当する背景図種別のメニューを表示します。  
メニューの項目をクリックするとその種別の背景図画像がダウンロードされます。



「▲ 背景図メニューを非表示にする」がクリックされると、三角マークに戻ります。  
印刷時、画像保存時には三角マークは表示されません。

## 12. 主題図の作成

主題図の作成機能は、以下の6つがあります。

主題図の種類	説明	レイヤ種別								
		点	線	面	文	画	E	添	付	吹
DB項目値表示	DB項目の値を表示します。	○	○	○	○	○	○	—	—	—
段階色区分	DB項目値の値の大小により図形に段階的な色付けをします。	○	○	○	—	—	—	—	—	—
項目値色区分	項目値の値ごとに設定した色で図形を表示	○	○	○	—	—	—	—	—	—
条件式色区分	条件に合致した図形を指定の色で表示します。	○	○	○	—	—	—	—	—	—
グラフ表示	DB項目の値の大小をグラフ化して表示します。	○	○	○	—	—	—	—	—	—
円スケール表示	ポイント(点)を中心とした多重円のスケールを表示します。	○	—	—	—	—	—	—	—	—

点: ポイント(点)レイヤ

文: 文字レイヤ

添: 添付ファイルレイヤ

線: ポリライン(線)レイヤ

画: 画像レイヤ




付: 付箋紙レイヤ

面: ポリゴン(面)レイヤ

E: Exif画像レイヤ

吹: 吹出しレイヤ

※ポイント(点)レイヤの場合は、主題図の種別により、アイコンが以下の形状に切り替わります。

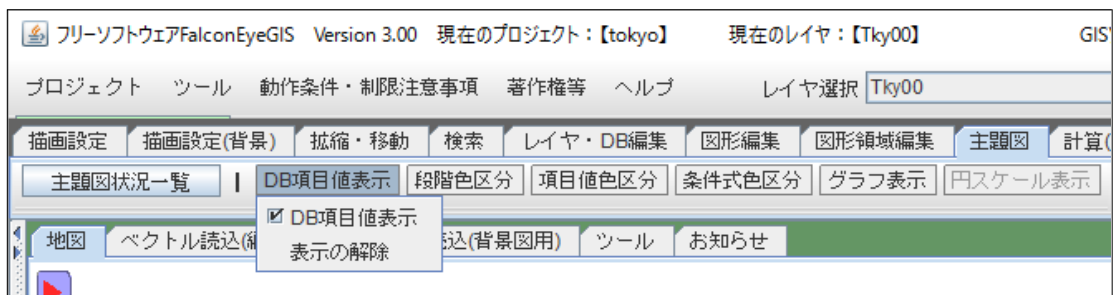
段階色区分 (丸型)	
項目値色区分 (四角形)	
条件式色区分 (六角形)	
円スケール表示	通常アイコン

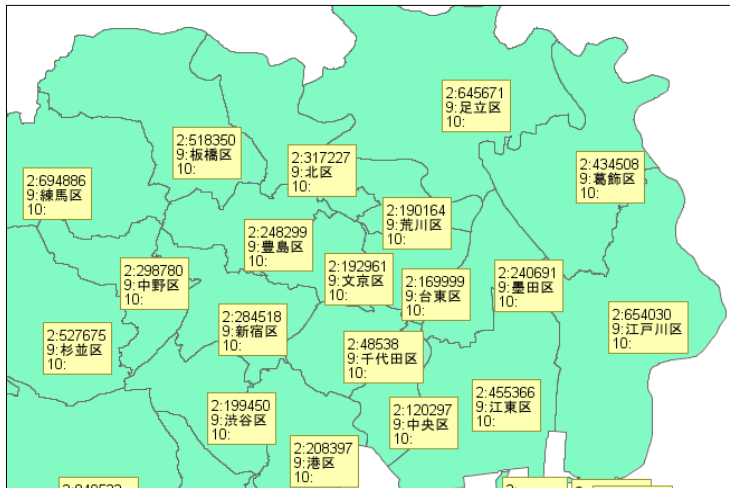
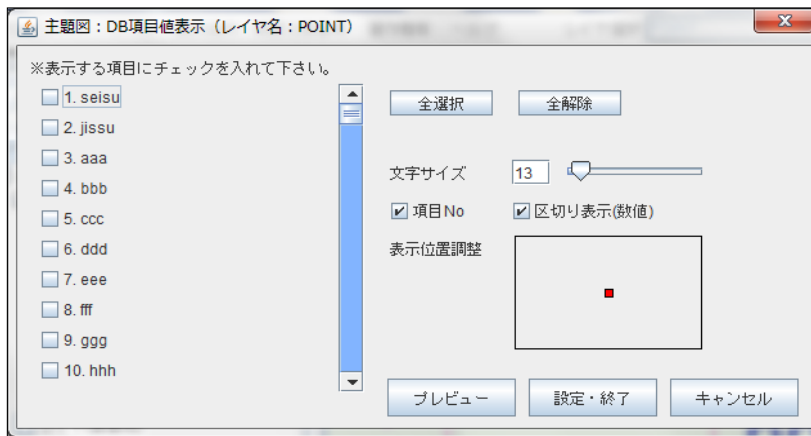
### 12.1 DB項目値表示

地図の図形上に指定されたDB項目の値を表示する機能です。

「主題図作成」タブの「DB項目値表示」をクリックすると以下のメニューが表示され、「DB項目値表示」を選択すると編集画面が表示されます。

メニューの「表示の解除」をクリックすると、DB項目値表示の表示が解除されます。





以下の設定を行うことができます。

- ・DB表示項目の指定(複数個の指定が可能)
- ・全選択  
全DB項目が選択されます。
- ・全解除  
全DB項目が未選択になります。
- ・文字サイズ  
DB項目値の表示文字サイズを設定します。
- ・文字サイズのスライダー  
スライダーを左右に動かして大きさを調整して下さい。  
地図内のDB表示項目値の表示文字がスライダーに連動して大きさが変化します。  
文字サイズの入力エリアの文字も変化します。
- ・項目No  
チェックを入れると、DB項目値の左側に、そのDB項目の番号を表示します。
- ・桁区切り表示(数値)  
DB項目が数値の場合に、桁区切り(.)を表示するか、しないかを指定できます。

・DB項目値の表示位置の微調整

矩形内の赤■をマウスで移動し、表示位置を微調整できます。  
地図内のDB表示項目値がマウスの移動に追従して移動します。  
他データとの重なりを防いだり、見易くしたりすることができます。

●「プレビュー」ボタン

設定・編集した内容を地図上のDB項目値表示に反映します（確定ではありません）。

●「設定・終了」ボタン

設定・編集された内容を確定、保存し、画面を閉じます。

●「キャンセル」ボタン

設定・編集された内容を保存せずに、画面を閉じます。

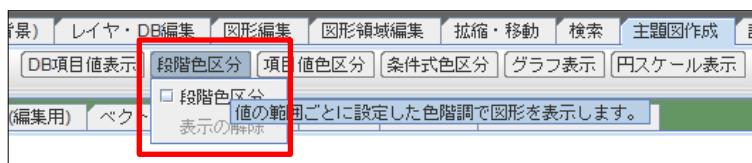
（注意）

DB項目の編集をおこなった場合は、DB項目表示の設定情報は破棄されます。

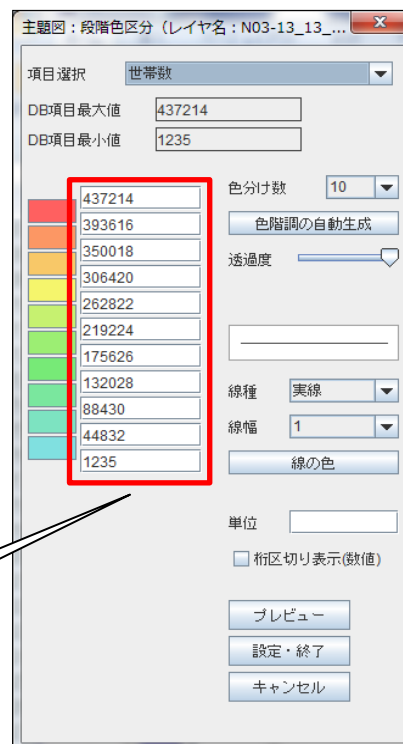
## 12. 2 段階色区分

DB項目値の値の大小により図形の色階調を変化させて表示することができます。  
（DB項目の中に数値項目がなければ、この機能は呼び出すことができません）

「主題図作成」タブの「段階色区分」をクリックすると以下のメニューが表示されます。  
メニューから「段階色区分」を選択すると編集画面が表示されます。

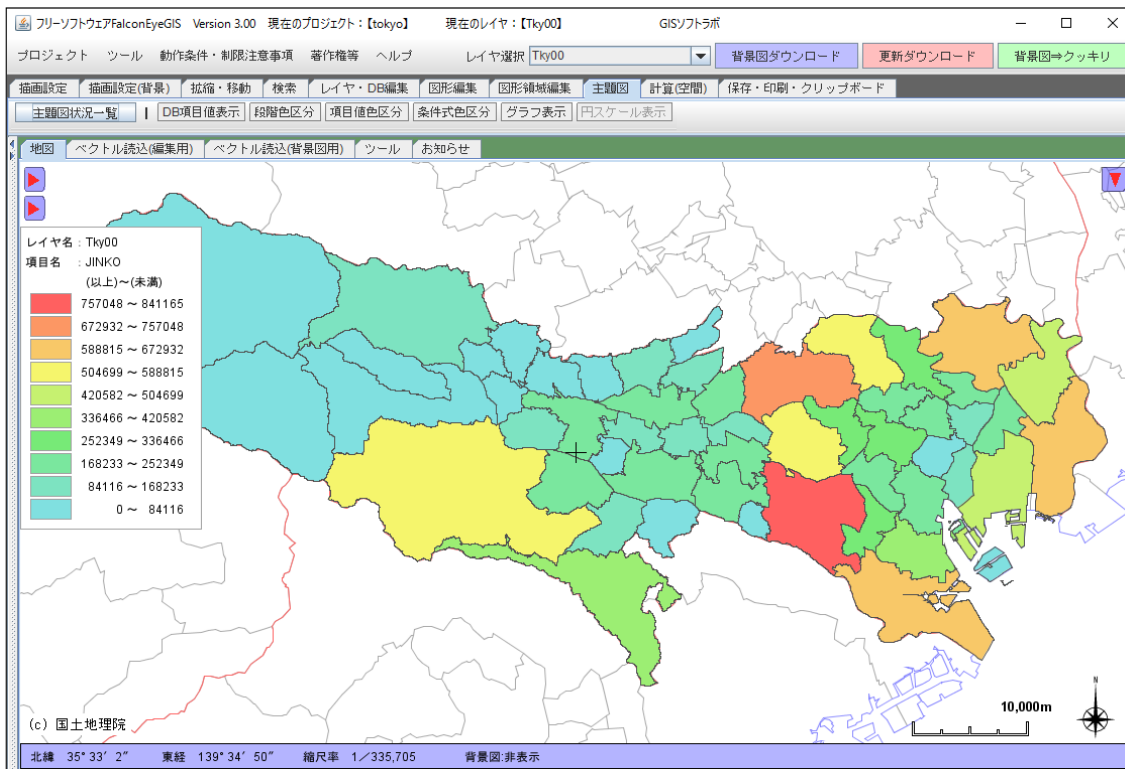


メニューの「表示の解除」をクリックすると、段階色区分の表示が解除されます。



境界値

# フリーソフトウェアFalconEyeGIS



## ・DB項目の選択

どのDB項目を用いて、段階色区分表示するかを選びます。

選択されたDB項目が地図の段階色区分に反映します(プレビューのみで、確定ではありません)。

※数値のDB項目のみがリストに登録されています。

## ・DB項目最大値

選択されたDB項目の最大値が表示されます。

## ・DB項目最小値

選択されたDB項目の最小値が表示されます。

## ・色分け数

1～20の設定が可能です。

地図に設定値が反映します(プレビューのみで、確定ではありません)。

## ・色階調の自動設定

最上段の色と最下段の色を用いて、その間の色階調を自動で生成し、設定します。

地図に設定値が反映します(プレビューのみで、確定ではありません)。

・色の表示エリア

色の表示エリアをクリックし、その部分の色階調を設定することができます。  
地図に設定値が反映します(プレビューのみで、確定ではありません)。



最上段、最下段の色階調をこの方法で設定し、「色階調の自動生成」ボタンをクリックすると最上段、最下段の色階調を用いて、再度、その間の色階調を再設定することができます。

・境界値の編集

色分け数が設定されると、最上段、最下段の値を用いて、その間の境界値が自動生成されますが、個別に再設定することもできます。

境界値の表示エリアをクリックし、境界値を入力して下さい。

上下の値に注意し、上下の値の範囲内の値を設定して下さい。

(「プレビュー」「設定・終了」ボタンをクリックするまでに整合性がとれていればOKです)

・透過度

色の透過度を調整します。

地図に設定値が反映します(プレビューのみで、確定ではありません)。

・線種

線の種別を指定します。

地図に設定値が反映します(プレビューのみで、確定ではありません)。

・線幅

線幅を指定します。

地図に設定値が反映します(プレビューのみで、確定ではありません)。

・線の色

線の色を設定します。

地図に設定値が反映します(プレビューのみで、確定ではありません)。

・単位

凡例に表示する数値に単位も合わせて表示したい場合に設定します。

・桁区切り表示

桁区切りの表示有無を指定します。

●「プレビュー」ボタン

境界値、単位、桁区切り表示を変更し、地図上での表示状態を確認したい場合は、「プレビュー」ボタンをクリックして下さい。

他の項目は、設定・編集と同時に地図画面に反映します(確定ではありません)。

●「設定・終了」ボタン

設定・編集された内容を確定、保存し、画面を閉じます。



●「キャンセル」ボタン

設定・編集された内容を保存せずに、画面を閉じます。

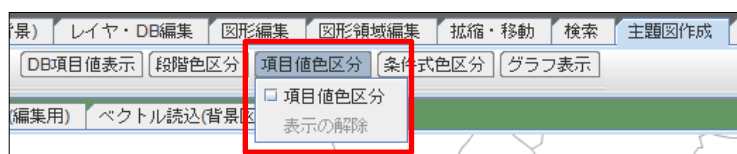
(注意)

- ① DB項目の編集を行った場合は、段階色区分の設定情報は破棄されます。
- ② 「項目値色区分」「条件式色区分」の主題図を表示すると、一旦、この「段階色区分」の表示は解除されますが、設定した情報はそのまま保持しています。「段階色区分」を再度、呼び出すと前回の設定状態が再現されます。

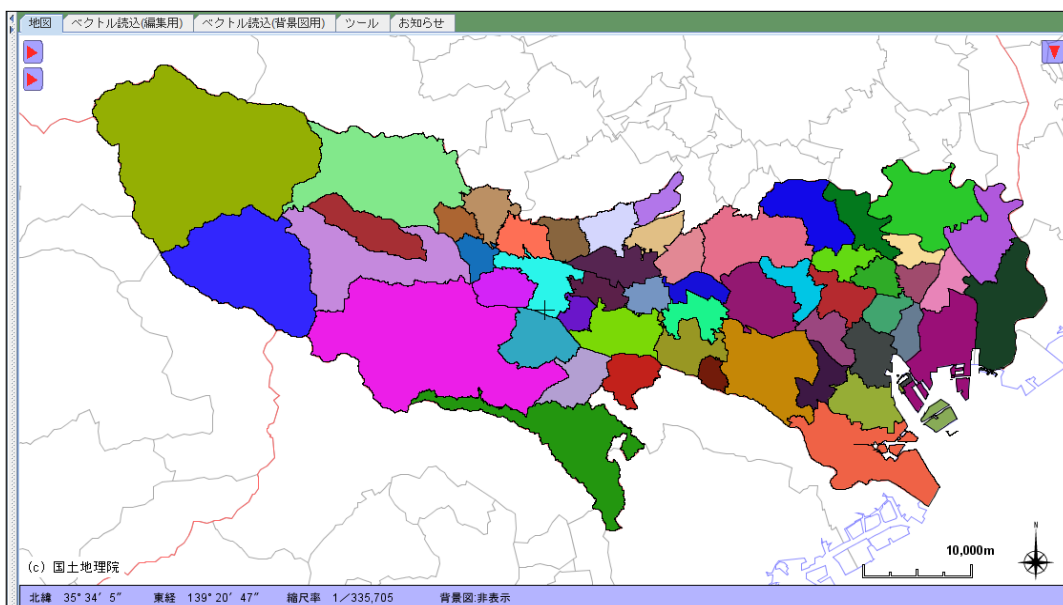
## 12.3 項目値色区分

項目値の値ごとに設定した色で図形を表示します。

「主題図作成」タブの「項目値色区分」をクリックすると以下のメニューが表示されます。メニューから「項目値色区分」を選択すると編集画面が表示されます。



メニューの「表示の解除」をクリックすると、項目値色区分の表示が解除されます。



- ・項目選択  
DB項目を選択します。
- ・描画属性  
「描画属性」ボタンをクリックすると、描画属性の編集画面が表示され、ポリゴン(面)の枠線の線種、線幅、枠線の色、塗潰しの色を設定することができます。
- ・ランダム色を設定  
「ランダム色を設定」ボタンをクリックすると、乱数を元に生成した色合いが各値の色として設定されます。個別に色を設定したい場合は、上記の「描画属性」で変更して下さい。
- ・初期の色に戻す  
「初期の色に戻す」ボタンをクリックすると、すべての値の設定色がレイヤの描画属性の色に戻ります。
- ・透過設定  
透過度を変更します。
- ・線種  
線種を選択する画面が表示されます。  
線種を選択して、「設定・終了」ボタンをクリックして下さい。
- ・線幅  
線幅を選択します。
- 「プレビュー」ボタン  
設定・編集した内容を地図上の項目値色区分表示に反映します(確定ではありません)。
- 「設定・終了」ボタン  
設定・編集された内容を確定、保存し、画面を閉じます。
- 「キャンセル」ボタン  
設定・編集された内容を保存せずに、画面を閉じます。

(注意)

- ① DB項目の編集を行った場合は、項目値色区分の設定情報は破棄されます。
- ② 「段階色区分」「条件式色区分」の主題図を表示すると、一旦、この「項目値色区分」の表示は解除されますが、設定した情報はそのまま保持しています。「項目値色区分」を再度、呼び出すと前回の設定状態が再現されます。

## 12. 4 条件式色区分

DB項目値に対して設定された条件式、条件値で検索されたデータ(図形)を、指定された描画情報で表示します。

文字型のDB項目に対しては、以下の条件指定ができます。

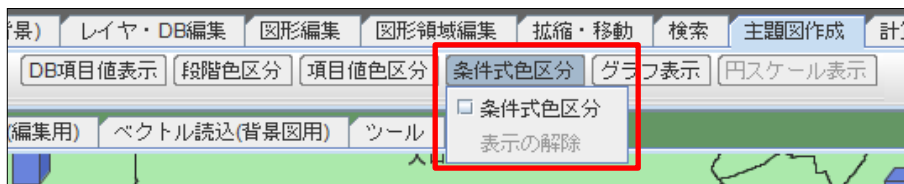
- |            |                              |
|------------|------------------------------|
| ・一致        | 文字列が一致する。                    |
| ・不一致       | 文字列が一致しない。                   |
| ・前方位置      | 文字列の前方部分が一致する。               |
| ・後方一致      | 文字列の後方部分が一致する。               |
| ・前方位置(not) | 文字列の前方部分が一致するデータ以外のデータを抽出する。 |
| ・後方一致(not) | 文字列の後方部分が一致するデータ以外のデータを抽出する。 |
| ・中間一致      | 文字列の中間部分が一致する。               |

数値型、日付型のDB項目に対しては、以下の条件指定ができます。

- |           |              |
|-----------|--------------|
| ・項目値＝条件値  | 数値が一致する。     |
| ・項目値<>条件値 | 数値が一致しない。    |
| ・項目値>条件値  | 数値が条件値より大きい。 |
| ・項目値<条件値  | 数値が条件値より小さい。 |
| ・項目値>＝条件値 | 数値が条件値以上。    |
| ・項目値<＝条件値 | 数値が条件値以下。    |

「主題図作成」タブの「条件式色区分」をクリックすると以下のメニューが表示されます。  
メニューから「条件式色区分」を選択すると編集画面が表示されます。

メニューの「表示の解除」をクリックすると、条件式色区分の表示が解除されます。



#### ・条件式

条件の式を選択します。

複数の項目に対して条件式を設定することができます。その場合、複数の条件を満たしたデータが検索の対象となります。

#### ・条件値

検索条件の値を設定します。

※空白を指定することができます。

文字型の場合： 空のデータ、または空でないデータを検索することができます。

数値型の場合： 空のデータ、または空でないデータを検索することができます。

主題図：条件式色区分 (レイヤ名：Tky00)

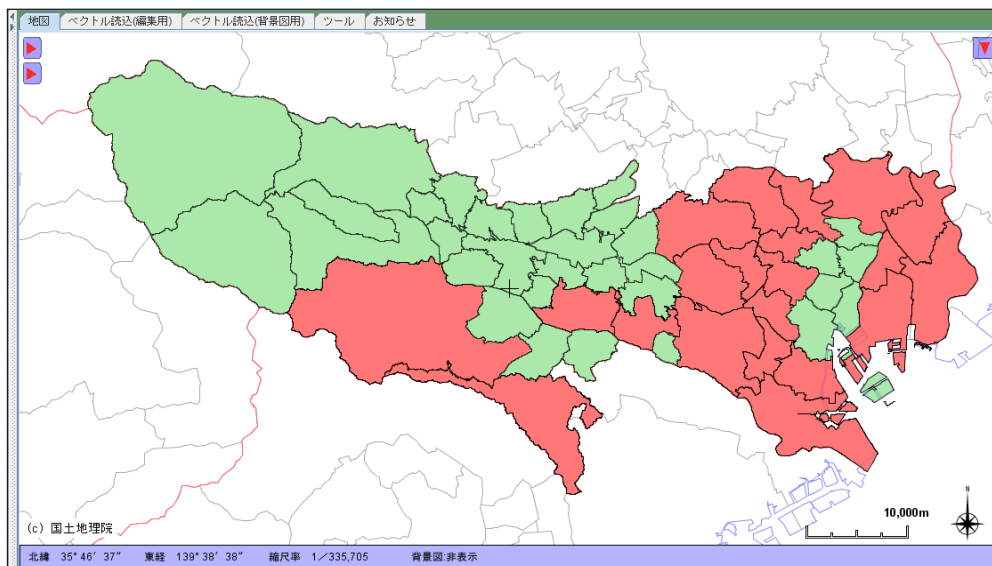
【説明】 条件式を選択し、条件値を入力して下さい。

項目番号	項目名	データ形式	小数点以下桁数	条件式	条件値
1	行政区域	文字	0		
2	市町村名	文字	0		
3	郡・政令市	文字	0		
4	都道府県名	文字	0		
5	支庁名	文字	0		
6	市区町村名	文字	0		
7	人口	数値	0	項目値>＝条件値	200000
8	人口(男)	数値	0		
9	人口(女)	数値	0		
10	世帯数	数値	0		

描画属性 

プレビュー 設定・終了 キャンセル

上記の条件での検索結果(人口が20万人以上の行政区を色区分表示)



●「プレビュー」ボタン

設定・編集した内容を地図上の条件式色区分表示に反映します(確定ではありません)。

●「設定・終了」ボタン

設定・編集された内容を確定、保存し、画面を閉じます。

●「キャンセル」ボタン

設定・編集された内容を保存せずに、画面を閉じます。

(注意)

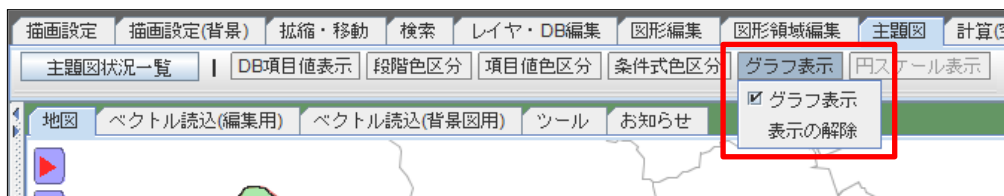
- ① DB項目の編集を行った場合は、条件式色区分の設定情報は破棄されます。
- ② 「段階色区分」「項目値色区分」の主題図を表示すると、一旦、この「条件式色区分」の表示は解除されますが、設定した情報はそのまま保持しています。「条件式色区分」を再度、呼び出すと前回の設定状態が再現されます。

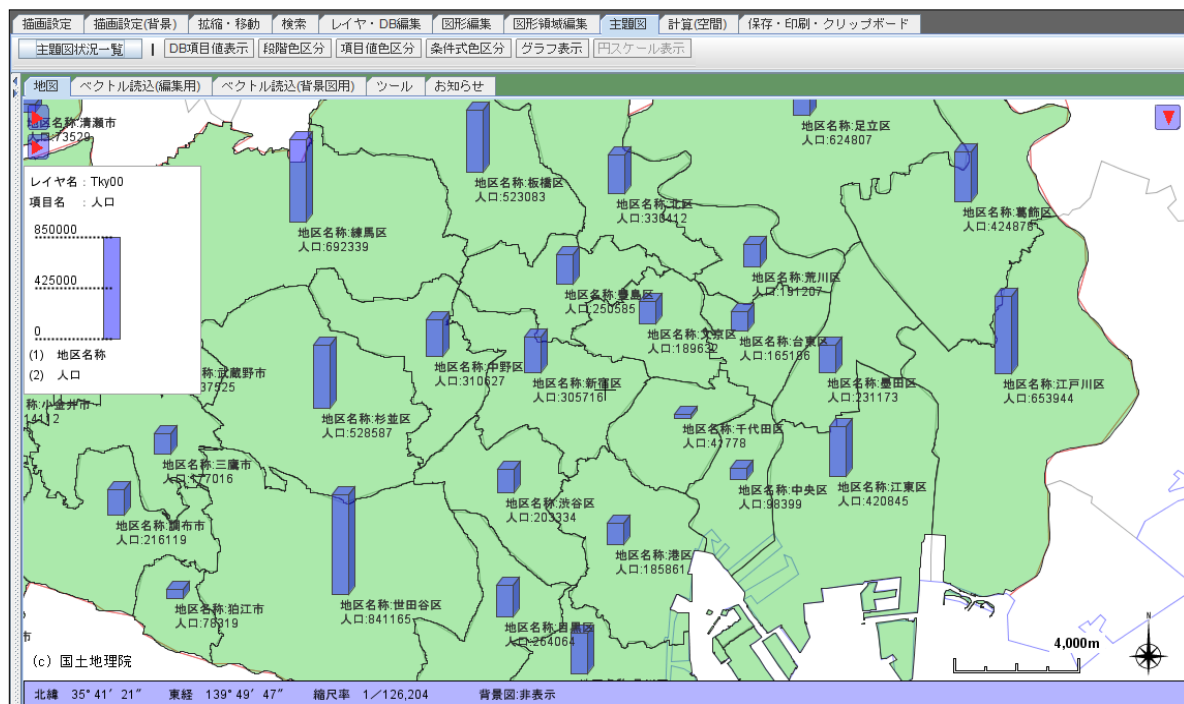
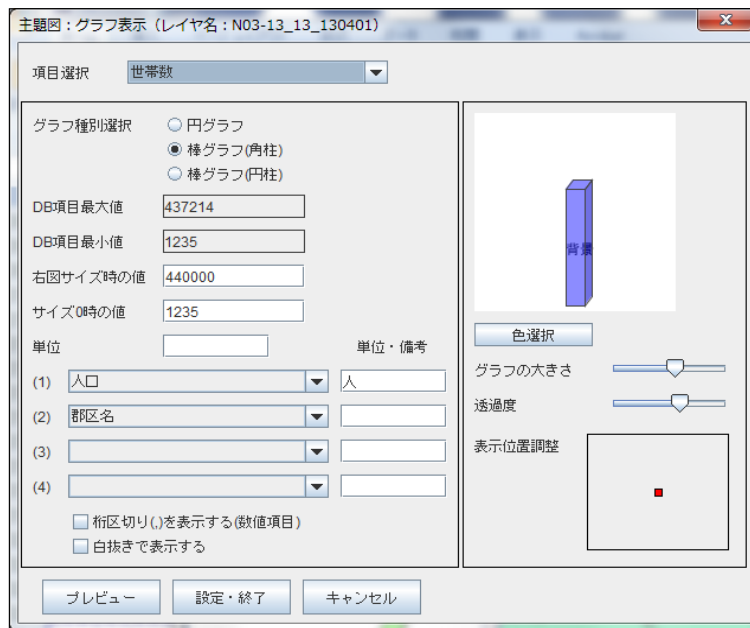
## 12.5 グラフ表示

指定したDB項目の値を用いて、地図画面上に円グラフ、角柱グラフ、円柱グラフを表示します。

「主題図作成」タブの「グラフ表示」をクリックすると以下のメニューが表示されます。  
メニューから「グラフ表示」を選択すると編集画面が表示されます。

メニューの「表示の解除」をクリックすると、グラフ表示の表示が解除されます。

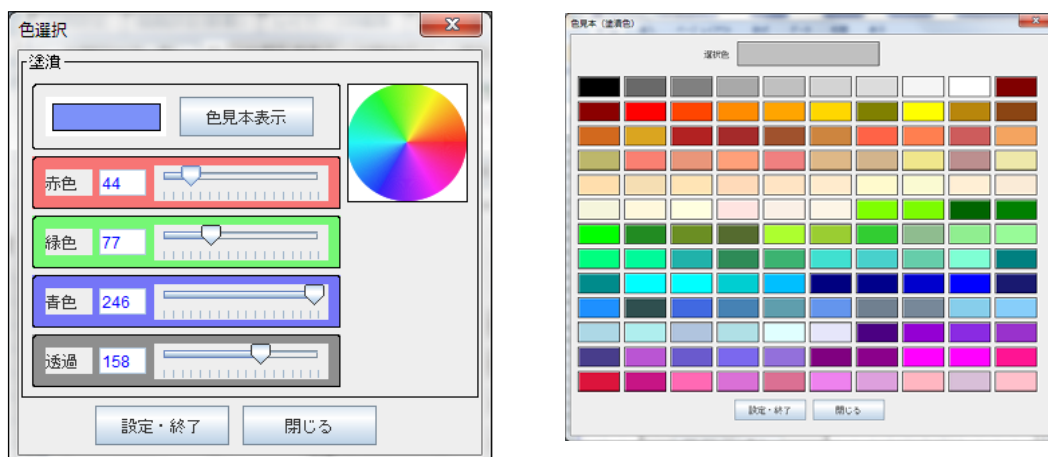




※凡例は、マウスのドラッグ操作で移動させることができます。

- ・DB項目選択  
グラフ表示の対象とするDB項目を選択します。
- ・グラフ種別選択  
グラフの種別(円、角柱、円柱)を選択します。
- ・右図サイズ時の値  
右に表示されているグラフのサイズのときの値を設定します。
- ・サイズ0次の値  
グラフのサイズが0のときの値を設定します。

- ・単位  
凡例に表示する単位と設定します (DB項目選択で選択された項目の単位)。
- ・(1)～(4)  
図形上に表示されるグラフと共に、最大4つまでのDB項目値を表示することができます。
- ・単位・備考  
上記で選択されたDB項目の単位。必要に応じて設定して下さい。
- ・区切り(.)を表示する (数値項目)  
凡例、及び(1)～(4)で設定されたDB項目値を区切り記号表示の有無を設定します。
- ・白抜きで表示する  
(1)～(4)で設定された項目値を白抜きで表示することができます。
- ・グラフのサンプル描画エリア  
グラフのサンプル描画エリア内でマウスホイールを前後することにより、グラフのサイズを調整することができます。  
「グラフの大きさ」のスライダーが連動して動きます。
- ・色選択  
「色選択」ボタンをクリックすると、色見本の画面が表示されます。



色を設定し、「設定・終了」ボタンをクリックして下さい。

【色の編集方法】・・・ 3通りの方法があります。

- ・スライダーを左右に移動させて、赤、緑、青、透過度合いを調整する。  
左上の色サンプルも変化します。
- ・左上の円の中で、マウスを移動させて、赤、緑、青、透過度合いを調整する。  
中心に向かうほど、透過の度合いが高くなります。  
マウスの動きに連動して、スライダーが該当位置に移動し、左上の色サンプルも変化します。
- ・「色見本表示」ボタンをクリックし、色見本の画面から色を選択する。
- ・グラフの大きさ  
グラフのサンプル描画エリア、またはこのスライダーでグラフの大きさを調整できます。  
スライダーに連動して、サンプル描画エリアのグラフが変化します。
- ・透過度  
グラフ図形の透過度合いを調整します。



・表示位置調整

図形に対するグラフの表示位置を微調整します。  
他データとの重なりを防いだり、見易くしたりすることができます。

●「プレビュー」ボタン

設定・編集した内容を地図上のグラフ表示に反映します(確定ではありません)。

●「設定・終了」ボタン

設定・編集された内容を確定、保存し、画面を閉じます。

●「キャンセル」ボタン

設定・編集された内容を保存せずに、画面を閉じます。

(注意)

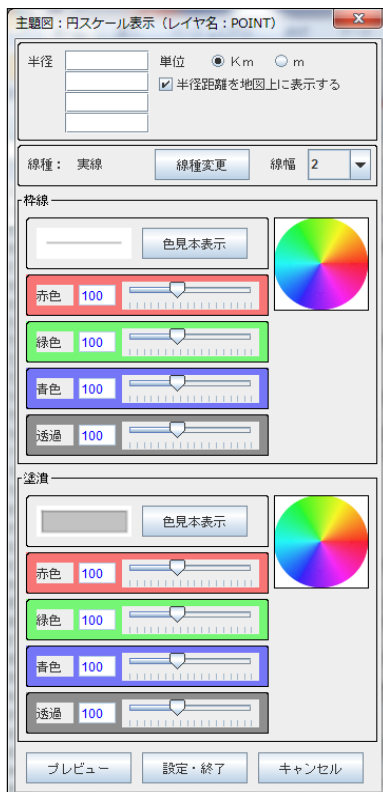
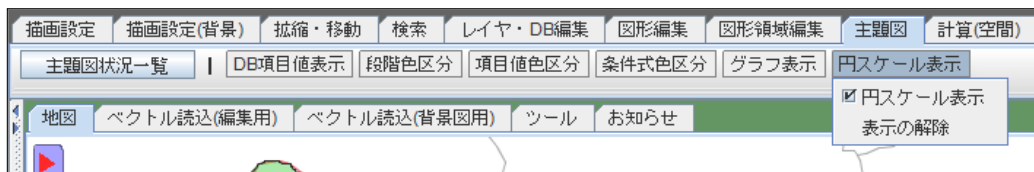
DB項目の編集をおこなった場合は、DB項目表示の設定情報は破棄されます。

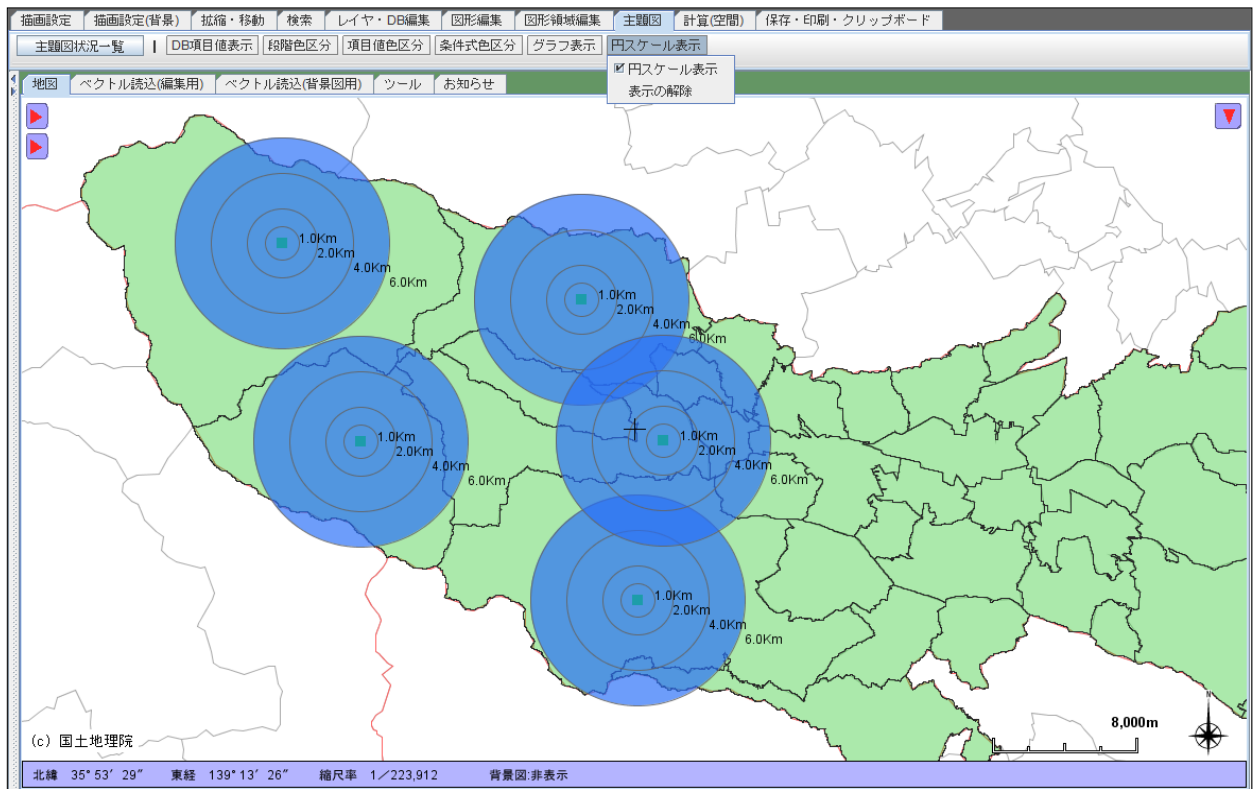
## 12. 6 円スケール表示

ポイント(点)を中心とした多重円のスケールを表示します。

「主題図作成」タブの「円スケール表示」をクリックすると以下のメニューが表示されます。  
メニューから「円スケール表示」を選択すると編集画面が表示されます。

メニューの「表示の解除」をクリックすると、円スケール表示の表示が解除されます。





- ・距離の単位  
距離の単位を「Km」「m」から選択します。
- ・半径  
半径の距離を入力します(最大4つまで)。
- ・半径距離を地図上に表示する  
表示する場合は、チェックをいれます。
- ・線種変更  
線種を設定する画面が表示されます。  
線種を選択し、「設定・終了」ボタンをクリックします。
- ・枠線・塗潰し色の編集方法 ... 3通りの方法があります。
  - ・スライダーを左右に移動させて、赤、緑、青、透過度合いを調整する。  
左上の色サンプルも変化します。
  - ・左上の円の中で、マウスを移動させて、赤、緑、青、透過度合いを調整する。  
中心に向かうほど、透過の度合いが高くなります。  
マウスの動きに連動して、スライダーが該当位置に移動し、左上の色サンプルも変化します。
  - ・「色見本表示」ボタンをクリックし、色見本の画面から色を選択する。
- 「プレビュー」ボタン  
設定・編集した内容を地図上のグラフ表示に反映します(確定ではありません)。
- 「設定・終了」ボタン  
設定・編集された内容を確定、保存し、画面を閉じます。
- 「キャンセル」ボタン  
設定・編集された内容を保存せずに、画面を閉じます。

## 12.7 主題図状況一覧

各レイヤの主題図の設定状況を一覧表として表示します。



The screenshot shows the '主題図状況一覧' (Legend Status Overview) window in the FalconEyeGIS software. The window title is '主題図状況一覧 - 各レイヤの主題図の設定状況を確認することができます' (Legend Status Overview - You can check the legend status of each layer). The window contains a table with the following columns: レイヤ名 (Layer Name), DB項目値表示 (DB Item Value Display), 段階色区分 (Step Color Classification), 項目値色区分 (Item Value Color Classification), 条件式色区分 (Conditional Color Classification), グラフ表示 (Graph Display), and 円スケール表示 (Circular Scale Display). The table lists 12 layers: POINT, POLYLINE, POLYGON, TEXT, GAZO, EXIF, TENPU, FUSENSHI, FUKIDASHI, and Tky00. The 'POLYLINE' and 'Tky00' rows are highlighted in blue, indicating they are selected. The 'DB項目値表示' column shows 'ON' for POLYLINE and Tky00, and 'OFF' for all other layers. The '段階色区分' column shows 'OFF' for POINT, POLYLINE, POLYGON, and Tky00, and '---' for all other layers. The '項目値色区分' column shows 'OFF' for POINT, POLYLINE, POLYGON, and Tky00, and '---' for all other layers. The '条件式色区分' column shows 'OFF' for all layers. The 'グラフ表示' column shows 'OFF' for all layers. The '円スケール表示' column shows 'OFF' for all layers. A '閉じる' (Close) button is located at the bottom center of the window.

レイヤ名	DB項目値表示	段階色区分	項目値色区分	条件式色区分	グラフ表示	円スケール表示
POINT	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
POLYLINE	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	---
POLYGON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	---
TEXT	OFF	---	---	---	---	---
GAZO	OFF	---	---	---	---	---
EXIF	OFF	---	---	---	---	---
TENPU	OFF	---	---	---	---	---
FUSENSHI	---	---	---	---	---	---
FUKIDASHI	---	---	---	---	---	---
Tky00	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	---

どのレイヤが、どの主題図を設定しているかを確認することができます。

### 13. 距離・面積計算

本章では、距離の計算機能と面積の計算機能について説明します。

#### 距離

機能	説明
距離計算	地図上をマウスでクリックし、距離を計算します。
距離表示(線指定)	マウスでポリライン(線)を指定し、そのポリラインの距離(長さ)を計算します。
距離自動計算	レイヤの全ポリラインの距離(長さ)を計算し、結果をDBに登録します。

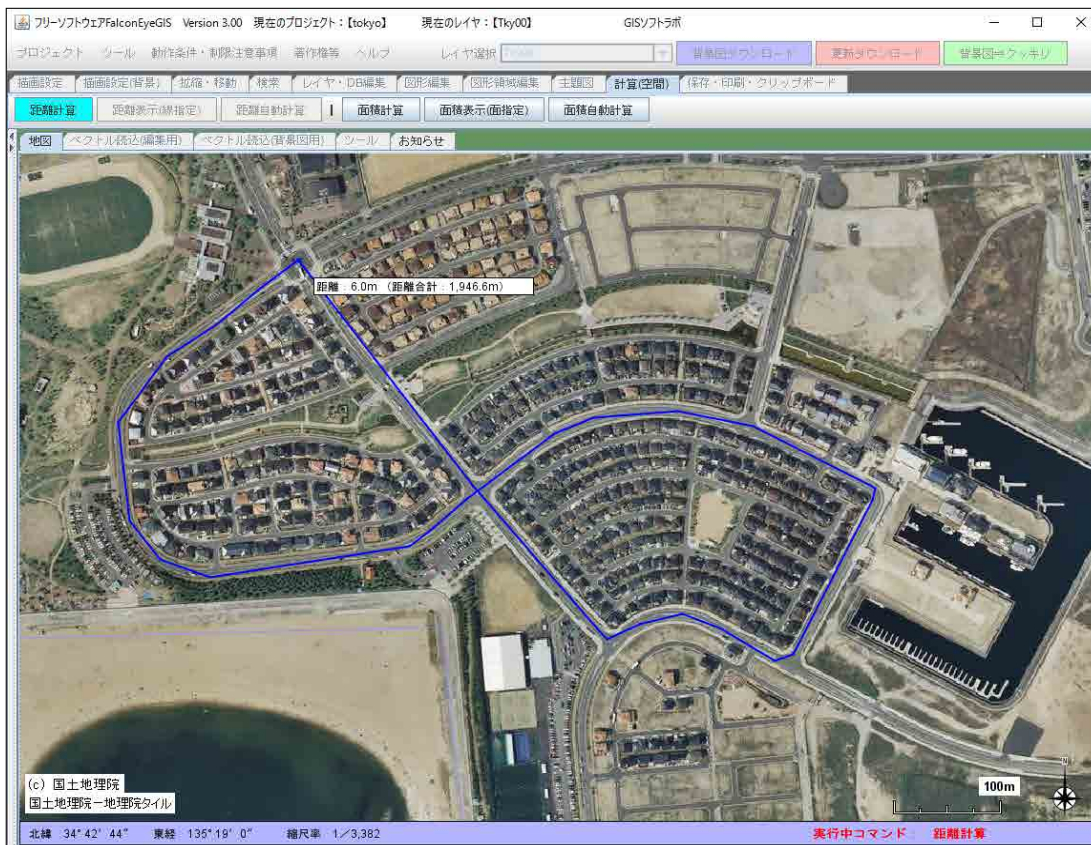
#### 面積

機能	説明
面積計算	地図上をマウスでクリックし、面積を計算します。
面積表示(面指定)	マウスでポリゴン(面)を指定し、そのポリゴンの面積、周囲長を計算します。
面積自動計算	レイヤの全ポリゴンの面積、周囲長を計算し、結果をDBに登録します。

#### 13.1 距離計算

地図上の位置をマウスで入力することにより距離を計測・表示します。

各点をクリックして入力して下さい。



最終点でダブルクリックすると、距離の計算結果が一覧表画面に表示されます。

距離計算結果						
NO.	緯度(度)	経度(度)	緯度(度分秒)	経度(度分秒)	距離(m)	累計距離(m)
13	34.710229	135.314001	34° 42' 36.62"	135° 18' 30.09"	72.0	1,030.2
14	34.710172	135.313216	34° 42' 36.62"	135° 18' 47.57"	79.5	1,115.7
15	34.710035	135.312813	34° 42' 36.12"	135° 18' 46.12"	39.9	1,155.7
16	34.709479	135.311918	34° 42' 34.12"	135° 18' 42.9"	102.6	1,258.3
17	34.709197	135.311525	34° 42' 33.1"	135° 18' 41.48"	47.7	1,306.0
18	34.709068	135.311318	34° 42' 32.64"	135° 18' 40.74"	23.7	1,329.7
19	34.708802	135.309263	34° 42' 31.68"	135° 18' 33.34"	190.6	1,520.3
20	34.708955	135.308752	34° 42' 32.23"	135° 18' 31.5"	49.8	1,570.1
21	34.709286	135.308438	34° 42' 33.42"	135° 18' 30.37"	46.6	1,616.7
22	34.709705	135.308379	34° 42' 34.93"	135° 18' 30.16"	46.8	1,663.5
23	34.710132	135.308320	34° 42' 36.47"	135° 18' 29.95"	47.7	1,711.2
24	34.710696	135.308821	34° 42' 38.5"	135° 18' 31.75"	77.6	1,788.9
25	34.710970	135.309332	34° 42' 39.49"	135° 18' 33.59"	55.8	1,844.7
26	34.711285	135.309785	34° 42' 40.62"	135° 18' 35.22"	54.2	1,898.9
					閉じる	全体距離 : 1,945.6m

### 13. 2 距離表示(線指定)

選択されているレイヤ(線)において、マウスで指定された(クリックされた)図形の距離を計測し、表示します。

距離表示 (transl\_1\_1)

データNo

4986

距離

12.564km

☒ ピンの表示
 

詳細表示

閉じる

「詳細表示」ボタンをクリックすると「距離詳細情報」画面が表示され、各点の位置、各点間の距離、累計距離を表示します。

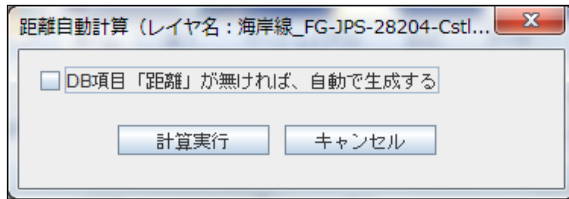
距離詳細情報						
NO.	緯度(度)	経度(度)	緯度(度分秒)	経度(度分秒)	距離(m)	累計距離(m)
1	42.192200	140.118301	42° 11' 31.91"	140° 7' 5.88"	0.0	0.0
2	42.196533	140.121094	42° 11' 47.51"	140° 7' 15.93"	533.8	533.8
3	42.197201	140.121307	42° 11' 49.92"	140° 7' 16.7"	76.2	610.0
4	42.199200	140.121094	42° 11' 57.11"	140° 7' 15.93"	222.7	832.7
5	42.199734	140.121307	42° 11' 59.04"	140° 7' 16.7"	61.9	894.6
6	42.200134	140.122192	42° 12' 0.48"	140° 7' 19.89"	85.6	980.2
7	42.199932	140.123596	42° 11' 59.75"	140° 7' 24.94"	118.1	1,098.3
8	42.199932	140.124695	42° 11' 59.75"	140° 7' 28.9"	90.7	1,189.0
9	42.200268	140.125793	42° 12' 0.96"	140° 7' 32.85"	98.1	1,287.1
10	42.201534	140.126999	42° 12' 5.52"	140° 7' 37.19"	172.3	1,459.4
11	42.201935	140.127701	42° 12' 6.96"	140° 7' 39.72"	73.1	1,532.5
12	42.202065	140.128601	42° 12' 7.43"	140° 7' 42.96"	75.7	1,608.3
13	42.201935	140.129898	42° 12' 6.96"	140° 7' 47.63"	108.1	1,716.3
14	42.201189	140.132706	42° 12' 4.31"	140° 7' 57.74"	245.9	1,962.2
					CSV出力	閉じる
					距離 : 12.564km	



## 13.3 距離自動計算

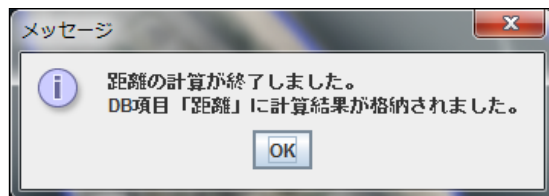
ポリライン(線)レイヤの各図形の距離を計算し、その計算結果をDB項目「距離」に保存します。

ポリライン(線)レイヤを選択状態にし、「計算(空間)」タブの「距離自動計算」ボタンをクリックすると「距離自動計算」画面が表示されます。



レイヤのDB項目として「距離」が無ければ、自動で生成する」にチェックを入れて下さい。  
 ※すでにDB項目「距離」が存在する場合は、データ型が数値型である必要があります。

「計算実行」ボタンをクリックすると、計算結果がDB項目「距離」に保存され、計算終了のメッセージが表示されます。



計算結果は、DB一覧表示、DB一覧編集、DB個別表示、DB個別編集等で確認できます。

(例) DB一覧表示で計算結果を確認

表示(C)	種別(C)	名称(C)	距離(N)
	海岸線		134.32
	海岸線		241.69
	海岸線		249.53
	海岸線		249.54
	海岸線		70.36
	海岸線		0.07
	海岸線		188.57
	海岸線		15.20
	海岸線		53.00
	海岸線		43.21
	海岸線		16.56
	海岸線		35.93
	海岸線		66.94
	海岸線		49.63
	海岸線		382.74
	海岸線		373.23
	海岸線		75.71
	海岸線		61.10
	海岸線		25.20

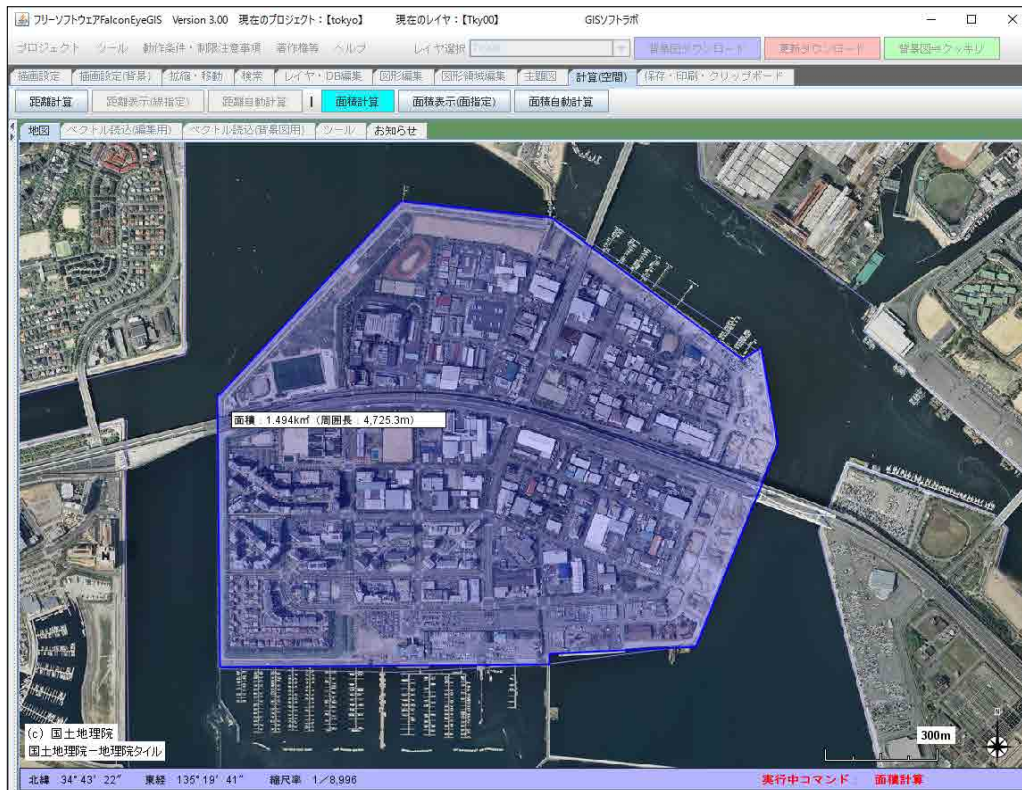
(注意) 単位は「m」です。



## 13. 4 面積計算

地図上の位置をマウスで入力することにより面積を計測・表示します。

面積を計測する領域の各点をクリックして入力して下さい。



最終点でダブルクリックすると、面積の計算結果が一覧表画面に表示されます。

面積計算結果

NO.	緯度(度)	経度(度)	緯度(度分秒)	経度(度分秒)	距離(m)	累計距離(m)
1	34.721745	135.330139	34° 43' 18.28"	135° 19' 48.49"	0.0	0.0
2	34.721337	135.334559	34° 43' 16.81"	135° 20' 4.41"	407.4	407.4
3	34.717885	135.340156	34° 43' 4.38"	135° 20' 24.56"	639.9	1,047.3
4	34.718164	135.340705	34° 43' 5.38"	135° 20' 26.53"	59.1	1,106.4
5	34.715805	135.341202	34° 42' 56.89"	135° 20' 28.32"	265.6	1,371.9
6	34.710873	135.338796	34° 42' 39.14"	135° 20' 19.66"	589.8	1,961.8
7	34.710702	135.334506	34° 42' 38.52"	135° 20' 4.22"	393.4	2,355.2
8	34.710445	135.334506	34° 42' 37.6"	135° 20' 4.22"	28.5	2,383.7
9	34.710380	135.324855	34° 42' 37.36"	135° 19' 29.47"	884.1	3,267.9
10	34.717027	135.324777	34° 43' 1.29"	135° 19' 29.19"	737.4	4,005.3
11	34.721745	135.330217	34° 43' 18.28"	135° 19' 48.78"	722.6	4,727.9
12	34.721745	135.330139	34° 43' 18.28"	135° 19' 48.49"	7.2	4,735.1

閉じる

面積：1.494km<sup>2</sup>      周囲長：4,735.1m

## 13.5 面積表示(面指定)

選択されているレイヤ(面)において、マウスで指定された(クリックされた)図形の面積を計測し、面積、周囲長を表示します。

「詳細表示」ボタンをクリックすると「面積詳細情報」画面が表示されます。各点の位置、各点間の距離、累計距離を表示します。

NO.	緯度(度)	経度(度)	緯度(度分秒)	経度(度分秒)	距離(m)	累計距離(m)
1	35.603173	139.823003	35° 36' 11.42"	139° 49' 22.81"	0.0	0.0
2	35.596969	139.826957	35° 35' 49.08"	139° 49' 37.04"	776.0	776.0
3	35.589027	139.832239	35° 35' 20.49"	139° 49' 56.06"	1,002.8	1,778.8
4	35.586582	139.828024	35° 35' 11.69"	139° 49' 40.88"	468.6	2,247.4
5	35.586437	139.827749	35° 35' 11.17"	139° 49' 39.89"	29.7	2,277.1
6	35.586324	139.827543	35° 35' 10.76"	139° 49' 39.15"	22.5	2,299.5
7	35.586210	139.827331	35° 35' 10.35"	139° 49' 38.39"	23.0	2,322.6
8	35.586083	139.827101	35° 35' 9.89"	139° 49' 37.56"	25.2	2,347.7
9	35.585951	139.826853	35° 35' 9.42"	139° 49' 36.67"	26.8	2,374.5
10	35.585832	139.826629	35° 35' 8.99"	139° 49' 35.86"	24.2	2,398.8
11	35.585704	139.826388	35° 35' 8.53"	139° 49' 34.99"	26.1	2,424.8
12	35.585579	139.826151	35° 35' 8.08"	139° 49' 34.14"	25.6	2,450.4
13	35.585454	139.825917	35° 35' 7.63"	139° 49' 33.3"	25.3	2,475.7
14	35.585300	139.825622	35° 35' 7.08"	139° 49' 32.23"	31.7	2,507.5

閉じる      面積: 4.119km²      周囲長: 10.698km

## 13.6 面積自動計算

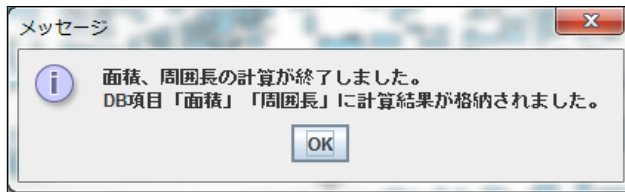
ポリゴン(面)レイヤの各図形の面積、周囲長を計算し、その計算結果をDB項目「面積」「周囲長」に保存します。

ポリゴン(面)レイヤを選択状態にし、「計算(空間)」タブの「面積自動計算」ボタンをクリックすると「面積自動計算」画面が表示されます。

レイヤのDB項目として「面積」「周囲長」なければ、「DB項目「面積」「周囲長」が無ければ、自動で生成する」にチェックを入れて下さい。

※すでにDB項目「面積」「周囲長」が存在する場合は、データ型が数値型である必要があります。

「計算実行」ボタンをクリックすると、計算結果がDB項目「面積」「周囲長」に保存され、計算終了のメッセージが表示されます。



計算結果は、DB一覧表示、DB一覧編集、DB個別表示、DB個別編集等で確認できます。

(例) DB一覧表示で計算結果を確認

種別(C)	名称(C)	面積(N)	周囲長(N)
普通建物		64.00	35.93
普通建物		80.68	38.86
普通建物		43.72	26.93
普通建物		59.39	31.75
普通建物		116.03	48.08
普通建物		142.75	57.20
普通建物		86.03	37.90
普通建物		68.15	35.03
普通建物		49.09	29.62
堅ろう建物		200.74	65.37
普通建物		6.68	10.35
普通建物		119.81	50.02
普通建物		73.69	34.79
普通無壁舎		47.30	34.82
普通無壁舎		13.84	16.27
普通建物		115.62	61.82
普通建物		128.95	45.81
普通建物		144.37	50.84

(注意) 面積の単位は「㎡」、周囲長の単位は「m」です。

## 14. ツール

本章では、各種ツールについて、説明します。

## メニューバーのツール

ツール(機能)	説明
ユーザプロパティの設定	マウスホイールの前後動作のどちらで地図を拡大、縮小するかを設定します。
プロキシサーバの設定	プロキシサーバを経由してインターネットに接続している場合に、この設定が必要になります。 ※一般家庭では、ほとんどの場合、この設定は不要です。
プログラム起動パス設定	添付ファイルを開く(再生する)プログラムのパスを設定します。 通常大半のファイル種別は、この設定は不要ですが、添付ファイルが開けない(再生できない)場合は、そのファイル種別に対応したプログラム(アプリケーション)のパスを設定する必要があります。
アイコン画像作成	ポイント(点)レイヤで 사용할 ことができるアイコン画像を作成することができます。
文字画像作成	ポイント(点)レイヤで 사용할 ことができる文字画像を作成することができます。
アイコン参照	システム定義、及び上記で作成されたアイコンを一覧表形式で参照することができます。
描画情報自動設定(編集用)	描画属性を設定しないモードでファイル(編集用)を読み込んだ場合に、自動で適用される描画情報を編集します。
描画情報自動設定(背景図用)	描画属性を設定しないモードでファイル(背景図用)を読み込んだ場合に、自動で適用される描画情報を編集します。

## ツールタブのツール

ツール(機能)	説明
シェープファイル解析ツール	測地系、座標系、データ数、項目情報を解析、表示します。
テキストファイル(csv,txt)結合ツール	レイヤにDB項目、DB項目値を追加します。

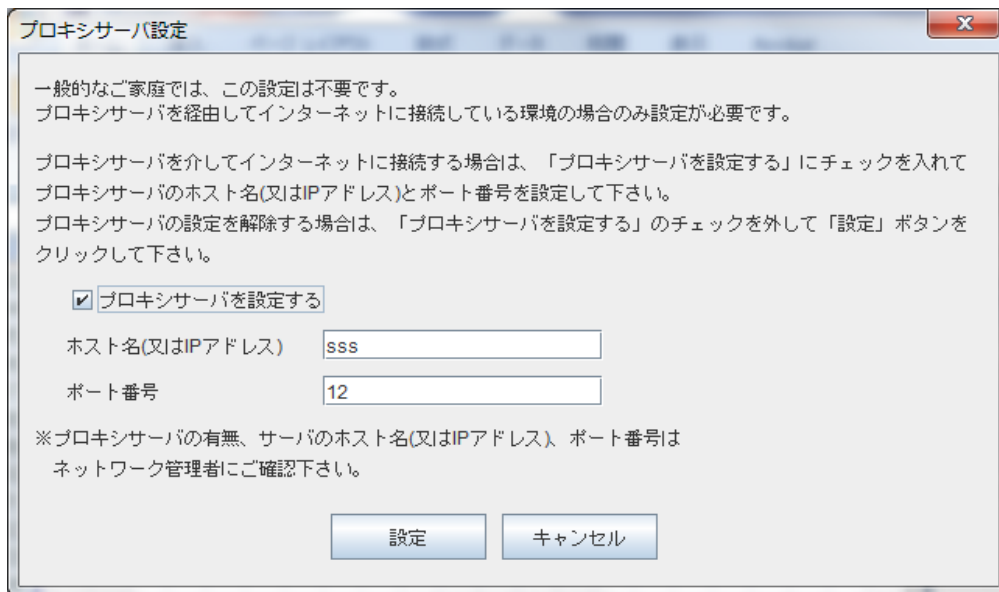
## 14. 1 ユーザプロパティの設定

以下の項目に関しては、利用者の方が設定・変更することができます。

項目	説明
マウスホイール ※前方を動かしたときの設定	マウスホイールを前方へ動かしたときに地図を拡大するか、縮小するかを設定します。初期設定は、ホイールを前方に動かすと地図が拡大して表示するようになっています。

## 14. 2 プロキシサーバの設定

プロキシサーバを経由してインターネットに接続している場合に、この設定が必要になります。  
※一般家庭では、ほとんどの場合、この設定は不要です。



プロキシサーバ設定

一般的なご家庭では、この設定は不要です。  
プロキシサーバを経由してインターネットに接続している環境の場合のみ設定が必要です。

プロキシサーバを介してインターネットに接続する場合は、「プロキシサーバを設定する」にチェックを入れて  
プロキシサーバのホスト名(又はIPアドレス)とポート番号を設定して下さい。  
プロキシサーバの設定を解除する場合は、「プロキシサーバを設定する」のチェックを外して「設定」ボタンを  
クリックして下さい。

☒ プロキシサーバを設定する

ホスト名(又はIPアドレス)

ポート番号

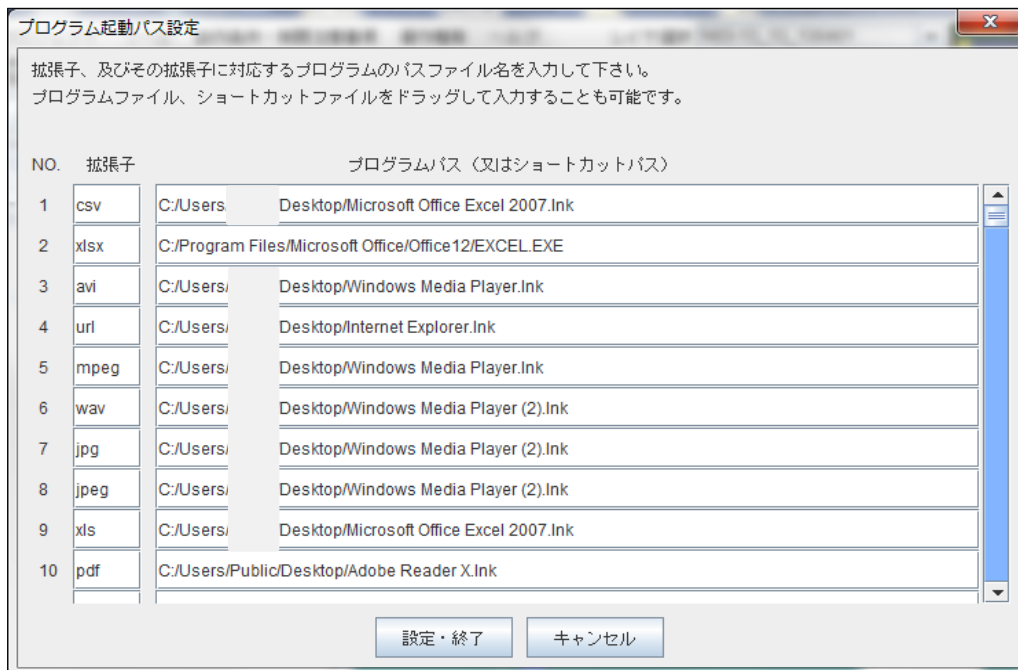
※プロキシサーバの有無、サーバのホスト名(又はIPアドレス)、ポート番号は  
ネットワーク管理者にご確認下さい。

プロキシサーバを設定する場合は、「プロキシサーバを設定する」にチェックを入れ、ホスト名（又はIPアドレス）、ポート番号を入力し、「設定」ボタンをクリックして下さい。

プロキシサーバの設定を解除する場合は、「プロキシサーバを設定する」のチェックを外して下さい。

## 14.3 プログラム起動パス設定

地図画面上に貼り付けられた添付ファイルレイヤのファイルは大半の種類は何も設定することなく開くことができますが、開けない場合はそれらのファイルに対応した・適したソフト（アプリケーション）のプログラムパスを登録する必要があります。



## 【入力の方法】

- ・拡張子  
キーボードからファイルの拡張子を手入力して下さい。
- ・プログラムパス (又はショートカットパス)  
設定した拡張子のファイルを開いたり、再生したりするソフトウェアのプログラムパスを設定します。ソフトウェアの実行プログラムのパス、ショートカットファイルのパスのどちらでも設定することができます。

## 【入力方法1】

キーボードから実行プログラムのパス、またはショートカットのパスの文字を入力します。  
「設定・終了」ボタンのクリックで設定が完了します。

## 【入力方法2】

実行プログラムのファイル、またはショートカットのファイルを  
「プログラムパス (又はショートカットパス)」の欄にマウスでドラッグします。  
「設定・終了」ボタンのクリックで設定が完了します。



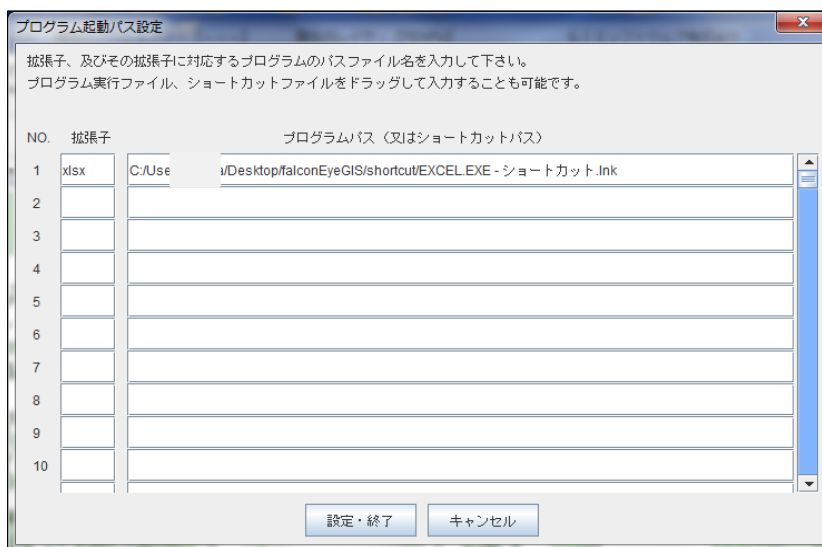
<以下の方法がおすすめです>

ショートカットファイルを本ソフトのインストール環境である「FalconEyeGIS/shortcut」に設置し、それをドラッグして登録します。

本ソフトの環境下にショートカットファイルを設置するため、間違って削除することを防ぐことができます。

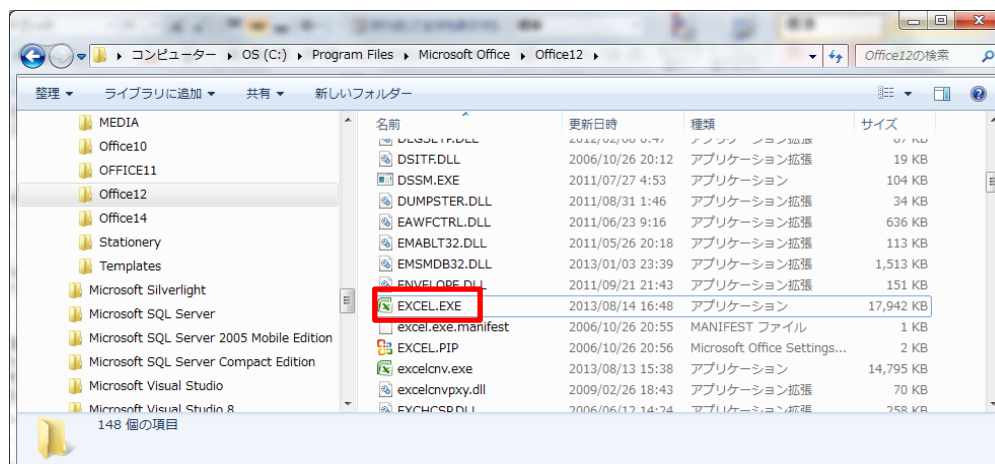
・ショートカットファイルがすでにあり、それを登録するまでの操作方法の例を以下に示します。

- ① そのショートカットファイルをコピーします。
- ② コピーしたショートカットファイルを本ソフトの環境の「~/FalconEyeGIS/shortcut」フォルダに移動します。
- ③ 移動したショートカットファイルを「プログラムパス(又はショートカットパス)」の欄にマウスの右ボタンでドラッグします。  
ドラッグしたショートカットファイルのパスが入力欄に設定されます。

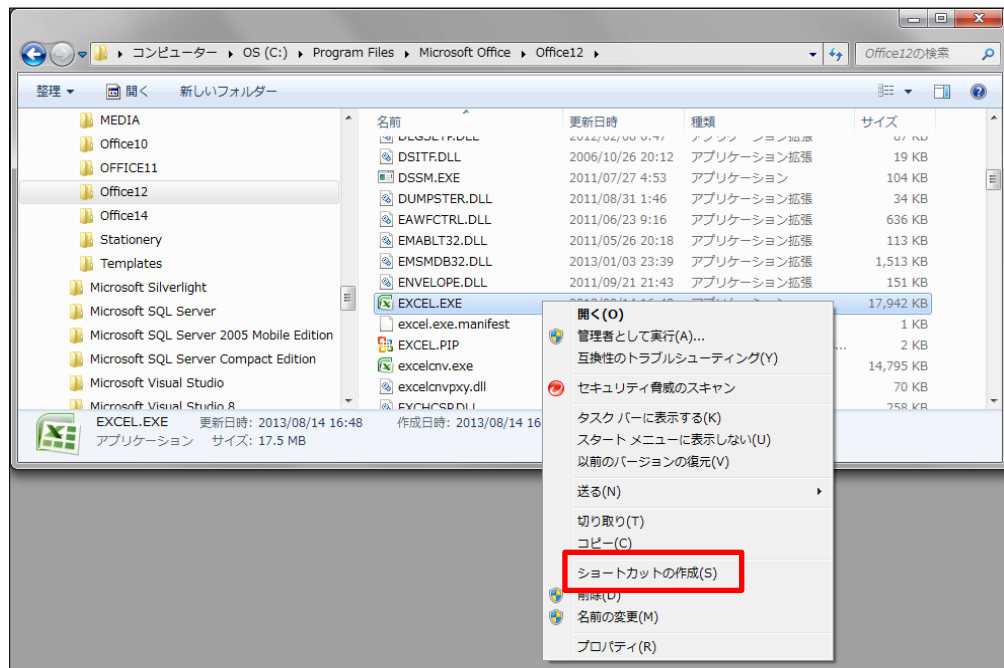


・実行ファイル(EXEファイル)のショートカットファイルを作成し、それを登録するまでの操作方法の例を以下に示します。

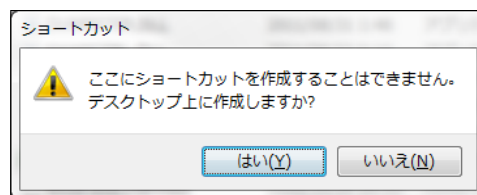
- ① 実行ファイルが設置されているフォルダをExplorerで開きます。



- ② 実行ファイル(EXEファイル)を右クリックし、表示されるメニューから「ショートカットの作成」を選択します。



以下の画面が表示されれば、「はい」をクリックします。  
デスクトップにショートカットファイルが作成されます。

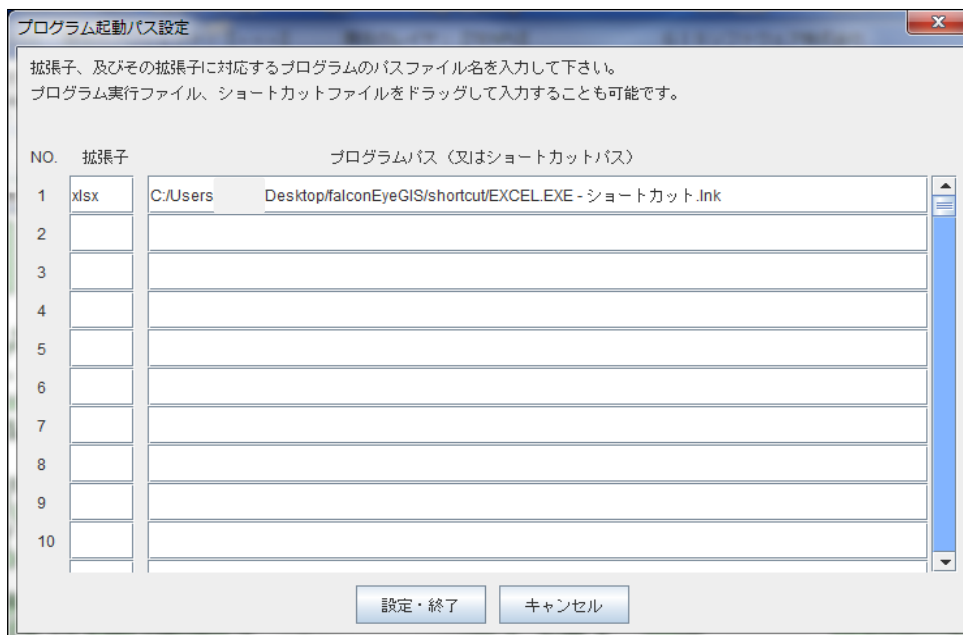


この画面が表示されなければ、ショートカットファイルが実行ファイルと同じフォルダに作成されています。

- ③ 作成されたショートカットファイルを本ソフトの環境の「~/FalconEyeGIS/shortcut」フォルダに移動します。

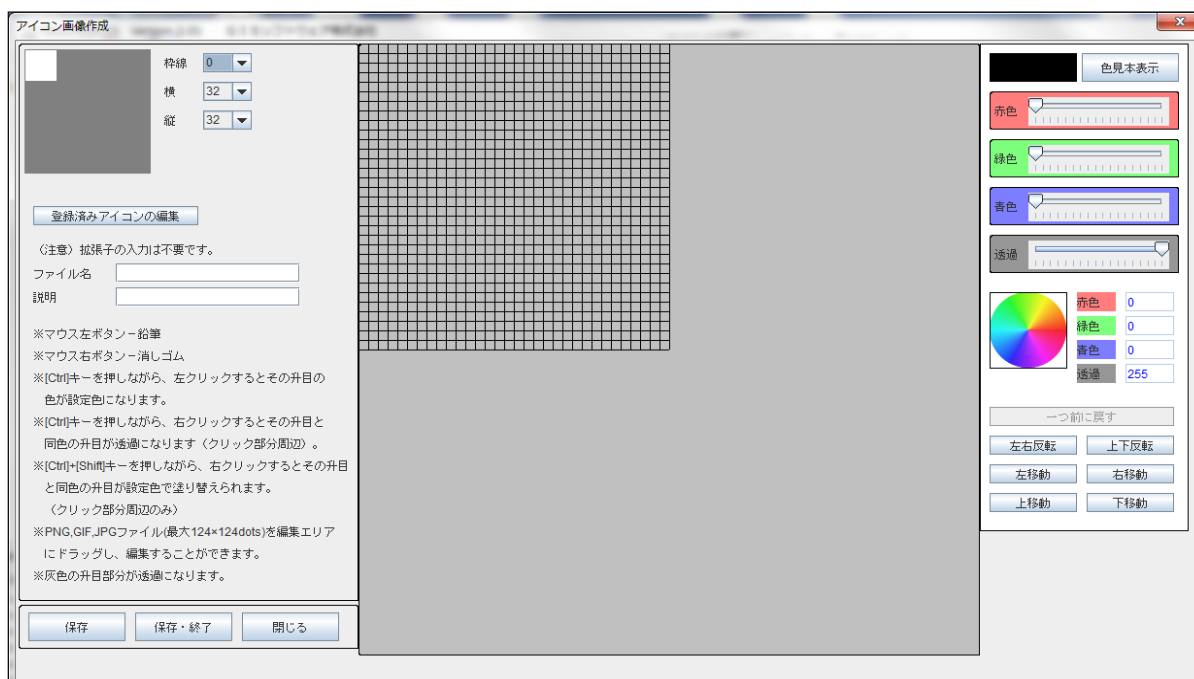


- ④ 移動したショートカットファイルを「プログラムパス(又はショートカットパス)」の欄にマウスの右ボタンでドラッグします。  
ドラッグしたショートカットファイルのパスが入力欄に設定されます。



#### 14. 4 アイコン画像作成

システムで提供しているアイコン以外に独自のアイコンを作成することができます。  
ポイント(点)レイヤのアイコンとして使用して下さい。



## 【使い方】

### ・枠線

枠線の線幅を設定します。

### ・横

アイコンの横サイズ(ドット数)を設定します。

### ・縦

アイコンの縦サイズ(ドット数)を設定します。

### ・登録済みアイコンの編集

### ・ファイル名

登録するアイコンのファイル名を設定します。

### ・説明

このアイコンの説明文を入力します。

### ・操作エリア

操作	説明
マウス左ボタン	鉛筆
マウス右ボタン	消しゴム
「Cntrl」+左ボタンクリック	その升目の色が設定色になります。
「Cntrl」+右ボタンクリック	その升目の色と同色の升目が透過になります。
「Cntrl」+「Shift」+右ボタンクリック	その升目の色と同色の升目が設定色に塗り替えられます。
画像ファイルをドラッグ	操作エリアに画像ファイル(png.gif.jpg)をドラッグし、編集することができます。 ※最大サイズは、128X128です。

### ・色見本表示

色見本の画面が表示されます。

お好みの色を選択し、「設定・終了」ボタンをクリックして下さい。

### ・赤色

赤色の度合いを調整します。

### ・緑色

緑色の度合いを調整します。

### ・青色

青色の度合いを調整します。

### ・透過

透過の度合いを調整します。

### ・左右反転

升目を左右に反転します。

- ・上下反転  
升目を上下に反転します。
- ・左移動  
升目を1ドット左に移動します。  
(注意)はみ出した升目の画像情報は復活できません。
- ・右移動  
升目を1ドット右に移動します。  
(注意)はみ出した升目の画像情報は復活できません。
- ・上移動  
升目を1ドット上に移動します。  
(注意)はみ出した升目の画像情報は復活できません。
- ・下移動  
升目を1ドット下に移動します。  
(注意)はみ出した升目の画像情報は復活できません。

(注意)

このツールで作成したアイコンを使用したレイヤをプロジェクトファイルに保存し、それを他のパソコンにコピーして利用する場合は、作成したアイコンのファイルも合わせてコピー先のパソコンにコピーして下さい。

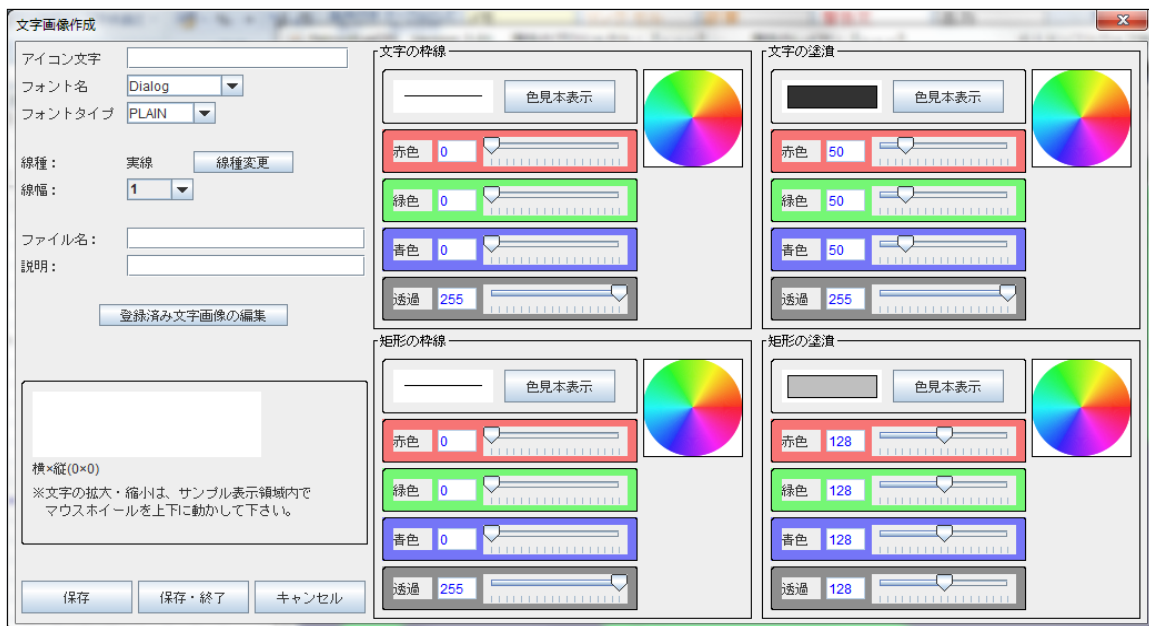
コピー元、コピー先のフォルダは以下の通りです。

～EGG¥ENV¥user¥pointIcon¥user(画像)

拡張子が、「png」と「txt」のファイルをコピーして下さい。

## 14. 5 文字画像作成

システムで提供しているアイコン以外に独自のアイコン(文字画像)を作成することができ、ポイント(点)レイヤのアイコンとして使用することができます。



## 【使い方】

- ・アイコン文字  
アイコン画像化する文字を入力します。
- ・フォント名  
以下の5種類から選択できます。

フォント種別	半角文字	全角文字
Dialog	同じ	同じ
SansSerif		
DialogInput	同じ	同じ
Monospaced		
Serif		

(文字サンプル)

Dialog



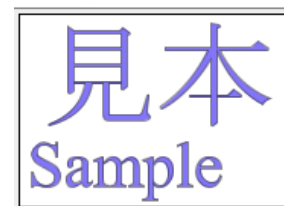
DialogInput



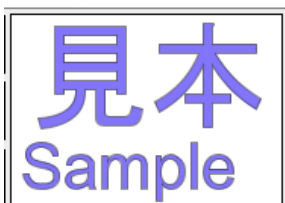
Monospaced



Serif



SansSerif



- ・フォントタイプ  
以下の3種類から選択できます。  
PLAIN  
BOLD  
ITALIC

フォント名「Serif」で、PLAIN、BOLD、ITALICを表示したときの例を以下に示します。

PLAIN



BOLD



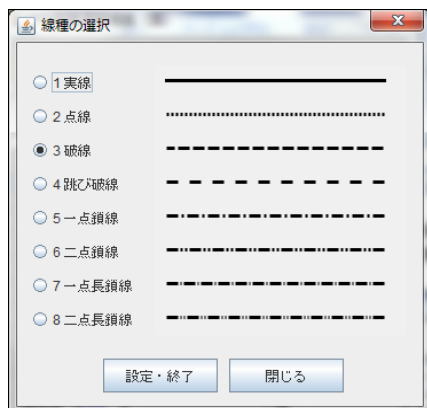
ITALIC





・線種

「線種変更」ボタンをクリックすると「線種の選択」画面が表示されます。  
線種を選択し、「設定・終了」ボタンをクリックして下さい。  
※サンプルの線描画に反映します。



・線幅

線幅は、「1」～「10」の範囲で選択することができます。  
※サンプルの線描画に反映します。

・ファイル名

アイコンを保存するときのファイルを入力します。

・説明

アイコンの説明・備考を入力します。

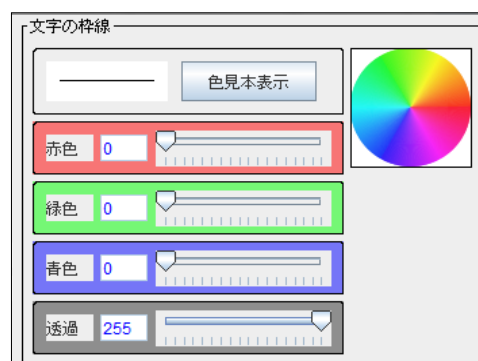
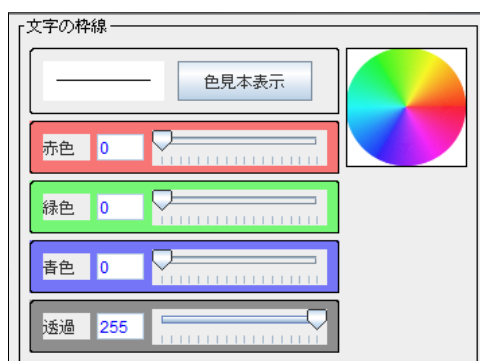
・サンプル描画エリア

サンプル表示されている領域内で、マウスホイールを前後に動かして、アイコンの大きさを決めます。

・色の設定（文字の枠線、文字を囲む矩形の枠線）

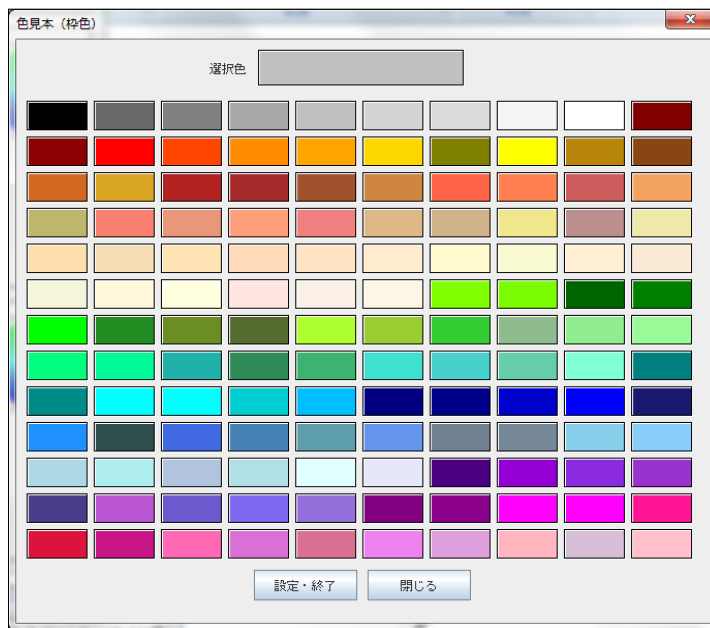
枠線の色合いを設定する方法は以下の3つがあります。

- ① 各色、透過のスライダーを左右に動かして調整する。  
※サンプルの線描画に反映します。



- ② 右中央に表示されている円内でマウスを移動させて希望の色を決める。  
円の外縁側は透過度が低く（色が濃く見える）、円の中心側は透過度が高く（色が薄く見える）になります。  
色合いの変化に応じて、スライダーが連動して動きます。  
※サンプルの線描画に反映します。

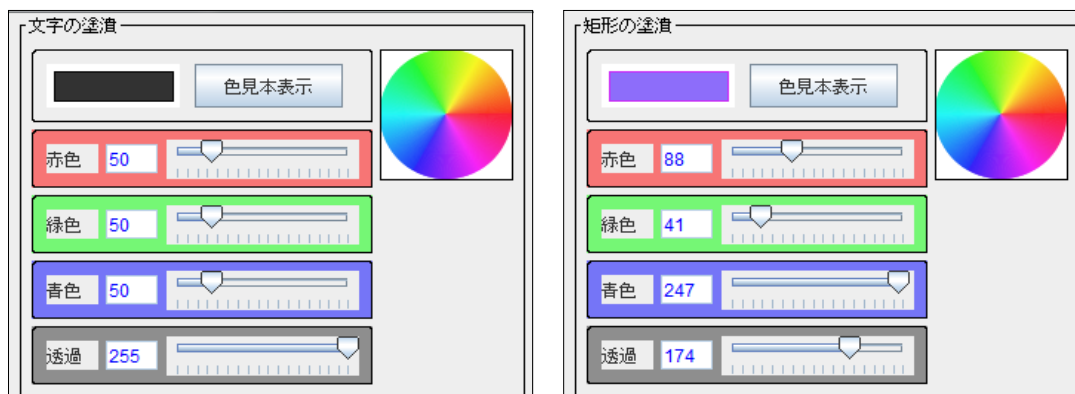
- ③ 「色見本表示」画面を表示し、色を選択する。



一覧から色を選択すると、選択された色が画面上部に表示されます。  
「設定・終了」で選択色が呼び元の画面に反映します。  
※サンプルの線描画に反映します。

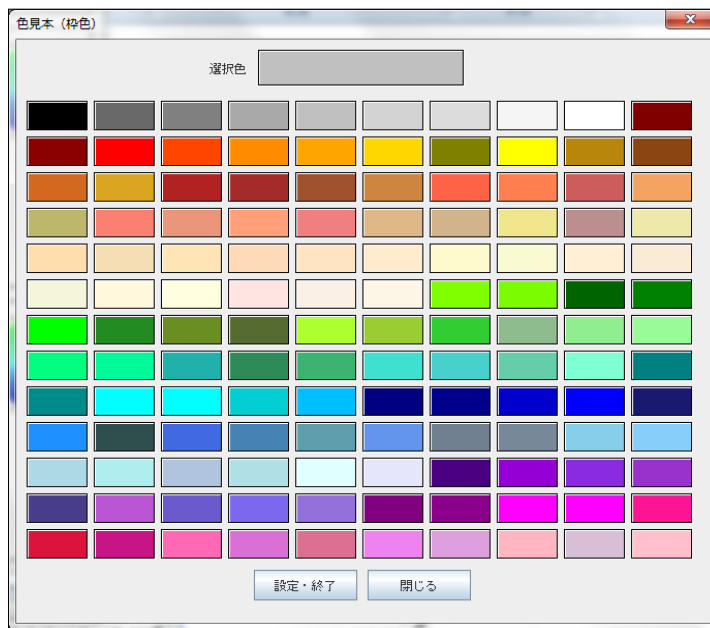
・色の設定（文字の塗潰し、文字を囲む矩形の塗潰し）

- ① 各色、透過のスライダーを左右に動かして調整する。  
※サンプルの線描画に反映します。



- ② 右中央に表示されている円内でマウスを移動させて希望の色を決める。  
円の外縁側は透過度が低く（色が濃く見える）、円の中心側は透過度が高く（色が薄く見える）  
なります。  
色合いの変化に応じて、スライダーが連動して動きます。  
※サンプルの線描画に反映します。

③ 「色見本表示」画面を表示し、色を選択する。



(注意)

このツールで作成したアイコンを使用したレイヤをプロジェクトファイルに保存し、それを他のパソコンにコピーして利用する場合は、作成したアイコンのファイルも合わせてコピー先のパソコンにコピーして下さい。

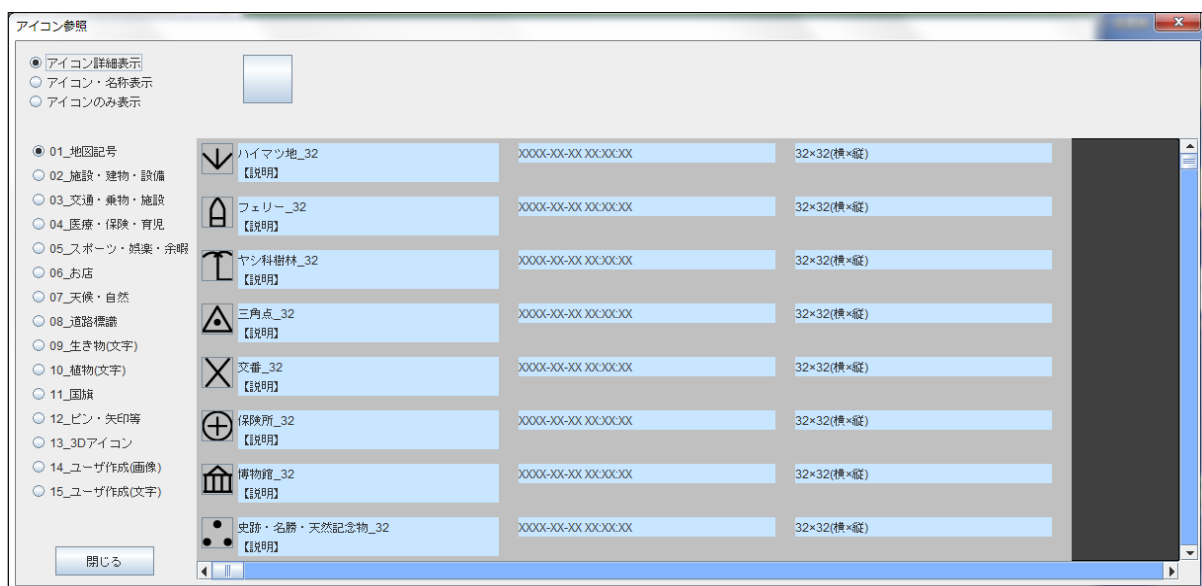
コピー元、コピー先のフォルダは以下の通りです。

～EGG¥ENV¥user¥pointIcon¥user(文字)

拡張子が、「png」と「txt」のファイルをコピーして下さい。

## 14. 6 アイコン参照

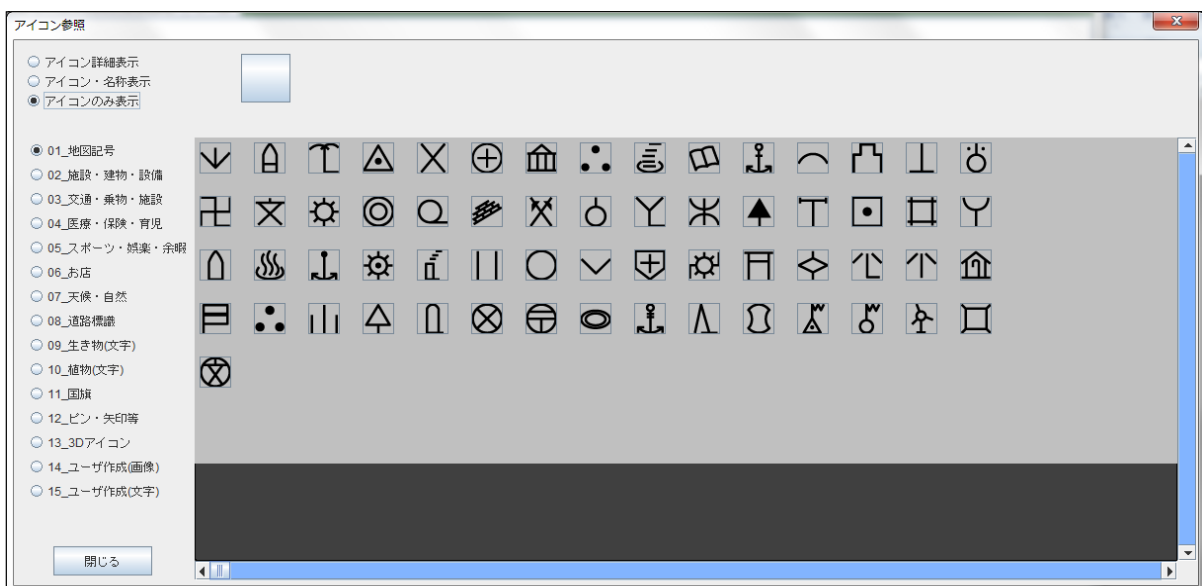
システムで提供しているアイコン、「アイコン画像作成」ツール、「文字画像作成」ツールで作成したアイコンを一覧表に表示します。



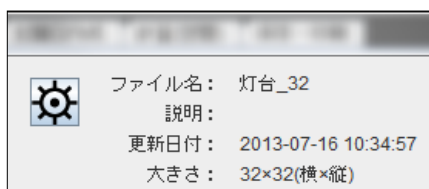
## 「アイコン・名称」表示に切り替えた場合



## 「アイコン」のみの表示に切り替えた場合



アイコンをクリックすると画面左上部に、そのアイコンの詳細情報が表示されます。



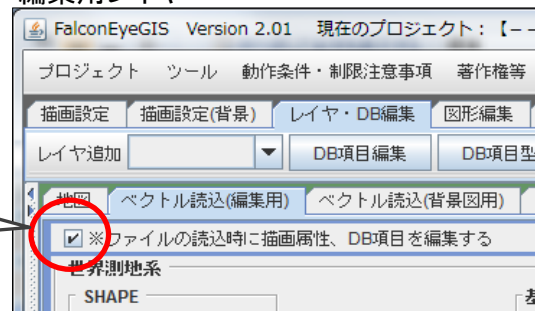
#### 14. 7 描画情報自動設定(編集用)

ベクトルファイルを読み込むときに、描画情報の設定を自動にした場合、この機能で編集した描画情報がそのレイヤに適用されます。

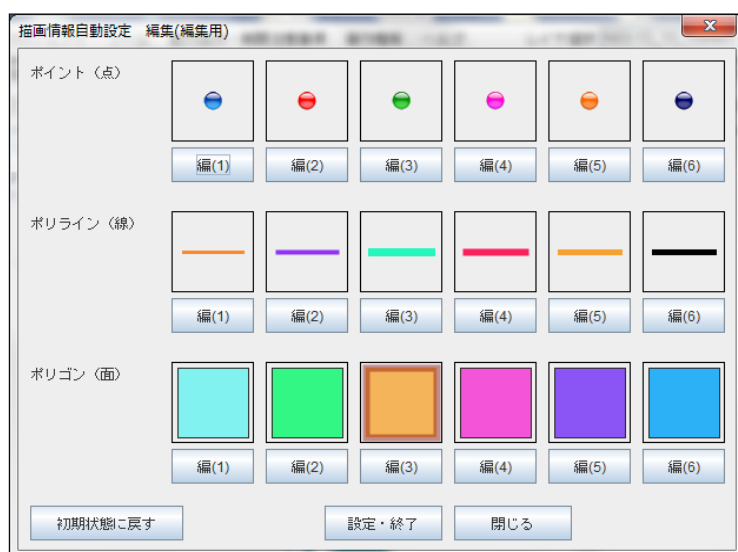
6個の描画属性情報を登録することができます。  
システムで事前に設定していますが、必要に応じて変更、編集して下さい。  
ファイルを読み込むごとに左側から順番に定義情報が使用されます。  
6個まで使い切ると最初の定義情報に戻ります。

このチェックを外すと「描画情報自動設定 編集(編集用)」で設定済みの描画情報が読み込むファイルのレイヤの描画情報として採用されます。

編集用レイヤ

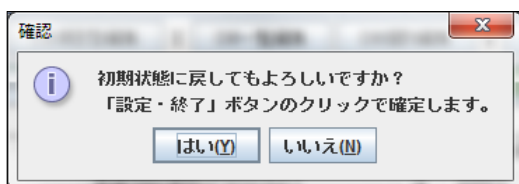


「ツール」の「描画情報自動設定(編集用)」を選択して下さい。  
以下の画面が表示されます。



編集箇所のボタンをクリックすると、レイヤの種類に応じた描画情報の設定画面が表示されます。  
編集方法については「5. 4 描画属性情報の設定」を参照して下さい。

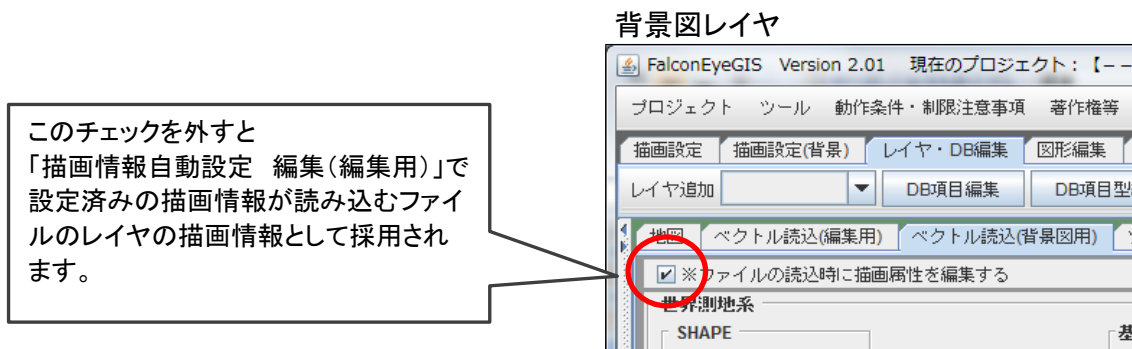
「初期状態に戻す」ボタンをクリックすると、以下の確認画面が表示されます。  
「はい」をクリックすると、初期の定義情報(商品出荷時の設定状態)に戻ります。



#### 14. 8 描画情報自動設定(背景図用)

ベクトルファイルを読み込むときに、描画情報の設定を自動にした場合、この機能で編集した描画情報がそのレイヤに適用されます。

6個の描画属性情報を登録することができます。  
システムで事前に設定していますが、必要に応じて変更、編集して下さい。  
ファイルを読み込むごとに左側から順番に定義情報が使用されます。  
6個まで使い切ると最初の定義情報に戻ります。

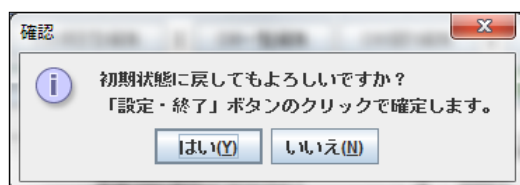


「ツール」の「描画情報自動設定(背景図用)」を選択して下さい。  
以下の画面が表示されます。



編集箇所のボタンをクリックすると、レイヤの種類に応じた描画情報の設定画面が表示されます。  
編集方法については「5. 4 描画属性情報の設定」を参照して下さい。

「初期状態に戻す」ボタンをクリックすると、以下の確認画面が表示されます。  
「はい」をクリックすると、初期の定義情報(商品出荷時の設定状態)に戻ります。





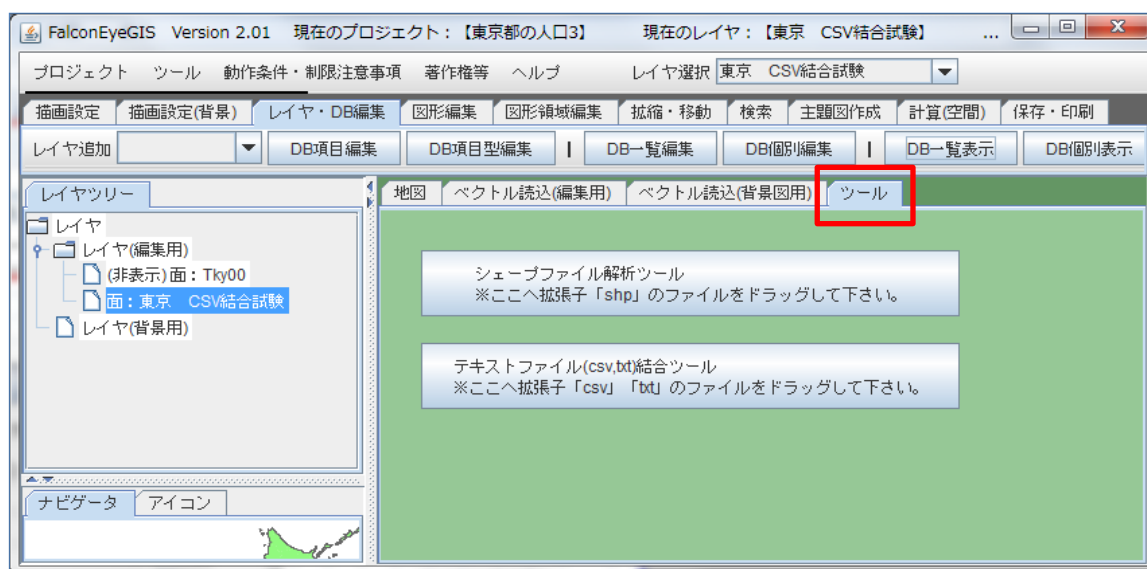
## 14.9 シェープファイル解析ツール

シェープファイルの内容を解析し、その結果を報告します。  
以下の情報を報告します。

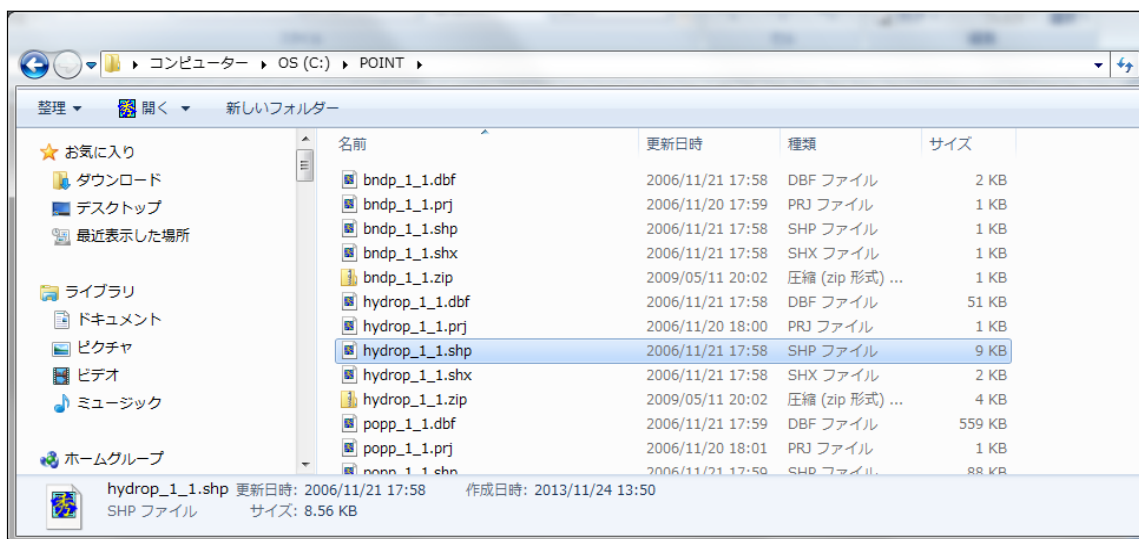
測地系	世界測地系か日本測地系かを報告します。
座標系	緯度経度座標系か平面直角座標系かを報告します。
シェープ・タイプ	図形の種別を報告します。
領域左下点	全図形を内包する矩形領域の左下点と右上点を報告します。
領域右上点	
レコード数	データの件数(図形の件数)を報告します。
DB項目情報	項目名、データ型、項目桁数、種数点以下桁数を報告します。

操作方法を以下に記述します。

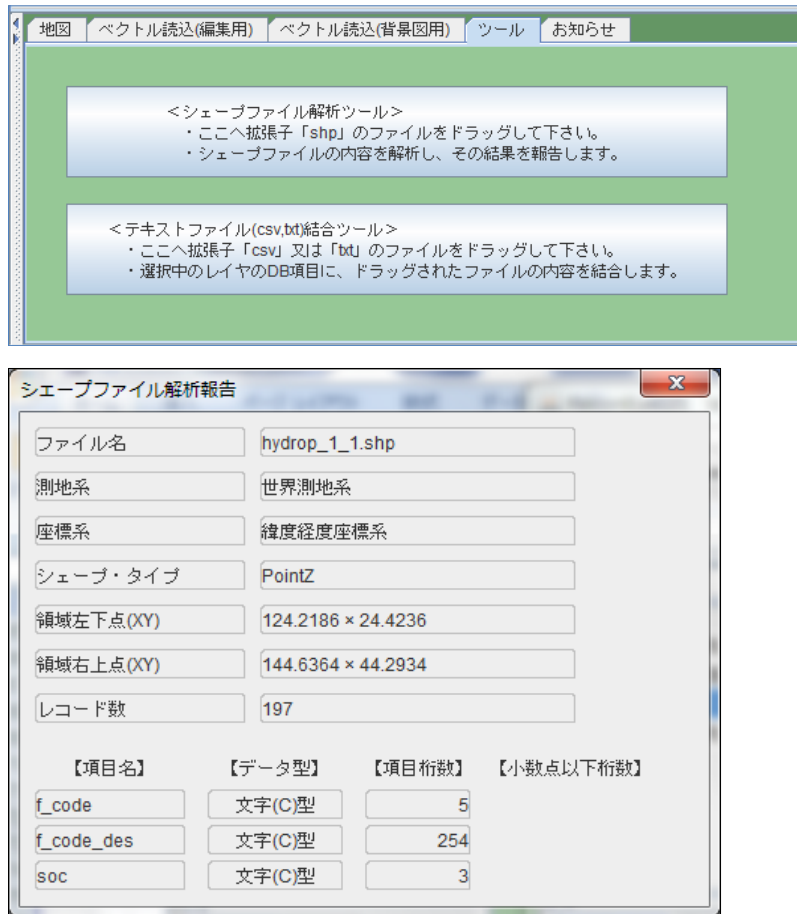
- ① 結合対象のレイヤを選択状態にし、テキストファイル結合ツールがある「ツール」タブを開きます。



- ② ウィンドウズのExplorerで解析するファイルが置かれているフォルダを開きます。

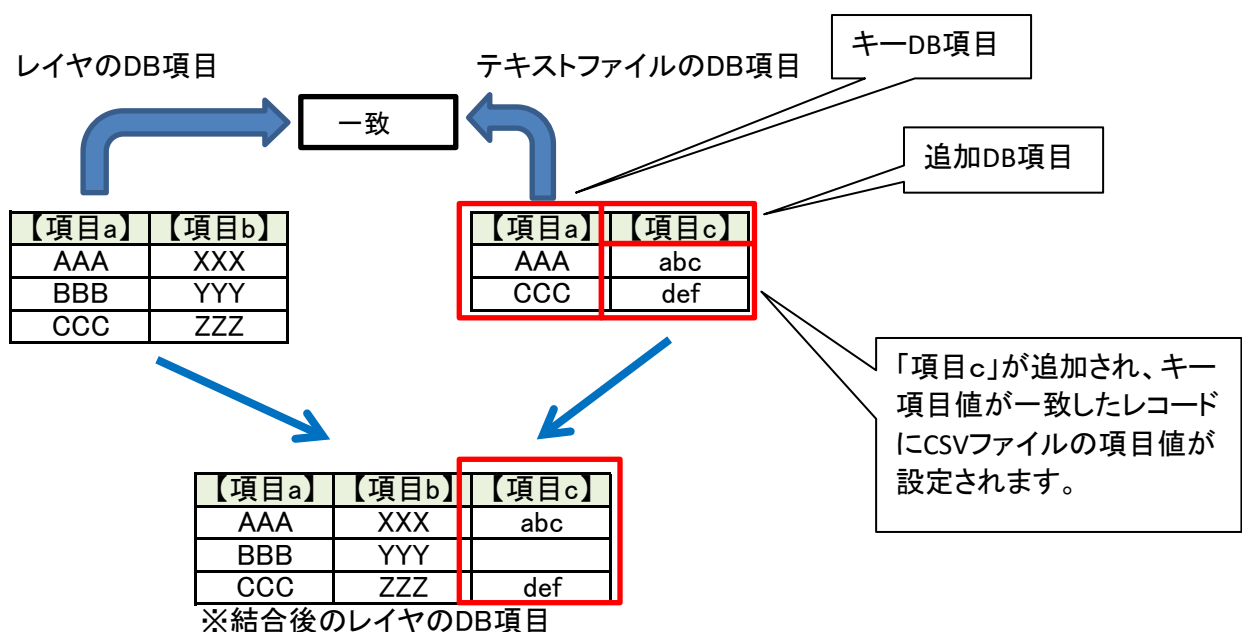


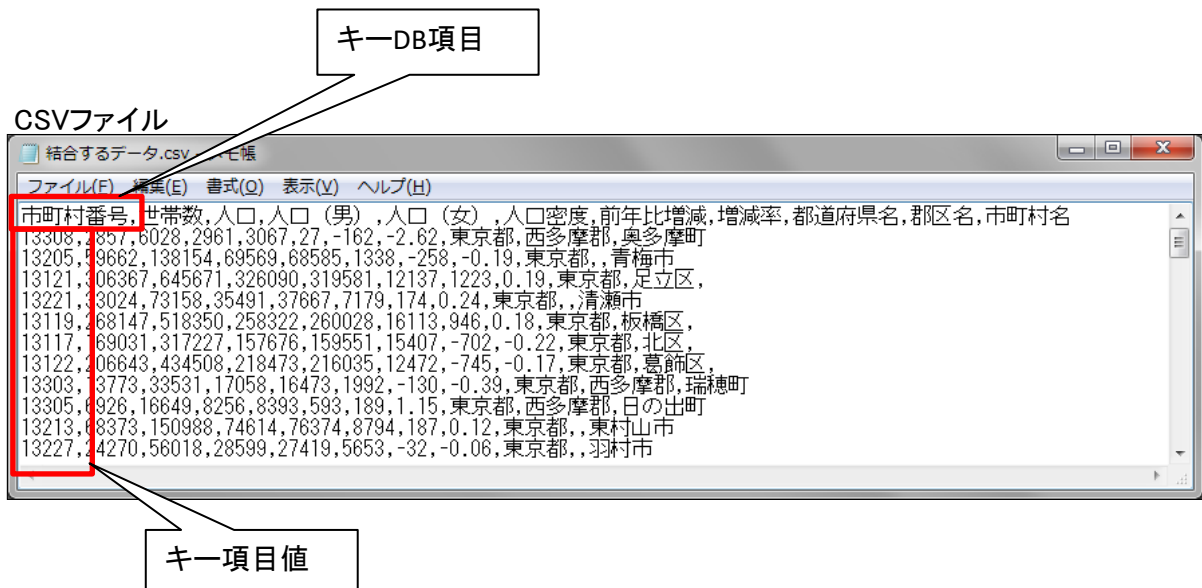
- ③ 「シェープファイル解析ツール」のエリアに、解析するファイルをドラッグします。  
「シェープファイル解析報告」の画面が表示されます。



#### 14. 10 テキストファイル(csv,txt)結合ツール

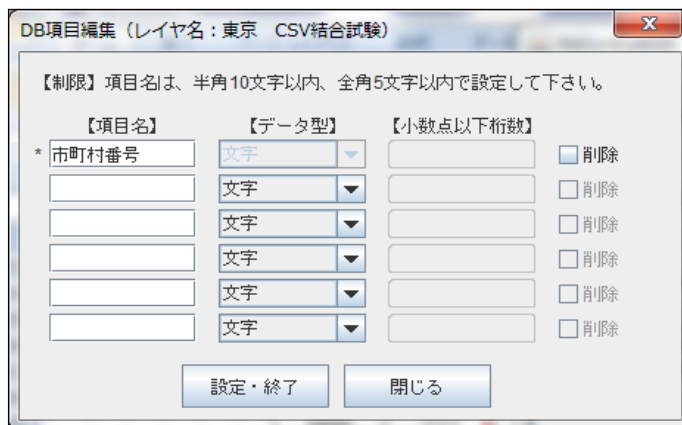
テキストファイルに設定されているデータを既存レイヤのDB項目情報として結合します。  
キーDB項目値が一致するレコードに対して、DB項目値が設定されます。





(例) DB項目として「市町村番号」のみを持つレイヤに人口の情報が保存されているCSVファイルの内容を結合します。

#### 結合する前のDB項目の設定情報



#### 結合する前のDB項目値の情報

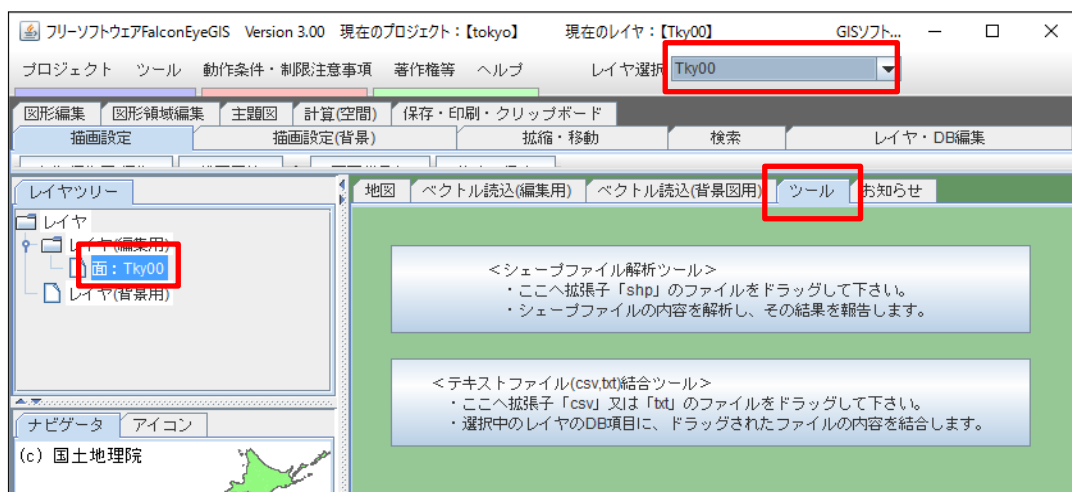


結合するファイルの内容(CSVファイルをExcelで開いています)

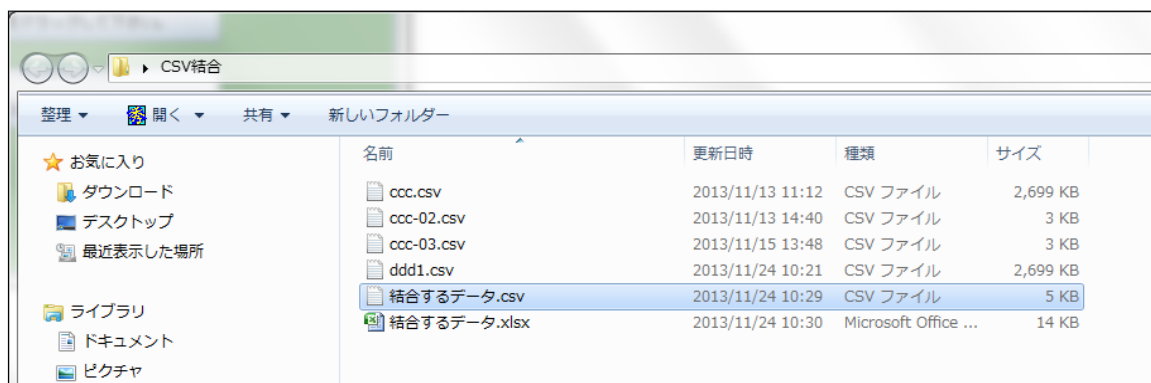
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	市町村番号	世帯数	人口	人口(男)	人口(女)	人口密度	前年比増減	増減率	都道府県名	郡区名	市町村名	
2	13308	2857	6028	2961	3067	27	-162	-2.62	東京都	西多摩郡	奥多摩町	
3	13205	59662	138154	69569	68585	1338	-258	-0.19	東京都		青梅市	
4	13121	306367	645671	326090	319581	12137	1223	0.19	東京都	足立区		
5	13221	33024	73158	35491	37667	7179	174	0.24	東京都		清瀬市	
6	13119	268147	518350	258322	260028	16113	946	0.18	東京都	板橋区		
7	13117	169031	317227	157676	159551	15407	-702	-0.22	東京都	北区		
8	13122	206643	434508	218473	216035	12472	-745	-0.17	東京都	葛飾区		
9	13303	13773	33531	17058	16473	1992	-130	-0.39	東京都	西多摩郡	瑞穂町	
10	13305	6926	16649	8256	8393	593	189	1.15	東京都	西多摩郡	日の出町	
11	13213	68373	150988	74614	76374	8794	187	0.12	東京都		東村山市	
12	13227	24270	56018	28599	27419	5653	-32	-0.06	東京都		羽村市	
13	13120	335465	694886	342261	352625	14429	1518	0.22	東京都	練馬区		
14	13307	1235	2597	1291	1306	25	-86	-3.21	東京都	西多摩郡	檜原村	
15	13228	33156	81421	40808	40613	1110	172	0.21	東京都		あきる野市	
16	13223	29017	70770	35573	35197	4604	301	0.43	東京都		武蔵村山市	
17	13222	50627	114414	56487	57927	8856	-358	-0.31	東京都		東久留米市	

実際の操作例を以下に示します。

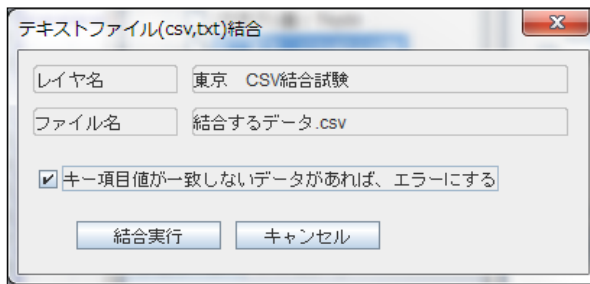
- ① 結合対象のレイヤを選択状態にし、テキストファイル結合ツールがある「ツール」タブを開きます。



- ② ウィンドウズのExplorerで結合するファイルが置かれているフォルダを開きます。



- ③ 「テキストファイル(csv,txt)結合ツール」のエリアに結合するファイルをドラッグします。  
以下の画面が表示されます。



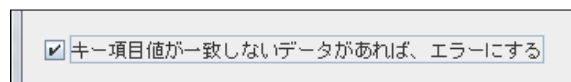
- ④ 「結合実行」ボタンをクリックし、結合が完了すると、以下のメッセージが表示されます。



CSVファイルに定義されているDB項目名がすでにレイヤのDB項目として存在していれば、以下のようなエラーメッセージが表示されます。



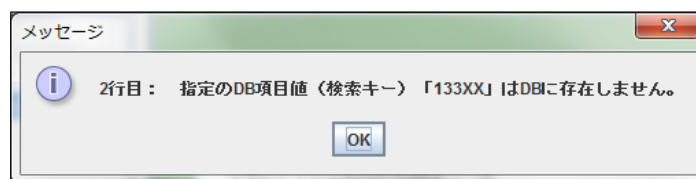
「キー項目値が一致しないデータがあれば、エラーにする」について



・チェックを入れている場合

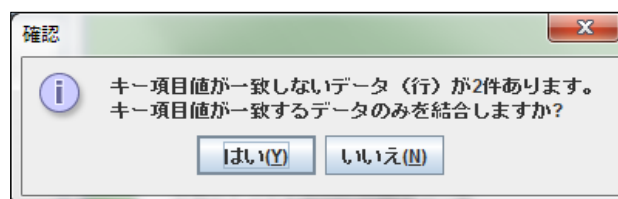
CSVファイルに設定されているキー項目の項目値がレイヤのキー項目のどの値とも一致しなければ、エラーにし、処理を中断します。

(例)



・チェックを入れていない場合

CSVファイルに設定されているキー項目の項目値がレイヤのキー項目の値と一致しないデータがあれば、以下の確認メッセージが表示されます。



## 結合完了後のDB項目定義の状態

DB項目編集 (レイヤ名: 東京 CSV結合試験)

【制限】項目名は、半角10文字以内、全角5文字以内で設定して下さい。

【項目名】	【データ型】	【小数点以下桁数】	
* 市町村番号	文字		<input type="checkbox"/> 削除
* 世帯数	文字		<input type="checkbox"/> 削除
* 人口	文字		<input type="checkbox"/> 削除
* 人口 (男)	文字		<input type="checkbox"/> 削除
* 人口 (女)	文字		<input type="checkbox"/> 削除
* 人口密度	文字		<input type="checkbox"/> 削除
* 前年比増減	文字		<input type="checkbox"/> 削除
* 増減率	文字		<input type="checkbox"/> 削除
* 都道府県名	文字		<input type="checkbox"/> 削除
* 郡区名	文字		<input type="checkbox"/> 削除
* 市町村名	文字		<input type="checkbox"/> 削除
	文字		<input type="checkbox"/> 削除
	文字		<input type="checkbox"/> 削除
	文字		<input type="checkbox"/> 削除
	文字		<input type="checkbox"/> 削除
	文字		<input type="checkbox"/> 削除

設定・終了 閉じる

## 結合完了後のDB項目の内容

DB一覧表示 (レイヤ名: 東京 CSV結合試験)

☒ ピンを表示 SHAPe出力 CSV出力

データNo	市町村番号(C)	世帯数(C)	人口(C)	人口 (男) (C)	人口 (女) (C)	人口密度(C)	前年比増減(C)	増減率(C)	
1	13308	2857	6028	2961	3067	27	-162	-2.62	東京
2	13205	59662	138154	69569	68585	1338	-258	-0.19	東京
3	13121	306367	645671	326090	319581	12137	1223	0.19	東京
4	13221	33024	73158	35491	37667	7179	174	0.24	東京
5	13119	268147	518350	258322	260028	16113	946	0.18	東京
6	13117	169031	317227	157676	159551	15407	-702	-0.22	東京
7	13122	206643	434508	218473	216035	12472	-745	-0.17	東京
8	13303	13773	33531	17058	16473	1992	-130	-0.39	東京
9	13305	6926	16649	8256	8393	593	189	1.15	東京
10	13213	68373	150988	74614	76374	8794	187	0.12	東京
11	13227	24270	56018	28599	27419	5653	-32	-0.06	東京
12	13120	335465	694886	342261	352625	14429	1518	0.22	東京
13	13307	1235	2597	1291	1306	25	-86	-3.21	東京
14	13228	33156	81421	40808	40613	1110	172	0.21	東京
15	13223	29017	70770	35573	35197	4604	301	0.43	東京
16	13222	50627	114414	56487	57927	8856	-358	-0.31	東京
17	13220	35819	83479	41455	42024	6165	196	0.24	東京

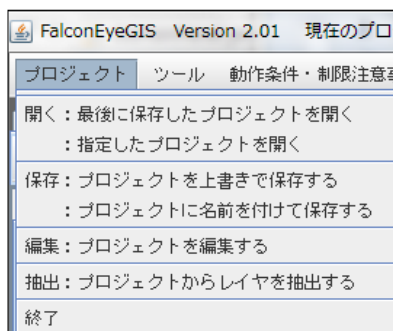
	増減率(C)	都道府県名(C)	郡区名(C)	市町村名(C)
	-2.62	東京都	西多摩郡	奥多摩町
	-0.19	東京都		青梅市
	0.19	東京都	足立区	
	0.24	東京都		清瀬市
	0.18	東京都	板橋区	
	-0.22	東京都	北区	
	-0.17	東京都	葛飾区	
	-0.39	東京都	西多摩郡	瑞穂町
	1.15	東京都	西多摩郡	日の出町
	0.12	東京都		東村山市
	-0.06	東京都		羽村市
	0.22	東京都	練馬区	
	-3.21	東京都	西多摩郡	檜原村
	0.21	東京都		あきる野市
	0.43	東京都		武蔵村山市
	-0.31	東京都		東久留米市
	0.24	東京都		東大和市



## 15. プロジェクトの管理

編集レイヤ、背景図レイヤの情報、及び地図の表示位置、縮尺等の情報を一つにまとめて保存、復元することができます(この保存、復元の単位をプロジェクトと呼びます)。

機能	メニュー名	説明
開く	最後に保存したプロジェクトを開く	最後に保存したプロジェクトを読み込む。
	指定したプロジェクトを開く	一覧表からプロジェクトを選択して読み込む。
保存	プロジェクトを上書きで保存する	現在開いているプロジェクトを上書きで保存する。
	プロジェクトに名前を付けて保存する	新規、又は名前を変更して新しいプロジェクトとして保存する。
編集	プロジェクトを編集する	プロジェクトの削除、備考欄の内容の編集を行う。
抽出	プロジェクトからレイヤを抽出する	他のプロジェクトに格納されているレイヤの中から指定のレイヤを読み込む。

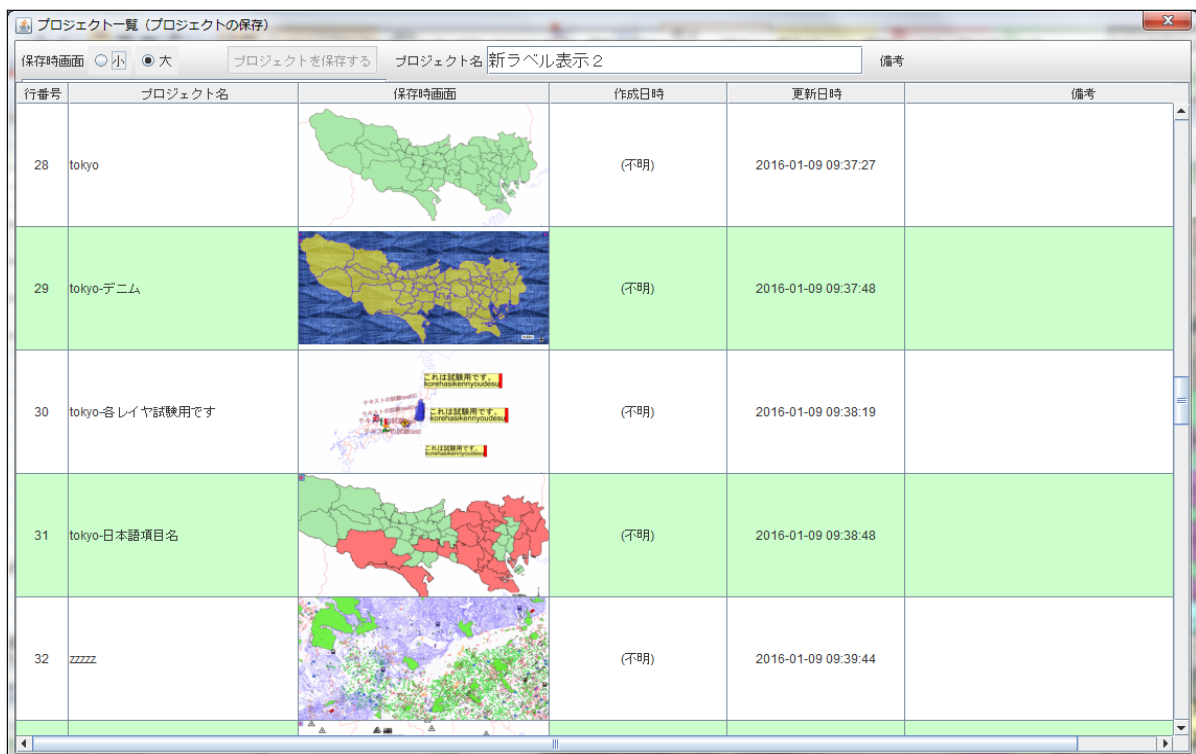


### 15.1 上書き保存、名前を付けて保存

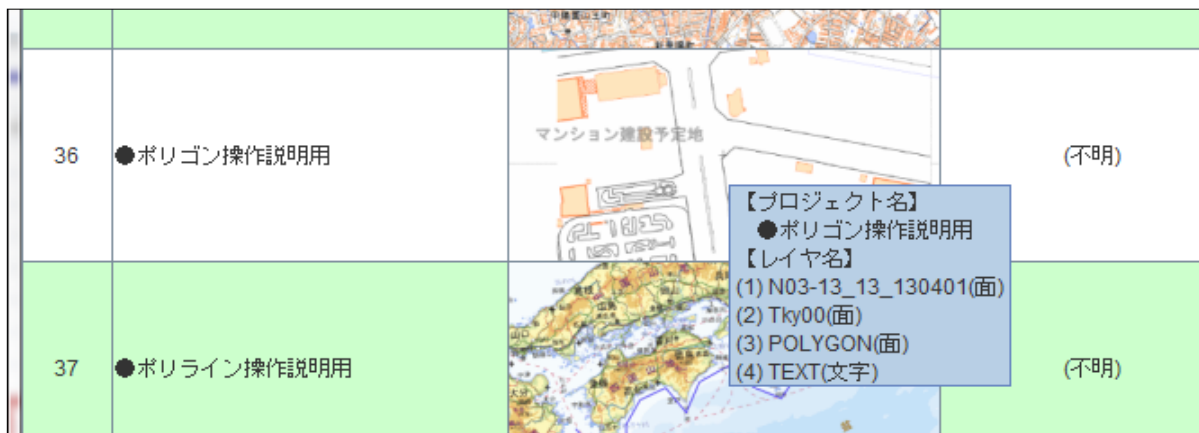
#### (1) 名前を付けて保存

「名前を付けて保存」を選択すると、以下の画面が表示されます。

※マウスホイールで一覧表をスクロールすることができます。



※マウス位置のプロジェクトに格納されているレイヤの情報がポップアップ画面に表示されます。



- ① プロジェクト名を入力します。  
プロジェクトを読み込んだ状態であれば、そのプロジェクト名が入力欄に表示されます。  
※半角特殊文字を避け、半角の英数字、または全角文字をご使用下さい。

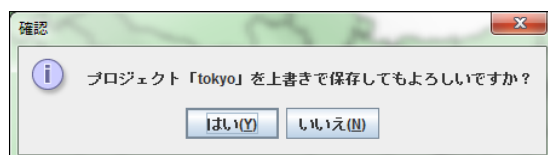
- ② 「プロジェクトを保存する」ボタンをクリックする。

編集用レイヤ、背景図用レイヤ、各種設定情報をプロジェクトファイルとしてまとめて保存します。  
プロジェクトファイルを読み込むと保存時の状態が再現されます。

レイヤ以外の主要な保存情報は以下の通りです。  
(読み込み時に再現される情報)

NO	保存パラメータ
1	モニター上での画面の表示位置
2	モニター上での画面のサイズ
3	地図の位置情報
4	地図の縮尺情報
5	画面背景色の情報
6	緯度経度の表示情報
7	編集レイヤの表示有無
8	背景図レイヤの表示有無
9	背景図画像の表示有無
10	主題図の設定情報、表示状態
11	地図左上: 背景図種別の描画有無
12	地図左上: 画面中心の緯度・経度の描画有無
13	地図右上: 背景図メニューの表示有無

- (2) 上書き保存  
「指定したプロジェクトを開く」を選択すると、以下の画面が表示されます。



上書きして良ければ、「はい」をクリックします。

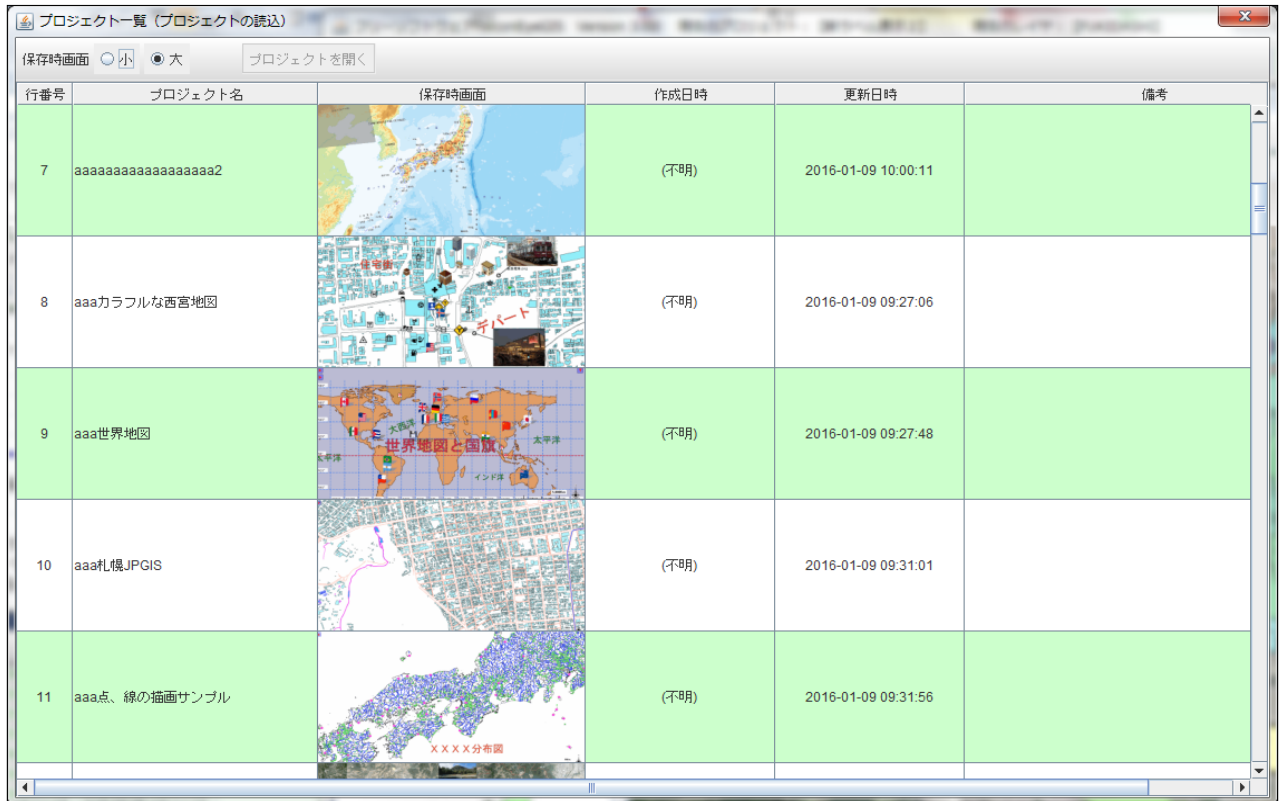
## 15. 2 プロジェクトを指定して開く、最後に保存したプロジェクトを開く




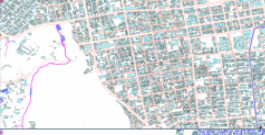

### (1) プロジェクトを指定して開く

「指定したプロジェクトを開く」を選択すると、以下の画面が表示されます。

※マウスホイールで一覧表をスクロールすることができます。

※マウス位置のプロジェクトに格納されているレイヤの情報がポップアップ画面に表示されます。



行番号	プロジェクト名	保存時画面	作成日時	更新日時	備考
7	aaaaaaaaaaaaaaaaaaaa2		(不明)	2016-01-09 10:00:11	
8	aaaカラフルな西宮地図		(不明)	2016-01-09 09:27:06	
9	aaa世界地図		(不明)	2016-01-09 09:27:48	
10	aaa札幌JPGIS		(不明)	2016-01-09 09:31:01	
11	aaa点、線の描画サンプル		(不明)	2016-01-09 09:31:56	

① 読み込むプロジェクトの行をマウスで選択して下さい。

「プロジェクトを開く」ボタンが活性化します。

② 「プロジェクトを開く」ボタンをクリックします。

プロジェクトファイルが読み込まれ、プロジェクトを保存したときの地図の表示状態が再現されます。

### (2) 最後に保存したプロジェクトを開く



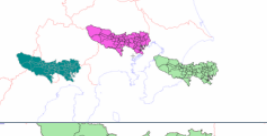


「最後に保存したプロジェクトを開く」を選択すると、最後に保存されたプロジェクトが読み込まれます。

### 15. 3 プロジェクトを削除する、備考を編集する

プロジェクトを削除、または備考を編集する場合は、「プロジェクトを編集する」を選択して下さい。

※マウスホイールで一覧表をスクロールすることができます。

※マウス位置のプロジェクトに格納されているレイヤの情報がポップアップ画面に表示されます。

プロジェクト一覧 (プロジェクトの編集)					
保存時画面 <input type="radio"/> 小 <input checked="" type="radio"/> 大		プロジェクトを削除する 備考を編集する			
行番号	プロジェクト名	保存時画面	作成日時	更新日時	備考
53	東京都		(不明)	2016-01-09 09:52:51	
54	東京都 ベクトル背景図を追加		(不明)	2016-01-09 09:53:26	
55	東京都の人口2		(不明)	2016-01-09 09:53:58	
56	東京都の人口3		(不明)	2016-01-09 09:54:33	
57	画像Eml試験		(不明)	2016-01-09 09:54:52	

#### 【プロジェクトの削除】

- ① 削除するプロジェクトの行をマウスで選択(クリック)して下さい。  
選択された行がグレー表示になり、「プロジェクトを削除する」「備考を編集する」のボタンが活性化します。
- ② 「プロジェクトを削除する」ボタンをクリックします。  
プロジェクトを確認する画面が表示されます。

プロジェクトの削除

プロジェクト名

aaa4

作成日

2013年 08月 27日 16時 07分 31秒

更新日

2013年 08月 29日 15時 53分 32秒

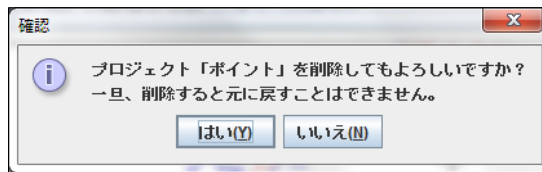
備考

aaaaa

プロジェクト削除

閉じる

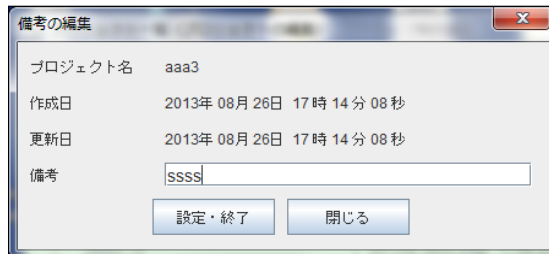
- ③ 「プロジェクト削除」ボタンをクリックします。  
削除確認の画面が表示されます。



- ④ 削除してもよければ、「はい」をクリックします。

#### 【備考の編集】

- ① 備考を編集するプロジェクトを選択します(行をクリックする)。  
選択された行がグレー表示になり、「プロジェクトを削除する」「備考を編集する」のボタンが活性化します。
- ② 備考欄を編集、入力します。



- ③ 「設定・終了」ボタンをクリックします。  
備考欄の内容が更新されます。

#### 15. 4 プロジェクトからレイヤを抽出する





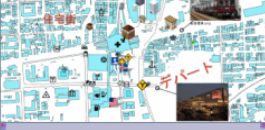
プロジェクトから指定のレイヤを抽出し、読み込みます。

読み込みが可能なレイヤは、ポイント(点)、ポリライン(線)、ポリゴン(面)、テキスト(文字)の4種類です。画像レイヤ、Exif画像レイヤ、添付ファイルレイヤは抽出することはできません。

- ① 「プロジェクトからレイヤを抽出する」を選択すると、以下の画面が表示されます。  
※マウスホイールで一覧表をスクロールすることができます。  
※マウス位置のプロジェクトに格納されているレイヤの情報がポップアップ画面に表示されます。

プロジェクト一覧 (レイヤの抽出)

保存時画面 ☐ 小 ☒ 大    レイヤを抽出する    ※抽出が可能なレイヤは、面(ポリゴン)、線(ポリライン)、点(ポイント)、文字(テキスト)、付箋紙、吹出しの6種類です。

行番号	プロジェクト名	保存時画面	作成日時	更新日時	備考
4	aaa2		2015-12-30 12:06:05	2015-12-30 12:07:14	
5	aaa3		2015-12-30 12:06:51	(不明)	
6	aaaaaaaaaaaaaaaaaaaa		(不明)	2016-01-09 09:59:05	
7	aaaaaaaaaaaaaaaaaaaa2		(不明)	2016-01-09 10:00:11	
8	aaaカラフルな西宮地図		(不明)	2016-01-09 09:27:06	

- ② プロジェクトを選択します(行をクリックする)。  
選択された行がグレー表示になり、「レイヤを抽出する」ボタンが活性化します。
- ③ 「レイヤを抽出する」ボタンをクリックします。  
プロジェクト、及びレイヤの概要が表示されます。

レイヤの読み込み

プロジェクト名    aaa画像サンプル  
作成日            2013年 09月 18日 22時 08分 07秒  
更新日            2013年 09月 18日 22時 31分 44秒  
備考                報告書

※プロジェクトから抽出するレイヤにチェックを入れて下さい。  
但し、画像、Exif画像、添付レイヤは選択できません。

【レイヤ名】	【レイヤ種別】	【データ個数】	【座標点数】
<input type="checkbox"/> EXIF	Exif画像	2	2
<input type="checkbox"/> GAZO	画像	2	2
<input checked="" type="checkbox"/> POINT	点	0	0

レイヤの読み込み    閉じる



- ④ 抽出する(読み込む)レイヤにチェックを入れます。  
「レイヤの読込」ボタンが活性化します。
- ⑤ 「レイヤの読込」ボタンをクリックします。

## 16. 保存・印刷・クリップボード

本章では、レイヤデータの保存、出力、印刷等について説明します。

機能	説明
SHAPE出力	選択されているレイヤのデータをシェープファイルに出力します。 ※検索されたデータの保存(出力)については、「10. 1 領域検索」「10. 2 DB項目値検索」を参照して下さい。
CSV出力	選択されているレイヤのデータをCSVファイルに出力します。 ※検索されたデータの保存(出力)については、「10. 1 領域検索」「10. 2 DB項目値検索」を参照して下さい。
画像保存	画面に表示されている地図を画像ファイルとして出力します。 ※出力形式: JPG, PNG, GIF, BMP
印刷	画面に表示されている地図を印刷します。
クリップボード	画面に表示されている地図をクリップボードにコピー・記憶します。 他のソフトで、その画像を活用することができます。

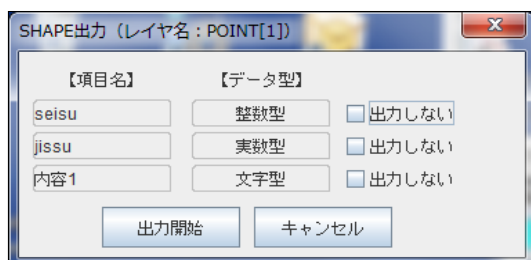
### 16. 1 シェープ出力

現在選択中のレイヤのデータをシェープファイルに出力します。

テキスト(文字)、画像、Exif画像、添付ファイルレイヤは、以下の図形種別(シェープ・タイプ)で出力されます。

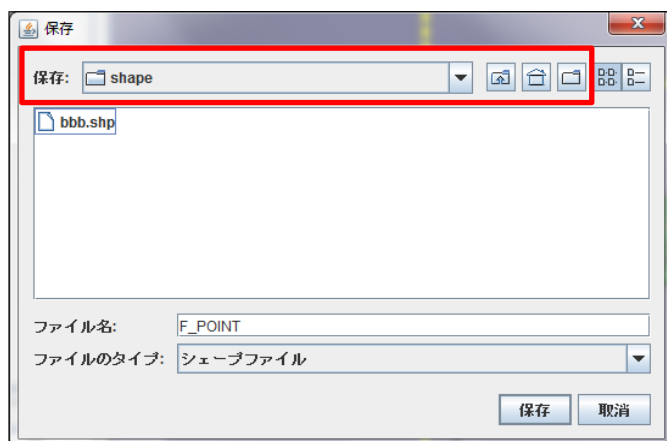
レイヤ種別	シェープ・タイプ	備考
ポイント(点)レイヤ	ポイント(Point)	
ポリライン(線)レイヤ	ポリライン (PolyLine)	
ポリゴン(面)レイヤ	ポリゴン (Polygon)	
テキスト(文字)レイヤ	ポリゴン (Polygon)	四角形の図形として出力されます。
画像レイヤ	ポイント(Point)	点データとして出力されます。
Exif画像レイヤ	ポイント(Point)	点データとして出力されます。
添付ファイルレイヤ	ポイント(Point)	点データとして出力されます。

- ① 「保存・印刷・クリップボード」タブを選択します。
- ② 「SHAPE出力」をクリックします。
- ③ DB項目の情報が表示されますので、シェープファイルに出力したくないDB項目は、「出力しない」にチェックを入れます。



- ④ 「出力開始」ボタンをクリックします。

- ⑤ ファイルの保存ダイアログが表示されますので、保存先のフォルダを選択、または作成します。



- ⑥ ファイル名の入力箇所にレイヤ名が設定されていますので、必要に応じて、入力し直して下さい。  
ファイル拡張子の入力は不要です。

- ⑦ 「保存」ボタンをクリックします。  
保存先のフォルダに以下の拡張子のファイルが生成されます。

- ・ 「shp」      ... 図形情報のファイル
- ・ 「shx」      ... インデックスファイル
- ・ 「dbf」      ... DB属性情報のファイル

シェープファイルを読み込む時はこれらの3種類のファイルを必要とします。  
3つのファイルをセットで管理して下さい。

## 16. 2 CSV出力

現在選択中のレイヤのデータをCSVファイルに出力します。  
テキスト(文字)、画像、Exif画像、添付ファイルレイヤは、以下の図形種別で出力されます。

レイヤ種別	図形タイプ(シェープタイプ)
テキスト(文字)レイヤ	ポリゴン(Polygon)
画像レイヤ	ポイント(Point)
Exif画像レイヤ	ポイント(Point)
添付ファイルレイヤ	ポイント(Point)

#### 【出力形式】

データNo, [DB項目名], [DB項目名], [DB項目名], .....  
 [データタイプ], [データタイプ], [データタイプ], .....  
 [小数点以下桁数], [小数点以下桁数], [小数点以下桁数], .....  
 [データNo], [DB項目値], [DB項目値], [DB項目値], .....  
 .  
 .  
 .

(例) ポイント(点)レイヤのCSVファイル出力例

**データNo, 建物の数, 平均面積, 日付, 備考, 図形種別, 座標値**

N, N, D, C,

0, 2, 0, 0,

1, 15, 345.67, 20130902, 強固, POINT, 座標値, "34.77141536589018 135.40047512604212"

2, 23, 222.34, 20130902, 強固, POINT, 座標値, "34.77141536580000 135.40047512600000"

3, 44, 333.56, 20130902, 強固, POINT, 座標値, "34.77141536589999 135.40047512699999"

#### ※ 1行目

先頭列は、「データNo」で固定、最後の2列は「図形種別」「座標値」で固定、その間は、出力するDB項目の項目名です。

#### ※ 2行目

DB項目のデータ型を指定しています。

C	文字型
N	数値型
N	数値型
D	日付型

#### ※ 3行目

小数点以下桁数を指定しています。  
 整数の場合は、「0」が設定されます。

#### ※ 4行目以降

4行目以降は、DB項目値、図形の緯度・経度座標値等が格納されます。  
 1列目は、出力時のデータNo、2列目からはDB項目値が並び、その後に  
 図形の種別 (POINT, POLYLINE, POLYGON)、「座標値」、各端点の座標データが並びます。

(注意) 「データNo」について

「データNo」はファイルを読み込んだとき、または画面から図形を登録したときに付けられる連番号です。

よって、「データ削除⇒ファイル保存⇒ファイル読み込み」を行うと以前と異なるデータNoが割り付けられていることがあります。データ固有の番号ではありません。

### 16. 3 画像出力

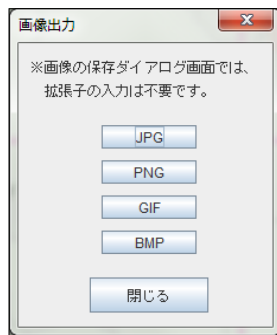
現在表示されている地図の画面を画像ファイルとして出力します。

(注意) 背景画像が表示されている場合、国土地理院背景地図等利用規約により画像の保存(出力)はできません。「画像保存」のボタンが有効になりません(非活性)。

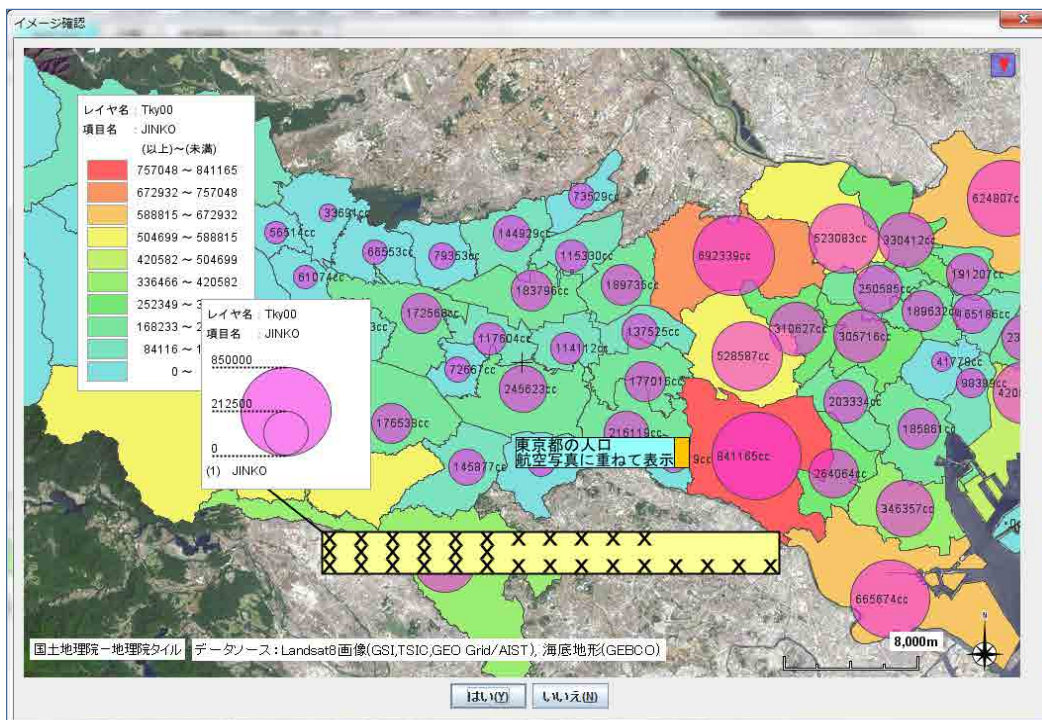
① 「保存・印刷・クリップボード」タブを選択して下さい。

② 「画像保存」をクリックします。

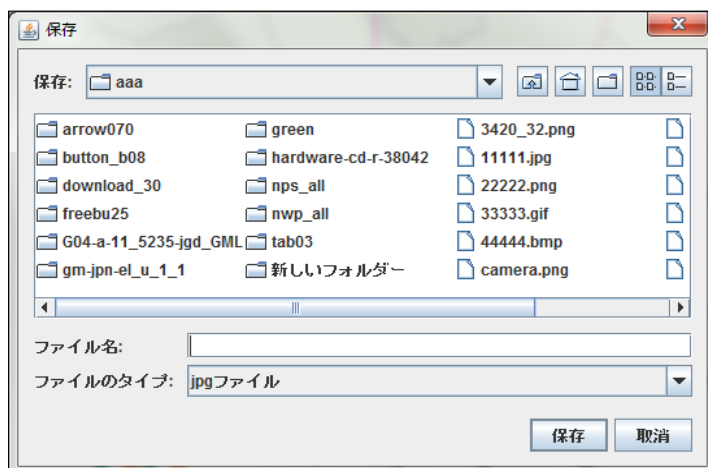
- ③ 「画像出力」画面が表示されますので、画像のファイル形式を選択して下さい。



- ④ 出力画像の確認画面が表示されますので、「はい」をクリックして下さい。



- ⑤ ファイルの保存ダイアログが表示されますので、ファイル名を入力し、「保存」ボタンをクリックして下さい。  
※ファイル拡張子の入力是不要です。



## 16. 4 印刷

現在表示中の地図画面を印刷します。  
本ソフトウェア独自の印刷プレビュー機能があり、印刷時の画像のサイズ、実際の用紙に印刷したときの用紙と画像サイズとのバランスを確認することができます。

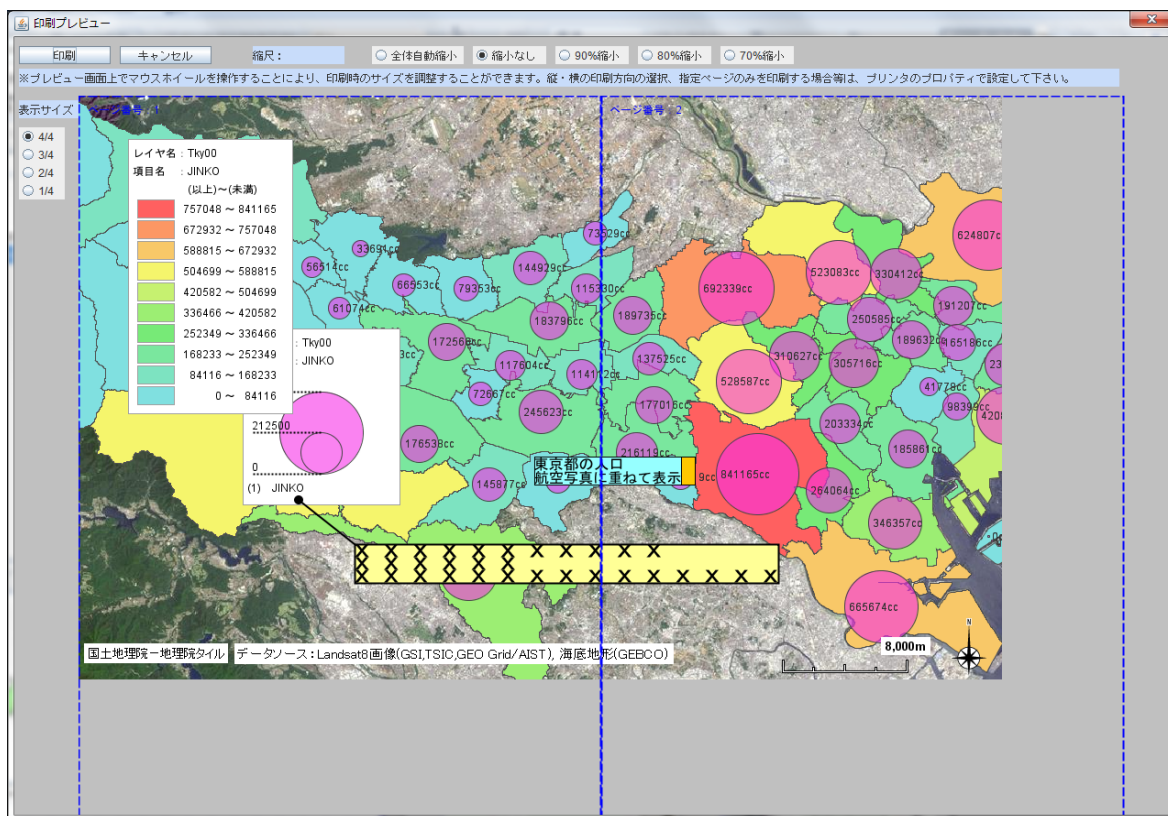
- ① 「保存・印刷・クリップボード」タブを選択して下さい。
- ② 「印刷」をクリックします。  
ご利用のパソコンに接続されているプリンタの印刷設定画面が表示されます。
- ③ プロパティの設定を行い、「印刷」ボタンをクリックします。

プリンタのプロパティで、

- ・ 印刷範囲
- ・ 用紙サイズ
- ・ 印刷方向(縦・横)

等を決めて下さい。

- ④ 本ソフトウェアの機能のプレビュー画面が表示されますので、「○～」ボタン、またはマウスホイールを前後に動かして画像の印刷サイズを調整して下さい。





【画面の説明】

- |           |   |
|-----------|---|
| ・マウスホイール  | 前後に動かすことにより、画像のサイズを調整できます。                                    |
| ・「印刷」     | 印刷を開始します。   |
| ・「キャンセル」  | 印刷をキャンセルします。  |
| ・「縮尺」     | 画像の縮尺率を表示します。   |
| ・「全体自動縮小」 | 1枚の用紙に収まるようにサイズを自動で調整します。                                     |
| ・「縮小なし」   | 画像を拡大、縮小せずに原図のままのサイズで表示します。                                   |
| ・「90%縮小」  | 90%に縮小して表示します。  |
| ・「80%縮小」  | 80%に縮小して表示します。  |
| ・「70%縮小」  | 70%に縮小して表示します。  |
| ・「4／4」    | プレビュー画面での画像の表示サイズを4/4(等倍)にします。<br>印刷時の画像サイズとは関係はありません(以下、同様)。 |
| ・「3／4」    | プレビュー画面での画像の表示サイズを3/4にします。                                    |
| ・「2／4」    | プレビュー画面での画像の表示サイズを2/4にします。                                    |
| ・「1／4」    | プレビュー画面での画像の表示サイズを1/4にします。                                    |

## 16. 5 クリップボード

現在表示中の地図画面をパソコンのクリップボードにコピー、記憶します。  
他のソフトで、その画像を利用することができます。

「貼り付け」または [Ctrl] + [v] の操作でクリップボードに記憶された画像がそのソフトの画面にコピー、表示されます。